

令和7年度 川崎市学習状況調査 全市報告書(詳細版)

目次

第1章 川崎市学習状況調査の概要・・・3

- I 調査の概要・・・4
 - 1 調査の目的
 - 2 調査の内容
 - 3 調査の特色
- II 育成を目指す資質・能力・・・10
 - 1 かわさき教育プランから

第2章 カリキュラムセンター、分析委員会による分析・・・12

- I 小学校の全市結果と分析、手立て・・・13
 - 1 各教科の結果概要
 - 2 小学校 国語科
 - 3 小学校 算数科
 - 4 小学校全般を通しての状況と授業改善のポイント
 - 5 他教科等の分析と手立て
- II 中学校の全市結果と分析、手立て・・・51
 - 1 各教科の結果概要
 - 2 中学校 国語科
 - 3 中学校 社会科
 - 4 中学校 数学科
 - 5 中学校 理科
 - 6 中学校 英語科
 - 7 中学校全般を通しての状況と授業改善のポイント
 - 8 他教科等の分析と手立て
- III 学習意識調査の結果・・・117
 - 1 学習の理解度
 - 2 学習の好感度
 - 3 学習への意識
- IV 調査結果のまとめと手立て・・・127
 - 1 調査結果の成果と課題
 - 2 今後の手立て
- V 結果の一覧・・・130
- VI 今後の各種事業の取組について・・・214
 - 1 研究会・研究部会の各事業
 - 2 教育委員会の各事業

第3章 教育委員会事務局各部署による分析・・・225

- I 政策推進・・・226
- II 人権・多文化共生教育・・・234
- III 情報・視聴覚センター・・・237

第4章 9月26日担当者説明会とモデル校の取組より・・・239

- I 担当者説明会・・・240
- II モデル校の事例・・・243

第1章 川崎市学習状況調査の概要

第1章 I 調査の概要

第1章 川崎市学習状況調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

- 児童生徒、保護者は**、学習の取組を振り返り、課題を的確に把握し、**学習改善に生かす。**
- 学校は**、学校教育目標等で示した資質・能力の育成に向けて、調査結果を分析し、個に応じた指導や学校(学年)での**授業改善、教育課程編成等に生かす。**
- 校長会、各研究(部)会は**、教育委員会と連携して全市的な結果の分析と授業改善の具体的な手立て、個に応じた**指導の手立て等を研究し**、説明会や各研究(部)会の事業等で**教員に伝達する。**
- 教育委員会は**、全市的な児童生徒の学習状況を**経年調査することにより**、学習状況を把握・分析し、**教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。**

2 調査の内容

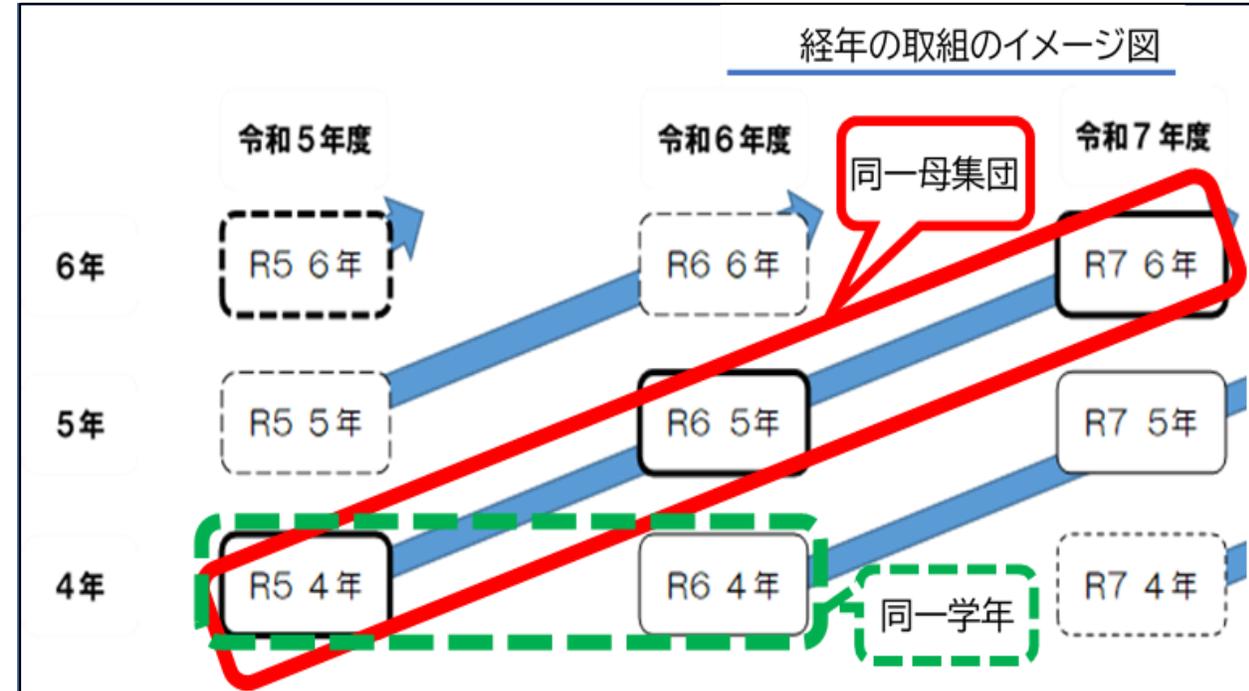
- 教科調査** 小学校 国語・算数 中学校 国語・社会・数学・理科・英語
調査の目的に基づき、学習指導要領に定める内容のうち、ペーパーテストで調査を行うことが適切な項目について調査を実施しました(前年度までの学習範囲)。
- 学習意識調査**
児童生徒の学習や生活に対する意識等について明らかにするために、児童生徒を対象とする調査を実施しました。
- 調査の対象及び人数**
市内全市立小学校の第4学年 11,802名、第5学年 11,850名、第6学年 11,600名
市内全市立中学校の第1学年 9,499名、第2学年 9,149名、第3学年 9,086名
- 調査実施期間** 令和7年4月8日(火)～25日(金)

3 調査の特色

○IRTに基づく出題

川崎市学習状況調査では、小4から中3までの6学年を対象を拡充し、児童生徒一人ひとりや学年、学校の実態について経年で比較することが可能となります。これは、IRT(項目反応理論)に基づく調査問題で、毎年同学年で同程度の難易度となる新しい問題を作成するため、参加自治体全体と比較することで児童生徒一人ひとり、学年の過年度と比較しやすくなるからです。

例えば、令和5年度の小4の結果から授業改善や学習改善を図り、次年度に同一母集団である令和6年度の小5の結果を4年次と比較し、これまでの取組を振り返り、成果や課題を明確にして、更なる手立てを考えるなど、児童生徒一人ひとりや学年、学校の実態に応じた指導が行いやすくなります。また、令和5、6年度の小4のように同一学年の比較も可能です。調査結果については、各教科の結果と学習意識調査の結果について、**経年的に学習状況が「見える化」される**ので、学校や学年、児童生徒の実態に応じた手立てが、より行いやすくなります。



毎年異なる問題ではあるが、同一学年の平均正答率が毎年同等となるように設計したものの。例に挙げた小4は、ここ3年間の平均正答率が7割程度

例

例	R5 参加自治体全体 平均正答率	R6 参加自治体全体 平均正答率	R7 参加自治体全体 平均正答率
小4	70.0	71.6	68.9

○Webシステム(SYEN)について

Web分析システム「SYEN」からは、多様なデータを読み取ることができます。

示されるデータ例

- ・調査結果を出題形式や「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点別に集計したデータ
- ・設問ごとの各正答率のデータ
- ・各設問において全市の受検者の上位から25%ずつをA～D層の4層に分けたA～D層の正答率 など

川崎市学習状況調査の概要

調査対象	○小学校第4学年～中学校第3学年
調査教科	○小学校 国語・算数 学習意識調査 中学校 国語・社会・数学・理科・英語 学習意識調査
実施時期	○小中ともに4月始業式翌週の4月8日(火)～25日(金)のうち各学校が設定する。学校の実態に応じて複数日での実施や学年ごとの実施なども考えられる。
作問・採点	○業者がIRT(項目反応理論)に基づく問題を作成し採点する。 →問題の難易度などについて事前調査を行い、検証を経て出題する。毎年新しい問題でありながら同学年で同程度の難易度となり、経年で比較・分析が可能になる。
学習意識調査	○業者が提供する、学習と相関の高い項目と、川崎市独自の項目として、自己肯定感や地域への愛情等の項目
配布資料等	○児童生徒に個人票、学校に学年票(ともに紙帳票)配布 ○個人の結果とGIGA端末の学習ソフトが連携
学校報告書	○これまでの学校報告書の取組を受け継ぎつつ、川崎市学習状況調査を中心に作成する。6学年(小学校は4・5・6年、中学校は1・2・3年)の結果を掲載し、それぞれの学年での取組、「(教科が)わかる」の数値を掲載する。併せて、全国学力・学習状況調査の結果(小6・中3)も該当学年で掲載する。

○GIGA端末との連携

調査結果のデータはGIGA端末内の学習ソフトと連携します。児童生徒一人ひとりの調査結果に応じて、**学習ソフトから児童生徒に適した問題が自動生成され**、学習改善に生かすことができるようになりました。

○分析方法について

・4層分析について

調査の目的の実現に向けて、より詳しい学力層別の傾向や状況を把握し、各層に適した支援や学習改善、授業改善に生かすために、4層分析を行っております。

教科調査は、川崎市内の受検者を、教科ごとに調査結果の高い者から並べ、意識調査は、小学校は2教科、中学校は5教科の合計点で並べ、上位からおおむね25%ずつをA～D層の4層に分けたものです。教科調査の数値はA～D層のそれぞれの平均正答率を示しています。意識調査の数値は肯定的な回答割合(「よくわかっている」「まあわかっている」等)を示しています。

各層の学習等に関するデータや各層間の差、同一母集団の経年変化などに着目して、取組の成果や課題を捉えていきます。

・表の見方について

【C-D層の差】

例. 4層分析 と C-D層間の差(小学校国語の平均正答率)

小 国語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・小4	96.7	86.7	74.2	44.7	29.5
R7・小5	90.6	76.4	62.2	40.1	22.1
R6・小4	90.0	76.5	63.2	38.3	24.9
R7・小6	91.8	80.5	67.8	44.7	23.1
R6・小5	86.4	71.5	57.9	36.4	21.5
R5・小4	93.2	82.3	70.4	44.7	25.7

$$\begin{aligned} & \text{令和7年度小学校6年生における} \\ & (\text{C層の平均正答率}) - (\text{D層の平均正答率}) \\ & = 67.8 - 44.7 \\ & = 23.1 \end{aligned}$$

【経年比較】

例. 【理解度】同一母集団の4層ごとの経年変化(小学校4教科平均)

年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
R7・小4	84.7	94.5	90.3	83.7	70.7
R7・小5	85.3	96.0	90.7	84.6	69.9
R6・小4	85.4	94.7	89.7	84.4	72.5
R7・小6	83.9	96.2	90.3	81.8	67.6
R6・小5	85.3	96.2	90.7	84.0	70.5
R5・小4	85.6	94.7	90.1	84.7	72.6

-2.6

令和7年度小学校5年生D層の前年度との経年比較(差)
 (令和7年度小5D層の肯定的回答率) - (令和6年度小4D層の肯定的回答率)
 = 69.9 - 72.5
 = -2.6

【全体(参加自治体全体)との比較】

例. 令和7年度小学校2教科平均正答率の全体との差

R7	2教科平均正答率		
	川崎	全体	差
小4	73.7	72.7	+1.0
小5	69.2	68.1	+1.1
小6	68.3	66.9	+1.4

令和7年度小学校6年生2教科平均正答率の全体との差
 (令和7年度市の6年生の2教科平均正答率)
 - (令和7年度全体の6年生の2教科平均正答率)
 = 68.3 - 66.9
 = +1.4

第1章 Ⅱ 育成を目指す資質・能力

Ⅱ 育成を目指す資質・能力

1 かわさき教育プランから

本市ではかわさき教育プランの基本政策Ⅱの「施策1」に学習状況に係る目標等が示されています。川崎市学習状況調査の結果を基に、プランで示されている資質・能力の育成に向け、授業改善や各種事業の改善に取り組んでいきます。カリキュラムセンターでは、各教科の分析を基に、複数の教科に関わる資質・能力の視点での授業改善の視点等をお示しします。

○かわさき教育プラン

基本理念 「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」

基本目標 「自主・自立」 変化の激しい社会の中で、誰もが多様な個性、能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことができるよう、将来に向けた社会的自立に必要な能力・態度を培うこと「共生・協働」個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かし、ともに支え、高め合える社会をめざし、共生・協働の精神を育むこと

基本政策Ⅱ 学ぶ意欲を育て、「生きる力」を伸ばす

政策目標 子どもたちの学ぶ意欲を高め、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」をバランスよく育み、将来の予測が難しい

社会を生き抜くために必要な「生きる力」を確実に身につけることをめざします。

施策1. 確かな学力の育成

「確かな学力」を育成するには、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」をバランスよく育み、主体的に学習に取り組む意欲を養うことが必要となります。

特に、川崎市学習状況調査では、学習状況の観点である「知識・技能」、「思考・判断・表現」に係る調査結果も示されますので、この2つの点を中心に、学習意識調査の結果も踏まえながら分析しました。

第2章 カリキュラムセンター、分析委員会 による分析

第2章 I 小学校の全市結果と分析、手立て

第2章 I 1 各教科の結果概要

I 小学校の全市結果と分析、手立て

1 各教科の結果概要(国語・算数) ※値は平均正答率(%)

○全体との比較(令和7年度の結果)

R7	2教科平均正答率		
	川崎	全体	差
小4	73.7	72.7	+1.0
小5	69.2	68.1	+1.1
小6	68.3	66.9	+1.4

R7	国語 平均正答率			算数 平均正答率		
	川崎	全体	差	川崎	全体	差
小4	75.6	74.0	+1.6	71.8	71.4	+0.4
小5	67.3	65.5	+1.8	71.1	70.7	+0.4
小6	71.2	70.6	+0.6	65.3	63.2	+2.1

川崎と全体の平均正答率を比較すると、本市の各教科、各学年は、全体より0.4から2.1ポイント上回っています。

平均正答率は、すべての学年、教科で参加自治体全体を回っている。

○同一母集団の経年比較(令和5年度から令和7年度)

小学校 2教科平均正答率

	川崎と全体の平均正答率の差		
	R5 小4	R6 小4	R7 小4
小6	+1.4		
小5	+0.7	+1.1	
小4	-0.6	+0.4	+1.6

川崎と全体の平均正答率の差を見ると、令和5年度の小4は全体より0.6ポイント下回っていたのが令和7年度には1.4ポイント上回っています。次年度からは3年間の経年での結果が見られる母集団が増えていきます。

全体との差について同一母集団の経年変化を見ると、学年が上がるにつれて良くなっている。

○4層分析 と C-D層間の差

※「A層」「B層」「C層」「D層」の欄は平均正答率(%)を、「C-D差」の欄はC層とD層のポイントの差を表しています。

小 国語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・小4	96.7	86.7	74.2	44.7	29.5
R7・小5	90.6	76.4	62.2	40.1	22.1
R6・小4	90.0	76.5	63.2	38.3	24.9
R7・小6	91.8	80.5	67.8	44.7	23.1
R6・小5	86.4	71.5	57.9	36.4	21.5
R5・小4	93.2	82.3	70.4	44.7	25.7

小 算数	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・小4	91.9	82.5	70.9	41.8	29.1
R7・小5	94.0	83.4	69.1	37.9	31.2
R6・小4	93.3	82.3	69.4	40.9	28.5
R7・小6	95.0	79.2	58.6	28.4	30.2
R6・小5	90.9	74.1	56.1	28.6	27.5
R5・小4	91.1	79.5	66.7	39.8	26.9

2教科 平均	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・小4	94.3	84.6	72.6	43.3	29.3
R7・小5	92.3	79.9	65.7	39.0	26.7
R6・小4	91.7	79.4	66.3	39.6	26.7
R7・小6	93.4	79.9	63.2	36.6	26.6
R6・小5	88.7	72.8	57.0	32.5	24.5
R5・小4	92.2	80.9	68.6	42.3	26.3

他の層間よりもC-D層間が大きく開いている。

【小学校の調査結果全体について】
 平均正答率について、川崎と全体との差に着目すると、全教科、全学年で全体を上回りました。また、同一母集団の平均正答率を、同様に川崎と全体との差に着目して経年比較すると、学年が上がるごとに改善される結果でした。
 4層分析の各層間の差に着目すると、どの学年もC-D層の差が最も大きく、引き続き、学習の際の疑問や関心について確認し、問題を解決していく授業の展開が大切です。

層間の差 **13.5** **15.8** **26.6**

※令和7年度の小6は、A-B層間が13.5ポイント、B-C層間が15.8ポイントで、C-D層間の26.6ポイントが一番大きく開いている。

第2章 I 2 小学校 国語科

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	83.7	98.8	93.2	85.2	57.6	41.2

全体の正答率は83.7%です。正しいローマ字の表記を選ぶ問題で、D層の誤答や無解答率が高くなっています。3年生で学習したローマ字学習の定着を改めて確認する必要があります。

【大問5(1)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	69.0	97.4	81.8	62.6	33.8	63.6

本文の文中の「苦手」の「手」と同じ読みとなるものを選択する問題です。4層分析ではパターンⅢとなっており、D層の無解答率の高さも課題です。既習漢字の音読み・訓読みの両方の読み方や、前後の文脈から言葉の意味を捉える力が必要です。

【正答】
2

- 1 なか直りのあく手をする。
 - 2 話の相手をする。
 - 3 実けんの助手をする。
- (1) 次の——線の漢字の読みが、——線④「苦手」の「手」と同じになるものを、次の1〜3から一つえらび、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

ほろこく文の下書きを見たおじいさんの会話

おじいさん 「どうしてコンクリートのたてものやアスファルトの道路がふえるの、カタツムリを見かけなくなるのかわ、もったいなくないなあ。」

石川さん 「なるほど。調べてみるよ。」

ほろこく文の下書き

なぜカタツムリを見かけなくなったか

1. 調べた理由と調べ方
わたしは、おじいさんから、さいきん、カタツムリを見かけなくなったと聞き、それは本当なのか、また、なぜなのかについてさようみをしました。そこで、図かんとインターネットを使って調べてみました。

2. 調べてわかったこと
カタツムリは、体のほとんどが水分で、かんそうが苦手な生き物です。カタツムリを見かけなくなったのは、コンクリートのたてものやアスファルトの道路がふえたからです。

3. まとめ
人間のくらしがへんかすることで、カタツムリがへつていくことがわかりました。それで、おじいさんが「カタツムリを見かけなくなった」と言っていたのです。わたしは、たてものや道路を作るとき、生き物のすみかをわらないように考えることが大切でした。

調べるときに使った本とウェブサイトを「カタツムリのすべ」□□社、2023年
○○科学館のウェブサイトを 石川 みゆ

【授業づくりのアイデア例】

漢字と語彙の力を高めるために

○漢字学習での例文づくり

漢字学習では、ただ暗記させるのではなく、意味と使い方をセットで理解させる指導が効果的です。「音読み」「訓読み」それぞれを用いた例文を書かせる活動などが考えられます。

教科書の巻末にある「これまでに習った漢字」の一覧から、既習漢字を使った「音読み」「訓読み」の例文づくりも考えられます。

○日常・他教科等での活用

日記や振り返りなどを書く場面では、わからない漢字について、漢字辞典を用いて、意味や使い方を自分で調べ、意識的に漢字を使うように指導します。漢字のもつ「意味で伝わるよさ」「文を短く簡潔にできるよさ」などを感じさせることで、日常の中でも既習漢字を積極的に使う習慣が身に付くようにします。

また、語彙の習得には、教室に語彙の掲示をして言語環境を整えることも、発言やスピーチ活動の際の手助けになり有効です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

4層分析の結果から、C-D層の差が30.8ポイント離れています(A-D層の差は58.8ポイント)。また、記述式の問題に対してのD層の無解答率が高い傾向にあります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	70.5	95.3	82.5	67.3	36.5	58.8

【大問1(3)の正答率】

この問題は、「話し手の発表に対する質問の意図を選ぶ」問題です。「思考・判断・表現」問題の傾向と同様、C-D層に開きが見られます(25.2ポイント)。聞きたいことの中心を明確にして聞いたり質問の意図を理解したりすることができていない可能性があります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	70.4	96.6	80.4	64.6	39.4	57.2

(田中ゆうなさん：じょせい)

わたしのしょう来のゆめは、じゅう医さんになることです。じゅう医さんになりたいと思ったきっかけは、うちでかっているうさぎを、動物病院でみてもらったことです。

わたしの家では、一年ほど前から、うさぎを飼い始めました。毛の色は茶色で、名前はチョコといいます。さいしょは、チョコの気持ちがわかりませんでした。でも、だんだん、どんな気持ちのときに、どんな行動をするのかがわかってきました。たとえば、うれしいときはとびはねたり、なでてほしいときは、はなでわたしの手をぐいぐいおしてきたりします。チョコの気持ちがよくわかるようになって、とてもうれしいです。

この前、わたしはチョコの様子がおかしいことに気づきました。それで、じゅう医さんにみてもらいました。おなかの具合が悪かったようで、お薬をもらって飲ませたら、すぐよくなりました。じゅう医さんが、「うさぎは具合が悪いのをかくす動物なのに、よく気がついたね。これからも、いつもとちがう様子に気がいたら、いつでも相談に来てね。」と言ってくれて、うれしかったです。

じゅう医さんは、チョコをなおしてくれただけでなく、心配しているかい主を気づかって、安心させてくれました。わたしも、しょう来、動物にもかい主にもやさしいじゅう医になりたいなど、強く思いました。

【正答】

2

- 田中さんが話したことのうち、よく聞き取れなかった部分を、もう一度話してもらおうとしている。
- 田中さんの話の中できょうみをもったことについて、田中さんの考えをくわしく知ろうとしている。
- 田中さんの話の中でまがっていると思ったことについて、本当かどうかたしかめようとしている。
- 田中さんが話の中でした問いかけについて、自分の考えを話し、その感想をきこうとしている。

田中さん
田中さんにして聞かずから、うさぎの様子がおかしいと思っただけですか。



- (3) 次は、発表を聞いた青木さんが、田中さんにして聞いている場面です。青木さんはどのようなことを考えてしつ問したと考えられますか。あとの1〜4から一つえらび、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

【授業づくりのアイデア例】

聞きたいことの中心を明確にして聞くために

○目的をもって聞く

友達の話聞く前に、聞いた後でわからない点や確かめたい点を質問する場があることを確認し、聞く構えをもたせます。

友達の話聞いた後の交流を通して、「知りたかったことや尋ねたかったことを基にして、相手の話の内容を詳しく捉えることができたか」という視点で振り返ることで、聞きたいことの中心を明確にして聞くことを意識できます。

○日常・他教科等での工夫

日常的・継続的にスピーチ活動を行うことが、「話す・聞く」力を高めるためには効果的です。友達の話に対して「何をもっと知りたいのか」を含めて質問し、聞きたいことの中心を明確にして聞くことを大切にします。

他教科等でも、問いをもった時に「どのような目的で聞くのか」などを確かめて聞くことで、質問の意図を言語化することになります。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	69.8	92.5	79.0	65.7	42.0	50.5

全体の正答率は69.8%で、パターン判定はⅢです。特にD層にとっては、漢字を書くことや言葉と言葉の関係の理解に課題があります。

【大問5(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	71.0	97.0	85.5	64.4	37.1	59.9

この問題は「およそ」が修飾している言葉を選ぶ問題です。D層は無解答率も高く、修飾と被修飾との関係を捉えられていません。低学年での主語と述語の関係についても振り返りながら、文中での語句の役割や、語句相互の関係に気を付けて、文がどのように組み立てられているのかを理解することが大切です。

【正答】 1

1 百五十年間
2 ずっと
3 用いられている

(2) 線①「およそ」は、どの言葉を選んでいますか。
次の1、2、3から一つ選び、かき答用紙の番号に○をつけましょう。

3 なぜお札に和紙の原料を用いるのか
一八七九年に初めて、お札の用紙の原料として、和紙に使う「みつまた」が用いられた。みつまたは、げんざいまで、およそ百五十年間、ずっと用いられている。

【授業づくりのアイデア例】

相手にわかりやすく伝えるために

○低学年から学習を積み上げる

低学年の指導では主語と述語が照応することが大切です。中学年ではこのことについての理解を深め、修飾語がどこに係るのかという修飾と被修飾との関係にも気を付けて、文の構成を理解することが大切です。文章の内容を理解する場合だけでなく表現する場合にも、文がどのように組み立てられているのかを理解することが重要です。

○誰に向けて、何のために表現するのか

よりよい表現になるように相手や目的を意識して書いたり、推敲したりする活動を設定します。主述の関係、修飾と被修飾との関係に気を付けて自分の文章を見直す必要性をもたせます。

○修飾語の例示を

修飾語を活用することで自分の思いや考えに合う表現に近づくことができます。修飾語の例示をし、自らが選択して主体的に活動していく支援の工夫が必要です。子ども自身が「書けた」という自信をもつ学習経験を増やしていきます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	65.3	89.1	74.2	59.2	38.5	50.6

4層分析ではパターンⅢ(C-D層の差が20.7)となっています。領域別にD層の正答率を見ると、話すこと・聞くことでは60%を超えていますが、書くこと、読むことでは、30%を下回っています。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	55.5	97.8	77.5	40.4	6.4	91.4

【大問4(3)の正答率】

この問題は「考え方の変化をまとめた文を書く」問題です。D層の正答率が10%を下回り、さらに無解答率はC層40.4%、D層70.8%となっています。記述式問題への苦手意識や条件に合わせて文を書くことに慣れていないことが考えられます。

【正答】
 どうでもよいものから、
 じまんできるもの

へしようけん「『ものから、……もの』という形で書く
 こと。」

○ジュンにとっての蔵やみそ
 に変わった。

高橋さんのまとめたノート

ジュンにとって蔵やみそがどのようなものから、どのようなものになったかを、ノートにまとめよう。



この文章では、ジュンの、蔵やみそへの思いが変わったということが書かれているね。



次は、文章を読んだ中田さんと高橋さんが話し合っている場面です。高橋さんのまとめたノートの「」にあてはまる言葉を、あとの「へしようけん」にしたがって書きましょう。

【授業づくりのアイデア例】

登場人物の気持ちの変化を捉えるために

○学習課題の設定

物語全体を読んで捉えなければ解決できない学習課題を教師が設定します。指導事項に即して教材研究を行い、子どもが関心をもてる課題を考えることが重要です。

○複数の叙述を結びつける

叙述から、どのように気持ちが揺れ動いたのか、きっかけとなる出来事は何かを読み取ります。そして、複数の叙述を結び付けながら、気持ちがどのように変化しているのか想像します。高学年では、行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている心情を考えることも大切になります。

○一人読みと共有

一人読みで課題に迫った後、友達と読みを共有します。共有する中で、多様な読み方を学んだり、新たな視点で考えを広げたりします。その後、課題に沿って再読する時間を取るようになります。

○日常的に

国語の学習に限らず、キーワードを用いたり、字数を決めたりして考えを書いてまとめるなど、自分の考えを書くことを習慣化する必要があります。

【知識・技能】

全体の正答率は71.0%で、A層とD層の差が41.5ポイントでした。特に漢字の書き取り問題では、無解答率がC-D層で高く、漢字の定着を改めて確認する必要があります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	71.0	90.0	78.4	69.3	48.5	41.5

【大問5(2)の正答率】

熟語の構成について問う問題では、誤答の分析から、熟語の成り立ちについての理解が十分に定着していないことがうかがえます。特に、熟語には複数の構成があることを児童が理解していない可能性があり、それぞれの構成を意識した学習が求められます。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	35.7	61.8	39.3	24.5	17.3	44.5

- (2) 線①「海外」と同じく組み立てのじゅく語を、次の1〜4から一つ選び、解答用紙の番号に○をつけましょう。
- 救助
 - 花束
 - 前後
 - 登山

中略

【○】給食センターのパンフレット
「北町中央市場のウェブサイト」

わたしは、最近、スーパーマーケットの野菜売り場で、「旬の食材を食べよう」というポップを見かけました。

①「旬」とは、野菜や果物、魚などがたくさんといれる季節が旬です。例えば、野菜なら夏はキュウリやトマト、冬はブロッコリー、ホウレンソウなどが旬です。ポップでは、栄養があることや、安いことが強調されていました。でも今は、ハウスいばいや、海外からの輸入などで、旬に関係なく一年中売っているものも多いようです。そこで、実際に旬のものに栄養があるのか、ねだんが安いのか、この二点を調べてみました。

まず、資料②を見ると、ホウレンソウにふくまれる栄養は、夏と冬では何が違うかがわかります。次に、資料③を見ると、北町中央市場のホウレンソウのねだんは、十二月には八月の二分の一になっています。つまり、冬のほうがねだんが安いことがわかります。

旬のものは、実際に栄養があり、ねだんが安いというよさがあることがわかりました。旬のものを使った料理もスーパーのポップでたくさんしようかいていました。旬の食材を使った料理にはどんなものがあるのか、季節ごとにもっと調べてみたいと思います。

（参考）

報告する文の下書き

中略

④ 次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

六年生の原田さんは、スーパーマーケットに買い物に行ったとき、「旬の食材を食べよう」というポップがあるのを見て、旬とはどういうことか、興味をもちました。次は、原田さんが集めた資料①、資料②と、それらをもとに書いた報告する文の下書きです。

【授業づくりのアイデア例】

文字や言葉に興味をもつ授業づくり

○繰り返し学ぶ必要性

この題材は、2年「かん字の読み方」、3年「漢字の音と訓」、4年「じゅく語の意味」、5年「熟語の読み方」の学習を土台としています。6年生では、それらを踏まえて「熟語の成り立ち」を整理・体系化することが求められます。

○熟語の構成のグループを名付ける

児童の言葉で、熟語の構成のグループに名前を付け、親しみやすくします。「似たもの同士グループ」、「反対グループ」など、わかりやすい熟語から考えることで、D層の児童も取り組めるようにします。その上で、目的・材料（「花束」＝花の束）、動作・目的（「登山」＝山に登る）の熟語にも名前を付けていきます。また、熟語を分類し、名付ける活動を通して、熟語の構成の理解を深め、活用力の向上を図ります。

○学びを広げ、日常生活に生かす

難しい熟語でも、音訓読みの知識を活用することで意味を推測することができます。読書などで出合った知らない言葉に対しても、推測しながら読み進めることで、語彙を広げ、読みの深まりにもつなげることができます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

全体の正答率は71.3%でパターンⅢです。主にD層の児童を中心に記述式の問題の正答率が低い傾向にあります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	71.3	93.1	82.0	68.1	41.9	51.2

【大問5(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	42.5	82.6	48.5	29.3	9.4	73.2

この問題は「報告する文の下書きを読んで、資料から読み取れることを具体的に入れて書き直す」問題です。パターンⅠなので、多くの児童に課題があります。図表などを用いて自分の考えが伝わるように書き表す力が必要になります。また、A層以外の無解答率が高いため、書くことへの抵抗感があることがわかります。

【授業づくりのアイデア例】

図表などを用いて自分の考えを伝えるために

○文章と図表などを結びつけて読む

まず、図表などを使った文章のよさを感じることが大切です。図表などを使った文章を読み、文章と図表などとの対応を捉え、その効果について感じたことや考えたことを友達と交流するようにします。図表などが文章のどの部分と結びつくのか明らかにすることが大切です。

文章や図表などから読み取ったことだけでなく、そこからわかったことや考えたこととつなげる力をつけることも必要です。全体で交流しながら、まとめの一文を考える活動も考えられます。

○書いて伝えたいと思える単元づくり

身近な事柄や地域素材を生かした課題を設定し、目的意識や相手意識をもって自分事として取り組めるようにします。総合的な学習の時間と関連させて書くことも考えられます。書いた文章と図表などがどう対応しているのか、友達と読み合いながら吟味することも大切です。

報告する文の下書き

わたしは、最近、スーパーマーケットの野菜売り場で、「旬の食材を食べよう」というポップを見かけました。

①旬とは、野菜や果物、魚などがたくさんどれる季節が旬です。例えば、野菜なら夏はキュウリやトマト、冬はブロッコリー、ホウレンソウなどが旬です。ポップでは、栄養があることや、安いことが強調されています。でも今は、ハウスさばいばいや海外からの輸入などで、旬に関係なく一年中売っているものも多いようです。そこで、実際に旬のものに栄養があるのか、ねだんが安いのか、この二点を調べてみました。

まず、資料2を見ると、ホウレンソウにふくまれる栄養は、夏と冬ではちがうことがわかります。次に、資料3を見ると、北町中央市場のホウレンソウのねだんは、十二月には八月の二分の一になっています。つまり、冬のほうがねだんが安いことがわかります。

旬のものは、実際に栄養があり、ねだんが安いというよさがあることがわかりました。旬のものを使った料理もスーパーのポップでたくさん紹介されています。旬の食材を使った料理にはどんなものがあるのか、季節ごとにもっと調べてみたいと思います。

（参考）
「〇〇給食センターのパンフレット」
「北町中央市場のウェブサイトを」

資料2

夏にしゅうかく 冬にしゅうかく

(3) 原田さんは、報告する文の下書きを読み直して、線のを、資料から読み取れることを具体的に記入して書いてほしい。書き直した文の「」に入る文を、あとの(条件1)～(条件3)にしたがって書き直して。

書き直した文

資料2を見ると、「」ことがわかります。

（条件1）資料2から読み取れることと、そこから何がわかるのかを書きなさい。

（条件2）「。つまり、……」という形で書くこと。

（条件3）六十文字以上、八十文字以内で書くこと。

（ただし、丸（○）や点（・）、かぎ（{ }）は字数にふくめず。）

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	86.8	91.1	90.3	87.3	77.6	13.5
令和7年度・小5	83.3	91.4	85.9	81.5	74.0	17.4
令和6年度・小4	85.9	92.0	89.0	85.1	76.0	16.0
令和7年度・小6	85.1	92.1	88.9	83.1	76.2	15.9
令和6年度・小5	85.0	91.7	87.1	84.4	76.3	15.4
令和5年度・小4	87.8	93.1	90.6	87.4	79.3	13.8

【分析結果】

昨年度と同様、80%以上の児童が、肯定的な回答をしています。友だちと考えを共有し、新しい考えや違う考えを受け入れることで、自分の成長につなげようとする意識が身についています。しかし、A-D層の差を見ると、どの学年も小4が一番ポイント差が少なく、学年が上がるにつれて少しずつA-D層の差が広がっていることがわかります。D層の児童が協働的な学びの中で、自己の成長を感じられるような授業を心掛けることが必要です。

【授業づくりのアイデア例】

自分にはない新しい考えや
自分とは違う考えを受け入れるために

○自分事として捉える

「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の単元では、総合的な学習の時間や日常活動と関連させることが大切です。児童にとって必要感のある題材を取り上げ、課題を設定することで、児童の主体性を引き出すことができます。また、「読むこと」の単元では、目的をもって読むための課題提示や、自ら解決したいという思いが膨らむ問いが生まれるようにすることが求められます。

○協働的な学びを通して

友だちと考えを共有する場では、相手の意見がわかる資料を手元に用意して話し合ったり、付箋にコメントを書いて渡したりする活動が考えられます。協働的な学びを通して、自分の考えを広げたりまとめたりする喜びが感じられるように工夫することが大切です。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】

自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	69.4	79.3	72.3	67.1	58.9	20.4
令和7年度・小5	66.8	79.2	69.3	62.8	56.1	23.1
令和6年度・小4	69.5	79.4	72.1	66.5	59.9	19.5
令和7年度・小6	65.7	80.3	71.5	61.2	49.9	30.4
令和6年度・小5	67.0	79.7	69.7	63.5	55.2	24.5
令和5年度・小4	71.6	79.7	73.5	69.1	64.1	15.6

【分析結果】

質問番号45「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる」の調査結果から、どの学年もA層の肯定的な回答割合が80%近いのに対し、D層はA層より20%程度下回っていることがわかります。経年変化を見ると、C-D層の肯定的な回答割合が下がり、A-D層の差も小4から小6まで学年が上がるにつれ広がっています。このことから、自分の考えを適切に表現するための語彙の習得と、自分の意見や考えが明確に伝わるように話の構成を工夫することに課題があることがわかります。

【授業づくりのアイデア例】

相手を意識して
自分の意見や考えを伝えるために

○語彙の習得

語彙を習得するためには、たくさんの語彙と出会う必要があります。学習、会話、GIGA端末などの情報、身近な本からたくさんの言葉を集め、教室掲示や児童のノートなどに記録しておくの良いです。また、普段使っている言葉を違う言葉で言い換えたり、語句を調べたりする時間を確保することも大切です。一つの言葉から似た表現や関連する言葉を探すことで語彙の引き出しを増やし、言葉を広げることができます。

○話の中心や場面を意識して伝える力の育成

話の中心や場面を意識して自分の意見や考えを伝えるには、まず自分が伝えたいことを明確にすることが必要です。次に、それを支える理由や具体的に説明するための事例を考えます。最後に、話して良かった、伝わってよかったという達成感をもてるように支援することで、身に付いた力を肯定的に捉えることができるようになります。

第2章 I 3 小学校 算数科

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	79.7	97.0	90.2	80.8	50.9	46.1

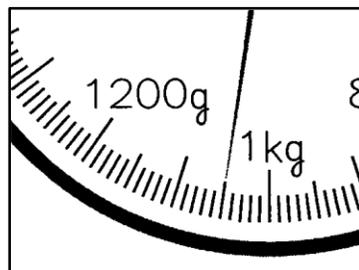
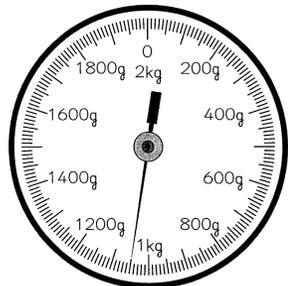
全体の正答率は79.7%で、パターン判定はⅢでした。特に次にあげる問題3(3)の正答率は、次の通りとなっており、正答にたどり着くことができないD層の児童が全体の約25%いました。

【問題3(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	63.8	93.0	76.2	60.3	2.5	67.5

このような結果となる要因として、はかりの針が1kgと1200gの間にあることから、まず、単位を揃えて数の大きさを捉えられていないことが考えられます。次に1目盛りが示す大きさを正しく求められていないことが考えられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

(3) 右のはかりで、はりのさしている重さは
何kg何gですか。



【授業づくりのアイデア例】

1目盛りがいくつかを考える

2年生の「1000より大きい数」で「数の線」(数直線)を活用して数の大きさや順序について考えることがあります。



教育出版 小学算数2下P.82

数直線は、十進位取り記数法に基づいた数の構成、大小、系列などを表すことができます。常に1目盛りがいくつかに着目することを意識して、下記のことを指導することが大切です。

- ①900と1000に注目する。
- ②900と1000の間の目盛りの数を数える。
- ③1目盛りがいくつかを考える。

はかりの針の読み方については、数直線を曲げて円形にしたものと捉えれば、数直線と同様に上記の①～③を生かして読み取ることができます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	44.1	74.2	55.6	36.2	10.2	64.0

全体の正答率は44.1%でパターン判定はⅢでした。特に次にあげる問題6(2)の正答率は5.7%で、A層にとっても正答にたどり着くことができない児童が約80%いました。また、D層においては、0%でした。

【問題6(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	5.7	18.7	3.4	0.7	0.0	18.7

このような結果となる要因として、基準量のいくつ分として全体量という見方・考え方に着目することが困難なことです。また、場面と式・言葉・図が結び付かず、解決する方法の見通しが立てられないことなどがあげられます。

このことについて授業づくりのアイデア例を次のページに掲載します。

6 たいきさんは、春休みに全部で32ページのドリルを4月5日までに終わらせようと計画を立てながら進めています。

日	月	火	水	木	金	土
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12



ドリルは3月25日の今日からはじめよう。ドリルは全部で32ページあるから、1日4ページずつ進めていけばいいかな。



- 3月25日からドリルを1日4ページずつ進めると、ドリルは何月何日に全ページ終わりますか。
- たいきさんは予定が入ってしまい、1日4ページずつ進めることができませんでした。4月2日までにできたドリルのページ数は12ページでした。



今日は4月3日だけど、4月5日までに全ページ終わらせたいな。今日から1日に進めるページ数を6ページずつにしたなら、4月5日までに終わるかな。

たいきさんは、次のような計算をしました。

$$20 \div 6 = 3 \text{ あまり } 2$$

たいきさんの考え直した計画で進めた場合、4月5日までにドリルを終わらせることができますか。

かい答用紙の【できる・できない】のどちらかあてはまるほうを○でかこみ、その理由を上計算の〃の3つの数をすべて使ってせつ明します。次の【理由】の㉔にあてはまる数と、㉕にあてはまる数と言葉をそれぞれ書きましょう。

【理由】

4月3日にのこっているドリルのページ数は ページです。
1日に6ページずつ進めると からです。

【授業づくりのアイデア例】

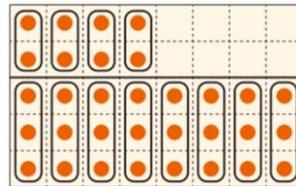
場面・式・図などと言葉を関連付けて考える

2年生の「かけ算の九九づくり」の単元で、同じ大きさのまとまりに着目し、基準量のいくつ分として全体量を求める場面があります。

牛にゆうは何本あるでしょうか。



教育出版 小学算数2下 P41



$$\begin{aligned}2 \times 4 &= 8 \\3 \times 8 &= 24 \\8 + 24 &= 32 \\ \text{答え} & \quad 32 \text{本}\end{aligned}$$

教育出版 小学算数2下 P42

右上のように、図の考えを式で、式の考えを図で説明するなど相互に関連付けたり、簡潔・明瞭・的確といった観点でよりよい方法を吟味したりする対話的な学びが大切です。このように、多様な考えを場面・式・図などと言葉を関連付けることで、同じ数のまとまりをつかって既習の九九を適用していることを捉え、解決する方法の見通しをもつことができます。また、身の回りから乗法の場面を見つけて言葉と式で表したり、乗法の式を読んでブロックやおはじきの具体物を操作したりするなど、表現を相互に結び付けることにより、実感を伴った理解が図れるようにすることが大切です。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	75.6	96.6	88.6	74.8	42.3	54.3

全体の正答率は75.6%で、パターン判定がⅢでした。問題3でのD層の正答率は、(1)が約6割、(2)が約5割なのに対し、(3)は約1割でした。このことから、わり算に苦手意識をもつ傾向が見られました。

【問題3(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	62.2	97.7	84.8	52.9	13.4	84.3

誤答分析では、無解答率が41.6%でした。要因としてはジュースの本数から代金を求めることができるが、逆に代金からジュースの本数を求めることに戸惑ってしまうようです。このことから、数量関係を多面的に捉えられる授業づくりが必要です。このことについて授業づくりのアイデア例を次のページに掲載します。

3 下の表は、1本140円のジュースを買うときの、本数と代金の関係を表したものです。あとの問題に答えましょう。ただし、消ひぜいは考えないものとします。

ジュースの本数(本)	1	2	3	4	…
代金(円)	140	280	420	560	…

(1) 上の表からわかることを、次の1～4から1つ選んで、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

- 1 本数が1本ずつふえると、代金は1円ずつふえる。
- 2 本数が1本ふえると、いつも代金は2倍になる。
- 3 本数がふえても、代金は変わらない。
- 4 本数が1本ずつふえると、代金は140円ずつふえる。

(2) ジュースの本数を□本、代金を○円として、□と○の関係を式に表します。正しく式に表しているものを、次の1～4から1つ選んで、かい答用紙の番号に○をつけましょう。

- 1 $140 + \square = \circ$
- 2 $140 - \square = \circ$
- 3 $140 \times \square = \circ$
- 4 $140 \div \square = \circ$

(3) 代金が2520円するとき、買ったジュースの本数は何本ですか。

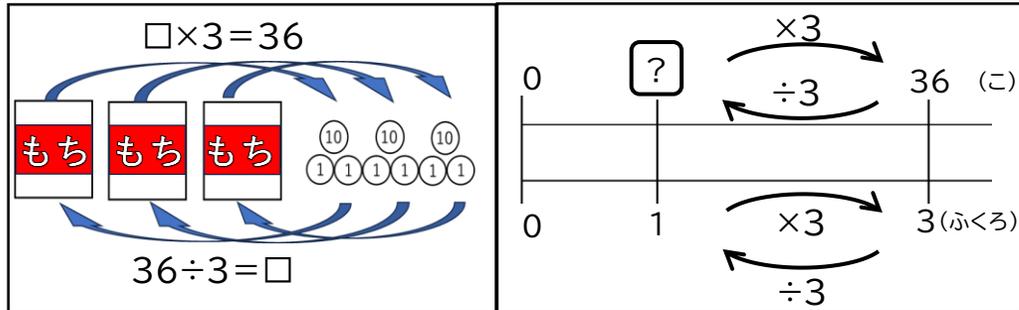
【授業づくりのアイデア例】

数量の関係を多面的に捉える

3年「□を使った式と図」で、図を用いて数量の関係を捉え、乗法と除法の相互関係について考えさせることが大切です。

おもちが同じ数ずつ入ったふくろが、3ふくろありました。おもちの数は全部で36こでした。この場面をお話にあわせて式に表しましょう。

教育出版 小学算数3下 P68



$$\text{式) } \square \times 3 = 36 \quad \longleftrightarrow \quad 36 \div 3 = \square$$

図と式と言葉を関連させながら話し合いを進め、乗法の逆算が除法であることを理解させる必要があります。課題の場面を数直線などの図で表し、立式する力や数量関係を多面的に捉える力を養っていくことが大切です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	54.7	84.6	64.3	48.0	22.0	62.6

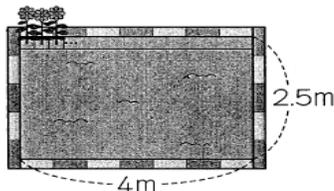
全体の正答率は、54.7%でパターン判定はⅢでした。特に次にあげる問題7(2)の正答率は、17.4%でパターン判定はⅠです。A層でも正解にたどり着くことができない児童が約半数でした。

【問題7(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小5	17.4	55.6	11.2	2.6	0.1	55.5

このような結果となる要因として、解法が何通りもある問題に対して、場面の把握ができていないことが挙げられます。図・式・言葉から具体的な場面を想像し、正しく把握する力が求められます。このことについて授業づくりのアイデアを右側に掲載します。

7 あきとさんとひなたさんの学校では、校庭にあるたて2.5m、横4mの長方形の花だんに花を植えることになりました。花は、1辺25cmの正方形の中に1こずつ植えます。2人は、花だんの面積や、花を全部で何こ植えることができるかを求めようとしています。



(2) あきとさんは次のように考えて、植えることができる花の数から花だんの面積を求めました。

【あきとさんの求め方】

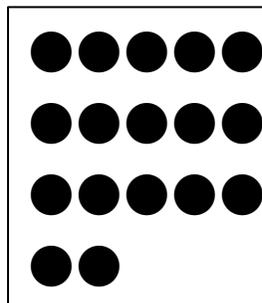
校庭の花だんに、花は全部で こ植えることができます。
 1 この花を植える面積 625cm^2 を使って花だんの面積を求めると、式は、 となり、花だんの面積は cm^2 です。

【あきとさんの求め方】の、㊸～㊺にあてはまる数や式を書きましょう。

【授業づくりのアイデア例】

図や式・言葉から場面を把握する

3年生「あまりのあるわり算」で教科書にある図を使って説明をする場面があります。次の図や式は、「ももが17こあり、それを1袋に5個ずつ入れると何袋にわけられるか」という課題に対する考え方を表したものです。



$5 \times 1 = 5$	12こあまる。
$5 \times 2 = 10$	7こあまる。
$5 \times 3 = 15$	2こあまる。
$5 \times 4 = 20$	3こ足りない。

場面を把握する力をつけるためには、図や式から、解法を説明する活動が効果的です。自分で解法を考えるだけでなく、友だちが考えた図や式、言葉からいったいどのように考えたのかを読み取り、理解を深めることで、具体的な場面を想像し、正確に捉える力を伸ばすことが期待されます。

課題に対して問題解決に向かう思考の過程は多様であり、様々な解法について共通点やつながりを見いだしながら理解を深めていくことが大切です。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	67.5	95.5	81.1	61.3	32.3	63.2

全体の正答率は67.5%で、パターン判定はⅢでした。特に次にあげる問題4(4)イの正答率は次の通りとなっており、B層でも正答にたどり着くことができない児童が約半数いました。

【問題4(4)イの正答率】

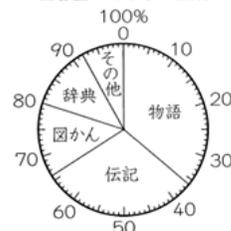
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	40.9	92.1	50.2	17.5	3.8	88.3

誤答の分析では、計算ミスだと思われるもの、目盛りに書かれている数字の意味を理解できず100%を100冊と捉えてしまうものなどがありました。これらの要因は100という数値を見た時、その数値が何を表しているのか考える経験が不十分だからだと考えられます。場面に応じて数の意味を捉え直すことが大切です。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

- (4) 右の円グラフは、学校の図書室にある本の種類を調べて、そのさつ数の割合を表したものです。このとき、次の問いに答えましょう。

イ 図かんは28さつあります。図書室にある本は、全部で何さつですか。

図書室にある本の種類



【授業づくりのアイデア例】

図や式・言葉を使い、数値の意味を考える

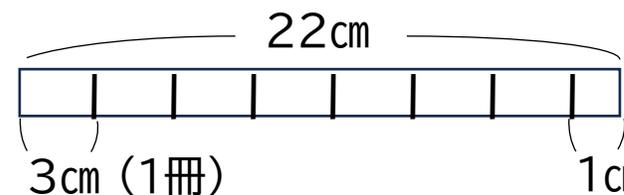
数値の意味の理解は、問題を読み解くときだけではなく、集団思考で互いの考えを理解し合うときにも大切にしたい考え方です。

次の問題は3年「あまりのあるわり算」の問題です。

教育出版 小学算数3上 P104

はばが22cmの本立てがあります。この本立てに、あつさ3cmの本を入れていきます。本は何さつ入るでしょうか。

この時、商とあまりを表す数の意味を問題場面に立ち返って図や式に言葉を加えながら理解を深めることが大切です。



数値の意味を理解することで本がもう入らないことがわかる

また、5年「単位量あたりの大きさ」では、 1m^2 あたりにとれるじゃがいもの量なのか、 1kg のじゃがいもがとれる面積なのか、図や式を読み取ることで数値の意味の把握をできるようにすることも重要です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	58.0	93.1	73.2	49.8	15.7	77.4

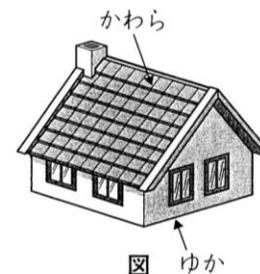
全体の正答率は58.0%でパターン判定はⅢでした。特に、次にあげる問題6(2)の正答率は30.0%となりパターン判定はIで、B層にとっても正答にたどり着くことができない児童が約7割いました。

【問題6(2)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	30.0	77.2	32.2	9.3	1.2	76.0

誤答の中で多かったものは、無解答と「1m²」という言葉を用いた解答です。このような結果となる要因として、場面の把握ができておらず、式の意味を捉えられていないことが考えられます。このことについて授業づくりのアイデア例を次のページに掲載します。

6 みやびさんとりなさんの家の屋根には、かわらがあります。みやびさんとりなさんは、屋根のかわらのまい数とゆかの面積について話しています。



みやび
屋根のかわらのまい数は、屋根の面積と関係しているみたいだよ。
屋根の面積を調べる方法はないかな。

りな
屋根の面積は、家のゆかの面積の約1.2倍になるみたい。ここでは、1.2倍として考えてみよう。ゆかは、家の図の下の部分だよ。



- みやびさんの家のゆかの面積が93.5m²のとき、みやびさんの家の屋根の面積は何m²ですか。式と答えを書きましょう。
- りなさんは、自分の家の屋根にあるかわらのまい数を調べてみました。



りな
屋根の面積1m²あたり16まいのかわらが使われていて、わたしの家の屋根全体のかわらのまい数は1728まいだったよ。



屋根のかわら

下の式はりなさんが、自分の家のゆかの面積を求めようとしていると中までの式です。

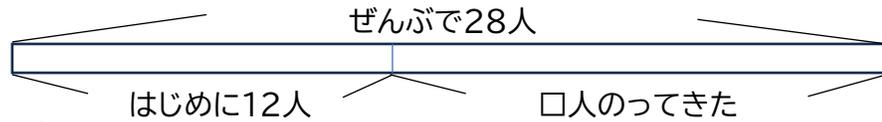
$$\begin{aligned} \text{〔式〕 } & 1728 \div 16 = 108 \\ & 108 \div 1.2 \end{aligned}$$

上の式の「108」が表しているものを答えましょう。また2つめの式で、108を「1.2でわって」ゆかの面積を求めようとしている理由を、「屋根の面積」と「ゆかの面積」という言葉を使って説明しましょう。

【授業づくりのアイデア例】

図や式・言葉から場面を把握する

まずは、場面を絵に表すことから始め、アレイ図→テープ図→線分図といったように、図の系統性を意識しながら場面を捉えられるように指導することが大切です。



2年生「図をつかって考えよう」では、問題場面の把握で児童がつかずくことが想定されます。加法と減法の相互関係を捉えるために、テープ図を用いて問題場面を把握します。文章だけで判断すると、立式を誤ることがあります。テープ図のどの部分が何を表しているのか、確認しながら学習を進めていくことが大切です。また、場面を式で表すことを通して、式が事柄や数量の関係を簡潔に表すものであるという理解を深めるようにする必要があります。

4年生「式と計算」では、式は計算の結果を求めるための手段だけではなく、思考の筋道を表現する手段としても用いられることに気付かせ、式の意味を理解し、そのよさを捉えられるようにしていきます。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	85.7	93.7	90.3	84.8	73.1	20.6
令和7年度・小5	85.3	93.2	91.3	84.0	72.2	21.0
令和6年度・小4	85.8	92.5	90.3	85.0	74.0	18.5
令和7年度・小6	85.7	96.1	91.3	84.8	70.3	25.8
令和6年度・小5	86.2	95.0	91.1	85.6	72.4	22.6
令和5年度・小4	86.8	93.5	91.3	86.8	74.7	18.8

【分析結果】

この質問項目に対する肯定的回答割合は全て85%を超えており、他の項目と比較しても高い数値といえます。これは、川崎市の教師が既習事項を活用することを大切にしてきた成果といえます。しかし、同一母集団の3年間の経年比較に着目すると、若干ではありますが、学年が上がるにつれて数値が低くなっています。また、A-D層の差も学年が上がるにつれて広がっています。これは、学年が上がるにつれて学習内容が難しくなり、既習事項とのつながりがつかみ辛くなっていることなどが原因だと考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

既習事項を活用する経験と価値づけ

未習事項の解決に向けて既習事項を想起する習慣を身に付けるためには、少しずつ成功体験を積むことが大切です。そのためには、日々の授業の中で自力思考に入る前に見通しを立てることが有効です。見通しには、どのような見方や考え方をすればよいか、どんな図や式などを用いればよいかなど様々あります。このとき、数学的な見方・考え方を意識させることが求められることから、教師が学習する単元で子どもたちに働かせる数学的な見方・考え方について深く理解しておくことが重要です。特にD層の子どもたちには、既習事項を活用できるようにノートや教科書、掲示等を確認する機会を設けたり、既習事項を活用する態度が身に付いている子どもから気付かせたりすることが有効だと考えられます。また、既習事項を活用したことを振り返らせ、価値付けを十分に行うことで、次の学習につながることを期待できます。

算数教育研究会の資料が閲覧できます。数学的な見方・考え方がわかりやすく掲載されています。



意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】4年(84)5年(84)6年(87)

算数・数学の授業で文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	68.6	82.4	73.6	66.3	52.0	30.4
令和7年度・小5	67.9	83.8	75.9	63.9	48.0	35.8
令和6年度・小4	69.2	82.7	74.3	65.5	54.1	28.6
令和7年度・小6	69.3	89.0	78.6	64.2	45.9	43.1
令和6年度・小5	69.9	87.9	76.7	66.1	49.0	38.9
令和5年度・小4	71.7	83.9	76.9	69.3	56.6	27.3

【分析結果】

3学年とともに、全体の70%弱の児童が肯定的に回答しています。A-D層の差に着目すると30ポイント以上あり、学年が上がるにつれて広がっていることがわかります。また同一母集団の経年変化からも同様の傾向が見られ、令和5年度・小4と令和7年度・小6では、A-D層の差が27.3⇒43.1ポイントでした。これらのことから、学年が上がるにつれて、算数が苦手な児童ほど、自分の考えをもつことや、場面・図・式・言葉を関連付けながら自分の考えを説明することに難しさを感じていると考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

場面・式・図などと言葉を関連付けて考える

低学年のうちから、場面と式、図、半具体物などを行き来しながら「この数はブロックのどの部わか」などを明確にし、数や図、半具体物がもつ意味を捉えさせることが大切です。また、具体物などの操作や、図と式を関連付けて言葉で説明することを習慣付けていきましょう。

中学年では、場面が複雑になりますが、場面と式や図などを関連付けて捉える指導がより大切になります。「この数は図のどの部わか」などと問い返し、丁寧に指導することが求められます。

高学年では、場面がより複雑になるとともに、問題解決の過程を表現することが難しくなります。特に、算数に苦手意識をもつ児童には、抽象的な図で表したり、説明を受けたりすることに課題があると感じます。どの表現だと理解できるのか、個に応じた柔軟な支援が大切です。

すべての学年において、ペア学習などを意図的に取り入れることも効果的です。振り返りに「図や式に表すよさ」が表現されていたら、十分に価値づけを行い、次の学習につなげていきましょう。

第2章 I

4 小学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

4 小学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

【状況】

- 知識・技能を習得する際に、学習内容を繰り返し行うだけでなく、他の学習内容に取り組む際に活用し、徐々に身に付けていくことが大切です。また、本質的な意味や導き出す方法について、思考することやアウトプットすることが必要です。
- 問題解決に向けて、与えられたいくつかの条件、状況を整理し、その内容に応じて、既習を想起させ「学習のつながり」を意識することが大切です。また、学習内において、自身の学習状況を理解し、自分に合った解決方法を見つけられるよう粘り強く取り組む態度を支援していくことが必要です。

【授業改善のポイント】

- 概念的な理解に向けて、言語や数量、図形、事象などの見方・考え方を働かせた言語活動の充実を図ることが大切です。
- 単元をデザインする際は、身に付けさせたい資質・能力を明確にすることが重要です。また、児童が主体的に取り組める学習場面を設定することが大切です。
- 教員は、児童同士をつなげる役割を十分理解し、授業に臨むことが必要です。そのために、学習が苦手な児童が何につまずいているのかを的確に把握し、問題解決につながる意見を取り上げ、学級全体で考えをつないでいくように授業を展開していくことが大切です。
- 授業でペア学習やグループ学習をする際は、「何について話すのか？」を明確に示すことが大切です。
- 習得した知識・技能を活用して問題解決を図る場を設定することが大切です。その際、「何故そうなるのだろう」「どのようにしたらよいのだろう」という問いを大切にすることが重要です。

第2章 I 5 他教科等の分析と手立て

小学校 社会

【教科の理解度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	80.4	91.4	85.4	78.1	67.1	24.3
令和7年度・小5	83.5	94.3	87.5	82.5	70.1	24.2
令和6年度・小4	82.1	92.1	86.1	80.4	69.6	22.5
令和7年度・小6	86.8	95.5	90.0	85.3	77.0	18.5
令和6年度・小5	83.7	94.1	87.0	81.8	72.0	22.1
令和5年度・小4	81.2	91.3	85.8	78.7	68.9	22.4

【社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	51.0	53.0	51.7	50.6	49.1	3.9
令和7年度・小5	57.5	64.3	60.1	56.9	48.8	15.5
令和6年度・小4	52.2	55.4	52.7	50.7	50.2	5.2
令和7年度・小6	74.9	81.6	79.1	74.1	65.2	16.4
令和6年度・小5	62.0	69.3	63.8	60.5	54.6	14.7
令和5年度・小4	54.8	55.9	55.6	54.6	53.1	2.8

【分析結果】

理解度における肯定的な回答割合は8割を超えています。経年変化で見ても学年が上がるにつれて、ポイントも上がっています。一方でC-D層の差が10ポイント前後となっており、A-D層の差も20ポイント前後の差があります。

「社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。」では、肯定的な回答割合が学年が上がるにつれて上昇しています。学習内容や発達の段階に応じて、社会的事象と世の中で起こっていることを関連付けながら考える授業の工夫をすることが大切になります。

【授業づくりのアイデア例】

社会科では社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、資質・能力を育成することが求められます。資料提示を工夫して、生活の中の「当たり前」のことに問題意識をもち、「なぜ?」「知りたい!」と感じる学習問題を設定し、予想や学習計画を立てながら解決の見通しをもつなど、児童が主体的に学習することができるような単元の導入の工夫が大切です。また、追究の過程でわかってきたことを白地図や図表などに表し、それらを使って説明や表現をしたり、わかったことと、今、世の中で起きていることや課題を関連付けながら、「自分たちにできることは何か」と社会への関わり方を選択・判断したりするなど、単元を通じた問題解決的な学習の充実を図ることが重要となります。

小学校 理科

【教科の理解度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	89.8	95.8	93.8	88.4	81.5	14.3
令和7年度・小5	90.9	96.1	93.0	90.0	84.5	11.6
令和6年度・小4	90.0	95.6	92.7	89.6	82.4	13.2
令和7年度・小6	86.5	93.5	88.7	84.7	79.5	14.0
令和6年度・小5	90.8	96.2	92.7	89.3	85.1	11.1
令和5年度・小4	90.4	96.2	92.5	90.0	82.8	13.4

【理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立て結果を予想している。】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	88.2	95.1	92.8	88.1	76.9	18.2
令和7年度・小5	91.3	97.3	94.4	90.8	82.7	14.6
令和6年度・小4	87.5	95.9	91.0	86.5	76.3	19.6
令和7年度・小6	89.6	96.2	93.2	90.4	79.0	17.2
令和6年度・小5	91.4	97.1	94.1	92.0	82.7	14.4
令和5年度・小4	89.5	96.1	93.3	88.9	79.7	16.4

【分析結果】

理解度における肯定的な回答割合は高い水準ですが、同一母集団の経年変化に着目すると、小4から小5で増加が、小5から小6で減少が見られます。この変化はD層でより大きいことからA-D層の差は小4から小5で縮小するものの小5から小6で拡大します。

同じ傾向が「理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立て結果を予想している」の設問においても見られます。小4で重視する「根拠のある予想や仮説を発想すること」を意識した授業が行われていることが考えられ、問題解決の過程を通して学ぶことと理解度の相関が高いことが考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

理科では、問題解決の過程を通して資質・能力を育む授業づくりをすることが大切です。その際、小3では「問題の見だし」、小4では「予想や仮説」、小5では「解決の方法の発想」、小6では「より妥当な考えをつくりだすこと」など、学年ごとに主に育みたい問題解決の力がありますが、他の学年で掲げているものにも配慮して指導する必要があります。例えば、小5において予想や仮説を基に解決の方法を発想することや、小6において予想や仮説と実験や観察の結果とを比較して考察することなどです。また、D層の児童も含め全ての児童が根拠のある予想や仮説が発想できるよう、関連する既習内容を掲示したり、イメージ図などに表すことを伝えたりして、指導の工夫をすることが大切になります。

小学校 音楽

【教科の理解度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	86.7	91.6	90.3	85.6	79.5	12.1
令和7年度・小5	86.7	90.4	88.8	87.5	80.1	10.3
令和6年度・小4	86.3	90.8	87.7	87.3	79.3	11.5
令和7年度・小6	84.0	87.4	86.0	83.9	79.0	8.4
令和6年度・小5	86.9	91.5	88.3	86.7	81.2	10.3
令和5年度・小4	86.9	91.4	88.3	86.9	80.9	10.5

【教科の好感度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	80.9	84.2	83.8	79.3	76.2	8.0
令和7年度・小5	77.9	80.3	78.9	79.4	73.1	7.2
令和6年度・小4	79.8	83.4	80.2	81.0	74.7	8.7
令和7年度・小6	74.5	76.7	76.3	74.9	70.7	6.0
令和6年度・小5	78.0	80.2	79.3	78.6	74.1	6.1
令和5年度・小4	80.3	82.7	81.3	80.1	76.8	5.9

【分析結果】

理解度では、肯定的な回答は、全学年で8割を超えています。どの学年もA層からC層に大きな差は見られませんが、C層とD層の間に差が拡大していることがわかります。また、同一母集団の経年変化に着目すると、小6において、すべての層で理解度が減少しています。

好感度では、全学年で7割以上の児童が肯定的な回答をしており、どの学年においてもA-D層の差が10ポイント以下であることがわかります。学習の得意不得意に関わらず、全ての児童が音楽活動の楽しさを体験することを通して学びを進める教科の特徴が表れています。

【授業づくりのアイデア例】

音楽科において、児童が育成を目指す資質・能力を身に付けるためには、多様な活動を通して音楽活動の楽しさを体験することが大切です。その際、音や言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることは、表現及び鑑賞を深めていく際に重要であり、理解度の向上につながります。特に言葉で自分の考えを伝えることに困難さを抱える児童に向け、身体を使った活動を取り入れたり、言葉と音楽を結び付ける活動を積極的に取り入れたりするなど、児童が教材となる音や音楽から感じ取ったことや聴き取ったことを表出できる手段を増やすことが有効です。

小学校 図画工作

【教科の理解度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	91.9	93.8	93.7	91.8	88.2	5.6
令和7年度・小5	92.6	93.9	93.4	93.3	89.9	4.0
令和6年度・小4	92.2	93.3	93.2	92.6	89.7	3.6
令和7年度・小6	92.4	91.9	92.9	93.1	91.6	0.3
令和6年度・小5	93.6	94.9	94.4	93.6	91.5	3.4
令和5年度・小4	92.9	94.4	93.7	93.1	90.5	3.9

【教科の好感度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	88.2	88.6	89.3	88.1	86.8	1.8
令和7年度・小5	87.6	86.1	87.4	88.1	88.8	-2.7
令和6年度・小4	88.9	87.5	89.3	89.3	89.4	-1.9
令和7年度・小6	84.5	81.2	84.8	86.0	86.0	-4.8
令和6年度・小5	88.1	87.4	88.3	88.7	88.2	-0.8
令和5年度・小4	89.5	88.3	89.4	90.2	90.3	-2.0

【分析結果】

理解度は、全学年で90%を超えています。誰もがわかるよう、丁寧な授業づくりをしている結果だと考えられます。A-D層の差に着目すると、令和7年度の小4は約5ポイント、小5は約4ポイント、小6はほぼ同値であることから、学年が上がるにつれて差が小さくなっていく傾向が見られます。

好感度は、全学年で80%を超えています。A-D層の差に着目すると、令和7年度の小4を除いて、全ての学年でA層よりD層の方が高くなっています。

わかると回答していることを生かして、どの層の児童にとっても、表現したり鑑賞したりすることを自分事として捉えて学習できるようにするとともに、身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かすことができるようにしていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

図画工作では、作りだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養いながら、材料や用具を用いて工夫して表したり、自分なりの見方で鑑賞したりすることができるようにします。

例えば、自分事として捉えて学習できるようにするために、素材に触れて新たな発見を試みたり、新しい表し方をやってみたりするなど、児童の「やってみたい」を引き出せるような工夫が考えられます。また、鑑賞やまとめをする時に、身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かせる場面について考えさせたり、日常生活で活用できている時に価値付けたりすることが考えられます。

小学校 体育

【教科の理解度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	93.2	93.9	94.2	94.0	91.1	2.8
令和7年度・小5	92.3	92.4	92.8	93.7	90.2	2.2
令和6年度・小4	93.5	94.6	93.7	94.4	91.5	3.1
令和7年度・小6	90.6	89.8	90.9	91.9	89.9	-0.1
令和6年度・小5	93.2	93.7	93.2	94.1	92.2	1.5
令和5年度・小4	93.7	94.5	94.2	94.2	91.8	2.7

【教科の好感度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	89.3	87.2	89.8	90.2	90.1	-2.9
令和7年度・小5	85.9	82.6	85.2	88.2	87.5	-4.9
令和6年度・小4	89.5	87.8	89.2	91.1	90.2	-0.7
令和7年度・小6	83.1	79.4	81.8	85.2	85.9	-6.5
令和6年度・小5	86.8	83.5	85.7	88.6	89.5	-6.0
令和5年度・小4	89.6	87.8	89.4	91.2	90.2	-2.4

【分析結果】

理解度の肯定的な回答割合は、全学年で9割を超えており、さらにA層-D層の差も小さいため、多くの児童が「わかる」を実感できる授業が展開されていると推測されます。

好感度の肯定的な回答割合は、全学年で8割を超えていますが、A層の数値が他の層よりも低く、C層の数値が他の層より高い結果となっています。

理解度、好感度ともに、学年が上がるにつれて数値の減少が見られます。「わかっているけれど、上手くできない」といった苦手意識をもっている児童への一層の配慮とともに、「上手くできないけれど、体育は楽しい」と実感できるような授業づくりが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としています。授業では、各領域の特性に応じた楽しさをたっぷり味わうことができるよう単元をデザインします。誰もが安心して活動できる場や用具の工夫、みんなで(みんなが)楽しめるルールの工夫などを、児童やクラスの実態に応じて柔軟に行います。

運動やスポーツは「する」ことだけでなく「みる」「支える」「知る」など、多様な関わり方や楽しみ方があります。授業者は、技能面の価値付けに偏ることなく、友達の動きを見てアドバイスをする姿、頑張っている友達に声援を送る姿、チームの特徴を捉え作戦を提案する姿などを、積極的に価値付けることが大切です。

小学校 家庭

【教科の理解度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	87.9	90.5	90.0	89.0	82.4	8.1
令和6年度・小6	87.8	89.7	90.0	88.5	83.2	6.5
令和5年度・小6	87.2	89.7	89.2	87.9	81.9	7.8

【教科の好感度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	82.9	85.0	84.7	82.6	79.5	5.5
令和6年度・小6	83.0	82.7	85.0	83.6	80.9	1.8
令和5年度・小6	80.7	80.7	82.5	82.8	76.7	4.0

※小4・小5は調査無し

【分析結果】

理解度、好感度ともに8割以上の子どもたちが肯定的な回答をしており、日々の授業実践の成果が表れていると推測されます。4層分析でも、A層-C層は差異はあまりなく、D層が若干低くなっています。そのため、これまで学んだ既習と既習をつなぎ、問題解決をするとともにD層の子どもたちに充実感や達成感をもたせることが大切になります。また、少数ではありますが、わからない子は理解できないまま学習が進んでいることも考えられます。わからないことをそのままにしない手立てや授業内容の工夫を行っていく必要があります。

【授業づくりのアイデア例】

家庭科では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指しています。そのため、学習内容を生活や社会と関連付け、何のために学習するのか、どんな資質・能力を身に付けることができるかをあらかじめ示すことで、学習する必要感を高めることができます。

また、実践的・体験的な活動を通して習得した知識及び技能が、生活の自立につながるように活動を組み立てることが重要となっていきます。子ども同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々との会話を通して考えを明確にしたりすることにより、家庭分野で身に付けた力を家庭生活で生かすことにつながると考えられます。

小学校 外国語

【教科の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小6	64.7	68.2	70.4	64.5	56.0	12.2
令和6年度・小6	63.9	67.4	69.2	63.4	55.9	11.5
令和5年度・小6	63.9	67.8	68.4	64.3	55.3	12.5

※小4・小5は調査無し

【新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	60.1	65.4	61.9	57.7	55.5	9.9
令和7年度・小5	55.6	65.9	57.5	51.9	47.2	18.7
令和6年度・小4	61.8	67.9	63.0	59.8	56.6	11.3
令和7年度・小6	53.2	66.4	57.0	48.0	41.7	24.7
令和6年度・小5	57.3	67.8	59.7	53.1	48.5	19.3
令和5年度・小4	62.7	68.4	63.3	61.6	57.6	10.8

【分析結果】

好感度は前年度より0.8ポイント上昇しました。4層分析では、A層からC層に大きな差は見られませんが、C層とD層の間に差が広がっています。楽しく授業に取り組む児童の中に、英語を好きになれずにいる児童が埋もれてしまう傾向があると考えられます。

「新しく習ったことを何度も繰り返して練習している。」については、学年が上がるにつれて数値が低下し、A-D層の差も大きくなっています。各単元の目標達成に向けて、既習の表現を聞いたり話したりする場面を意図的に設定し、繰り返し指導することが重要です。

【授業づくりのアイデア例】

各単元の目標を児童と共有し、児童一人一人がその達成に向けて何に取り組むべきかを明確にしたうえで、言語活動に取り組めるようにすることが重要です。

例えば、単元の終わりに「行きたい国の魅力をALTに発表する活動」を設定する場合、まずSmall Talkなどを通して児童にゴールの見通しをもたせます。そのうえで、必要な語彙や表現を身に付けられるよう、モデル動画を繰り返し視聴できるようにしたり、児童同士で発表し合い、互いにアドバイスをしながら改善を図ったり、ポイントを全体で共有したりするなどの工夫が考えられます。

目標に向けてやるべきことを明確にすることで、必要な力が身に付き、児童の達成感にもつながることが期待されます。

小学校 道徳

【学習意識調査から】【教科の好感度】
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	72.9	74.3	74.7	73.6	69.2	5.1
令和7年度・小5	72.5	70.7	72.1	74.9	72.4	-1.7
令和6年度・小4	72.5	72.2	73.2	75.1	69.6	2.6
令和7年度・小6	72.3	68.8	72.8	74.8	72.7	-3.9
令和6年度・小5	74.3	71.3	74.6	76.9	74.1	-2.8
令和5年度・小4	72.7	71.4	72.6	74.2	72.4	-1.0

【対話力】<肯定的な回答割合と4層分析データから>
 私は、話し合いの時、考えや意見を進んで出している。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	68.7	76.0	70.9	67.3	60.7	15.3
令和7年度・小5	63.6	71.1	65.4	61.0	56.9	14.2
令和7年度・小6	59.9	70.0	63.0	56.4	50.7	19.3

【分析結果】

好感度では、70%以上が肯定的な回答をしており、A-D層に大きな差が見られないことから、学習の得意不得意に関わらず、全ての児童が同じ土台で話し合う教科の特徴が表れています。

同一母集団の経年変化では、令和7年度小6の回答がどの層も減少しています。高学年では内容項目が増え、自分事として考えることが難しいことが考えられます。

「話し合いの時、考えや意見を進んで出している。」については、学年が上がるにつれて数値が低下し、また、A-D層の差も大きくなっています。道徳科では、他者と話し合いながら、児童が多様な感じ方や考え方に接し、自己の生き方について考えを深めることが重要です。

【授業づくりのアイデア例】

道徳科では、児童一人一人が答えが一つではない道徳的課題を自分自身の問題として捉え向き合う「考え、議論する道徳」への質的転換が求められています。

全ての児童が同じ土台に立ち、活躍できる授業を作っていくために、挙手、ペア、グループ、書く活動、役割演技等を取り入れ、自分の考えを表出する工夫をすることが大切です。また、自分の考えをもったり、他者と共有したりできるよう、アンケート機能や心情曲線等、GIGA端末を活用して立ち位置を可視化することも工夫の一つです。自分事として考え、他者と話し合うことで考えを深めることが道徳科では大切な学習活動です。

小学校 特別活動

【学級活動の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	86.3	91.1	90.3	86.0	78.0	13.1
令和7年度・小5	86.9	90.7	89.1	86.3	81.5	9.2
令和6年度・小4	86.8	91.2	89.3	87.8	79.1	12.1
令和7年度・小6	86.6	89.6	88.6	86.2	82.4	7.2
令和6年度・小5	87.5	91.2	89.8	87.4	81.8	9.4
令和5年度・小4	86.9	91.3	89.5	87.8	79.2	12.1

【分析結果】

好感度では、85%を超える児童が肯定的な回答をしており、学年による大きな差はありませんでした。また、同一母集団の経年変化に着目すると、令和7年度の小5、小6は有意な変動は認められませんでした。一方、A-D層に着目すると、学年が上がるにつれて差が縮まっています。このことから、高学年になるほど、学習の得意不得意に関係なく、学級活動を通して一人一人が役割をもち、より主体的に学級や学校における生活づくりへ参画できていると捉えることができます。

【学級力】＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞
私は、自分たちの学習や生活をよりよくするための話し合いや活動に進んで取り組んでいる。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	72.7	77.2	74.3	72.9	66.7	10.5
令和7年度・小5	73.7	78.5	75.7	73.6	67.3	11.2
令和6年度・小4	74.7	78.5	76.0	75.5	68.8	9.7
令和7年度・小6	76.6	81.3	78.2	76.1	71.1	10.2
令和6年度・小5	76.1	79.7	77.4	75.6	71.8	7.9
令和5年度・小4	76.2	79.6	77.5	76.2	71.3	8.3

【分析結果】

令和7年度の結果を見ると、肯定的な回答は学年が上がるにつれて高くなる傾向が見られます。同一母集団の経年変化としては、小6は有意な変化は見られませんでした。

【授業づくりのアイデア例】

「なすことによって学ぶ」が方法原理の特別活動において、自発的、自治的な活動の充実が求められています。学級活動(1)の話合い活動において、輪番制ですべての児童が司会グループを経験できるようにするなど、児童の社会参画意識の醸成につながるよう、一連の学習過程の繰り返しによる実践を積み重ねていくことが大切です。

小学校 生活・総合的な学習の時間

【教科の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	72.9	74.3	74.7	73.6	69.2	5.1
令和7年度・小5	72.5	70.7	72.1	74.9	72.4	-1.7
令和6年度・小4	79.7	82.6	81.7	80.5	73.9	8.7
令和7年度・小6	72.3	68.8	72.8	74.8	72.7	-3.9
令和6年度・小5	79.5	82.9	80.4	80.1	74.7	8.2
令和5年度・小4	80.9	84.2	82.6	80.6	76.3	7.9

【授業で習ったことを普段の生活と結び付けて考えている。】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	65.4	70.3	68.4	63.9	59.0	11.3
令和7年度・小5	66.0	75.2	67.7	63.7	57.6	17.6
令和6年度・小4	65.1	69.7	66.9	65.0	58.7	11.0
令和7年度・小6	66.2	75.3	70.8	63.2	55.8	19.5
令和6年度・小5	68.2	75.5	69.8	67.6	60.3	15.2
令和5年度・小4	68.2	72.8	69.4	67.4	63.1	9.7

【分析結果】

どの学年においても肯定的な回答が7割以上となっています。一方で、経年変化を見ると、どの学年においても年々減少傾向にあることがわかります。

4層分析に着目すると、右側A-D層の差については、令和7年度の小5、小6の肯定的な回答は、A層よりもD層の方が上回る結果となりました。さらに、この表にはありませんが、中1～中3でも同様の結果が見られました。

【授業づくりのアイデア例】

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を行うことを通して、資質・能力を育成します。授業をつくる際には、まず取り扱う学習材が身近で具体性のあるもの、探究的な学習に発展する可能性のあるものであるか、しっかりと吟味します。さらに、どのように児童の探究が進むか、教師が単元の見通しをもつことで、どこでどんな体験活動を入れるか、外部講師はどうするかといった手立てが見えてきます。また、各教科等との関連を考えながら単元を構成することで、児童は各教科等で培った力を探究的な学習の中で活用し、汎用的な力として身に付けていきます。例えば、調べたことを数値化・グラフ化する(算数)、資料を読み取る(社会)、目的や相手に応じて伝え方を考える(国語)といったように、単元の進捗における児童の思考の流れに沿って、他教科等との関連を意識し、カリキュラム・マネジメントしていくことが大切です。

第2章 II 中学校の全市結果と分析、手立て

第2章 II 1 各教科の結果概要

Ⅱ 中学校の全市結果と分析、手立て

1 各教科の結果概要(国語・社会・数学・理科・英語) ※値は平均正答率(%)

○全体との比較(令和7年度の結果)

R7	5教科平均正答率		
	川崎	全体	差
中1	65.0	65.3	-0.3
中2	61.1	59.6	+1.5
中3	59.6	57.7	+1.9

川崎と全体の平均正答率を比較すると、本市の各教科、各学年は、国語、数学、英語の3学年と、社会、理科の中3において、全体より0.3から4.9ポイント上回っています。

平均正答率は、中1、中2の社会、理科以外すべての学年、教科で参加自治体全体を回っている。

R7	国語 平均正答率			社会 平均正答率			数学 平均正答率			理科 平均正答率			英語 平均正答率		
	川崎	全体	差												
中1	64.9	64.6	+0.3	43.7	44.9	-1.2	63.6	62.8	+0.8	61.8	64.0	-2.2	91.0	90.3	+0.7
中2	74.5	73.4	+1.1	52.3	52.8	-0.5	61.0	57.7	+3.3	54.9	56.4	-1.5	62.6	57.7	+4.9
中3	66.6	65.8	+0.8	54.7	54.3	+0.4	66.6	54.7	+2.9	55.8	54.7	+1.1	63.2	59.0	+4.2

○同一母集団の経年比較(令和5年度から令和7年度)

中学校 5教科平均正答率

	川崎と全体の平均正答率の差		
	R5 中1	R6 中1	R7 中1
中3	+1.9		
中2	+1.5	+1.5	
中1	-1.1	-0.1	-0.3

川崎と全体の平均正答率の差を見ると、令和5年度の中1は全体より1.1ポイント下回っていたのが令和7年度には1.9ポイント上回っています。

全体との差について同一母集団の経年変化を見ると、学年が上がるにつれて良くなっている。

○4層分析 と C-D層間の差

※「A層」「B層」「C層」「D層」の欄は平均正答率(%)を、「C-D差」の欄はC層とD層のポイントの差を表しています。

中 国語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・中1	86.4	72.5	59.9	40.9	19.0
R7・中2	94.0	83.5	70.9	49.5	21.4
R6・中1	84.5	70.1	57.4	37.2	20.2
R7・中3	85.7	74.4	63.1	43.2	19.9
R6・中2	89.7	78.1	67.2	47.3	19.9
R5・中1	91.4	79.9	67.6	46.4	21.2

中 社会	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・中1	68.9	49.1	35.7	21.1	14.6
R7・中2	77.6	58.7	45.0	27.8	17.2
R6・中1	73.3	54.3	41.9	27.3	14.6
R7・中3	77.5	61.5	48.7	31.1	17.6
R6・中2	78.8	57.7	42.3	24.7	17.6
R5・中1	76.9	58.5	45.8	29.7	16.1

中 数学	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・中1	89.2	74.8	58.9	31.4	27.5
R7・中2	91.0	72.9	54.0	26.2	27.8
R6・中1	91.0	77.8	61.4	33.0	27.4
R7・中3	88.1	70.4	49.4	22.6	26.8
R6・中2	84.1	63.6	45.1	21.2	23.9
R5・中1	91.5	78.0	63.0	36.9	26.1

中 理科	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・中1	88.9	71.6	54.6	32.2	22.4
R7・中2	78.7	61.4	48.2	31.2	17.0
R6・中1	82.2	66.1	52.4	31.8	20.6
R7・中3	85.0	65.5	46.3	26.5	19.8
R6・中2	72.6	53.1	40.5	25.4	15.1
R5・中1	83.6	68.7	55.6	35.7	19.9

○4層分析 と C-D層間の差

※「A層」「B層」「C層」「D層」の欄は平均正答率(%)を、「C-D差」の欄はC層とD層のポイントの差を表しています。

中 英語	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・中1	100.0	95.2	91.5	75.9	15.6
R7・中2	92.5	73.8	52.7	31.2	21.5
R6・中1	100.0	95.2	90.3	71.5	18.8
R7・中3	94.5	77.8	53.3	27.5	25.8
R6・中2	90.6	69.5	46.6	26.2	20.4
R5・中1	91.8	81.4	72.6	56.0	16.6

5教科 平均	川崎市学力層別				
	A層	B層	C層	D層	C-D差
R7・中1	86.7	72.6	60.1	40.3	19.8
R7・中2	86.8	70.1	54.2	33.2	21.0
R6・中1	86.2	72.7	60.7	40.2	20.5
R7・中3	87.0	70.6	52.8	31.9	20.9
R6・中2	83.2	64.4	48.3	29.0	19.3
R5・中1	87.0	73.3	60.9	40.9	20.0

層間の差 **16.4** **17.8** **20.9**

※令和7年度の中3は、A-B層間が16.4ポイント、B-C層間が17.8ポイントで、C-D層間の20.9ポイントが一番大きく開いている。

他の層間よりもC-D層間が大きく開いている。

【中学校の調査結果全体について】

各教科、各学年の平均正答率について、川崎と全体との差に着目すると、社会と理科の中1及び中2を除くすべてにおいて全体を上回りました。また、同一母集団の平均正答率を、同様に川崎と全体との差に着目して経年比較すると、今年度の中3は、中1のときには全体を下回る結果だったのが、学年が上がるごとに改善され中3では1.9ポイント上回りました。

4層分析の各層間の差に着目すると、社会の中1及び中2、理科の中2を除くすべての教科と学年において、C-D層の差が最も大きいです。小6の26.6ポイントと比べて差は小さいものの、引き続き、学習の際の疑問や関心について確認し、問題を解決していく授業の展開を行っていくことが大切です。

第2章 II 2 中学校 国語科

【知識・技能】

全体の正答率は68.8%でした。特に次にあげる問題2(2)ウの正答率は次のようになっており、パターン判定はIでした。A層とB層の差が28.1ポイント離れ、A層とB、C、D層に開きがあることがわかります。漢字の書き取りの分野が苦手であると考察できます。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	68.8	89.5	77.0	64.4	44.2	45.3

【問題2(2)ウの正答率】

このような結果となる要因として、語彙力の低下が挙げられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	46.3	85.8	57.7	33.7	7.9	77.9

【授業づくりのアイデア例】

①授業の冒頭で文章を読む活動を取り入れる

例えば、新聞に掲載されている社説等を読む活動を取り入れることで、様々な言葉を目にすることができます。その中で、読めない漢字は、辞書を使って調べることで、語彙力が定着すると考えます。また、その調べた言葉、意味やその言葉を用いた短文を書き留めるワークシート(スプレッドシート)などを作ることで、自分オリジナルのノートができ上がり、あとからでも見返すことが可能になります。言葉の蓄積が視覚的にわかるメリットもあります。

②他教科等の学習や日常の会話の中でも漢字の書きについて意識させる

「話すこと・聞くこと」の活動でも言葉(=漢字)を知らないと誤った表現をしてしまうことが考えられます。そこで、会話を文字に起こす活動を取り入れることも効果的であると考えます。漢字の指導を怠ると、読解力の低下につながり、他教科への影響も懸念されます。漢字を習得することで、思考力、表現力、創造力が豊かになることを実感させ、生徒が「漢字を勉強した方がよい」と思えるような指導の継続が必要です。

【正答】略

- 2 次の問いに答えなさい。
- (1) 次の——線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。
- ア 水分を吸収する。
 イ 世界遺産を見学する。
 ウ 経済が大きく発展する。
- (2) 次の——線の言葉を漢字で書きなさい。
- ア 妹はおばと顔がにている。
 イ 資料のよはくにメモを取る。
 ウ 文字をりやくさずに書く。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	62.1	84.1	69.1	56.5	38.5	45.6

全体の正答率は62.1%でA-D層の差は45.6ポイントでした。特に、次にあげる問題1(5)の正答率は次の通りとなっており、D層においても正答にたどり着くことができない生徒が多くいました。

【問題1(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	65.3	87.8	74.9	60.5	37.9	49.9

このような結果となる要因として相手の伝えたい内容を捉える力が弱いことが挙げられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

【授業づくりのアイデア例】

話し手の意図や情報を整理しながら的確に捉える

短いスピーチを、その都度メモを取りながら聞く時間を設定します。メモをもとに聞き取った要点をグループで共有し、内容の整理や再構成を行います。その後、同じ話を再度聞いたり、話し手にインタビューをしたりするのも効果的だと考えます。話し手の意図や情報を整理しながら的確に捉える力を身に付けるようにします。

文章全体の要旨を正確に捉える

相手の伝えたいことを正しく聞き取るためには、内容を読み取る力も必要です。

例えば、説明文では、段落ごとに筆者の主張や中心となる文を読み取ります。また、それらを組み合わせて文章全体の要旨を考えます。段落ごとの読み取りを通して、文章全体の要旨や筆者の主張を正確に捉えることにつながります。

新聞の記事を読み取ることも応用として考えられます。

(5) この話し合いに参加している橋本さんは、次のような体験を思い出しました。この話し合いの続きで橋本さんの発言として最も適切なものを、あとの1〜4から一つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

部活動のトレーニングで北山の坂を走って上っているな。きつけれど、上り切ったときの景色は最高なんだよな。



- 1 北山の夜景がとても美しいと聞いたので、その美しさをキャッチコピーに込めたいと思いました。
- 2 北山の坂道に対して、ぼくたちが日々ふと感じているような気持ちでキャッチコピーに込めたいと思いました。
- 3 最近観光客や登山客が増えているので、観光客や登山客にどのように接したいかも込めたいと思いました。
- 4 北山から市内を一望できる、おすすめの場所をキャッチコピーに込めたいと思いました。

【正答】 2

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	84.6	97.1	91.8	83.7	65.5	31.6

全体の正答率は84.6%で A-D層の差が31.6ポイントでした。特に次にあげる問題5(1)は次の通りとなっており、A-D層の差が79.9ポイント、パターン判定はⅡでした。

【問題5(1)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	57.7	94.4	77.1	44.9	14.5	79.9

この結果から、C、D層の生徒は言葉の知識・理解の定着ができていないことが考えられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

【正答】

1

- 4 不参加
- 3 衣食住
- 2 総選挙
- 1 図書館

(1) 提案文の下書きの「線あ」生徒会と同じ組み立ての熟語を、次の1~4から一つ選び、解答用紙の番号(1)をつけなさい。

【授業づくりのアイデア例】

①整理・分類して定着を図る

生徒が主体的に取り組み、語句の量を増やしその知識を確実に定着させていくには、GIGA端末を使用したグループ学習も効果的だと考えられます。文学的文章の学習など、個人の意見から考えを広げていくための思考ツールとして「FigJam」を使います。自分の考えをもとに他者と協働してボードに書き込んだり、グルーピングしたりすることで、物事を多面的・多角的に見る力の育成が期待できます。

②正しく理解して適切に表す

語感を磨き、語彙を豊かにするためには、習得した知識を社会生活の中で使える力が必要です。同じ意味でも表現の違いを取り上げたり、言葉から受ける印象を問いかけたりすると意味・用法の微妙な違いを意識できます。また、短い時間を使ってスピーチをするのもよいでしょう。他者に自分の思いを伝えるためには、どの言葉を使うのが効果的かを考えることで得た知識をアウトプットすることができます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

全体の正答率は66.9%でパターン判定はⅢでした。特に次にあげる問題4(4)の正答率は次の通りとなっており、D層の生徒の多くが正答できていません。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	66.9	91.7	77.3	61.2	37.5	54.2

【問題4(4)の正答率】

このような結果となる要因として、心情を表す表現を的確に捉えられていないことが挙げられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	56.1	94.3	75.9	46.2	7.9	86.4

【授業づくりのアイデア例】

語彙力を高め、文脈を捉える

辞書を使って言葉の意味を調べる時間を設定します。その際、本文を読みながら、どのような意味で使われているのかを確認するようにします。特に複数の意味がある言葉については、その言葉の前後の表現と言葉の意味を照らし合わせることで、文脈を捉える力を身に付けるようにします。

言動に着目しながら心情を読み取る

心情を読み取るためには、「嬉しい」「悲しい」など心情を直接表す言葉だけではなく、登場人物の言動など、その背景から考えることも必要です。

文章中からポイントとなる言動を抜き出し、その前後からどのような思いがその言動につながっているのかがわかる表現に線を引きます。線を引いた部分から、そのときの心情を短い文でまとめます。登場人物の言動と心情が結びつくことを理解して読み取ることが大切です。また、読み取った心情をもとに、どのような変化があるのかを考えてまとめることで、文章をより深く理解することにもつながります。

(4) 次は、文章を読んだ生徒たちが話し合っている場面です。話し合いの□にあてはまる言葉を、あとの〈条件1〉〜〈条件3〉に従って書きなさい。

話し合い

中山さん 眠人は、心を落ち着かせるために目をつぶったんだ。
 酒井さん そして、蟬の声を聞いて、考えをめぐらせているね。
 中山さん そのあと、心を決めてまぶたを開いているよ。
 酒井さん 眠人の心情は、目をつぶる前から、まぶたを開くまでの間に、□に変化したんだ。そうして、二線を弾くことができたんだね。

〈条件1〉「〜気持ちから、…気持ち」という形で書くこと。
 〈条件2〉二十五字以上、三十五字以内で書くこと。

【正答】
緊張する気持ちから、二線を高くかにならしてみようと思う気持ち

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	68.3	86.3	75.4	64.9	46.6	39.7

全体の正答率は68.3%で、A-D層の差は39.7ポイントでした。特に次に挙げる問題2(4)の正答率は次の通りとなっており、A層にとっても正答できない生徒が多かったです。

【問題2(4)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	29.4	40.5	29.1	25.4	22.4	18.1

この問題は、川崎市全体で29.4%という結果でした。動詞の活用形についての知識理解が定着していないことが考えられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

問題内容：活用形が同じ動詞を選ぶ
＜実際の問題＞

〈解説〉
問題文は連用形。
1は未然形、
2は仮定形、
3は連体形、
4は連用形、
よって、この問題の正答は
4となります。

1 寝ないで勉強するのは体によくない。
2 本音を言えば気持ちが悪くなるよ。
3 次に彼に会う日を楽しみにしている。
4 私もみんなと一緒に公園に行きたい。

こんな大きなりんごは見たことがない。

(4) 次の文の——線の動詞の活用形と、
——線の動詞の活用形が同じであるもの
を、あとの1～4から一つ選び、解答
用紙の番号に○をつけなさい。

【授業づくりのアイデア例】

①あとに続く語で判断する

動詞の活用形を判断するには、それぞれの活用の意味や主な続き方を覚えることが大切です。活用語尾の変化によって活用の種類がわかれますが、活用形はあとに続く主な語を認識していると判断がしやすくなります。あとに続く主な語を覚え、様々な練習問題に触れながら確認していくことが必要であり、知識・理解の定着に向けた授業改善が求められます。特に活用語尾が音便化している場合は注意が必要です。

②語感を磨き語彙を豊かにする

単語の類別と関連付けながら基本を確認し、「言葉の特徴や使い方に関する事項」についての学習に力を入れることが効果的です。さらに、学んだことを活用し、話や文章の中で表現することに生かす時間の確保が求められます。また、文の構成について理解し、適切に使い分けながら、語感を磨き語彙を豊かにする学習を取り入れていくことも必要です。語句の量を増やし、語句についての理解を深めることの両面が得られる活動として、「読む」以外にも「書く」「話す」といったアウトプットが重要だと考えられます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	65.3	85.3	73.6	61.8	40.6	44.7

全体の正答率は65.3%でA-D層の差は44.7ポイントでした。特に次にあげる問題5(4)の正答率は次の通りとなっており、パターン判定はⅢでした。D層では正答にたどり着くことができない生徒が多くいました。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	52.1	80.2	59.4	45.8	22.0	59.2

【問題5(4)の正答率】

このような結果となる要因として、資料が自分の考えの根拠としてふさわしいかどうか検討できていないことが挙げられます。このことについて授業づくりのアイデア例を右側に掲載します。

(4) あなたは、昼寝タイムの導入に賛成ですか、反対ですか。意見文の下書きの「う」にあてはまる文章を、次の〈条件1・2〉に従って九十字以上、百字以内で書きなさい。(ただし句読点は字数に含めません。)

〈条件1〉賛成か反対かのどちらかを選ぶかを書くこと。(どちらかを選ぶかは、この問題の正誤に影響しません。)

〈条件2〉考えの根拠として、「資料1」～「資料4」のうちから二つの資料を選び、それぞれの資料から読み取れる内容を、自分の選んだ立場の根拠として書くこと。

【授業づくりのアイデア例】

① 自分の考えの根拠を明確にする

自分が書いた文章の根拠として、資料を用意する活動を行います。弁論などの自分で書いた文章を400字程度に要約します。その際、資料を必ず引用することとし、資料と合わせて説明することで、資料が持つ説得力について思考する活動を行うことができます。

資料のどの部分が自分の主張を補強しているかを示す活動を取り入れることで、自分の考えの根拠を明確にすることにつながります。

② 他領域との関連を生かす

話すこと・聞くことの領域と関連させて、ディベートなどの話し合い活動とともに書く活動を取り入れます。ディベートの準備として集めた資料をそれぞれの視点から読み取り、情報を整理して自分の意見を持ちます。そのうえで、論題に対する自分の立場を明示し、400字程度の意見文を書きます。話し合いという目的意識を持ち、集めた資料を根拠に、自らの意見をまとめます。書くことを話すこと・聞くことにつなげていきます。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

【2】「友達が書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。」

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	83.6	91.8	88.9	82.3	71.1	20.7
令和7年度・中2	85.2	92.3	89.7	84.4	74.0	18.3
令和6年度・中1	83.6	90.0	85.6	82.9	75.8	14.2
令和7年度・中3	86.6	93.5	91.0	85.2	76.3	17.2
令和6年度・中2	84.1	91.6	87.9	84.1	72.9	18.7
令和5年度・中1	85.3	92.0	87.6	84.4	76.5	15.5

【分析結果】

調査結果では、調査を実施した全学年において、すべての層で高い数値になっています。しかし、CD層の差が大きい傾向が見られます。すべての学年で、D層の生徒が周りの人の書いた文章や話し合い活動での意見から自分にはなかった新しい考えをもととする態度を身につけることが課題として考えられます。そのためにも、グループワークや話し合い活動の際に、D層の生徒への声かけが大切です。周りの人の意見を視覚化し、自分の意見に取り入れやすくする工夫が必要です。

【授業づくりのアイデア例】

個人の意見を持つ・まとめる

効果的にグループワークや話し合い活動を行うためにも、まず個人の活動において意見をもつことが必要となります。ミライシードのオクリンクプラスを活用することで、一つの発問に対して個人の意見を「カード」にまとめることができます。言葉にまとめることが苦手な生徒も画像や動画を使用することで、自分の伝えたいことが表現できます。

グループワークで学びを深める・まとめる

個人の意見を全体に共有することで多くの意見に触れることも可能です。グループワークや話し合い活動を通して、自分の意見を再構築し、学び合いを深めることができます。「個人の意見」と「周りの人の意見に触れた後の意見」を記入するプリントやオクリンクプラスのマイボードを活用して、考えの変容を捉えることもできます。変容に気付くことで学習への意欲の向上にもつながります。まずは個人の意見を持ち、周りの人の意見に触れ、自分にはない考えや意見を持ちやすくするための手立てが考えられます。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】

【45】「自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。」

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	62.3	74.4	66.5	58.6	49.8	24.6
令和7年度・中2	61.0	73.1	66.5	57.9	47.1	26.0
令和6年度・中1	63.2	74.5	69.0	58.6	51.0	23.5
令和7年度・中3	63.1	75.1	67.5	59.0	51.4	23.7
令和6年度・中2	60.6	73.1	65.0	57.3	47.4	25.7
令和5年度・中1	65.6	76.7	68.5	64.1	53.2	23.5

【分析結果】

調査結果では、調査を実施したすべての学年でA-D層の差が20ポイント以上あることがわかります。また、中2が最もA-D層の差が大きく、中3になるとA-D層の差が小さくなる傾向が経年で見られます。中1の学習において、自分の意見や考えをもち、それを相手にわかりやすく伝えようとする意識づけが課題として考えられます。課題に対して、語彙力や言葉に関する知識の習得を丁寧に進めるとともに、グループワークなどの活動を通じて自分の考えを伝える場面を設定していく必要があります。

【授業づくりのアイデア例】

個人学習で語彙を増やす

教科書の言葉を調べるだけでなく、ミライシードの「オクリンクプラス」を活用し、一つの文章を説得力がある文になるように添削するという活動が挙げられます。お題となる文章を確認し、より相手に伝わる言葉を調べる活動を通じて語彙を増やします。その後、グループワークで意見を共有します。

協働学習で語彙を増やす

グループで意見を出し合いながらより説得力のある言葉を調べます。これにより、自分の知らない言葉を調べ、意味を知ることにもつながります。そうして、語彙力や言葉に関する知識が身に付きます。完成した文章をクラス全体に共有することで、周りの意見に触れ、新たな知識を得る機会になります。このように、個人での学習だけではなく、グループワークから語彙力や言葉に関する知識を身に付けることも可能であり、自分の考えや意見を相手に伝える場面が増えます。協働学習により、わかりやすく相手に伝えることが苦手な生徒に対する手立てが考えられます。

第2章 II 3 中学校 社会科

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	47.7	73.9	54.1	39.7	23.1	50.8

知識・技能の設問における平均正答率は47.7%でした。歴史上の人物名を解答する問題は学習の成果が表れていましたが、政治に関する問題や近代以降の問題の理解がやや不十分でした。

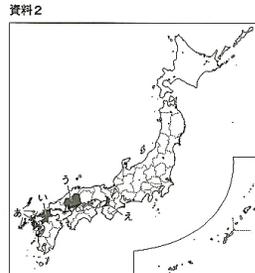
【問題1(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	55.8	83.7	65.3	46.8	27.7	56.0

この問題におけるA層の平均正答率は83.7%であり、十分理解できていると捉えることができますが、D層の正答率27.7%であり、A-D層の差が56ポイントありました。

- (3) 日本国憲法では、「平和主義」の原則のもと、世界で唯一の被爆国として非核三原則を掲げています。次の資料2で示したあ～えの都道府県のうち、原子爆弾が投下された都市がある都道府県の組み合わせとして正しいものを、あとの1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 1 あとう 2 あとえ 3 いたう 4 いとえ



【授業づくりのアイデア例(地歴公民)】

歴史的事象と地理的条件を関連付ける
学習活動の展開

小学校学習指導要領解説社会編では「日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦」については、「広島・長崎への原子爆弾の投下など、国民が大きな被害を受けたことがわかること」と示されています。小学校でこうした指導がなされていたことを踏まえ、中学校では歴史に関わる事象を地理的条件と関連付ける学習活動を取り入れる工夫が考えられます。

本問の場合では、原子爆弾が投下された都市の名称だけでなく位置を理解する必要があります。

「日本の地域構成」において、都道府県の名称と都道府県庁所在地名のほかに、歴史や文化などの地域的特色について、地図帳の活用や白地図に書き込む学習活動を行うことで、三分野の関連を図り、社会科全体としてまとまりのある学習を展開することができます。

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	30.5	52.4	32.7	22.4	14.5	37.9

思考・判断・表現の設問における平均正答率は30.5%であり、理解は不十分でした。特に記述式の問題に課題が見られました。

【問題4(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	48.4	90.6	65.7	31.3	5.8	84.8

この問題における平均正答率は48.4%であり、理解はやや不十分でした。A層の平均正答率は90.6%であり、十分理解できていると捉えることができますが、D層の正答率は5.8%であり、A-D層の差が84.8ポイントありました。

(5) 年表中の下線部③をきっかけに幕府が行ったことについてまとめた次の
 〇〇の文中の〇〇い〇〇にあてはまる内容を書きなさい。

資料2



資料2は、踏み絵とよばれていたものです。踏み絵は、〇〇い〇〇
 ことを幕府に証明するために使用され、証明できなかった人は処罰されました。

【授業づくりのアイデア例(歴史的分野)】

政策の意義やその政策による社会的な影響について考えさせる授業展開

本問の場合では、踏み絵を使用する意義について理解していることが必要があります。

授業で、「江戸幕府の対外政策は日本に何をもたらしたのだろう。」という学習課題を設定し、絵踏みをすることや貿易船を制限することなどといった政策を調べたりする中で、その政策の意義や社会的な影響について多面的・多角的に考察し、表現する授業が考えられます。このような学習を行うことで、生徒は歴史的事象の発生要因が他の歴史的事象とも関わり合っていることがわかり、時代の流れを大観する力が身に付きます。また、時代の流れを大観する中で身に付けた知識や概念を使い、よりよい社会の実現を視野に現代社会に見られる課題を解決しようとする授業を展開することで、主体的な学習に取り組む態度を養うことができると考えられます。

【知識・技能】

知識・技能の設問における平均正答率は50.8%でした。同一母集団の経年変化で見ると、昨年度の54.1%と比べ、3.3ポイントの差がありました。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	50.8	76.2	55.9	42.7	27.8	48.4

【問題7(1)の正答率】

平清盛について述べた文を選ぶ問題で、平均正答率は64.6%でした。A層の平均正答率が90.4%と十分理解していると捉えられますが、D層の正答率は38.7%となり、A-D層の差が51.7ポイントありました。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	64.6	90.4	71.8	57.7	38.7	51.7

■ ひろとさんとゆいさんは、平安時代末期から室町時代にかけてのおもな出来事と、新しい仏教が開かれたおおよその時期について調べ、年表にまとめました。次の年表を見て、あとの問いに答えなさい。

年代	おもな出来事	新しい仏教が開かれたおおよその時期
1156年	保元の乱	浄土宗が開かれる
1159年	平治の乱	
1181年	大きな地震	
1221年	承久の乱	臨濟宗が開かれる
1230～32年	大きな地震	
1258～59年	大きな地震	曹洞宗が開かれる
1274年	文永の役	時宗が開かれる
1281年	弘安の役	
1291年	大きな地震	
1293年	大地震(鎌倉大地震)・大きな地震	
1467年	あ	

(1) 年表中の下線部①に勝利した後の平清盛について述べた文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 1 武士が初めて太政大臣となり、娘を天皇の后として朝廷との関係を深めるなどして、勢力を強めた。
- 2 壇ノ浦の戦いに勝利した後、兄との対立が深まり、奥州藤原氏の下にのがれた。
- 3 南北朝の動乱をはずめて統一したほか、朝貢の形で勘合貿易を始めた。
- 4 朝廷の勢力を回復するため挙兵したが敗れ、隠岐(高根県)に流された。

【授業づくりのアイデア例(歴史的分野)】

小学校の既習事項を生かした 全員がわかるを実感する授業の展開

平清盛は小学校での既習事項である人物であることから、導入でその時代の重要な人物を年表とともに確認する展開が考えられます。

例えば、「どのようにして武士が台頭したか説明できる」ことを単元のねらいとするのであれば、教科書に記載されている平清盛・源頼朝・後鳥羽上皇などの人物が挙げられます。これらの人物と年表の歴史的事象の関係を表にまとめるような単元を見通す導入にすることで、全員がその時代に活躍した人物の功績や偉業などについて知ることができます。この後の展開として、貴族社会と武家社会の違いについて多面的・多角的に整理分析することで、源氏と平清盛の偉業との違いや後鳥羽上皇の政治的役割について理解が深まり、武士が台頭した理由を根拠をもって自分の言葉で説明することにつながります。

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	58.7	83.2	69.9	54.0	27.6	55.6

思考・判断・表現の設問における平均正答率は58.7%でした。同一母集団の経年変化で見ると、昨年度よりも平均正答率が23.8ポイント上昇し、全ての層で平均正答率が上昇する結果となりました。

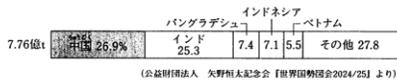
【問題8(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	20.3	41.6	21.5	13.3	4.9	36.7

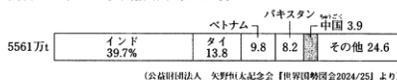
この問題における平均正答率は20.3%でした。A層の平均正答率が41.6%となっており、理解はやや不十分でした。また、BからD層の平均正答率は30%を下回り、理解は不十分でした。

(3) 班の話合いの後、あおいさんは米の生産量が多い国について調べるなかで次の資料3～資料5を見つけ、とくに「中国」に注目してレポートを作成しました。レポート中の「う」と「え」にあてはまる内容を簡潔に書きなさい。

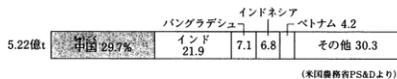
資料3 米のおもな生産国（2022年）



資料4 米のおもな輸出国（2022年）



資料5 世界のおもな国の米の消費量（2022/23年）



レポート 中国の米の生産について

国の特徴：

- ・アジア州 東アジアに位置する。
- ・世界の国のなかでも人口が多い。

米の生産について：

- ・資料3と資料4を見ると、インドなどに比べて、中国は米の「う」ことがわかる。
- 中国では米を主食とする人が多く、資料5からわかるように「え」ことが理由だと考えられる。

【授業づくりのアイデア例(地理的分野)】

他地域との比較をする活動を通じて
地域的特色を明らかにする授業展開

本問の場合では、複数のグラフを読み取り、中国における米の生産と消費についての特徴を推察する力を身に付ける必要があります。

北アメリカ州の農業の特色を学習する上で、気候、緯度、国土の面積など、自然環境、地形の特色が似た中国と比較すると、中国では米の生産量が多く、アメリカと同様にその国で主食となっている穀物の生産が盛んであることが理解できます。しかし、人口や国内消費量についてアメリカと比較するといずれも中国の方が上回っています。

このように地形、自然環境、生活習慣や文化など複数の資料を活用し、さまざまな要因を関連付けながら、地域的特色をより深く考察することにより、総合的な問題に対応する力が身に付くと考えられます。

【知識・技能】

知識・技能の設問における平均正答率は56.6%でした。同一母集団の経年変化でみると、昨年度よりも1.7ポイント上昇する結果となりました。また、A-D層の平均正答率の差も縮まりました。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	56.6	77.7	62.9	51.4	34.5	43.2

【問題2(2)(ア)の正答率】

この問題における平均正答率は59.5%であり、理解はやや不十分でした。また、A層とB、C、D層の間に大きな差があり、A-D層の差は54.2ポイントとなっています。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	59.5	88.2	66.1	49.6	34.0	54.2

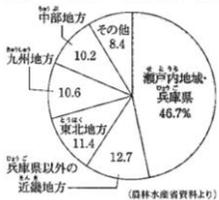
【授業づくりのアイデア例(地理的分野)】

そこに暮らす人々の生活や産業と地域の地形や気候などの自然環境との関連性についての理解を促す授業展開

農業と自然環境との関連性についての理解を促す授業展開としては、降水量や地形が農業に与えている影響とはどのようなものなのかを思考する活動が考えられます。

四国地方における学習の場合、雨温図を活用して四国地方の気候の特色を捉える活動を取り入れることや、四国地方の農業の様子が見える写真や映像を示し、気候と農業がどのように関連しているのかを考える活動を取り入れることが必要です。例えば、雨温図とともに四国地方の農業の特色が見える写真やグラフを示し、南四国は1年を通して暖かい気候であるため、ビニールハウスなどを利用して、他の地域より出荷の時期を早めた促成栽培が盛んだということに気付くことができるような活動を行うことが考えられます。また、自然環境が人々の生活全体に影響を与えているという理解を促すことにもつながります。

資料2 ため池の地域別割合(2023年)



資料3 高松市・鳥取市・高知市の夏の降水量(mm)

	高松市	鳥取市	高知市
7月	159.8	188.6	357.3
8月	106.0	128.6	284.1
9月	167.4	225.4	398.1
年合計	1150.2	1931.2	2666.6

(気象庁 H17 より)

ア 下線部①について説明した文として最も適切なものを、次の1~4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 夏の涼しい気候を利用して、他の地域よりも出荷の時期を遅らせたキャベツ・レタスなどの野菜を、保冷車を使って都市部へ出荷している。
- 温暖な気候とビニールハウスなどを利用して、他の地域より出荷の時期を早めたなすやピーマンなどの野菜を出荷している。
- 温暖な気候を利用して、さとうきび・パインナップなどの生産を行っている。近年は菊も多く栽培し、飛行機を使って東京などに出荷している。
- 水をたくわえにくい火山灰地が広がり、稲作に適さない土地が多いため、肉牛・わたりなどの畜産業がさかんである。

りこ：①四国地方で行われている農業について調べているときに、資料2と資料3を見つけたよ。
 そら：瀬戸内地域と兵庫県には、多くのため池が分布しているんだね。この資料2における瀬戸内地域とは、どこを指すのかな。
 りこ：瀬戸内海に面している岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県のことみたいだね。
 そら：資料3とあわせて考えると、①ため池が多い理由がわかりそうだね。

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	48.5	76.9	57.1	39.8	20.1	56.8

思考・判断・表現の設問における平均正答率は48.5%でした。同一母集団の経年変化で見ると、昨年度よりも13.7ポイント上昇しました。また、A-D層の平均正答率の差はやや広がりました。

【問題6(5)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	28.7	47.0	30.5	21.1	16.0	31.1

この問題における平均正答率は28.7%であり、理解が不十分でした。並べ替え問題において、同一母集団の経年変化でみると、昨年度と比べて平均正答率は上昇しましたが、A-D層の差は31ポイントとなっています。

カードA

江戸幕府15代将軍の徳川慶喜が、政権を朝廷に返したことで、江戸幕府は滅びた。朝廷が出した王政復古の大号令により、天皇を中心とする新政府が樹立されると、新政府から排除され不満を持つ旧幕府軍と新政府軍との間で戦いが起こり、1年以上も激しく争ったが、新政府軍が勝利した。

カードB

急速に国力を高めていたアメリカだったが、奴隷制に対する立場の違いなどから、南部と北部の対立によって戦争が起こった。戦争は双方に大きな被害を出しながら4年ほど続いたが、リンカン大統領の指導のもと、。

カードC

清との貿易が大きな赤字となっていたイギリスが、三角貿易によりアヘンを清に持ちこみ、利益を得ようとした。アヘンの弊害に苦しんだ清がアヘンを厳しくとりしまったことから、イギリスが清に対して戦争を起し、軍事力に勝るイギリスが勝利した。

(5) カードA～カードCの戦争が起こった順に並べたものとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 1 A→B→C 2 A→C→B 3 C→A→B 4 C→B→A

【授業づくりのアイデア例(歴史的分野)】

世界の動きと関連付けて
我が国の歴史的特色を理解する授業展開

本問の場合では、我が国の近世から近代にかけての時代を大観し、世界の動きとの関連を踏まえて、その時代の特色を捉える活動を取り入れていく必要があります。

国内で起こった江戸時代後半の外国船の接近や、それに対応した幕府による北方の調査や異国船打払令などの事象と、産業の発展による、さまざまな対立など国外で起こった事象の関連性に着目していきます。

具体的な活動として、年表を活用し、国内と国外の歴史の流れを視覚的に理解する必要があります。子ども自身で年表にまとめるなど、それぞれの出来事に対して「なぜそうなったのか」「その後どうなったのか」といったことについて考える活動を通して、出来事の因果関係を捉えられるように工夫することが必要です。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり、考えたりして解決しようとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	77.4	87.6	81.2	74.0	66.7	20.9
令和7年度・中2	72.8	85.5	77.9	70.1	57.8	27.7
令和6年度・中1	74.9	87.0	78.5	71.1	62.7	24.3
令和7年度・中3	78.0	88.0	81.7	78.3	64.1	23.9
令和6年度・中2	71.0	83.7	75.3	68.1	56.9	26.8
令和5年度・中1	77.1	87.4	80.4	74.5	66.0	21.4

【分析結果】

質問番号2の令和7年度の肯定的な回答割合は中1が77.4%、中2が72.8%、中3が78.0%でした。また、A層の肯定的な回答割合はいずれも80%以上となり、高い割合を維持しています。しかし、A-D層の差はいずれの学年においても20ポイント以上開いていました。

このことから、D層の生徒を含めた全ての生徒が授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり、考えたりして解決することができるような授業をつくっていくことが重要になります。

【授業づくりのアイデア例】

1単位時間の授業に学ぶ目的をもたせるための 系統性ある単元づくり

単元を構想していく上で、単元を通して学習する目的となる「単元を貫く課題」を適切に設定することは、とても大切なことです。

単元を構想する際に、「単元を貫く課題」を解決させるために必要となる見方・考え方、様々な知識や概念を各1単位時間の学習に適切に配置することで、その単元の終末にそれらを有機的に関連付ける場面を設定することができます。例えば国家統合を主題としたヨーロッパ州の学習では、「EUはどのような経緯でその構成国を変化させてきたのか」といった問いを立て、「EUの空間的広がり」や「EU統合の歴史的背景」、「EU統合がもたらす成果と課題」などに関連する知識や概念を各1単位時間の学習に適切に配置し、EUにおける地域の特異性や地域特有の課題などを単元の終末に表現することが考えられます。

このように、単元で学習する内容に系統性をもたせることで生徒は各1単位時間の学習に関心や探究心をもちながら学習することができます。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】

社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	73.3	80.8	75.2	73.3	64.4	16.4
令和7年度・中2	73.8	83.0	77.0	73.8	62.4	20.6
令和6年度・中1	71.7	78.7	75.4	69.7	63.6	15.1
令和7年度・中3	75.1	81.2	77.1	76.4	66.8	14.4
令和6年度・中2	71.4	77.2	74.6	71.7	63.0	14.2
令和5年度・中1	71.1	79.2	73.8	70.1	61.3	17.9

【分析結果】

質問番号96の令和7年度の肯定的な回答割合は、中1が73.3%、中2が73.8%、中3が75.1%でした。

同一母集団の経年変化を見ると、令和6年度から令和7年度にかけて肯定的な回答割合は上昇していましたが、A-D層の差は大きくなっていました。

このことから、D層の生徒を含めた全ての生徒が社会科の授業でわかってきたことを生かしてグループやペアで話し合いや教え合いができるような授業をつくっていくことが重要になります。

【授業づくりのアイデア例】

多面的・多角的に考察してより深く社会的事象の特色や意味を理解するためのグループ学習

社会科の学習では、社会的事象を単に知識として覚えるだけではなく、その社会的事象を政治的、経済的、文化的、社会的など、様々な側面から捉えたり、政府、国民、他国など、異なる立場から捉えたりして、包括的に理解することが大切です。

そのためには、一つの社会的事象について多面的・多角的に考察させるような学習課題を設定し、少人数グループをつくって「いくつかの側面」や「いくつかの立場」について分担して調べたり、考察したりする学習活動を展開していくことが考えられます。その際、学習課題や活用する資料を生徒の実態に合わせて設定することが大切です。また、調べたり、考察したりしたことを整理する時間や、生徒同士で共有する時間を十分に確保することも大切です。

このように、意図的に生徒同士で教え合う機会をつくることで自らの学びを調整しながら、より深く社会的事象を理解することにつながります。

第2章 II 4 中学校 数学科

【知識・技能】

全体の正答率は
69.2%でパターン

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	69.2	92.7	81.3	66.4	36.5	56.2

判定はⅢとなっており、A-D層の差は56.2%である。次にあげる問題問題②(5)①の正答率は下表の通りになっており、C、Dの正答率がほぼ同じになっている。

【問題②(5)①

の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	54.5	67.4	53.8	47.3	49.6	20.1

このような結果となる要因として、線対称な図形の特徴と対称の軸との関係を捉えられていないことがあげられます。

【授業づくりのアイデア例】

対称な図形の線対称な図形の対称の軸について

小学6年生のときに対称な図形で線対称な図形を学習していますが、対角線と対称の軸の言葉の意味をしっかりと理解していない様子がかがえます。

中学1年生では図形の移動で再度、対称の軸を学びます。そのときに、実際に紙を用意して、実際に折る活動を通して、具体物を用いて実感的に理解することにつなげます。

<発問>

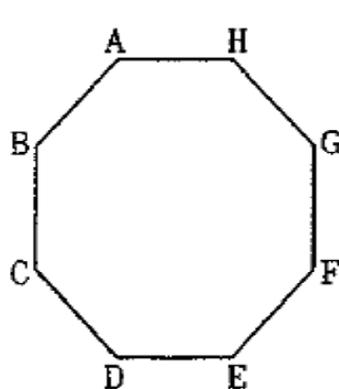
- ①正三角形は線対称な図形ですか。
- ②線対称な図形の場合対称の軸は何本ありますか。
- ③対称の軸で切り図形を2つにして、2つの三角形をノートに貼り、対称の軸を1本書きましょう。

正三角形だけでなく、正方形、正五角形、正六角形…と取り組むと、対称の軸という言葉の意味を理解し、対称移動に繋げていくことができると考えました。

(5) 右の図のような正八角形 ABCDEFGH は線対称でもあり、点対称でもある図形です。

① 対称の軸は全部で何本ありますか。次の1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- | | | | |
|---|----|---|----|
| 1 | 2本 | 2 | 4本 |
| 3 | 5本 | 4 | 8本 |



思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

全体の正答率は45.8%でパターン判定はIとなっており、B・C・D層の生徒の多くは正答にたどり着くことができませんでした。特に次にあげる問題⑥(3)の正答率は以下の通りで、思考・判断・表現を問う全体の問題の中でもA-D層の差が83.1ポイントと大きく開いています。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	45.8	78.5	54.3	35.1	15.4	63.1

【問題⑥(3)の正答率】

D層の正答率の低さが顕著にみられる結果となっています。要因として、平均値は身近であるものの、中央値の良さに対する関心や理解が低く、データと中央値の相関関係への考えまでは至っていないことがあげられます。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	43.2	89.4	54.0	22.9	6.3	83.1

要因として、平均値は身近であるものの、中央値の良さに対する関心や理解が低く、データと中央値の相関関係への考えまでは至っていないことがあげられます。

【授業づくりのアイデア例】

中央値とデータ・中央値とヒストグラムの相関関係を考える機会の設定

小学6年でもデータの活用として学習している代表値は、その言葉の意味や値を求めることはすでに学習済みです。中学1年では、新たに階級値や相対度数を求めていきますが、中央値や最頻値についても振り返り、ヒストグラムを作成するだけではなく、中央値とデータ全体やヒストグラムとの相関関係を考えていく必要があります。今回の問題のように、新たなデータが1つ入ったり、その値が外れ値であったりするとき、中央値にどのような影響を与えるのかを考えることで、代表値を求めるだけでなく、代表値を用いて問題解決することに繋げることが大切です。

問題 ある20人について、リフティングが続いた回数を数え、下の表のようにデータの値が小さい順に並べました。

	回数								
①	0	⑤	1	⑨	5	⑬	6	⑰	10
②	0	⑥	2	⑩	5	⑭	7	⑱	11
③	1	⑦	3	⑪	6	⑮	7	⑲	13
④	1	⑧	3	⑫	6	⑯	8	⑳	38

- (1) 平均値、中央値をそれぞれ求めなさい。
- (2) ⑳を除いたとき、平均値、中央値がどのように変わるか調べなさい。

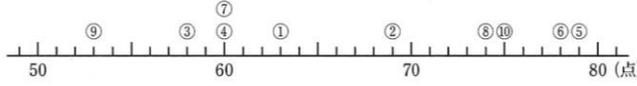
⑥ お楽しみ会でを行ったゲームの得点について、そらさんとひよりさんが話しています。 (9) ひよりはさんは番号2です。ひよりはさんが次のように話しています。



ゲームの得点を、番号1の人は①、番号2の人は②、…として、①～⑩の10人分、ドットプロットを表すと下のようになったよ。



追加する1人の得点の点数が何点かによって、中央値が変わることもあったよね。ドットプロットの②のわたしの得点が中央値になることはあるのかな？



11人分のデータでひよりの得点が中央値になるのはどのようなときかを、そらさんが説明しています。【そらさんの説明】の④はあてはまる数を書き、⑤は解答用紙の[69点以上・68点以下]のあてはまるほうを選んで○をつけなさい。

【そらさんの説明】
 11人分のデータの中央値は上から [④] 番目の人の得点です。
 ひよりの得点が中央値になるのは、ひよりの得点が上から [⑤] 番目になるときです。
 そのようになるのは、追加する1人の得点が [⑤] 69点以上 ・ 68点以下 のときです。

【知識・技能】

知識・技能の全体の正答率は65.6%で、

パターン判定はⅢ(一部の生徒に課題あり)でした。特に次にあげる問題②(3)の正答率は以下の通りとなっており、知識・技能を問う全体の問題の中でもA-D層の差が85.8ポイントと一番大きく開き、B層・C層の正答率が低いことも分かります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	65.6	93.0	78.6	60.6	30.3	62.7

【問題②(3)の正答率】

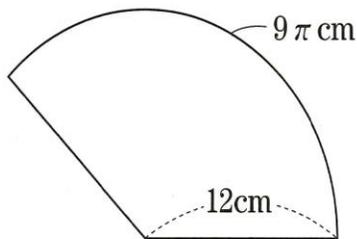
4層分析データの結果から、パターン判定は

Iでした。A-B層の差が37ポイント程度開き、無解答率についても21%と高く、多くの生徒にとって理解が不十分な状況であることが伺えます。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	40.9	89.7	52.2	17.9	3.9	85.8

②

(3) π は円周率とします。右の図のような、半径が12cm、弧の長さ 9π cmのおうぎ形の中心角の大きさを求めなさい。



【授業づくりのアイデア例】

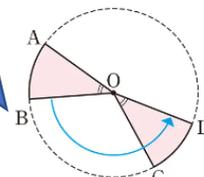
おうぎ形の中心角を求める

単元全体を通して、おうぎ形の弧の長さや面積の公式をつくる過程を大切にし、おうぎ形を円の一部として捉え、中心角と弧の長さや面積の関係を見いだす学習活動の充実を図ることが必要です。具体的には、弧の長さや面積がおうぎ形の中心角の大きさに比例する数量となっていることを見いだす場面で、以下の2通りの考え方を関連付けて理解することが大切です。

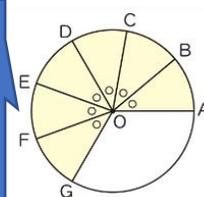
- ① 中心角を a とおいて、方程式を解いて求める
- ② 半径の等しいおうぎ形と円の関係から比の性質を用いて求める

また、C層やD層の生徒については、分度器を使用し角度を測定するなどして、見通しを立てさせることも有効的な指導です。

1つの円で、中心角の大きさが等しいおうぎ形の弧の長さや面積は等しい。



おうぎ形の中心角の大きさを2倍、3倍、4倍、...にすると、弧の長さはどうなるだろうか？



【例】観察、操作や実験を通して、円とおうぎ形を関連付けることで、おうぎ形の弧の長さや面積とその中心角の大きさの関係を効果的に理解させることができます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

全体の正答率は、パターン判定が昨年度はⅢであったものが今年度はⅠになりました。D層だけでなく、B・C層のつまずきにも丁寧に対応することが必要です。次にあげる問題⑤(2)は、アは選択式、イは短答式で正答率に開きがあることがわかります。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	46.4	84.8	54.8	33.0	13.1	71.7
令和6年度・中1	55.1	89.5	69.5	45.5	16.0	73.5

【問題⑤(2)アイの正答率】

	年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
			A層	B層	C層	D層	A-D層の差
⑤(2)ア	令和7年度・中2	73.8	96.9	90.0	75.6	33.0	63.9
⑤(2)イ	令和7年度・中2	36.8	88.7	47.7	9.7	1.1	87.6

イの正答率は36.8%です。式が何を表しているか正しいものを選ぶことはできますが、方程式を立式することに課題があります。

(2) 次の問題と【解き方】を読んで、あとのア、イの問いに答えなさい。

問題

ビー玉を、兄は45個、弟は29個持っています。兄から弟にビー玉を何個あげて、兄の個数が弟の個数より10個多くなるようにします。兄が弟にあげるビー玉の個数を求めなさい。

この問題を次のように解きました。

【解き方】 兄が弟にあげるビー玉の個数を x 個とすると、

$$\textcircled{1} = (29 + x) + 10$$

この方程式を解くと、 $x = \textcircled{2}$

この解は問題にあっている。

(答え) $\textcircled{2}$ 個

ア 下線部の式 $(29 + x)$ は何を表していますか。次の1~4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 兄が弟にビー玉をあげる前に兄が持っていたビー玉の個数
- 兄が弟にビー玉をあげた後に兄が持っているビー玉の個数
- 兄が弟にビー玉をあげる前に弟が持っていたビー玉の個数
- 兄が弟にビー玉をあげた後に弟が持っているビー玉の個数

イ 【解き方】 中の $\textcircled{1}$ にはまる x を用いた式、 $\textcircled{2}$ にはまる数を、それぞれ書きなさい。

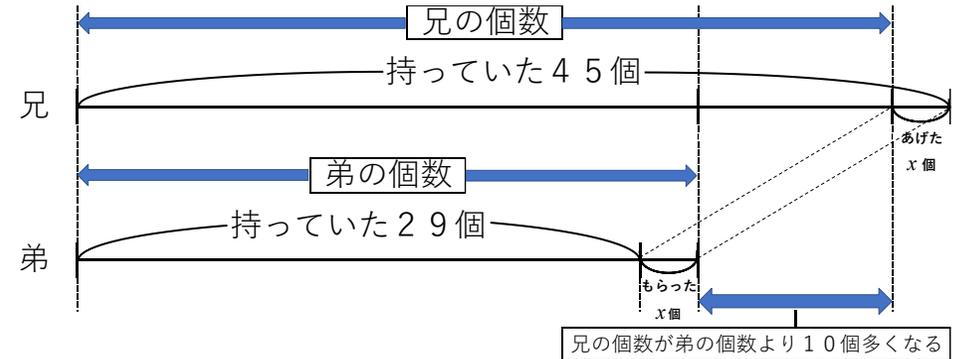
【授業づくりのアイデア例】

数量の関係や法則などを文字を用いた式で表す

等しい数量の関係を捉え、言葉の式で表すことを丁寧に扱うことが大切です。その際、線分図や表などで視覚的に理解することも大切です。

問題

ビー玉を、兄は45個、弟は29個持っています。兄から弟にビー玉を何個あげて、兄の個数が弟の個数より10個多くなるようにします。兄が弟にあげるビー玉の個数を求めなさい。



言葉の式で表すと、(兄の個数) = (弟の個数) + 10 になります。つまり、

$$(持っていた45個) - (あげたx個) = (持っていた29個) + (もらったx個) + 10$$

↑ (兄の個数)

↑ (弟の個数)

小学校では、言葉の式、□、△などを用いた式、 a や x 等の文字を用いた式で表すことを学習しています。例題として取り上げ、類題を解く機会をつくり、定着をはかる必要があります。

【知識・技能】

全体の正答率は60.9%で

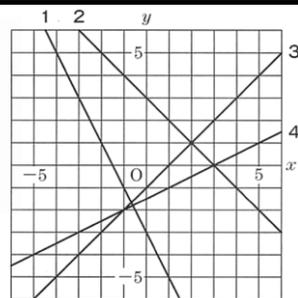
パターン判定はⅢであり、C層ーD層の差が大きいということが分かります。実際に差は25.8ポイントであり、D層の生徒に課題が見られるという結果となっています。

【問題3(5)の正答率】

市全体では43.2%の

正答率となりました。パターン判定はIでA層とBCD層の差が大きいという結果となりました。A層ーB層は36.9ポイントとなりほとんどの生徒が理解できていないことが明らかになりました。また、誤答では選択肢2の反応率が23.4ポイントでした。この選択肢2は $x - 2y = 3$ の3に着目をし、切片が3である選択肢を選んでいること、2元1次方程式を関数を表す式とみていないことに要因があります。1次関数の式 $y = ax + b$ について、係数や定数が何を表しているのか実感を持った理解が必要になります。

- (5) 1次関数 $x - 2y = 3$ のグラフを、右の1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。



年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	60.9	91.6	74.7	53.5	23.7	67.9

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	43.2	85.7	48.8	21.5	16.9	68.8

【授業づくりのアイデア例】

2元1次方程式 $ax + by + c = 0$ を一次関数の式とみることを理解する

問3 方程式 $2x + 3y = 7$ のグラフを

みんなに説明しよう 左の図にかきなさい。

また、そのグラフのかき方を

説明しなさい。

$x=0$ を代入しても、
 y の値は整数にならないし、
 $y=0$ を代入しても、
 x の値は整数にならないよ。



上記の問題は2つの変数 x, y の間の関係を表した式であり、グラフのかき方を表現することをねらいとする問題です。

2元1次方程式のグラフはその方程式を成り立たせる x, y の値の組を座標にもつ点の集まりです。一方の変数のとる値を決めれば、それに対応する他の変数の値が決まることがわかり、式を基にしてグラフをつくれるようになります。

また、グラフを用いて変数 x のとる値を1つ決めれば、対応する変数 y の値が求められることを押さえることが大事です。

上記の問題 $2x + 3y = 7$ においては2点を求めることによりグラフはかけるが、 x, y の変域はすべての数になっていることにより、2元1次方程式の解は無数にあるということを確認させることが大事です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

全体の正答率は、50.3%でパターン判定はⅡでした。次に

あげる問題⑦(2)の正答率は、他の問題と比べてどの層も正答率が低く、全国の正答率17.5%と比べて2.7ポイント低い結果となりました。

【問題⑦(2)

の正答率】

(1)ではD層と比較

すると他の層は正答率が高く、箱ひげ図から値を求めることはできていることがわかります。しかし、(2)の箱ひげ図から様々な値を読み取り、それらのデータをまとめて箱ひげ図全体の特徴を読み取ることは課題があります。

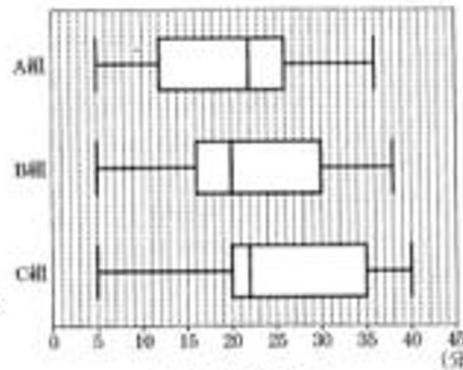
年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	50.3	80.1	60.6	40.2	20.1	60.0

	年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
			A層	B層	C層	D層	A-D層の差
⑦(1)	令和7年度・中3	50.7	86.5	63.3	41.1	12.9	73.6
⑦(2)	令和7年度・中3	14.8	23.9	19.2	11.6	4.8	19.1

■ 真さんは、同じ学年の生徒の通学時間について調べることにしました。下の図は、真さんの中学校のA組、B組、C組のそれぞれ20人を調査対象とした、通学時間の記録の分布の様子を、箱ひげ図で表したものです。このとき、あとの問いに答えなさい。

(1) A組の箱ひげ図について、四分位範囲を求めなさい。

(2) 真さんは、B組とC組の箱ひげ図を見比べて、「B組よりもC組のほうが、通学時間の長い生徒が多い傾向にある」と考えました。真さんの考えが正しい理由を箱ひげ図の特徴をもとに説明しなさい。



図：生徒の通学時間

【授業づくりのアイデア例】

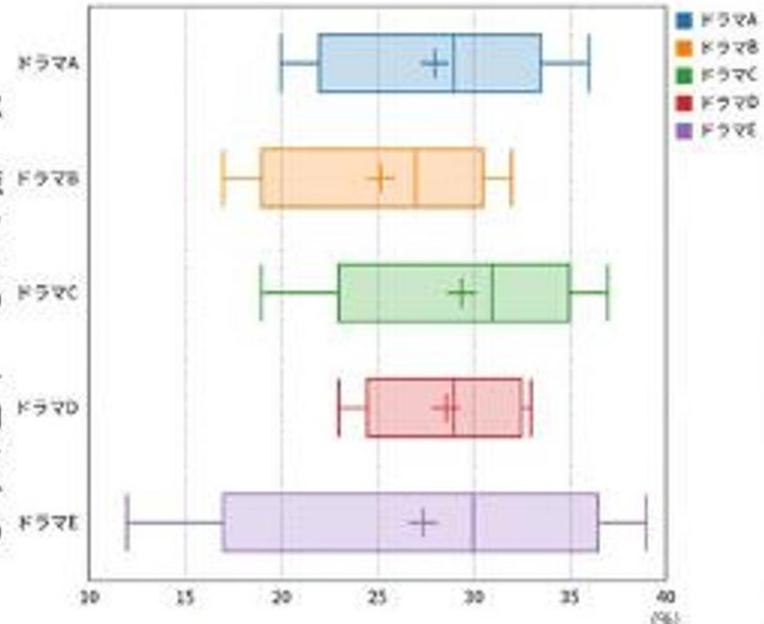
データの傾向を見取り複数のデータを比較する

データの分析の学習では、小学校から中学校まで多くの知識を身に付けてきました。特に、この単元においては、平均値や中央値、範囲などの知識を利用することになり、既習内容の定着は必要になります。下の問題ではそれらの代表値を求めるだけでなく、与えられた図の特徴と傾向を見出して比較することが求められます。また、自らテーマを設定することで、様々な視点からデータを捉えることができます。

問題

右の図は、5つのテレビドラマを対象に調査した。1話から最終話までの視聴率を毎回調査し、それぞれのドラマごとに箱ひげ図でまとめた。

テーマ（このデータから見取りたい内容）を1つ決め、そのテーマに沿って分かったことをまとめなさい。



主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	83.1	96.3	89.8	81.7	64.2	32.1
令和7年度・中2	78.9	95.1	87.9	75.4	56.7	38.4
令和6年度・中1	83.2	95.9	89.7	83.3	63.5	32.4
令和7年度・中3	81.3	95.3	90.1	78.0	61.7	33.6
令和6年度・中2	77.9	94.0	86.1	75.4	55.9	38.1
令和5年度・中1	84.5	96.0	91.4	82.9	67.2	28.8

【分析結果】

令和7年度・中2の同一母集団の経年比較に着目すると、D層の肯定群回答割合は昨年度よりも6.8ポイント低い56.7%、またA-D層の差も38.4%と昨年度から6ポイントの差が開く結果となりました。D層の生徒が新しい学習内容に出会った際に、どうしてよいか分からず、戸惑っている姿が想像されます。解き方がわからない場合でも、少しずつ文章題を整理し、日常的に既習事項と関連付けながら自力で粘り強く考え、他者の考えと比較して自己調整するような学習活動に取り組むことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】 **学習を振り返る**
連立方程式の活用を例にアイデア例を提示します。

(1)生徒が自力解決へ向かうための、「何もわからない」から「ここまではわかる」に変わるワークシートの構成

Step1 問題に出てくる数・情報を書きだそう

Step2 何を文字でおけばよいですか

Step3 どのような数量関係を表す式がつけられそうですか

Step4 解き方は加減法と代入法のどちらがよさそうですか

Step5 解いてみよう

(2)ホワイトボードやフィグジャムなどを活用し、考え方(思考の途中経過)を見せ合う対話的な活動

・連立方程式をどう立てたか、なぜその解法を選んだのかを図や式で書かせ、説明し合う

(3)振り返りで思考過程を評価

・今日の問題で、どこまで自分で考えられたか

・どんな知識(既習事項)を使ったか

・わからなかったとき、どう考えようとしたか

・次に似た問題が出たら、どんなことに気が付いたらよいか

👉 自分自身の思考をメタ認知し、「粘り強く考える」ことを経験し、「自分がどう変わったか」を自覚できるようにする

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】

授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	66.0	82.1	72.1	61.1	48.9	33.2
令和7年度・中2	62.3	82.5	68.0	56.1	42.7	39.8
令和6年度・中1	66.9	81.8	72.5	63.7	49.5	32.3
令和7年度・中3	67.4	85.1	75.3	62.0	47.6	37.5
令和6年度・中2	62.4	80.5	67.9	57.9	44.1	36.4
令和5年度・中1	69.4	83.2	75.3	66.3	52.6	30.6

【分析結果】

CD層の肯定群回答割合について同一母集団の経年比較をみると、令和7年度・中2は昨年度よりもC層で7.6ポイント、D層では6.8ポイント下がる結果となりました。またA-D層の差に着目すると、同一母集団では令和7年度・中2、令和7年度・中3の結果が示すように、年々その差は広がっていく傾向にあります。このことから、CD層の多くの生徒は普段の学習において「なぜそうなるのか」という理由について考えることができず、公式や解法を暗記することが学習の中心となっていると考えられます。

【授業づくりのアイデア例】

「生徒が理由や考え方も理解しようとする姿勢を育むための授業づくり」のアイデア例(1)～(3)を提示します。

(1)誤答例を提示し、理由を説明する活動の導入

「なぜ、 $2x+4$ を $6x$ と計算してはいけないのか」と聞かれたら、あなたはどのように説明しますか？

👉「やり方」だけでなく「意味」に意識を向ける。

(2)公式や手順を教える前に「なぜ？」という問いから始める

「長方形のたてを $(x+3)$ 、横を $(x+2)$ としたとき、その面積は？」

👉面積図をもとに、 $(x+3)(x+2)$ の展開公式の意味を確認する。

(3)複数の解法を比較する活動の導入

$$\begin{cases} y = 4x - 1 \\ x + 2y = 7 \end{cases}$$
をいろいろな方法で解いてみよう。

👉「そのまま代入法」、「移項して加減法」、「 $2x = 4y - 10$ に式変形してから代入法」など、いくつかの解き方を扱い、それぞれの計算手順のよさについて話し合い、理解を深める。

第2章 II 5 中学校理科

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	61.8	88.8	71.1	54.6	32.9	55.9

全体の正答率は61.8%で、A-D層の差が大きく、パターン判定はⅢでした。次にあげる問題6-(2)の正答率は、特にD層が低いことに加えて無回答率はC層が20.3%、D層が46.2%でした。

【問題6-(2)の
正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	63.6	93.4	78.8	58.5	23.8	69.6

調べる目的を理解しないまま、扱う薬品や器具の名称やその役割を意識せずに実験を進めてしまっていることが考えられます。このことについてアイデア例を掲載します。

6 水よう液の性質について調べるため、次のような【実験】を行いました。あとの問いに答えなさい。

【実験】

- ① 図1のように、3本の試験管を用意し、それぞれに炭酸水、食塩水、うすい塩酸を入れて、それぞれの液体のにおいを調べた。
- ② ①の水よう液をそれぞれ少量ずつとって、図2の青色の紙あや赤色の紙いにそれぞれつけて、水よう液が酸性かアルカリ性かを、紙の色の変化で調べた。
- ③ ①の水よう液にそれぞれアルミニウムを入れて、水よう液の変化を調べたところ、うすい塩酸に入れたアルミニウムからはあわが出ていた。しばらくすると、うすい塩酸に入れたアルミニウムは見えなくなった。

図1

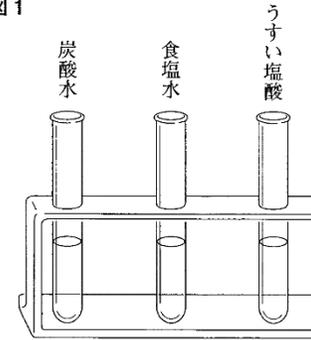
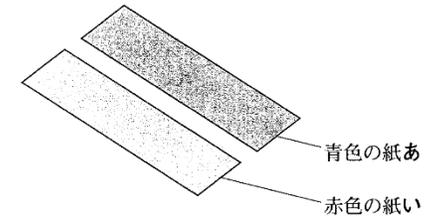


図2



- (1) 炭酸水と食塩水がそれぞれ入った試験管がどちらかわからなくなったとき、2つの水よう液を区別する方法として最も適切なものを次の1～4から1つ選んで、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 1 水よう液を観察し、色がついているかを調べる。
- 2 水よう液をろ過し、ろ過した液に固体が残るかを調べる。
- 3 水よう液を蒸発皿に少量入れて加熱し、固体が残るかを調べる。
- 4 水よう液のにおいをかいで、においがあるかどうかを調べる。

- (2) 【実験】の②で用いた、図2のような青色の紙あや赤色の紙いをまとめて何といいますか。解答用紙に書きなさい。

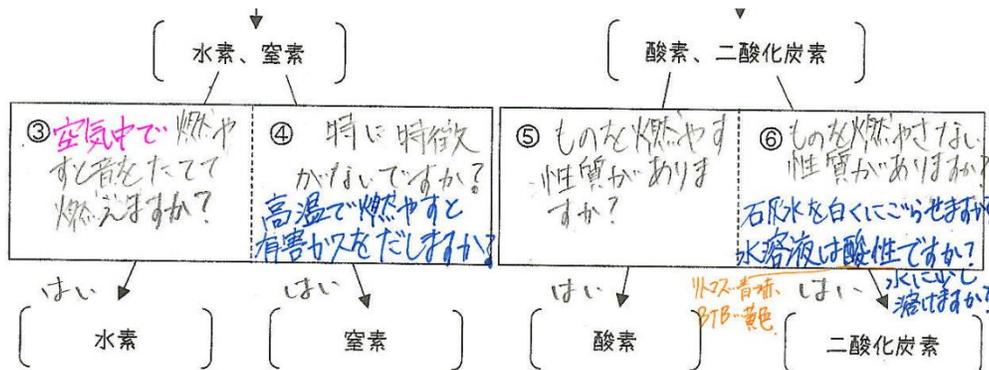
【授業づくりのアイデア例】

「気体を区別するフローチャートを作ろう」

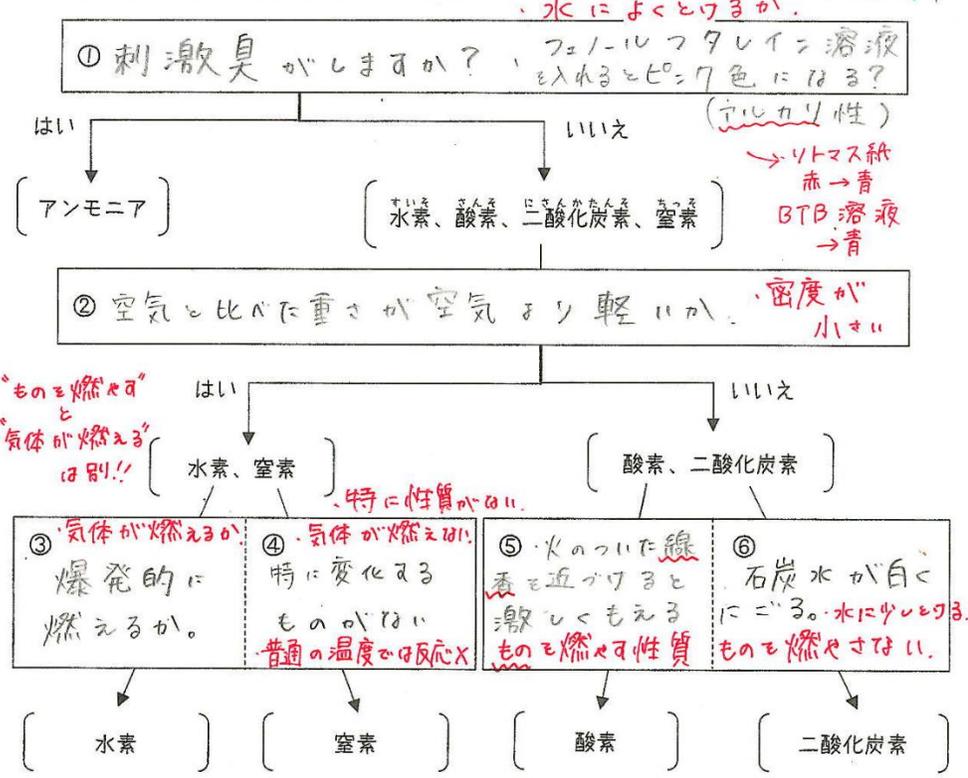
既習事項をフローチャートで整理し、実験の計画に知識・技能が活用できるようにする

様々な気体の性質を調べた結果をもとに、気体を区別するフローチャートを作成します。このことにより、どのような薬品が気体のどのような性質を調べることができるものなのか、知識を整理することができると考えられます。

また、作成したフローチャートを使って、身の回りのものから発生した気体を調べます。学習で得た知識・技能を活用して実験を計画することで、使用する薬品や器具の名称と役割を理解する必然性が生まれ、知識の定着を図ることができると考えられます。



● 酸素、二酸化炭素、水素、アンモニア、窒素の性質に注目して区別するフローチャートを作ろう。



- ☆次回の実験では・・・水素、酸素、二酸化炭素、窒素のどれか!?を探る。
- A: 発泡入浴剤 + 約40℃のお湯 ... お風呂で入浴剤を入れると出てくる気体は!?
 - B: レバー(血液のかわり) + オキシドール(消毒液) ... ケガの消毒をしたときの泡は!?
 - C: チョーク(卵の殻のかわり) + お酢 ... お酢に入れた卵の殻から出ている気体は!?

◎発生方法は【 B 】です!

◎発生させた気体の集め方は?

水上置換法で集める!

(水に溶けないから 空気より重いのから)

◎気体の確かめ方は? (何本集める?)

4本集める

- 火のついたマッチを近づける
- ・ 火のついた線香を中に入れる
- ・ 石灰水を入れてみる
- ・ BTB溶液を入れてみる (にがい・色)

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	61.7	89.5	73.6	54.4	29.1	60.4

全体の正答率は61.7%ですが、パターン判定はⅢでした。特に問題9-(3)の正答率においてA-D層の差が大きく、D層では問題の意味理解が難しかったことが考えられます。無回答率は全体で21.4%で、C層は22.1%、D層は57.5%でした。

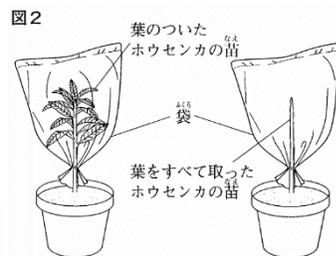
【問題9-(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	54.7	92.3	71.8	44.1	10.5	81.8

思考過程を言語化する活動の充実を図ることで、単純な知識ではなく生きて働く知識として、根拠に基づく説明や筋道立てた表現をすることで、思考が深まるものと考えられます。

ひな：葉のついたホウセンカの苗にかぶせた袋の内側にのみ水滴がついたということは、植物のからだの中の水はおもに植物の **あ** の部分から出ていくということですね。
 先生：その通りです。サボテンは、砂漠などの、乾燥していて水が少ない場所に生えていることが多い植物です。そして植物が育つためには水が必要です。これらのことから、サボテンには葉がないことで、どのような利点があるか考えてみましょう。

(3) 会話文中の下線部について、サボテンには葉がないことによってどのような利点があると考えられますか。サボテンのからだの外に出ていく水の量に着目し、解答用紙に書きなさい。



【授業づくりのアイデア例】

「マツの葉はなぜ細いのだろうか」

理科の見方・考え方を働かせ、多面的に因果関係を考えて自分の言葉で説明する

- ①知識の定着：植物の分類(双子葉類・単子葉類など)の特徴を正しく理解する。
 →根・茎・葉のつくりを観察・記録し、「見てわかる」分類基準に触れ、基礎知識を視覚的に習得する。
- ②思考の深化：観察した形に「意味がある」ことを自分で考え、理由を探る。
 →マツの針のように細い葉の形状やサボテンのトゲの役割などについて「なぜそうなっているのか？」という問いかけから、形と環境を結びつけて考える。
- ③表現力の育成：分類の根拠や形の意味を、自分の言葉で説明・記述する。
 →分類とその理由について、ペアやグループで説明し合ったり、記述したりする活動を通して、筋道立った説明ができるようにする。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	57.2	81.3	64.3	50.6	32.5	48.8

全体の正答率は57.1%で、A-D層の差が大きく、次にあげる問題1-(5)では76.8ポイントも差がありました。特にC-D層の差が大きく、D層の生徒の知識・理解の定着に課題が見られます。

【問題1-(5)の
正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	63.2	96.0	81.9	55.8	19.2	76.8

このような結果となる要因として、生徒が疑問をもち、規則性を見いだすことをせずに、言葉のみを覚えようとしてしまうことが考えられます。科学的な探究を通して、知識や技能が身に付く手立てを講じることが大切です。

- (5) 図3のように、光源装置からの光を半円形ガラスの点Oに向けてあてたところ、点Oで反射する光と屈折する光が見られました。その後、この光源装置からの光を点Oにあてながら、光源装置を^{くまび}の向きに動かしていくと、図4のように、やがて点Oですべての光が反射するようになりまし^{めい}た。このようなすべての光が反射する現象を何といいますか。その名称を解答用紙に書きなさい。

図3

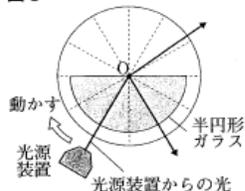
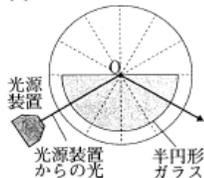


図4



【授業づくりのアイデア例】

「手回し発電機に電流を流したらどうなるのだろうか」

生徒が疑問を持つことで「電磁誘導」などの用語の概念的な理解や知識の定着を図る。

手回し発電機を豆電球につなぎ、ハンドルを回すと、豆電球が光ります。このことから、手回し発電機から電流が発生したことがわかります。

次に、その手回し発電機を電池や電源装置につなぎ、電流を流すとどうなるかを生徒に予想させます。



生徒は「ハンドルが回る」「本当に回るのかな？」と疑問に思います。そして、実際にハンドルが回りだす様子を見ると、「予想通りだ」「やっぱり不思議だな」と思考を巡らせます。

そのような活動を通して、モーターのしくみと発電機のしくみが同じ道具の表裏の関係にあることに気付いていくことで、「電磁誘導」や「誘導電流」などの用語の概念的な理解が深まり、知識の定着が図れると考えられます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	43.0	64.7	46.8	35.4	25.0	39.7

全体の正答率は43.0%でした。問9-(3)の正答率は次の通りで、D層においては、無回答率も38.6%と高く、音の高さと弦の長さの関係をうまく説明できない生徒が多くいました。

【問題9-(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	49.7	84.6	62.5	37.8	14.1	70.5

要因として、身近な道具や現象がどのような仕組みになっているのかを、学習した規則性等と関連付けて考えられているかということに課題があると考えられます。学習内容が日常生活のどのような場面に関わっているのかを、生徒自らがより意識するような授業展開、課題設定が必要だと考えられます。

(3) 図1のように、グランドピアノは左側のほうが大きくなっている理由を弦の長さに着目して考えると、どのようなことがいえますか。「鍵盤の左にいくほど、^{けんばん}」という書き出しに続けて、「音の高さ」と「^{げん}弦の長さ」という言葉を使って、解答用紙に書きなさい。

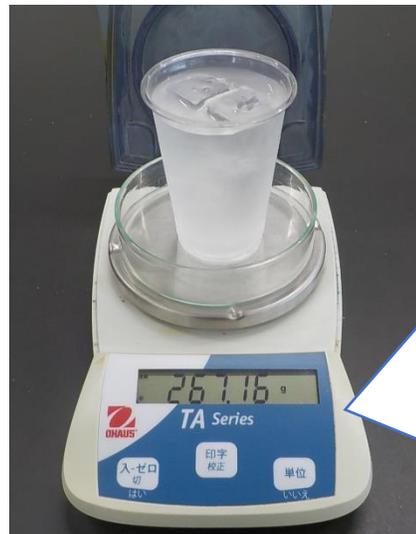


【授業づくりのアイデア例】

「どうすれば、結露が起きにくくなるか」

身近な現象である結露が起きにくくなる方法(素材)を、飽和水蒸気量の規則性と関連付けて考える

大気中の水の変化の学習のまとめとして課題に対して根拠をもった仮説を考えさせ、検証します。
<結露の度合いを比較するための実験(基本)>



- ① 電子天秤の上にシャーレを乗せ、その上に氷を入れたコップを置きます。
- ② 時間がたつと、電子天秤の値が大きくなります。
⇒ 水蒸気が水滴となって、容器に付着します。
- ③ 測定時間を決めて、値の増加量を比較します。

湿度が同じであれば、空気と容器表面の温度差が小さいほうが結露は起きにくくなります。氷水を冷水に変えたり、容器の素材を変えることで、結露の度合いは異なります。飽和水蒸気量の規則性と日常生活で起きる結露とを関連付けて考えることで、より深い理解につながります。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	60.0	87.9	70.8	51.6	29.9	58.0

全体の正答率は60.0%でした。次にあげる問題3-(2)アの正答率は次の通りになっており、選択式になっているもののC層とD層の正答率が低くなっています。

【問題3-(2)アの正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	57.2	93.0	72.8	42.5	22.5	70.5

このような結果となる要因として、質量保存の法則という理科用語を聞いたことがあっても、なぜ化学変化の前後で物質全体の質量が変化しないのかという本質的な理解ができていないことが考えられます。

(2) 化学変化の前後の物質の質量について調べるために、次のような【実験】を行いました。これについて、あとの問いに答えなさい。ただし、この実験で発生した気体は、容器のふたをゆるめるとすべて容器の外に出ていき、反応後の容器内には残っていないものとします。

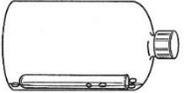
【実験】

- 図2のように、密閉できる容器にうすい塩酸を入れた試験管と石灰石を入れて、ふたを閉めて密閉し、電子てんびんで反応前の容器全体の質量をはかった。
- 図3のように、ふたをしたまま容器をかたむけてうすい塩酸と石灰石を混ぜ合わせたところ、さかんに気体が発生した。
- 気体が発生しなくなったあとに、電子てんびんでふたをしたままの容器全体の質量をはかった。
- 容器のふたをゆるめたあと、再びふたをして、容器全体の質量をはかった。
- 試験管に入れるうすい塩酸の質量は変えずに、容器に入れる石灰石の質量を変えて、①～④をくり返し、結果を表にまとめた。

図2



図3



表

石灰石の質量 [g]	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5
反応前 (①) の容器全体の質量 [g]	83.4	83.9	84.4	84.9	85.4
反応後 (③) の容器全体の質量 [g]	83.4	83.9	84.4	84.9	85.4
④で測定した質量 [g]	83.2	83.5	83.8	84.3	84.8

ア 【実験】の①と③の結果から、質量保存の法則が成り立つことがわかりました。【実験】の②の化学変化の前後で変化したものとして、最も適切なものを次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。

- 容器内の物質をつくる原子の組み合わせ
- 容器内の物質をつくる原子の種類
- 容器内の物質をつくる原子の質量
- 容器内の物質をつくる原子の総数

【授業づくりのアイデア例】

「さまざまな事例とその結果から現象を自分のことばやイメージで表現してみよう」

目の前で起きた事象に対する気づきから推論し、本質的な理解へ結びつける

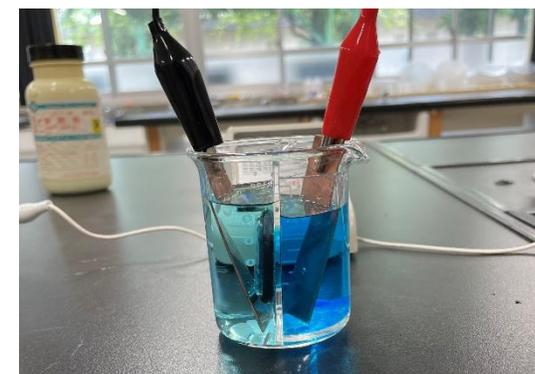
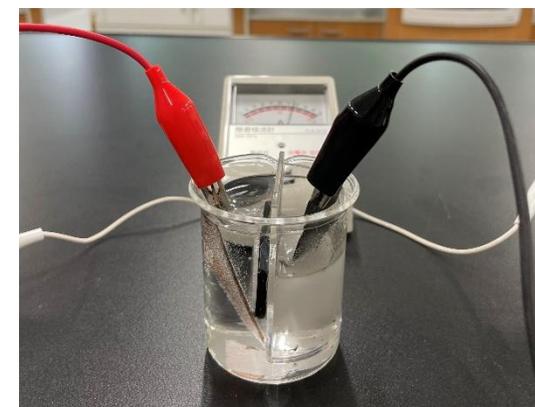
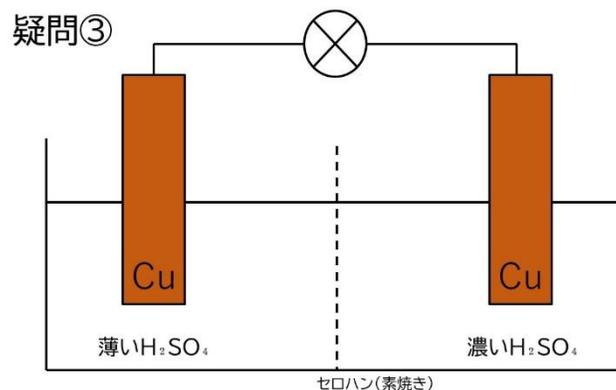
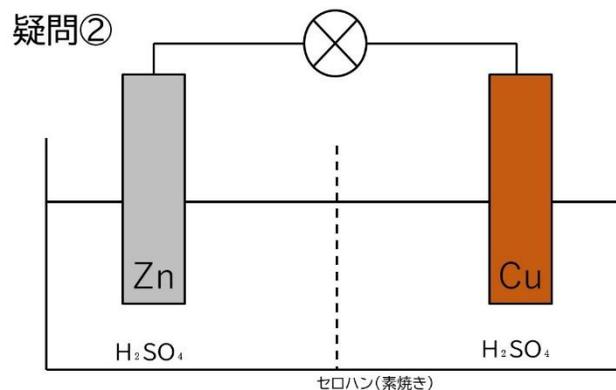
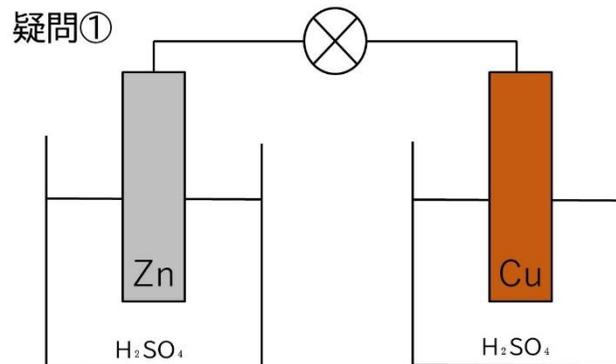
歴史の偉人の実験を手伝う設定をすることで、生徒の知的好奇心を喚起し、内発的動機付けを図ります。そして電池にまつわる3つの疑問をGIGA端末を用いて班やクラスで結果を共有しながら解決していきます。

【疑問①】電池のビーカーを2つに分け、電極をそれぞれ入れると電流は流れるだろうか。

【疑問②】電池の一方の電極をセロハンで仕切ったとき、電流は流れるだろうか。

【疑問③】疑問②の実験で、電極が同じ金属でも水溶液の濃度が違う場合、電流は流れるだろうか。

目の前で起きている現象に対してイオンや電子といった目には見えない粒の動きを推論することで、本質的な理解につながると考えられます。



※濃さの違いがわかるように硫酸銅水溶液を使用

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	37.6	72.4	42.4	23.5	12.0	60.4

全体の平均正答率は37.6%でした。【思考・判断・表現】を問う問題は全部で6問あり、その中でも短答式、記述式の無回答率が高かったです。またA-B層の差もあり、多くの生徒に課題がありました。

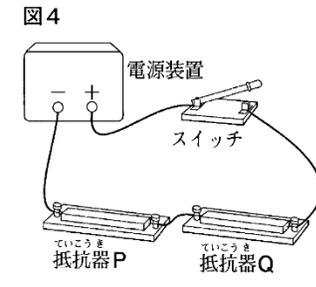
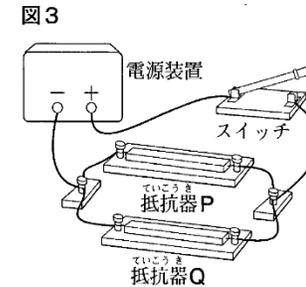
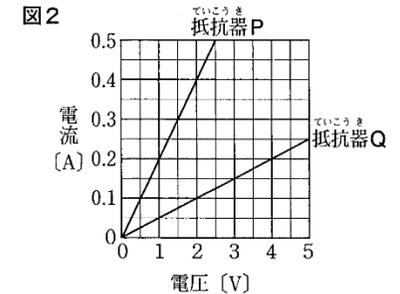
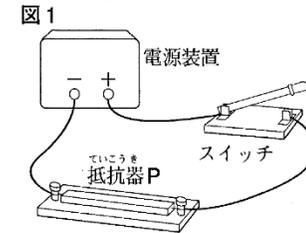
【問題4-(3)の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	23.4	63.9	23.0	6.1	0.5	63.4

B層、C層、D層の正答率が低い要因として、電力(W)を求めるだけでなく、並列回路の電流・電圧の関係やグラフの読み取り方など、多くの知識を活用しなければならないことが挙げられます。

【実験】

抵抗器Pと電源装置、電圧計、電流計、スイッチを用いて図1のような回路をつくり、電源装置の電圧を変えて、抵抗器Pに加わる電圧の大きさと、抵抗器Pに流れる電流の大きさの関係を調べました。次に、図1の抵抗器Pを抵抗器Qにかえて同じ操作を行いました。それぞれの抵抗器に加える電圧の大きさと流れる電流の大きさをグラフに表したところ、図2のようになりました。また、抵抗器P、Qを使って、図3、図4のような回路をつくりました。



- 【実験】で、抵抗器を流れる電流の大きさは、加える電圧の大きさに比例していることがわかりました。このような関係を何の法則といいますか。その名称を解答用紙に書きなさい。
- 図3の回路全体における抵抗の大きさと、電流の流れやすさを、図4の回路と比べたものとして、最も適切なものを次の1～4から1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。
 - 全体の抵抗の大きさは図4の回路より大きく、全体の電流は図4の回路より流れやすい。
 - 全体の抵抗の大きさは図4の回路より大きく、全体の電流は図4の回路より流れにくい。
 - 全体の抵抗の大きさは図4の回路より小さく、全体の電流は図4の回路より流れやすい。
 - 全体の抵抗の大きさは図4の回路より小さく、全体の電流は図4の回路より流れにくい。
- 図3の電源装置の電圧を2Vにしてスイッチを入れました。このとき、回路全体で消費される電気エネルギーの大きさ（電力）は何Wですか。解答用紙に書きなさい。

【授業づくりのアイデア例】

「GIGA端末を利用してグラフを作成し、異なる運動の比較をしてみよう」

実験を通して、思考力と表現力を高める

実験Ⅰ

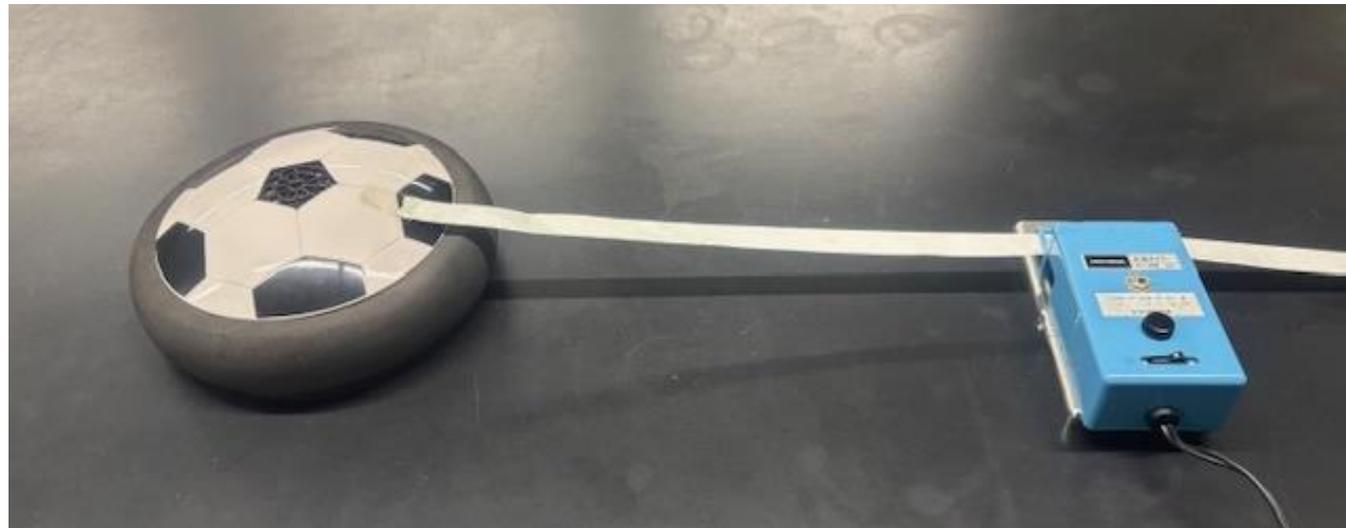
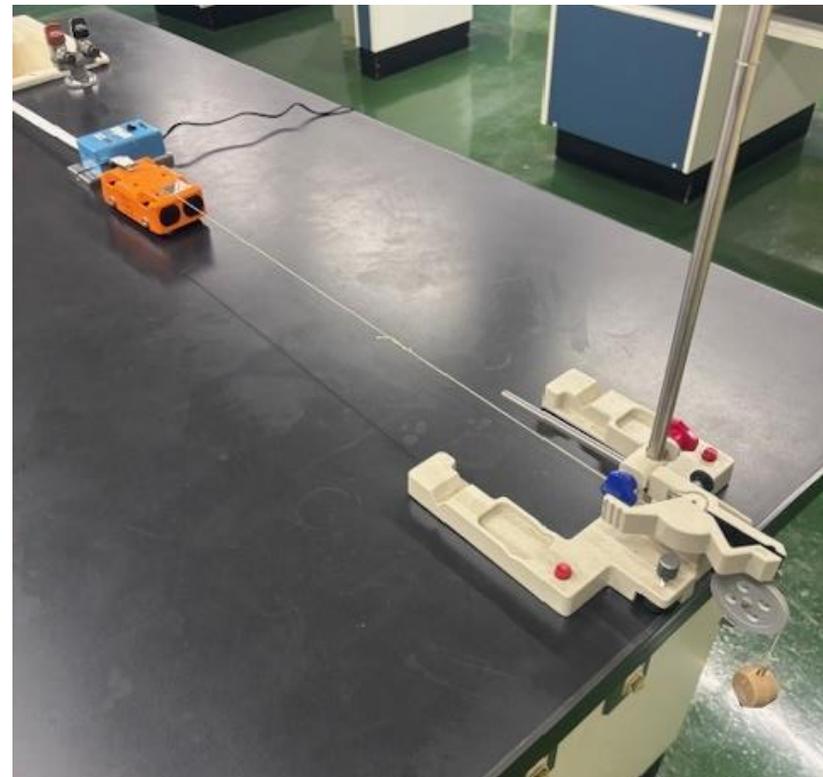
- ①力学台車を記録テープにつなぎ、滑車を使って、一定の力が加わるように装置を用意する。
- ②記録テープの結果から0.1秒ごとに進んだ距離をGIGA端末を用いて入力する。

実験Ⅱ

- ①空気ので浮かぶホバーサッカーボールを使って、床との摩擦を限りなく少なくし、力がはたらかないときの運動を再現する。
- ②記録テープの結果から0.1秒ごとに進んだ距離をGIGA端末を用いて入力する。

グラフを作成するときには、GIGA端末のスプレッドシートを活用し、値を入力すると各班で計測した結果の平均値とグラフを書き出せるようにしておくことで、思考を深めたり、言葉で表現する時間を確保したりすることができます。

この実験は、斜面上の物体の運動の学習にもつなげることができます。



主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】

どうやって問題を解決したらいいかを見通しを持って取り組もうとしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	79.5	89.4	84.0	77.0	67.5	21.9
令和7年度・中2	74.6	86.5	80.0	70.6	61.5	25.3
令和6年度・中1	77.3	87.6	80.1	75.0	66.5	22.1
令和7年度・中3	76.2	88.1	81.7	73.8	61.0	27.1
令和6年度・中2	71.8	83.9	76.6	66.8	59.8	24.1
令和5年度・中1	79.2	87.7	83.4	78.7	66.8	20.9

実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	81.7	92.3	87.7	78.0	68.4	23.9
令和7年度・中2	77.7	87.9	82.0	75.2	65.5	22.4
令和6年度・中1	80.4	91.1	84.9	78.8	66.4	24.7
令和7年度・中3	80.5	88.2	85.2	79.4	69.0	19.2
令和6年度・中2	75.6	86.2	79.3	73.3	63.5	22.7
令和5年度・中1	79.9	90.5	84.0	78.3	66.6	23.9

【分析結果】

「どうやって問題を解決したらいいかを見通しを持って取り組もうとしている。」の設問では、中2で減少し、中3で回復しますが、A-D層の差は学年が上がるごとに増加しています。また、どの年度、学年でもA-D層の差が20ポイントを超えています。特に中1の授業において、生徒が見通しをもてるような授業の工夫が必要です。

「実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。」の設問でも、中2で減少し、中3で回復していますが、こちらは、学年が上がるとともにA-D層の差の値が減少しています。内訳としては、D層のポイント上昇が大きく貢献しており、A層は伸び悩む結果となりました。

これらのことから、多くの場面で、D層だけでなくA層も含めた全員が主語となる授業を目指し、個別最適な学びを意識した授業改善をすることが大切だと考えられます。

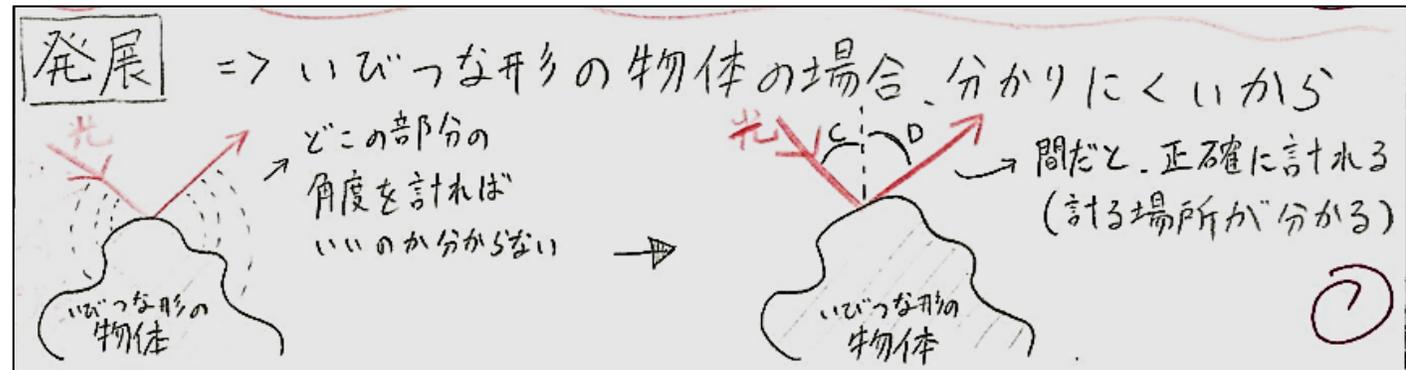
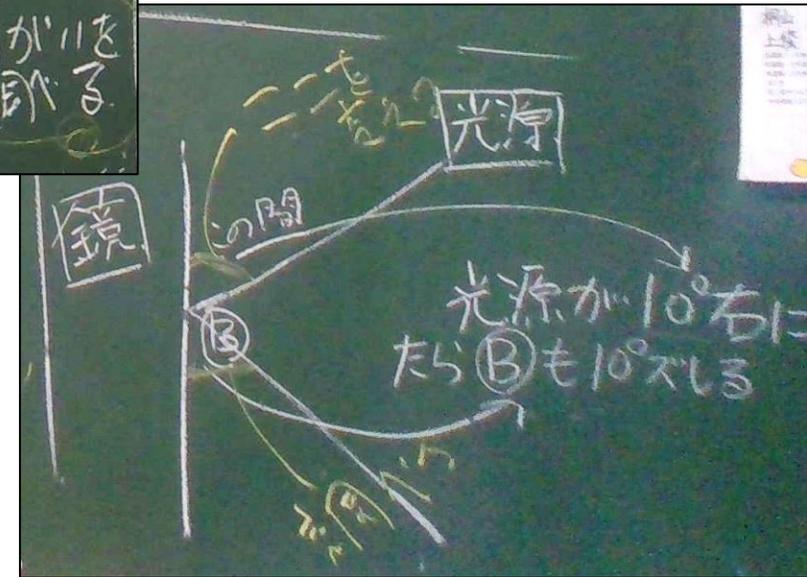
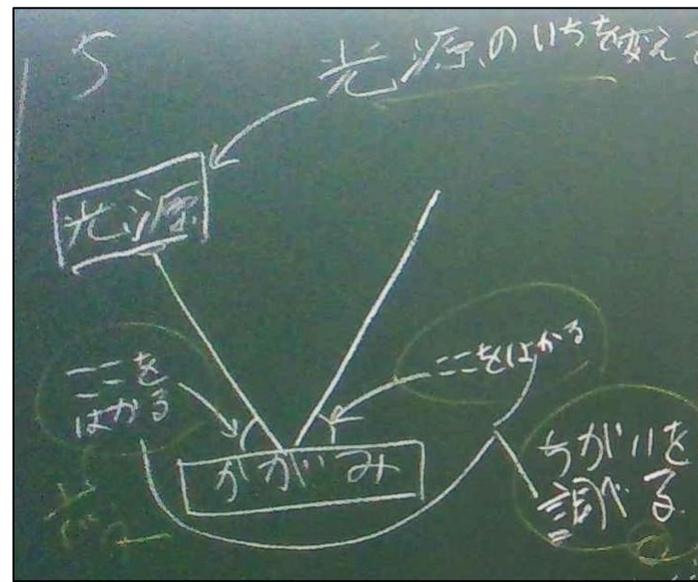
【授業づくりのアイデア例】

「反射の法則を自分なりに見出してみよう」

自分自身で注目する「角」を定めることで、主体的に取り組むことができるようにする

この単元について、教科書には、導入で鏡を用いて、光がはね返る時の様子を観察する活動に始まり、鏡を複数利用して光の道筋に興味をもつ活動へと続きます。その後は、反射の規則性を調べる実験へ授業が展開されます。教科書に記載の実験では入射角を変化させますが、生徒は、反射面と入射光の間の角に着目しています。教師はそのような生徒の思考に沿った授業展開をすることが大切で、そのような授業によって生徒自身に主体的に仮説を検証する姿勢を芽生えさせることとなります。

単元の終わりに正しい「入射角」の意味を伝えるとともに、「なぜ入射面に対して垂直な線と光の間の角を利用するのか」という疑問を発展的に扱い、生徒に考えさせることによって、言葉の定着をさらに深められると考えます。



意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】

理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	83.6	94.6	89.2	82.6	68.1	26.5
令和7年度・中2	81.2	89.3	86.0	81.3	69.3	20.0
令和6年度・中1	77.3	93.4	88.4	83.0	68.9	24.5
令和7年度・中3	76.2	90.0	89.8	86.7	75.3	14.7
令和6年度・中2	71.8	88.8	85.7	79.8	68.1	20.1
令和5年度・中1	79.2	92.5	88.2	80.2	67.0	25.5

理科の授業で、実験や調査が終わった後に、気づいたことや、新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	75.2	86.2	79.4	73.8	61.5	24.7
令和7年度・中2	73.2	81.2	78.5	72.5	61.3	19.9
令和6年度・中1	75.1	85.4	79.7	73.3	62.2	23.2
令和7年度・中3	77.3	84.5	82.0	77.6	66.4	18.1
令和6年度・中2	72.2	81.7	76.1	70.9	61.7	20.0
令和5年度・中1	73.5	82.8	78.8	71.8	60.3	22.5

【分析結果】

「理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立てたり結果を予想したりしている。」では、多くの母集団でA-D層の差が20ポイント程度ありますが、D層を中心に学年が上がるにつれてポイントが上昇し、その差が小さくなる傾向にあります。「理科の授業で、実験や調査が終わった後に、気づいたことや、新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。」についても同様に、学年が上がるにつれてA-D層の差は小さくなります。

また、どちらの設問でも中1から中2で値が減少する傾向が強いこともわかります。小学校と比べ学習内容の複雑性や抽象性が増すことが要因として考えられます。一方で、中2から中3で値の増加がみられます。科学的に探究する学びを大切にしたい授業改善がなされていると考えられます。全体の数値としては実験後の方が低い値が出ていることから、実験後の活動に注視する必要があります。

意識調査の分析とアイデア例

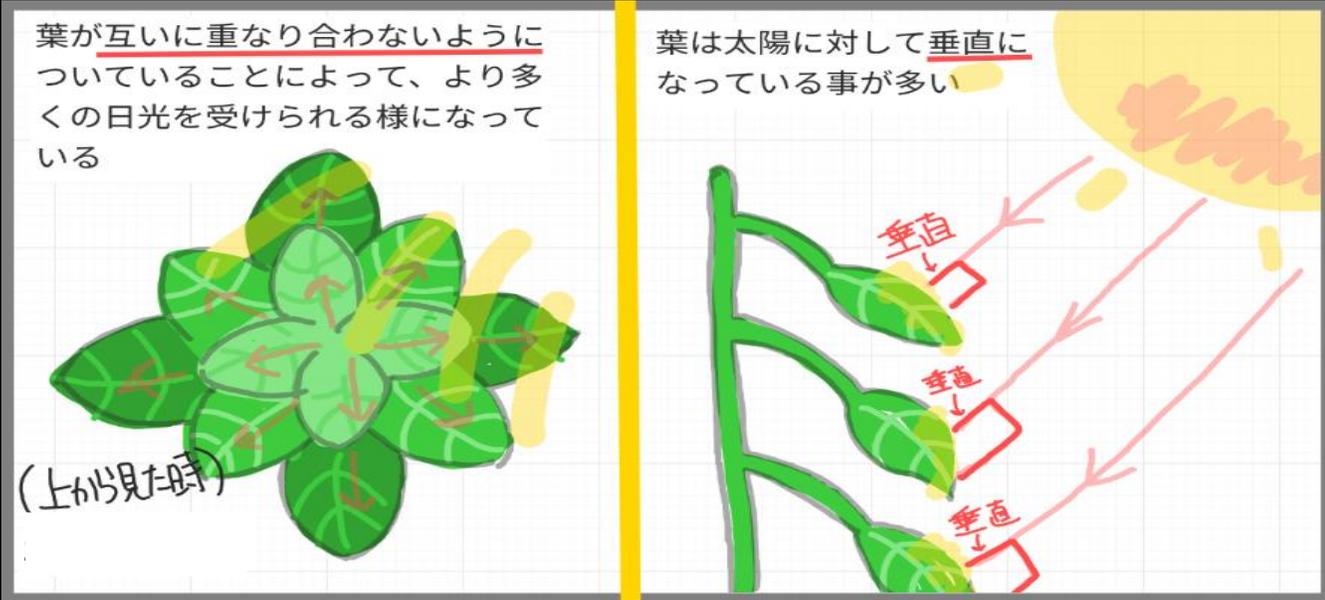
【授業づくりのアイデア例】

「オクリンクを使って丁寧にまとめてみよう」

授業後のまとめ学習では教科の学習内容に加えて「まとめ方」を指導する

葉の付き方には栄養分を作りやすくするための工夫があります。それらについて、調べたこと、気付いたこと、新しい疑問などについて話し合う場面では、例えば、ミライシードのオクリンクを利用して、自分でまとめあげる授業展開が考えられます。まとめる際には、図の大きさ、図の向き、色の使い方、一番伝えるべき内容の整理などを通して「まとめ方」を指導します。

発表活動は、グループの中心的な生徒だけでなく生徒一人一人ができるようにし、最後は必ず個人が振り返るようにすることが大切です。生徒一人一人が自分でまとめあげたという意識や自信を芽生えさせるよう、GIGA端末でいつでも他者参照できるようにしたり、プリントアウトして掲示したりするような環境づくりをすることが大切です。



第2章 II 6 中学校 英語科

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	93.8	100.0	100.0	94.3	80.7	19.3

聞くことの領域でA-D層の差が平均20ポイントとなりました。書くことに関しては、A-D層で平均22.6ポイントの差がありました。

【大問6小問1の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	93.1	100.0	100.0	95.4	76.7	23.3

書くことの領域でA-D層の差が23.3ポイントと最大なのが“dog”を書く問題でした。文字を正確に書く力の定着を図る必要があります。

例題 次の絵を表す語の文字を、四線に正しく書き写しなさい。



milk

(1)



dog

〈解答用紙の記入例〉

例題
	milk

【授業づくりのアイデア例】

「書く」力の育成のための教科書の活用と楽しく取り組める活動の工夫

①教科書の活用

Unit1GoalのALTに向けた自己紹介カードを書く活動に向かって、単元指導計画の中で相手を替えて自己紹介を書く活動を繰り返し、自己紹介に必要な単語等を書く場面の設定が大切です。

②ワードビンゴ

枠内にアルファベットや単語、英文等を書かせ、教員が発音したものに○を付けさせます。書く時間を決めることで早く書けるようになります。

③英単語しりとり

制限時間内に黒板やプリントに英単語をしりとりで書かせます。「チョークは一本のみ」等のルールを入れることで活動が活発になります。また、書かせたままにせず、生徒同士の相互評価や教員からのフィードバックを通して正確に書けるようにすることが大切です。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	85.5	100.0	85.7	85.9	66.3	33.7

思考・判断・表現の全ての問題においてA層の正答率が100%に対し、D層は66.3%とA-D層の差が33.7ポイントとなりました。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	78.2	100.0	90.3	76.3	43.1	56.9

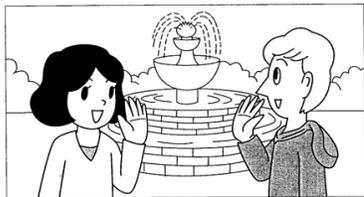
【大問3小問1の正答率】

「What time ~ ?」と聞かれて正しく答える問題がA-D層の差が56.9ポイントで最も差が開いた問題となりました。日常的によく使われる時間に関する表現の理解が不十分であると考えられます。

■ この問題は、(1)~(3)のそれぞれの絵の場面での問いかけに対する答えを選ぶ問題です。それぞれの絵について、まず問いかけが放送され、続いて答えが1~4まで4つ放送されます。1~4の英語の文から、絵の場面での問いかけに最も合っている答え方を1つ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい

(1) 公園で、メアリーとタロウが話しています。

例題 カナとポールが公園で会い、話しています。



1
2
3
4



【授業づくりのアイデア例】

疑問詞の理解を深める
教師—生徒のインタラクションの充実

① Small Talk

Small Talkで、例えば“What time ~ ?”を使った様々な内容の違いを理解させるように仕掛けます。単語のみで答えた生徒には教員が正しい英文でリキャストしたり、ヒントを与えるなど、文で答えさせることが大切です。

② 教科書&振り返りシートの活用

教科書のLet's Talk!を活用し、疑問詞を使ったペアワークを行うことができます。その際にも、質問に対して文で答えさせることが大切です。また、振り返りシートで自身の活動内容を振り返ることで成果や課題を認識させ、次の活動につなげることに繋げることができます。その他にも、授業中繰り返し生徒に質問を投げかけたり、タスクを入れたりするなど、普段から疑問詞を用いた質問文の内容を理解し答えようとする習慣を身に付けさせることが大切です。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	70.7	95.4	83.8	65.7	37.7	57.7

平均正答率は70.7%で、A-D層の差は57.7ポイントでした。C-D層の差が28ポイントと大きくなっています。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	73.6	98.0	91.9	69.8	34.7	63.3

【大問1小問B2の正答率】

「どこで～しますか」を聞き取る問題でした。リスニング問題の中で最もA-D層の差が大きく、63.3ポイントとなりました。A、B層のほとんどの生徒が正しく答えられています。D層の生徒は何を尋ねられているのかが理解できていない可能性があります。

これから、英語の質問と、その質問に対する答えの文を3つずつ放送します。質問に対する答えとして最も適するものを1つずつ選び、解答用紙の番号に○をつけなさい。それでは、始めます。（1秒）

かつこに
(2)
F: Where do you play basketball? (1秒)

いち
1
M: I play basketball every day. (1秒)

に
2
M: I play basketball in the gym. (1秒)

さん
3
M: I play basketball with my friends. (1秒)

【授業づくりのアイデア例】

教科書の内容を生かした
「聞く」力を育成する指導の充実

- ①教科書を活用した生徒とのインタラクション
教科書本文のドラマを見る前に、それまでの物語の流れや、どんな場面かをイラストを表示しながら復習することが効果的です。
例えば“Who’s this boy?” “What are they talking about?” など教師が意図的に疑問詞を用いた英文を使いながら慣らしていきます。このような練習を繰り返し行うことで、質問の内容を理解することができるようになります。

②教科書のリスニング問題の活用

教科書に記載されているリスニング問題ではコミュニケーションの目的、場面、状況が明確に設定されています。そこで、既存のリスニング問題に加えて、教師が用意した質問に答えさせることにより、生徒に疑問詞に慣れさせるためのより多くの場面を作ることができます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	55.8	90.2	65.4	41.9	25.8	64.4

平均正答率は55.8%で、A-D層の差が64.4ポイントでした。また、A-B層の差が24.8ポイントと大きくなっています。

【大問4小問1の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中2	24.8	75.0	21.4	2.8	0.0	75.0

英文を書く問題ですが、B-D層の正答率が30%を下回っており、特にD層の無解答率が75.0%で、解答した生徒でも正答者がいないということがわかります。一から英文をつくることに抵抗があったり、何を解答すればよいかわからなかったりする生徒が多いのではないかと考えられます。

4 次は、女性(woman)とユウジ(Yuji)の公園での会話です。自然な会話の流れになるように、(1)、(2)にそれぞれ3語以上の英語で書きなさい。(2)は **baseball** という語を使うこと。



Yuji Woman

Woman : I *found this ball there.
 (1) ?
 Yuji : It's mine.
 Woman : *Be careful. Look at that *sign.
 (2) in this park.
 Yuji : I didn't know that. I'm sorry.

(注) found : find (~を見つける)の過去形
 Be careful : 気をつけて。 sign : 看板

【授業づくりのアイデア例】

教師の英語使用の充実や「話す」と「書く」をつなげた英語の正確さの指導の充実

① Classroom English の充実

生徒がClassroom Englishの内容を理解できずに活動が止まってしまったとしても、日本語で言い直しをせず、簡単な英語で言い直したり、聞き取ってほしいところを強調して言うなどの工夫ができます。

また、例えば、教室内の落し物は“Whose ○○ is this?”と質問し、何度も生徒に触れさせることができます。この際に“Whose ○○?”でもコミュニケーションはとれますが、より丁寧で正確な英文を身に付けさせたいため、まずは教師が正確な英文で話し、何度も繰り返して使用することが大切です。

② SpeakingからWritingへ繋げる

教師と生徒、生徒同士で1つの話題についての双方向のやりとりが生まれた際に、対話の流れを書いてみることによって更に定着が図れます。

【知識・技能】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	66.8	94.7	80.6	59.6	32.4	62.3

平均正答率は66.8%で、A-D層の差が62.3ポイントとなっています。また、C-D層の差が29.9ポイントと大きくなっています。

【大問2小問3の
正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	47.4	93.4	64.5	28.4	3.4	90.0

書くことの領域で最もA層とD層の差があったのが英文に合う単語(answer)を書く問題です。A層が93.4%の正答率に対し、D層は3.4%と低い正答率となっており、昨年度同様、大きく差が開いています。

2 次の(1)~(3)の英文が正しくなるように、文中の()に最も適する英単語を書きなさい。ただし、単語の始まりと終わりは与えられている文字とし、□には1文字ずつ入るものとします。

- (1) Kate has a sister, but she doesn't have a (b □□□□□ r).
- (2) The first month of the year is (J □□□□□ y).
- (3) My (a □□□□□ r) to your question is "Yes."

【授業づくりのアイデア例】

言語活動中心の授業を支える
語彙の指導の充実

①新出語彙の導入について

語彙力は4技能の向上にも密接に関わっています。新出語句の最初の指導において、英語を示してすぐに日本語の意味を提示することは避けるようにします。文脈の中や学習者の身近な話題との関係で提示するなど、毎回の帯活動で繰り返し「意味・発音・スペル」の3つを結び付け、指導する工夫が求められます。

②新出語彙の活用方法

口頭でのやりとりの見取りを行う中で、発音などのエラーが見られた際に、フォニックス指導を行うなど日常的な指導が必要になります。

また、日々の帯活動で生徒が楽しんで取り組めるドリル活動を取り入れるなど、言語活動⇔ドリル活動のサイクルを意識した授業づくりが求められます。

思考・判断・表現の分析と授業づくりのアイデア例

【思考・判断・表現】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	60.1	94.3	75.2	47.6	23.1	71.2

平均正答率は60.1%で、A-D層の差が71.2ポイントとなっており、特にB-C層の差が27.6ポイントと大きくなっています。

【大問5小問B2の正答率】

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中3	58.7	95.5	83.4	48.6	7.2	88.3

大問5小問B2「夏祭りへ行く理由を述べる」ではA層は95.5%と高い正答率なのに対し、D層は7.2%と差が88.3ポイントとなっています。

B あなたは、夏に体験できる日本らしいことを調べているクラスメイトの留学生に、あなたの町で予定されているイベントを紹介しなさい。絵に合うように、下の①、②の()に次の【条件】に従って適切な英文を書きなさい。

【条件】

- ①には、下の絵が表すイベントに行くべきだと伝える英文を、the summer festival を使って、主語と動詞を含む6語以上で書く。
 ②には、その理由を述べる英文を、fireworks (花火) を使って、主語と動詞を含む4語以上で書く。



(①)



(②)

【授業づくりのアイデア例】

スモールステップを踏んだ継続的な指導とGIGA端末を活用した中間指導の充実

①スモールステップでの習得

書くことの領域の向上のためには中学校3年間を通して継続的かつ日常的に行う帯活動等において、初めから高い目標を設定せず、「インプットの強化」→「モデル文を真似る」→「アウトプットの練習(書く・話す)」と段階を踏んだスモールステップで少しずつ習得できるようにする必要があります。

②GIGA端末の活用

GIGA端末でミライシード内にある「オクリンク」や「FigJam」等を使いながら、相互参照をしたり、お互いのエラーを発見し、クラス全体で共有したりするなど、教師の一方的な教え込みだけではなく、生徒自らの主体的な学びに繋がる活動が求められます。

主体的に取り組む態度の分析とアイデア例

【質問内容】 質問番号4

「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。」

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	69.0	78.7	69.2	69.0	56.4	22.3
令和7年度・中2	66.1	81.3	72.4	61.9	48.6	32.7
令和6年度・中1	66.6	77.2	67.1	64.0	53.6	23.6
令和7年度・中3	67.5	82.8	74.2	64.6	48.3	34.5
令和6年度・中2	63.5	78.5	71.1	58.7	45.4	33.1
令和5年度・中1	65.3	78.8	68.1	61.2	52.8	26.0

【分析結果】

2年間または3年間の経年変化を分析した結果、1年次には、どの年度でもA層とD層の差が平均25ポイント程度なのに対し、2年次には差が32ポイントを超え、3年次の差は2年次とほぼ変化が無いことがわかります。このことから、1年次にはどの層でも比較的意識できていたことが、学年が上がるにつれ、意識の差が広がったと考えられます。この結果から、簡単な話題について相手に話す・伝える活動を3年間を通した継続的な学びとして行い、その習慣を身に付けることが必要だと考えます。

【授業づくりのアイデア例】

分析結果から意識改善へ繋げるためには3年間を通した帯活動の工夫と活用が有効です。会話活動に限らず、書くことも含め、自分の考えを表現する機会を日常的に設けることで、習慣化につながると考えます。

具体的な例として、会話活動や書いて表現する帯活動を行う際には、好きな事や相手に伝えたい最近の出来事など、シンプルかつ関心をもてる話題を設定し、意欲を引き出しながら活動する必要があります。また、活動の途中や活動後に、その日に活用した表現や、表現できなかったことを振り返り、適切にフィードバックを行うことで表現力の向上につながります。

さらに、学年や習熟度に合わせ、話題や表現方法の難易度を適切に設定し、3年間を見通した段階的な学習計画のもとで帯活動を行うことが、成功体験となり、自己表現への自信に繋がります。

帯活動とフィードバックを3年間継続的に行うことで、自分の考えを相手に伝えることが習慣化され、お互いに理解できる表現を使用し、相手に伝わるように話すことや書くことも意識的にできるようになるでしょう。

意識調査の分析とアイデア例

【質問内容】 質問番号30

新しく習ったことは、何度も繰り返して練習している。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	52.4	64.0	55.5	48.9	41.3	22.7
令和7年度・中2	48.8	63.2	55.1	42.5	35.0	28.2
令和6年度・中1	54.1	65.4	57.9	49.4	43.6	21.8
令和7年度・中3	56.1	70.5	62.0	51.6	41.3	29.2
令和6年度・中2	50.1	62.1	55.9	45.7	37.1	25.0
令和5年度・中1	57.7	66.4	60.4	56.2	47.8	18.6

【分析結果】

どの年度においてもA層とD層の差が大きく、各層においての意識の差につながっています。また経年で結果を見ると、学年が上がるにつれて、A層とD層の意識の差が開いている状態です。このことから、学習した内容を復習したり、授業や家庭学習の中で、書いたり、話したりしながら繰り返し既習事項に触れようとする意識や機会に差が生まれていると考えます。そのため、学習したことを振り返りながら授業を進められるよう、意図的に復習や繰り返し学習の機会を作ることが重要だと考えます。

【授業づくりのアイデア例】

授業づくりにおけるポイントとして、各UnitのGoal活動の活用があげられます。

教科書の各Unitに設定されているGoal活動では、それぞれのUnitで学習した内容を包括的に活用し、活動できるように設定されています。そのため、Goal活動を行うことで、学習した内容を繰り返し学習する機会が必然的に設定されます。

Goal活動を通して、話したり、書いたりする活動に取り組ませる際には、活動に取り組む前に、Unitで学習した表現を再度全体で振り返る必要があります。また、活動の経過途中には、生徒が使用している表現について生徒へのフィードバックを行えるよう工夫することや、活動後には、生徒自身で自分の表現を振り返る機会を設けることで、単なる繰り返しにならず、表現力を強化しながら活動を行うことができます。

また、意図的に繰り返し学習を行う機会を作るためには、Goalまでを見通した単元計画も大切です。学習した単語や表現を使って話したり、書いたりする機会を毎時間の授業の中に組み込み繰り返し触れることで、知識の定着にもつながると考えます。

第2章 II

4 中学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

中学校全般を通しての状況と授業改善のポイント

【状況】

- 知識・技能を習得する際に、その意味や方法について、他の学習内容との関連や、それとの違いなどについて思考することを通して、学習を進めることが必要です。
- 問題文などから与えられた条件、状況に対し、既習と比較してどのようなつながりがあるのかを考えたり、条件や状況に合わせて自分が考えたことやその思考の流れを伝えたりして、知識・技能を活用して説明するなどの活動を行えるよう支援していくことが必要です。

【授業改善のポイント】

- 概念的な理解に向けて、言語や数量、図形、事象などの見方・考え方を働かせた協働的な学び取り入れた授業の充実を図ることが大切です。
- 単元や題材などの時間のまとまりをデザインする際は、身に付けさせたい資質・能力を明確にすることが重要です。その際、各教科の見方・考え方を働かせた深い学びが実現できるよう、言語活動の充実などを行うことが大切です。
- 知識・技能の定着を促すには、理解することだけに留めず、学習したことを日常生活や他の学習で活用することを通して、わかる楽しさを実感できるようにすることが大切です。また、生徒が主体的に知識・技能を獲得していく学習場面を設定することが大切です。
- 習得した知識・技能を活用して課題解決を図る場を設定することが大切です。その際、「何故そうなるのだろう」「どのようにしたらよいのだろう」という問いを大切にすることが重要です。
- 生徒が考えを伝え合い、課題解決に向かう場面の設定が必要です。また、自己の学びを振り返り、学習内容のつながりを考えたり、さらに発展させて考えたりすることを、単元や題材など内容や時間のまとまりの中で計画的に位置づけて行うことが大切です。

第2章 Ⅱ 5 他教科等の分析と手立て

中学校 音楽

【教科の理解度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	75.4	79.0	79.6	74.8	68.3	10.7
令和7年度・中2	71.5	74.3	73.0	72.7	66.6	7.7
令和6年度・中1	75.0	79.8	76.5	75.1	68.7	11.1
令和7年度・中3	70.1	73.2	71.0	70.8	65.4	7.8
令和6年度・中2	73.0	75.5	74.0	75.4	67.7	7.8
令和5年度・中1	74.2	78.6	75.5	74.9	67.9	10.7

【教科の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	70.5	75.1	73.5	69.3	64.0	11.1
令和7年度・中2	65.6	66.6	65.5	66.6	63.9	2.7
令和6年度・中1	68.8	74.2	69.5	67.5	64.3	9.9
令和7年度・中3	67.7	67.6	67.8	69.2	66.2	1.4
令和6年度・中2	66.2	66.2	66.0	68.5	64.3	1.9
令和5年度・中1	68.7	73.7	68.9	68.8	63.4	10.3

【分析結果】

理解度では、肯定的な回答は、全学年で7割を超えています。どの学年もA層からC層に大きな差は見られませんが、C層とD層の間に差が拡大していることがわかります。同一母集団の経年変化に着目すると、中1から中2及び中2から中3ではすべての層で理解度が減少していることから、音楽科の学習に苦手意識をもって生徒への一層の手立てが必要と考えられます。

好感度では、A層-D層の差が大きく開いていないことがわかります。学習の得意不得意に関わらず、全ての生徒が音楽活動の楽しさを体験することを通して学びを進める教科の特徴が表れています。

【授業づくりのアイデア例】

音楽科では、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目標としています。生徒が音楽科の学習を通して資質・能力を身に付けるためには、幅広い活動を通して音楽活動の楽しさを体験することが大切です。その際、音や言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けることは、表現及び鑑賞を深めていく際に重要であり、理解度の向上につながります。また、生徒が学習の中で思考・判断のよりどころとする「音楽を形づくっている要素」を精選することは、生徒が主体的に教材である音や音楽に向き合い、「わかった」と実感することへとつながります。

中学校 美術

【教科の理解度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	66.9	71.0	69.7	66.4	60.6	10.4
令和7年度・中2	74.1	75.6	76.0	74.7	70.3	5.3
令和6年度・中1	66.7	71.4	67.6	66.5	61.3	10.1
令和7年度・中3	71.5	74.2	71.4	72.6	68.6	5.6
令和6年度・中2	75.1	75.3	77.8	77.5	70.2	5.1
令和5年度・中1	67.5	70.5	70.0	67.4	62.2	8.3

【教科の好感度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	66.3	65.3	67.9	67.5	64.8	0.5
令和7年度・中2	67.8	66.5	67.7	69.4	69.7	-3.2
令和6年度・中1	65.8	65.4	66.2	65.9	65.6	-0.2
令和7年度・中3	66.6	65.0	66.0	69.7	65.5	-0.5
令和6年度・中2	68.4	66.0	70.3	69.9	67.5	-1.5
令和5年度・中1	64.7	64.9	66.5	64.8	62.5	2.4

【分析結果】

理解度は、全ての母集団で、中1から中2にかけてA-D層の差が小さくなる傾向があります。誰もが豊かに表現したり鑑賞したりできるように授業を工夫している結果だと考えられます。

好感度は、令和7年度の中2、中3ともに、中1から中2にかけて上がる傾向が見られます。また、どの学年もA-D層の差が小さいことが特徴だといえます。好感度の結果について見方を変えると、残りの約33%の生徒は、「好き」ではないと回答していることになります。このことを36人の学級に置き換えると、およそ12人は、「美術が好きではない」ということになります。

わかるけれども、好きではないという生徒がいることが予想されることから、「誰もがやってみたい」と感じる題材を設定したり、身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かすことができるようにしていくことが大切です。

【授業づくりのアイデア例】

美術科では、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養いながら、創造的に表したり、豊かに鑑賞したりすることができるようにします。

例えば、扱った経験のない材料や表現方法と出合わせて、「やってみてほしい。わたしにもできそう。」と感ぜられるようにすることが考えられます。また、表現方法を実際に試す場面を導入時に設けるなどして題材への抵抗感なくし、表現の見通しがもてるようにすることが考えられます。他にも、鑑賞やまとめをする時に、身に付けた資質・能力を生活や社会の中で生かせる場面について考えさせたり、日常生活で活用できている時に価値付けたりすることが考えられます。

中学校 保健体育

【教科の理解度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	80.9	81.3	83.5	81.6	77.6	3.7
令和7年度・中2	77.8	77.3	78.2	78.7	77.5	-0.2
令和6年度・中1	81.5	83.9	83.3	82.3	76.6	7.3
令和7年度・中3	77.3	75.1	77.5	79.9	77.5	-2.4
令和6年度・中2	76.7	75.1	77.4	79.1	75.6	-0.5
令和5年度・中1	79.5	81.2	81.3	80.3	75.0	6.2

【教科の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	73.5	69.2	74.5	75.4	74.8	-5.6
令和7年度・中2	71.5	65.6	70.0	73.2	77.6	-12.0
令和6年度・中1	73.4	71.1	73.9	74.1	74.6	-3.5
令和7年度・中3	71.9	63.6	72.0	74.3	78.2	-14.6
令和6年度・中2	71.9	64.5	71.3	75.6	76.3	-11.8
令和5年度・中1	71.3	68.2	71.2	73.8	72.0	-3.8

【分析結果】

理解度の肯定的な回答割合は、全学年で8割近くなっており、また、A層-D層の差も小さいため、多くの生徒が「わかる」を実感できる授業が展開されていると推測されます。

好感度は、どの学年も7割程度ですが、A層の数値が7割を下回る結果となっています。「わかっているけれど、上手くできない」といった生徒への一層の配慮が必要です。また、前年度からの変化をみると、中3は数値にほとんど変化が見られませんでした。中2は少し数値が下がっていることがわかります。「なぜ好きなのか」「なぜ好きでないのか」といった理由を調査することにより、生徒の実態や授業改善のヒントが見えてくると考えます。

【授業づくりのアイデア例】

保健体育科では、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目標としています。授業では、共生の視点を重視し、技能や体力の差を包含したルールや場、用具等の工夫を柔軟に行い、誰もが安心して学習に参加し、みんなが(みんなで)楽しめる授業を展開することが求められています。

単元をデザインする際は、生徒が各領域の特性に応じた楽しさや喜びを十分に味わうことをベースに、自他の課題を発見し、合理的に課題を解決し、また新たな目標を設定していけるようにすることが大切です。

中学校 技術・家庭(技術分野)

【教科の理解度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	57.9	66.0	57.7	55.8	52.3	13.7
令和7年度・中2	69.2	77.0	71.9	67.4	61.2	15.8
令和6年度・中1	57.6	65.9	58.3	55.7	50.7	15.2
令和7年度・中3	59.9	70.1	61.8	56.8	51.9	18.2
令和6年度・中2	68.4	74.1	72.7	67.1	60.1	14.0
令和5年度・中1	59.3	65.9	60.5	59.5	51.3	14.6

【教科の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	66.7	73.8	66.9	64.4	61.8	12.0
令和7年度・中2	63.7	68.1	64.0	62.7	60.7	7.4
令和6年度・中1	66.3	74.3	67.7	63.5	59.7	14.6
令和7年度・中3	56.6	61.7	57.0	54.1	53.8	7.9
令和6年度・中2	63.6	64.6	65.7	63.1	61.5	3.1
令和5年度・中1	66.6	74.5	68.6	64.9	58.3	16.2

【分析結果】

理解度における肯定的な回答割合は、令和7年度も中2で、いずれの層も上昇する傾向が見られます。しかしながら、中3になると肯定的な回答割合が低くなるとともに、A-D層の差も前年度に比べると拡大する傾向が見られます。このことから、中2以降の授業でも「わかる」授業づくりに向けた改善が必要と考えます。

好感度における肯定的な回答割合については、学年が進むにつれて低くなる傾向が見られますが、令和7年度も中2で、A-D層の差が大きく縮小される傾向が示されています。また、中3においても、A-D層の差は7.9ポイントとなっており、中2段階と比べると差が開く傾向にはあるものの、中1段階で16.2ポイントあったA-D層の差は、大きく改善され続けていることが示されました。

【授業づくりのアイデア例】

技術分野では、技術の見方・考え方を働かせながら、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を行います。中1で取り組むことの多い「内容A 材料と加工の技術」の授業は、比較的身近な問題から課題を設定して実習を行うため、生徒にとって実感を伴って理解しやすい学習内容となっています。

課題である中2以降の授業においても、課題設定の場面では身近な話題から広げていくための工夫を行うことが大切となります。

また、3年間、技術分野の授業を楽しみにし続けながら学習活動に取り組みせていくためには、3年間を見通した指導計画を作成し、問題解決的な学習の難易度を段階的に高めていきながら、技術に関する知的好奇心を少しずつ育てていく工夫も大切となります。

中学校 技術・家庭(家庭分野)

【教科の理解度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	76.7	81.2	79.8	77.0	69.0	12.2
令和7年度・中2	71.4	77.8	73.6	70.5	64.1	13.7
令和6年度・中1	76.7	82.5	80.1	76.0	68.3	14.2
令和7年度・中3	71.7	78.5	73.0	71.8	64.9	13.6
令和6年度・中2	70.3	74.8	74.4	70.7	61.8	13.0
令和5年度・中1	75.3	80.2	77.9	75.3	67.8	12.4

【教科の好感度】

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	69.5	73.3	71.3	67.9	65.4	7.9
令和7年度・中2	65.3	67.2	66.6	63.9	63.7	3.5
令和6年度・中1	68.9	73.0	70.4	68.4	63.8	9.2
令和7年度・中3	64.9	65.3	64.5	65.7	64.4	0.9
令和6年度・中2	63.6	63.8	64.9	64.2	61.4	2.4
令和5年度・中1	67.2	70.4	67.7	67.0	63.6	6.8

【分析結果】

理解度は7割以上の生徒が肯定的な回答をしていますが、A層からD層にいくにつれ数値が下がっています。わからない子は理解できないまま学習が進み、それが中1から中3の経年変化にも結果として表れています。わからないことをそのままにしない手立てや授業内容の工夫を行っていくことが大切です。また、好感度の4層分析を見てみると、A層からD層に差異はほとんどありません。令和7年度中3の経年変化では、学力層による差異は縮まっていて、好感度が令和6年度より若干高くなっています。

【授業づくりのアイデア例】

家庭分野では、生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指しています。そのため、学習内容を生活や社会と関連付け、何のために学習するのか、どんな資質・能力を身に付けることができるかをあらかじめ示すことで、学習する必要感を高めることができます。また、実践的・体験的な活動を通して習得した知識及び技能が、生活の自立につながるように活動を組み立てることが重要となっていきます。子ども同士で協働したり、意見を共有して互いの考えを深めたり、家族や身近な人々との会話を通して考えを明確にしたりすることにより、身に付けた力を家庭生活中で生かすことにつながると考えられます。

中学校 道徳

【学習意識調査から】【教科の好感度】
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	69.3	67.8	70.3	70.1	69.1	-1.3
令和7年度・中2	70.2	66.9	69.2	72.5	72.1	-5.2
令和6年度・中1	69.5	67.2	70.5	71.3	68.8	-1.6
令和7年度・中3	67.4	61.8	66.7	69.1	72.2	-10.4
令和6年度・中2	69.2	64.8	70.2	71.5	70.5	-5.7
令和5年度・中1	67.9	66.8	68.1	70.3	66.3	0.5

【対話力】<肯定的な回答割合と4層分析データから>
 私は、話し合いの時、考えや意見を進んで出している。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	54.2	62.1	57.0	50.3	47.3	14.8
令和7年度・中2	49.3	60.1	51.8	43.9	41.6	18.5
令和7年度・中3	51.6	59.3	55.0	48.9	43.7	15.6

【分析結果】

好感度では、約70%以上が肯定的な回答をしており、A層に比べてC、D層の好感度が高く、同一母集団の経年変化では、令和7年度中3の回答では、D層で上昇しています。学習の得意不得意に関わらず、全ての生徒が同じ土台で話し合う教科の特徴が表れています。

「話し合いの時、考えや意見を進んで出している。」については、約50%が肯定的に回答していますが、どの学年もA-D層の差が大きくなっています。道徳科では、他者と話し合いながら、生徒が多様な感じ方や考え方に接し、人間としての生き方について考えを深めることが重要です。

【授業づくりのアイデア例】

道徳科では、生徒一人一人が答えが一つではない道徳的課題を自分自身の問題として捉え向き合う「考え、議論する道徳」への質的転換が求められています。

全ての生徒が同じ土台に立ち、活躍できる授業を作っていくために、挙手、ペア、グループ、書く活動、役割演技等を取り入れ、自分の考えを表出する工夫をすることが大切です。また、自分の考えをもったり、他者と共有したりできるよう、アンケート機能や心情曲線等、GIGA端末を活用して立ち位置を可視化することも工夫の一つです。自分事として考え、他者と話し合うことで考えを深めることが道徳科では大切な学習活動です。

中学校 特別活動

【学級活動の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	80.1	84.8	83.4	80.6	72.1	12.7
令和7年度・中2	77.1	79.8	77.6	78.2	73.1	6.7
令和6年度・中1	79.4	84.6	82.7	79.2	71.2	13.4
令和7年度・中3	77.9	77.3	80.0	78.1	76.8	0.5
令和6年度・中2	78.2	79.8	81.9	79.3	72.3	7.5
令和5年度・中1	78.8	83.6	82.8	78.8	69.9	13.7

【分析結果】

好感度では、75%を超える生徒が肯定的な回答をしており、中1において80%を超えているものの、学年による大きな差はありませんでした。また、同一母集団の経年変化に着目すると令和7年度の中2、中3は微減傾向にあります。一方、A-D層に着目すると、学年が上がるにつれて差が縮まっています。このことから、上学年になるほど、学習の得意不得意に関係なく、学級活動を通して主体的に学級や学校における生活づくりへ参画できていると捉えることができます。

【学級力】＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞
私は、自分たちの学習や生活をよりよくするための話し合いや活動に進んで取り組んでいる。

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	74.2	77.8	76.6	74.0	68.8	9.0
令和7年度・中2	73.3	78.3	74.9	72.7	67.6	10.7
令和6年度・中1	74.0	79.3	76.5	72.0	68.5	10.8
令和7年度・中3	74.8	78.6	76.1	74.9	70.8	7.8
令和6年度・中2	73.6	77.0	76.2	73.6	68.3	8.7
令和5年度・中1	74.5	79.1	76.6	74.2	67.9	11.2

【分析結果】

令和7年度の結果を見ると、学年間の大きな違いはありませんでした。同一母集団の経年変化としては、中3は学年が上がるにつれてA-D層の差が減少傾向にあります。

【授業づくりのアイデア例】

「なすことによって学ぶ」が方法原理の特別活動において、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」という特別活動で育成を目指す3つの視点を意識した指導の改善が求められます。特に学級活動(1)の話し合い活動において、より多くの生徒が司会グループを経験できるようにするなど、一連の学習過程に基づく実践の積み重ねが大切です。

中学校 総合的な学習の時間

【教科の好感度】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	69.3	67.8	70.3	70.1	69.1	-1.3
令和7年度・中2	70.2	66.9	69.2	72.5	72.1	-5.2
令和6年度・中1	69.3	71.6	70.3	69.1	66.3	5.3
令和7年度・中3	67.4	61.8	66.7	69.1	72.2	-10.4
令和6年度・中2	70.9	67.9	72.6	73.6	70.3	-2.4
令和5年度・中1	70.2	73.5	71.9	71.0	64.5	9.0

【授業で習ったことを普段の生活と結び付けて考えている。】

＜肯定的な回答割合と4層分析データから＞

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・中1	61.4	69.8	62.5	60.2	53.6	16.2
令和7年度・中2	50.9	61.5	54.5	46.8	41.0	20.5
令和6年度・中1	62.5	70.6	65.3	59.8	54.5	16.1
令和7年度・中3	50.4	62.6	52.6	46.5	40.2	22.4
令和6年度・中2	51.1	60.8	54.5	48.8	40.9	19.9
令和5年度・中1	64.1	72.6	65.4	63.6	54.9	17.7

【分析結果】

どの学年においても肯定的な回答が7割程度となっております。経年変化を見ると、年度による増減はほとんどなく、ほぼ横ばいが続いているということがわかります。

特徴的な傾向は、右側A-D層の差については、令和7年度の全ての学年において、A層よりもD層の方が肯定的な回答が上回る結果となりました。中3については、D層の方が10ポイント以上高いことがわかります。

【授業づくりのアイデア例】

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を行うことを通して、資質・能力を育成します。授業をつくる際には、まず取り扱う学習材が身近で具体性のあるもの、探究的な学習に発展する可能性のあるものであるか、しっかりと吟味します。さらに、どのように生徒の探究が進むか、教師が単元の見通しをもつことで、どこでどんな体験活動を入れるか、外部講師はどうするかといった手立てが見えてきます。また、各教科等との関連を考えながら単元を構成することで、生徒は各教科等で培った力を探究的な学習の中で活用し、汎用的な力として身に付けていきます。例えば、調べたことを数値化・グラフ化する(数学)、資料を読み取る(社会)、目的や相手に応じて伝え方を考える(国語)といったように、単元の進捗における生徒の思考の流れに沿って、他教科等との関連を意識し、カリキュラム・マネジメントしていくことが大切です。

第2章 Ⅲ 学習意識調査の結果

Ⅲ 学習意識調査の結果

1 学習の理解度 ※数値は「よくわかっている」「まあわかっている」と肯定的回答をした割合(%)。

○【理解度】同一学年比較(昨年度との比較) ※差は、小6－小4、中3－中1の値。

《小学校》

R7	国語	社会	算数	理科	R6	国語	社会	算数	理科
小4	86.3	80.4	82.4	89.8	小4	85.3	82.1	84.0	90.0
小5	86.7	83.6	79.9	90.9	小5	87.4	83.7	79.3	90.8
小6	87.4	86.8	74.8	86.5	小6	87.0	86.6	74.1	87.8
差	+1.1	+6.4	-7.6	-3.3	差	+1.7	+4.5	-9.9	-2.3

《中学校》

R7	国語	社会	数学	理科	英語	R6	国語	社会	数学	理科	英語
中1	79.3	71.6	67.9	72.9	66.5	中1	80.9	70.5	68.4	71.6	67.0
中2	78.0	63.9	61.1	64.3	63.6	中2	77.5	63.9	61.4	64.4	62.8
中3	76.1	70.6	64.1	62.6	58.8	中3	77.2	67.9	62.5	60.4	61.4
差	-3.2	-1.0	-3.8	-10.3	-7.7	差	-3.7	-2.6	-5.9	-11.2	-5.6

昨年度と比べて、特に大きな変化は見られませんでした。

○【理解度】同一母集団の4層ごとの経年変化
 ≪小学校≫(4教科平均)

年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
R7・小4	84.7	94.5	90.3	83.7	70.7
R7・小5	85.3	96.0	90.7	84.6	69.9
R6・小4	85.4	94.7	89.7	84.4	72.5
R7・小6	83.9	96.2	90.3	81.8	67.6
R6・小5	85.3	96.2	90.7	84.0	70.5
R5・小4	85.6	94.7	90.1	84.7	72.6

各層を経年比較していくと、下回る傾向にあるのはC層、D層に多い状況です。特に中1から中2にかけて大きく下回っています。

一方、今年度中3は、A層を除いて中2だったときを上回り、学年が上がって学習内容が難しくなる中でも、わかる実感が増してきていると考えられます。

≪中学校≫(5教科平均)

年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
R7・中1	71.6	89.5	78.2	68.2	50.2
R7・中2	66.2	90.1	76.4	58.5	40.1
R6・中1	71.7	89.9	77.9	67.8	50.5
R7・中3	66.4	89.8	76.6	60.5	39.9
R6・中2	66.0	90.1	75.5	59.3	39.7
R5・中1	71.1	90.1	78.6	65.8	50.2

理解度を経年比較すると、中2から中3にかけて前年度を上回り、層ごとに見るとA層以外のB、C、D層が上回っている。

理解度を経年比較すると、C、D層で前年度を下回ることが多い。特に中1から中2での下回り幅が大きい。

○【理解度】同一母集団の教科別経年変化
 ≪小学校≫

年度・学年	国語	社会	算数	理科
R7・小4	86.3	80.4	82.4	89.8
R7・小5	86.7	83.6	79.9	90.9
R6・小4	85.3	82.1	84.0	90.0
R7・小6	87.4	86.8	74.8	86.5
R6・小5	87.4	83.7	79.3	90.8
R5・小4	86.3	81.2	84.3	90.4

≪中学校≫

年度・学年	国語	社会	数学	理科	英語
R7・中1	79.3	71.6	67.9	72.9	66.5
R7・中2	78.0	63.9	61.1	64.3	63.6
R6・中1	80.9	70.5	68.4	71.6	67.0
R7・中3	76.1	70.6	64.1	62.6	58.8
R6・中2	77.5	63.9	61.4	64.4	62.8
R5・中1	79.7	68.8	69.6	71.4	66.2

小学校の算数では学年が上がるごと、理科では小5から小4の変化を見ると、わかる実感が低下している状況です。それ以外は、前年度と同じ、または上昇しています。

中学校では、中1から中2の変化を見ると、すべての教科でわかる実感が低下しています。一方、中2から中3の変化を見ると、社会と数学では上昇していたり、国語や理科の低下が、中1から中2のときの変化に比べて小さく抑えられています。

Ⅲ 学習意識調査の結果

2 学習の好感度 ※数値は「とても好き」「まあ好き」と肯定的回答をした割合(%)。

○【好感度】同一学年比較(昨年度との比較) ※差は、小6－小4、中3－中1の値。

《小学校》

R7	国語	社会	数学	理科	英語	R6	国語	社会	数学	理科	英語
小4	68.9	62.8	69.9	84.5		小4	67.3	65.3	70.7	84.9	
小5	63.5	63.2	63.5	82.4		小5	63.9	63.3	63.6	81.4	
小6	61.5	67.0	59.7	74.5	64.7	小6	61.3	66.7	57.9	74.5	63.9
差	-7.4	+4.2	-10.2	-10.0		差	-6.0	+1.4	-12.8	-10.4	

昨年度と比べて、特に大きな変化は見られませんでした。

《中学校》

R7	国語	社会	数学	理科	英語	R6	国語	社会	数学	理科	英語
中1	54.2	61.8	54.3	62.7	61.0	中1	55.1	60.2	52.8	63.0	60.6
中2	63.9	60.8	50.9	59.4	59.1	中2	61.1	60.8	52.2	60.3	57.6
中3	64.5	69.1	55.2	59.8	54.3	中3	65.3	66.5	53.9	57.3	56.8
差	+10.3	+7.3	+0.9	-2.9	-6.7	差	+10.2	+6.3	+1.1	-5.7	-3.8

小学校の数学と理科では、上の学年ほど低く、中学校の国語では、上の学年ほど高い状況にあります。

○【好感度】同一母集団の4層ごとの経年変化
 ≪小学校≫(4教科平均)

年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
R7・小4	71.5	81.0	75.0	68.8	61.4
R7・小5	68.2	79.7	70.7	65.3	57.1
R6・小4	72.1	81.2	74.4	69.6	63.0
R7・小6	65.5	76.0	69.7	62.1	54.3
R6・小5	68.1	79.7	71.2	64.7	56.9
R5・小4	72.3	81.7	75.2	69.5	62.8

≪中学校≫(5教科平均)

年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
R7・中1	58.8	75.3	62.9	54.1	42.5
R7・中2	58.8	78.2	64.9	52.6	39.7
R6・中1	58.3	75.7	62.0	52.6	42.2
R7・中3	60.6	78.2	66.6	55.5	42.1
R6・中2	58.4	78.0	63.9	52.4	39.7
R5・中1	58.0	76.6	62.7	52.0	40.9

小学校では、各層ともに、学年が上がるごとに前年度を下回っています。学習内容の難易度が上がるにつれて、好感度が低下する状況です。

中学校では、各層ともに、大きな変化は見られません。

○【好感度】同一母集団の教科別経年変化

《小学校》

年度・学年	国語	社会	算数	理科
R7・小4	68.9	62.8	69.9	84.5
R7・小5	63.5	63.2	63.5	82.4
R6・小4	67.3	65.3	70.7	84.9
R7・小6	61.5	67.0	59.7	74.5
R6・小5	63.9	63.3	63.6	81.4
R5・小4	67.7	64.3	72.3	84.8

《中学校》

年度・学年	国語	社会	数学	理科	英語
R7・中1	54.2	61.8	54.3	62.7	61.0
R7・中2	63.9	60.8	50.9	59.4	59.1
R6・中1	55.1	60.2	52.8	63.0	60.6
R7・中3	64.5	69.1	55.2	59.8	54.3
R6・中2	61.1	60.8	52.2	60.3	57.6
R5・中1	54.8	59.0	55.5	60.4	60.5

小学校では、小5から小6を見ると社会の好感度が上昇していますが、他は、各教科ともに、学年が上がるごとに低下しています。

中学校では、中1から中2の変化を見ると、国語と社会で上昇し、数学と理科と英語で低下しています。一方、中2から中3の変化を見ると、国語と社会が上昇し、理科と英語が低下するところは同じですが、数学は低下ではなく上昇に転じています。

Ⅲ 学習意識調査の結果

3 学習への意識 ※数値は「とてもあてはまる」「まああてはまる」と肯定的回答をした割合(%)。

○同一母集団4層ごとの経年変化(現小6・中3)

《学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。》

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R7・小6	75.5	87.4	78.7	72.4	63.7
	R6・小5	77.7	87.6	81.2	75.1	67.2
	R5・小4	81.0	88.5	82.5	80.0	73.0
中	R7・中3	76.1	87.8	80.9	71.5	64.1
	R6・中2	74.5	85.0	78.3	71.9	63.0
	R5・中1	81.2	88.0	83.3	78.8	74.7

《①授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。》

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R7・小6	70.5	87.0	77.3	64.2	53.8
	R6・小5	70.4	85.3	74.2	65.8	56.3
	R5・小4	74.9	81.4	76.9	74.0	67.4
中	R7・中3	67.4	85.1	75.3	62.0	47.6
	R6・中2	62.4	80.5	67.9	57.9	44.1
	R5・中1	69.4	83.2	75.3	66.3	52.6

どちらの質問項目についても、小4から小5を見ると、C層、D層において、中1から中2を見ると、B層、C層、D層において、およそ5ポイント以上の低下が見られました。

中2から中3にかけて上昇している。

どちらも小学校のC、D層、中学校のB、C、D層で低下。

Ⅲ 学習意識調査の結果

3 学習への意識 ※数値は「とてもあてはまる」「まああてはまる」と肯定的回答をした割合(%)。

○同一母集団4層ごとの経年変化(現小6・中3)

≪②自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。≫

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R7・小6	65.7	80.3	71.5	61.2	49.9
	R6・小5	67.0	79.7	69.7	63.5	55.2
	R5・小4	71.6	79.7	73.5	69.1	64.1
中	R7・中3	63.1	75.1	67.5	59.0	51.4
	R6・中2	60.6	73.1	65.0	57.3	47.4
	R5・中1	65.6	76.7	68.5	64.1	53.2

≪③算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。≫

小・中	年度・学年	学年の平均値	A層	B層	C層	D層
小	R7・小6	69.3	89.0	78.6	64.2	45.9
	R6・小5	69.9	87.9	76.7	66.1	49.0
	R5・小4	71.7	83.9	76.9	69.3	56.6
中	R7・中3	55.2	76.7	64.3	49.7	31.9
	R6・中2	54.0	77.5	61.0	48.0	30.8
	R5・中1	65.6	86.3	75.5	59.6	41.2

中2から中3にかけて上昇している。

どちらも小学校、中学校のC、D層で低下している。

Ⅲ 学習意識調査の結果

○今年度の手立てに向けて

(1) 昨年度までの結果と今年度の結果から

- ・平均正答率を4層分析で見ると、**D層の結果の上昇**が見られる。
- ・平均正答率を4層分析で見ると、**C-D層間の差が他の層間より大きく開いている**。
- ・理解度については、中3を除き、C層、D層で前年度を下回っている。
- ・以上3点から、**D層の結果の上昇は見られるものの、引き続きD層に注視した取組が必要**。

(2) 今後の手立て

今後さらに必要と考えられる手立てを考えるために、

- ・**分析委員会などの検討から得られた必要な授業改善のアイデアの視点から**
- ・**課題となる理解度の低下と同じ傾向として、C層、D層の結果の低下が見られる質問項目に注目する視点から**下の3つの質問項目に焦点を当てた。

- ①授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。
- ②自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。
- ③算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。

第2章 IV 調査結果のまとめと手立て

IV 調査結果のまとめと手立て

1 調査結果の成果(●)と課題(●)

(1) 成果

- (教科)2教科及び5教科平均正答率の川崎市と全体の差に着目して比較すると、小学校は調査を実施した全ての学年、中学校は中2、中3が全体より上回る結果であった。
- (教科)川崎市と全体の平均正答率の差について経年で比較すると、令和5年度の小4は全体より下回っていたが令和7年度には上回るなど、経年比較ができる小5、小6、中2、中3で良くなっている。
- (意識)理解度について、同一母集団の経年比較をすると、中2から中3の変化を見ると上昇している。(A層以外のB、C、D層が上昇している。)

(2) 課題

- (教科)4層分析において各層間の差を見ると、小学校は2教科全ての学年で、中学校は社会の中1、中2、理科の中2を除く5教科全ての学年で、C-D層間の差が最も大きく開いていた。
- (意識)理解度の4層分析の経年比較では、D層は小4から小5、小5から小6、中1から中2、C層は、小5から小6、中1から中2で、他よりも大きな低下が見られる。
- (意識)C、D層は、自分の考えを他者に伝えることが苦手である。その理由としては、意味や考え方について、他の学習内容との関連や、他の考えとの違いなどについて思考できないことなどが挙げられる。

(3) まとめ

- ・川崎市と全体の平均正答率の比較では、学年が上がるにつれて良い傾向となり、授業改善の成果が表れている。
- ・理解度等の質問項目で低下が大きいC、D層に着目した授業改善を進めていくことが大切である。

IV 調査結果のまとめと手立て

2 今後の手立て

全ての児童生徒が「わかる」を実感できる授業の実現を目指す

C、D層の児童生徒に着目

学習状況調査の結果を生かした授業改善の視点

1 「何がわかっていて、何がわかっていないか」について、児童生徒が自覚できるようにする。

2 わからないことに対して諦めず、粘り強く取り組むために、ねらいを明確にしたペア学習やグループ学習を取り入れる。

3 いつでもGIGA端末等を活用して、学習に取り組める環境を整備する。

継続実施

今後重視するポイント

○ C、D層の疑問や考えを大切にした授業展開を心がけること。
・C、D層の「ここまでできたけど、この先が…」や「この前学習した〇〇を使いたいけど…」など、つぶやきや様子を見取り、途中まで考えた意見や考えを大切にすること。

○ いくつかの考え方を関連付けて理解できるようにすること。
・児童生徒の多様な考えの中にある、各教科等で大事にしている考え方に焦点をあてられるように、その考えを価値づけたり、発問や問い返しを工夫したり、板書の構造化を図ったりして理解につなげる。

○ 「わからない」や「途中でわかる」を踏まえた、自分の考えを表現できるようにすること。
・考えたことや聞いたことなどを、他者に向けて表現する機会を意図的・計画的に設定する。

第2章 V 結果の一覧

主体的に学習に取り組む態度の結果一覧

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
小4 国語	1	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	86.8	91.1	90.3	87.3	77.6	13.5
	2	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	85.9	93.6	90.1	85.1	73.7	19.9
	3	自分で目標を決めて、こつこつ読書をしている。	56.9	69.3	60.2	52.4	43.8	25.5
	4	短歌や俳句、文章を詳しく読んで、どのような心や思いが込められているかを考えている。	70.2	77.1	72.7	69.5	60.2	16.9
	5	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	84.8	91.8	89.8	83.8	72.4	19.4
小4 算数	1	算数の授業で、図をかいたり動かしたり、大きさや長さを測ったりしながら考えるのは楽しい。	83.4	90.8	87.4	83.3	71.3	19.5
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	88.7	95.7	92.7	89.0	76.6	19.1
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	85.7	93.7	90.3	84.8	73.1	20.6
	4	自分の解き方を振り返って、良いところやわかりにくいところ、工夫しているところなどを考えるようにしている。	82.1	88.6	84.2	82.4	72.6	16.0
	5	友だちと、問題の解き方やより良い解き方を伝え合っている。	79.0	86.7	81.2	79.3	67.8	18.9

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
小5 国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	64.0	73.2	65.8	60.2	56.4	16.8
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	83.3	91.4	85.9	81.5	74.0	17.4
	3	文章を読むとき、別々の段落で書かれていることを、考えとその事例、結論とその理由といった関係を考えながら読むようにしている。	73.6	84.8	77.9	70.5	60.7	24.1
	4	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	83.0	91.6	86.4	80.6	72.7	18.9
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	67.5	80.0	69.1	64.1	56.0	24.0
	6	同じような言葉でも細かな意味の違いがあることを、例文を作ったり文章を書き直したりして確かめている。	77.1	85.3	79.1	75.4	67.9	17.4
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	82.6	91.0	85.0	81.1	72.7	18.3
小5 算数	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	90.8	97.9	95.6	91.4	77.7	20.2
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	88.7	95.9	94.3	88.3	75.8	20.1
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	85.3	93.2	91.3	84.0	72.2	21.0
	4	買い物や料理、工作など普段の生活でも、学校で習った分数や割合の考え方を使って考えようとしている。	72.6	79.4	75.4	70.4	64.8	14.6
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	74.9	85.3	78.6	72.7	62.3	23.0
	6	問題を解いた後で、もっと他の解き方はないかと工夫して考えてみることもある。	67.4	77.8	72.3	62.7	56.2	21.6
	7	友だちと、問題の解き方やより良い解き方を伝え合っている。	79.0	86.6	82.2	77.2	69.5	17.1

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
小6 国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	61.4	72.4	64.3	56.5	52.2	20.2
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考にして、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	85.1	92.1	88.9	83.1	76.2	15.9
	3	同じテーマや主題の作品を読み比べて、共通点や相違点を見つけたりして、自分の考えを持つようとしている。	57.9	64.9	57.1	55.0	54.3	10.6
	4	自分の考えをはっきりと正確に伝えるために、より良い言葉を探したりあてはめたりして工夫している。	86.5	94.8	90.0	85.8	75.1	19.7
	5	本で読んだことを参考にして、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	70.0	84.6	75.1	64.6	55.3	29.3
	6	短歌や俳句、文章を詳しく読んで、どのような心や思いが込められているかを考えている。	73.4	79.3	74.6	71.5	67.8	11.5
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	87.7	95.3	91.2	87.0	76.9	18.4
小6 算数	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	90.7	98.1	95.9	91.5	77.2	20.9
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	86.4	96.7	92.3	85.2	71.1	25.6
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	85.7	96.1	91.3	84.8	70.3	25.8
	4	買い物や料理、工作など普段の生活でも、学校で習った分数や割合の考え方を使って考えようとしている。	69.1	77.9	73.0	65.3	59.9	18.0
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	71.9	85.2	76.8	67.9	57.5	27.7
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	76.7	89.8	82.1	73.5	61.1	28.7
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	63.2	78.8	67.7	57.7	48.2	30.6

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中1 国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	61.2	69.1	64.9	59.5	51.1	18.0
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考に、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持つようとしている。	83.6	91.8	88.9	82.3	71.1	20.7
	3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	78.0	90.7	84.3	74.8	61.5	29.2
	4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	84.4	92.2	88.2	83.3	73.2	19.0
	5	本で読んだことを参考に、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	57.7	67.3	56.4	54.3	52.4	14.9
	6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	82.2	83.8	83.1	83.5	78.3	5.5
	7	はっきりと正確に伝えるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	86.3	95.0	90.6	84.6	74.4	20.6
中1 社会	1	世界が平和で争いが無い社会になるには、どのようなことが必要かを考えている。	79.1	83.3	80.2	79.6	73.3	10.0
	2	授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	77.4	87.6	81.2	74.0	66.7	20.9
	3	インタビューや現地調査をするときには、自ら進んで取り組むようになっている。	70.3	78.5	71.6	69.8	61.4	17.1
	4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	90.1	89.4	90.6	90.7	89.7	
	5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	90.2	93.4	92.0	90.5	84.8	8.6
	6	社会の出来事を、いろいろな立場や視点から見ようとしている。	76.1	83.7	78.4	74.5	67.7	16.0
	7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようになっている。	70.7	81.3	72.5	67.3	61.5	19.8
中1 数学	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	88.0	97.7	94.3	88.4	71.3	26.4
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	83.1	96.3	89.8	81.7	64.2	32.1
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようになっている。	84.2	95.4	89.1	84.4	67.5	27.9
	4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	69.9	80.3	75.4	67.8	55.5	24.8
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようになっている。	71.4	85.8	76.3	69.8	53.2	32.6
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	74.7	85.7	80.5	73.8	58.5	27.2
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけて出して、より良い解き方を考えるようになっている。	69.3	82.0	74.0	66.3	54.2	27.8

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中1 理科	1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	67.8	74.1	69.4	65.0	62.5	11.6
	2	どうやって問題を解決したらいいかと見通しを持って取り組もうとしている。	79.5	89.4	84.0	77.0	67.5	21.9
	3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	73.7	82.7	77.3	71.4	63.3	19.4
	4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	69.7	75.7	72.3	68.3	62.5	13.2
	5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようになっている。	81.7	92.3	87.7	78.0	68.4	23.9
	6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	64.3	72.6	65.4	62.3	56.8	15.8
	7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	72.2	84.4	76.0	67.3	60.7	23.7
中1 英語	1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	79.6	85.2	81.4	78.2	72.4	12.8
	2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	85.9	90.0	88.6	85.9	78.4	11.6
	3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようになっている。	80.7	88.8	82.6	80.8	68.9	19.9
	4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようになっている。	69.0	78.7	69.2	69.0	56.4	22.3
	5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようになっている。	87.0	93.1	89.8	87.5	76.4	16.7
	6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	85.6	91.0	88.8	85.5	76.4	14.6
	7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	69.0	75.2	72.1	68.8	58.7	16.5

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中2 国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	60.7	70.5	64.1	57.8	50.1	20.4
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考に、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	85.2	92.3	89.7	84.4	74.0	18.3
	3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	80.4	92.1	86.9	78.7	63.7	28.4
	4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	84.8	92.0	89.4	83.8	73.6	18.4
	5	本で読んだことを参考に、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	53.1	62.2	54.9	49.3	45.6	16.6
	6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	82.4	82.8	84.5	84.4	77.8	5.0
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	88.4	95.6	93.4	87.2	77.0	18.6
中2 社会	1	世界が平和で争いがない社会になるには、どのようなことが必要かを考えている。	69.1	74.5	70.7	67.5	63.8	10.7
	2	授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	72.8	85.5	77.9	70.1	57.8	27.7
	3	社会で働いている人の話を聞いたり、最新の社会に関する資料を読んだりして、自分の考えを持とうとしている。	60.7	71.4	61.9	57.7	51.8	19.6
	4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	84.4	85.5	84.8	85.1	82.0	3.5
	5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	89.1	93.9	90.8	89.6	82.0	11.9
	6	社会の出来事を、異なる意見や価値観を比べて深く考えるようにしている。	70.5	83.1	73.7	68.1	57.2	25.9
	7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	69.5	82.0	71.9	66.1	57.8	24.2
中2 数学	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	82.8	96.5	90.1	80.6	63.7	32.8
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	78.9	95.1	87.9	75.4	56.7	38.4
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	81.0	94.4	88.8	78.7	62.1	32.3
	4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	64.2	77.0	69.6	61.1	48.8	28.2
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	69.6	85.4	77.5	66.5	48.7	36.7
	6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	69.6	83.2	76.0	65.9	53.0	30.2
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	67.2	81.1	74.3	64.8	48.6	32.5

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中2 理科	1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	59.1	65.2	59.3	55.5	56.5	8.7
	2	どうやって問題を解決したらいいかと思通しを持って取り組もうとしている。	74.6	86.5	80.0	70.6	61.2	25.3
	3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	70.4	82.0	74.9	66.3	58.4	23.6
	4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	67.4	74.3	70.5	65.7	58.9	15.4
	5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	77.7	87.9	82.0	75.2	65.5	22.4
	6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	71.2	81.7	75.0	68.4	59.6	22.1
	7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	71.1	82.8	75.2	66.9	59.3	23.5
中2 英語	1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	69.0	78.3	73.5	66.4	57.5	20.8
	2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	78.3	86.9	82.4	77.9	66.0	20.9
	3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	76.4	88.6	82.4	73.4	61.0	27.6
	4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	66.1	81.3	72.4	61.9	48.6	32.7
	5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手に読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	78.5	92.3	85.3	75.3	61.1	31.2
	6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	82.6	93.3	87.9	80.6	68.5	24.8
	7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	62.7	73.9	68.5	59.7	48.7	25.2

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中3 国語	1	質問したりアドバイスし合ったりして思いや考えを伝え、先生や友だち、地域の人と進んで交流しようとしている。	64.5	74.4	66.0	62.1	55.4	19.0
	2	友だちが書いた文章や話したことを参考に、自分にはない新しい考えや自分とは違う考えを持とうとしている。	86.6	93.5	91.0	85.2	76.3	17.2
	3	自分が書いた文章や話すときの原稿を見直して、理由が書けているか、もとの文章を踏まえているか、構成がしっかりしているかなどを振り返っている。	83.2	92.9	88.5	82.4	68.6	24.3
	4	言葉を選んだり工夫して使ったりして、きめ細かな心の様子や情景を伝えようとしている。	87.2	93.8	90.9	87.1	76.6	17.2
	5	本で読んだことを参考に、学校や家庭の学習や生活の場面で、より良くなるよう工夫している。	54.2	63.5	55.3	50.1	47.5	16.0
	6	敬語や丁寧語に、どのような心が込められているかを考えている。	80.9	81.9	82.5	82.5	76.7	5.2
	7	はっきりと正確に伝わるように、違う言葉を使ったり文章を書き直したりしている。	90.4	96.4	93.7	90.1	81.0	15.4
中3 社会	1	世界が平和で争いがない社会になるには、どのようなことが必要かを考えている。	69.1	73.1	69.0	69.2	65.2	7.9
	2	授業で設定した学習の問題(課題)を、進んで調べたり考えたりして解決しようとしている。	78.0	88.0	81.7	78.3	64.1	23.9
	3	社会で働いている人の話を聞いたり、最新の社会に関する資料を読んだりして、自分の考えを持とうとしている。	66.1	74.4	68.9	65.2	56.0	18.4
	4	自分のふるさとを大切にしたり、より良くしたいという気持ちを持っている。	82.3	81.5	82.9	84.5	80.2	1.3
	5	日本のいろいろな地域の農業や工業、商業が発展することを願っている。	89.9	94.2	92.1	90.1	83.3	10.9
	6	社会の出来事を、異なる意見や価値観を比べて深く考えるようにしている。	75.6	85.2	79.4	74.4	63.5	21.7
	7	異なる国のそれぞれの社会の出来事を関連づけて考えるようにしている。	73.1	83.4	76.1	71.9	60.7	22.7
中3 数学	1	算数・数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	82.4	95.8	89.2	80.7	63.7	32.1
	2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	81.3	95.3	90.1	78.0	61.7	33.6
	3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	82.9	95.5	90.5	80.4	65.0	30.5
	4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	63.9	75.5	70.3	60.7	48.8	26.7
	5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	72.5	87.8	80.3	68.3	53.3	34.5
	6	1つの問題について、これまでに習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	72.4	85.7	78.7	69.9	55.1	30.6
	7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	72.1	84.0	78.7	69.7	55.8	28.2

教科	質問番号	質問内容	肯定群回答割合(%)	学力層別 肯定群回答割合(%)				
				A層	B層	C層	D層	A-D層の差
中3 理科	1	自ら進んで、自然の様子を観察したり実験したりしようとしている。	59.1	64.1	60.1	58.8	53.1	11.0
	2	どうやって問題を解決したらいいかと見通しを持って取り組もうとしている。	76.2	88.1	81.7	73.8	61.0	27.1
	3	学習の成果や今後の課題を振り返って明らかにしている。	73.3	85.3	77.9	70.3	59.4	25.9
	4	今日の学習課題を、できる限り自分で考えて設定しようとしている。	70.0	76.3	72.4	71.2	60.2	16.1
	5	今日の実験や観察の仮説を自分で立ててから実験や観察に取り組むようにしている。	80.5	88.2	85.2	79.4	69.0	19.2
	6	実験や観察、調査の結果をまとめてレポートに書いている。	80.7	90.1	85.6	79.2	67.7	22.4
	7	実験や観察の結果を踏まえて、主体的に仮説の検証をしている。	75.6	86.8	80.8	72.8	61.7	25.1
中3 英語	1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	69.6	78.4	73.7	68.7	57.7	20.7
	2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	79.4	86.7	84.0	78.6	68.2	18.5
	3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	76.0	89.3	82.4	74.0	58.3	31.0
	4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	67.5	82.8	74.2	64.6	48.3	34.5
	5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	80.1	93.5	88.8	78.8	59.3	34.2
	6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	83.9	92.9	90.5	83.3	68.7	24.2
	7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	65.4	76.7	71.2	63.5	50.2	26.5

意識調査の結果一覧【小4】

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
1	要素	豊かな基礎体験	全体	82.7	54.0	28.6	12.5	4.8	0.1
	小要素	基礎体験	A層	78.5	46.6	31.8	16.2	5.3	0.0
			B層	83.1	53.8	29.2	12.7	4.2	0.1
			C層	85.2	58.0	27.1	10.6	4.2	0.0
			D層	84.2	57.7	26.4	10.3	5.5	0.1
		A-D層	-5.7						
2	要素	豊かな基礎体験	全体	81.1	52.1	29.0	11.6	7.3	0.0
	小要素	基礎体験	A層	75.1	44.4	30.7	14.5	10.5	0.0
			B層	80.6	50.7	29.9	12.2	7.2	0.0
			C層	83.4	53.9	29.4	11.0	5.7	0.0
			D層	85.3	59.2	26.0	9.0	5.8	0.1
		A-D層	-10.2						
3	要素	豊かな基礎体験	全体	58.4	27.4	31.0	26.5	15.0	0.1
	小要素	基礎体験	A層	77.4	45.2	32.2	16.8	5.8	0.0
			B層	64.5	28.8	35.6	25.8	9.7	0.0
			C層	50.4	20.2	30.2	32.7	16.9	0.0
			D層	41.7	15.4	26.2	30.9	27.3	0.2
		A-D層							
4	要素	豊かな基礎体験	全体	64.9	34.6	30.3	21.8	13.2	0.1
	小要素	基礎体験	A層	71.0	37.9	33.1	20.5	8.6	0.0
			B層	67.2	34.8	32.4	22.6	10.2	0.1
			C層	61.9	33.0	28.9	23.6	14.5	0.0
			D層	59.7	33.0	26.6	20.6	19.7	0.1
		A-D層	11.3						
5	要素	豊かな基礎体験	全体	45.1	18.6	26.4	28.5	26.3	0.2
	小要素	基礎体験	A層	48.1	19.2	28.9	31.2	20.6	0.1
			B層	48.8	19.6	29.1	27.6	23.6	0.1
			C層	44.1	18.9	25.0	28.7	27.2	0.2
			D層	39.6	16.8	22.7	26.7	33.6	0.2
		A-D層	8.5						
6	要素	豊かな基礎体験	全体	77.5	39.5	37.9	13.0	9.4	0.1
	小要素	基礎体験	A層	87.8	51.3	36.4	8.5	3.8	0.0
			B層	82.6	42.1	40.4	11.3	6.1	0.1
			C層	75.6	36.7	38.9	14.7	9.7	0.0
			D層	64.3	28.2	35.9	17.7	17.9	0.2
		A-D層							
7	要素	豊かな基礎体験	全体	72.1	50.8	21.1	11.3	16.6	0.1
	小要素	基礎体験	A層	75.9	57.3	18.6	10.1	13.9	0.0
			B層	73.2	52.8	20.3	11.1	15.6	0.1
			C層	72.3	49.4	22.9	11.5	16.2	0.1
			D層	66.8	43.9	22.8	12.4	20.7	0.3
		A-D層	9.1						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
8	要素	豊かな基礎体験	全体	94.4	76.0	18.4	4.0	1.6	0.1
	小要素	基礎体験	A層	96.9	79.8	17.1	2.5	0.6	0.0
			B層	96.4	78.9	17.3	2.9	0.7	0.1
			C層	94.7	76.9	17.7	3.8	1.5	0.1
			D層	89.8	68.4	21.3	6.7	3.5	0.2
		A-D層	7.1						
9	要素	豊かな基礎体験	全体	91.5	56.1	35.3	6.7	1.8	0.1
	小要素	基礎体験	A層	95.2	61.8	33.4	4.1	0.7	0.1
			B層	94.4	56.3	38.0	4.8	0.8	0.1
			C層	90.9	55.3	35.6	7.3	1.7	0.0
			D層	85.5	51.1	34.2	10.5	4.0	0.2
		A-D層	9.7						
10	要素	豊かな基礎体験	全体	90.6	71.4	19.1	6.2	3.3	0.1
	小要素	基礎体験	A層	94.0	74.8	19.2	4.5	1.5	0.0
			B層	92.6	74.3	18.3	5.5	1.8	0.1
			C層	91.1	71.2	19.9	5.7	3.2	0.0
			D層	84.6	65.3	19.2	9.0	6.4	0.2
		A-D層	9.4						
11	要素	豊かな基礎体験	全体	62.7	33.1	29.5	23.3	14.0	0.1
	小要素	基礎体験	A層	65.4	34.3	31.1	24.7	9.9	0.0
			B層	64.2	33.1	31.0	22.8	13.0	0.1
			C層	61.6	33.1	28.5	23.3	15.1	0.1
			D層	59.7	32.1	27.5	22.4	17.8	0.2
		A-D層	5.7						
12	要素	豊かな基礎体験	全体	23.9	10.8	13.0	23.2	52.9	0.1
	小要素	基礎体験	A層	27.1	12.8	14.3	25.4	47.5	0.0
			B層	22.6	10.0	12.6	23.9	53.4	0.2
			C層	20.9	8.9	11.9	21.6	57.4	0.1
			D層	24.9	11.6	13.3	21.8	53.1	0.2
		A-D層	2.2						
13	要素	豊かな基礎体験	全体	93.4	83.0	10.3	4.6	2.0	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	97.0	90.4	6.5	2.3	0.7	0.1
			B層	96.4	86.6	9.7	2.7	1.0	0.1
			C層	93.5	82.0	11.4	4.6	1.9	0.1
			D層	86.9	73.2	13.5	8.5	4.5	0.2
		A-D層	10.1						
14	要素	豊かな基礎体験	全体	66.0	34.3	31.7	22.7	11.2	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	68.7	34.2	34.5	23.6	7.7	0.0
			B層	68.2	34.8	33.3	22.4	9.4	0.1
			C層	66.9	34.0	32.8	22.7	10.4	0.0
			D層	60.4	34.1	26.2	22.2	17.3	0.2
		A-D層	8.3						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
15	要素	豊かな基礎体験	全体	57.5	24.2	33.2	26.6	15.9	0.2
	小要素	基本的な生活習慣	A層	59.8	22.4	37.4	28.4	11.8	0.1
	夜は決まった時間にねている。		B層	58.6	22.6	36.0	27.0	14.3	0.1
			C層	56.2	23.0	33.1	27.2	16.5	0.2
			D層	55.4	28.9	26.4	23.4	21.0	0.3
		A-D層	4.4						
16	要素	豊かな基礎体験	全体	54.6	19.3	35.3	32.1	13.2	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	58.1	19.1	38.9	32.2	9.7	0.0
	家の人からたよりにされて、何かの役割をまかされている。		B層	55.8	19.1	36.6	33.6	10.6	0.1
			C層	54.0	18.3	35.7	31.8	14.1	0.1
			D層	50.9	20.7	30.1	30.6	18.5	0.2
		A-D層	7.2						
17	要素	豊かな基礎体験	全体	69.1	34.9	34.1	22.1	8.8	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	74.0	35.1	38.8	20.4	5.7	0.0
	食器の後かたづけなど、自分のことは自分でしている。		B層	71.3	36.4	34.9	21.8	6.9	0.0
			C層	65.5	33.3	32.1	25.0	9.4	0.1
			D層	65.6	34.8	30.7	21.0	13.3	0.2
		A-D層	8.4						
18	要素	学びに向かう力	全体	71.5	41.3	30.1	19.4	9.0	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	75.6	45.1	30.5	17.8	6.6	0.0
	ふだんから「不思議だな」「なぜだろう」と感じることもある。		B層	71.6	39.5	32.0	21.0	7.4	0.0
			C層	70.1	39.0	31.0	20.7	9.2	0.1
			D層	68.8	41.6	27.0	18.4	12.8	0.2
		A-D層	6.8						
19	要素	学びに向かう力	全体	55.8	28.5	27.3	24.8	19.4	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	61.9	31.5	30.4	24.4	13.7	0.0
	本やドラマなどを見て、人の生き方に感動することもある。		B層	58.5	29.5	29.0	24.8	16.7	0.0
			C層	53.5	27.0	26.5	26.0	20.5	0.0
			D層	49.6	26.0	23.5	23.8	26.5	0.2
		A-D層	12.3						
20	要素	学びに向かう力	全体	79.5	47.6	31.8	14.4	6.1	0.0
	小要素	感じ取る力	A層	87.3	57.8	29.5	10.0	2.7	0.0
	学習していて、おもしろい、楽しいと思うことがある。		B層	83.4	49.7	33.7	13.1	3.4	0.0
			C層	77.6	44.3	33.3	16.0	6.4	0.0
			D層	69.8	39.0	30.7	18.3	11.8	0.1
		A-D層	17.5						
21	要素	学びに向かう力	全体	93.5	76.3	17.2	4.8	1.7	0.1
	小要素	学習動機	A層	96.6	82.5	14.1	2.8	0.6	0.0
	学習して身につけた知識は、いずれ仕事や生活の中で役に立つと思う。		B層	96.1	81.4	14.6	3.1	0.9	0.0
			C層	94.0	75.2	18.8	4.4	1.6	0.0
			D層	87.4	66.2	21.0	8.9	3.7	0.2
		A-D層	9.2						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
22	要素	学びに向かう力	全体	91.0	69.5	21.4	6.7	2.3	0.1
	小要素	学習動機	A層	94.3	75.4	18.9	4.5	1.2	0.0
	学習して、わかったりできたりすることが増えるのは、うれしい。		B層	92.0	71.0	21.0	6.4	1.6	0.0
			C層	91.1	68.7	22.3	6.9	2.0	0.0
			D層	86.6	63.0	23.4	9.0	4.4	0.2
		A-D層	7.7						
23	要素	学びに向かう力	全体	84.5	51.0	33.5	11.2	4.3	0.1
	小要素	学習動機	A層	89.2	55.2	34.0	8.4	2.3	0.0
	学校に行くのが楽しい。		B層	87.4	53.0	34.4	9.8	2.8	0.0
			C層	83.6	50.0	33.6	12.0	4.4	0.0
			D層	78.1	46.0	31.9	14.2	7.6	0.2
		A-D層	11.1						
24	要素	学びに向かう力	全体	89.4	51.9	37.5	8.5	2.1	0.1
	小要素	自己責任	A層	93.7	58.7	35.0	5.6	0.7	0.0
	同じ間違いをしないように気をつけている。		B層	92.3	54.7	37.5	6.7	1.0	0.1
			C層	89.1	51.0	38.2	9.1	1.7	0.0
			D層	82.6	43.1	39.2	12.6	4.8	0.2
		A-D層	11.1						
25	要素	学びに向かう力	全体	89.7	56.8	32.8	7.9	2.4	0.1
	小要素	自己有能感	A層	93.1	62.1	31.0	5.5	1.5	0.0
	努力をすれば、自分もたいていのことはできると思う。		B層	92.5	59.6	32.9	6.3	1.1	0.1
			C層	90.0	56.4	33.6	8.0	2.0	0.0
			D層	83.2	49.2	33.9	11.8	4.9	0.2
		A-D層	9.9						
26	要素	学びに向かう力	全体	89.7	64.9	24.7	7.9	2.4	0.1
	小要素	達成感	A層	93.4	72.7	20.7	5.4	1.3	0.0
	ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。		B層	92.2	67.7	24.5	6.4	1.4	0.0
			C層	89.0	64.4	24.6	8.5	2.4	0.0
			D層	84.1	54.8	29.1	11.4	4.4	0.3
		A-D層	9.3						
27	要素	自ら学ぶ力	全体	64.3	29.4	34.9	26.1	9.6	0.1
	小要素	学習スキル	A層	68.7	32.1	36.6	23.9	7.4	0.0
	黒板に書かれていないことでも、大事なことはノートに書きとめている。		B層	63.7	28.6	35.0	28.4	7.9	0.0
			C層	64.3	28.2	36.1	26.2	9.5	0.1
			D層	60.6	28.6	31.9	26.1	13.3	0.2
		A-D層	8.1						
28	要素	自ら学ぶ力	全体	76.7	43.8	32.8	17.3	6.0	0.1
	小要素	学習スキル	A層	81.7	50.6	31.2	13.9	4.3	0.0
	テストで間違えた問題は、もう一度やり直している。		B層	79.8	46.3	33.4	15.5	4.7	0.1
			C層	76.3	41.5	34.7	18.6	5.1	0.0
			D層	69.1	37.1	31.8	21.0	9.9	0.2
		A-D層	12.6						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
29	要素	自ら学ぶ力	全体	56.4	23.6	32.7	29.2	14.3	0.1
	小要素	学習スキル	A層	58.7	27.0	31.7	28.3	13.1	0.0
			B層	57.8	24.1	33.7	29.7	12.5	0.1
		授業で学んだことを自分なりに ノートにまとめ直している。	C層	55.9	22.2	33.7	30.1	14.0	0.1
			D層	53.5	21.4	32.0	28.8	17.5	0.2
		A-D層	5.2						
30	要素	自ら学ぶ力	全体	60.1	24.9	35.1	29.5	10.3	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	65.4	27.6	37.8	27.2	7.4	0.0
			B層	61.9	25.7	36.0	30.0	8.1	0.1
		新しく習ったことは、何度もく り返して練習している。	C層	57.7	22.3	35.3	31.2	11.1	0.1
			D層	55.5	24.0	31.3	29.6	14.7	0.3
		A-D層	9.9						
31	要素	自ら学ぶ力	全体	71.3	30.1	41.2	22.7	5.9	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	78.8	37.6	41.1	18.0	3.2	0.1
			B層	74.9	32.1	42.7	21.1	3.9	0.1
		授業で習ったことはそのまま覚 えるのではなく、その理由や考 え方も一緒に理解しようとして いる。	C層	69.8	26.5	43.3	24.1	6.0	0.0
			D層	62.0	24.1	37.9	27.5	10.4	0.2
		A-D層	16.8						
32	要素	自ら学ぶ力	全体	65.4	26.3	39.0	26.4	8.2	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	70.3	30.3	40.0	23.7	5.9	0.1
			B層	68.4	28.6	39.7	25.4	6.1	0.1
		授業で習ったことをふだんの生 活と結びつけて考えている。	C層	63.9	24.3	39.6	27.6	8.5	0.0
			D層	59.0	22.0	36.8	28.8	12.1	0.2
		A-D層	11.3						
33	要素	自ら学ぶ力	全体	76.5	40.9	35.6	17.5	5.9	0.1
	小要素	学習計画力	A層	82.5	47.6	34.9	13.3	4.3	0.0
			B層	78.9	43.3	35.6	16.7	4.4	0.1
		習った内容の中で、何がまだ理 解できていないか、わかっている。	C層	76.5	39.6	36.8	18.0	5.5	0.0
			D層	68.6	33.4	35.1	22.0	9.3	0.2
		A-D層	13.9						
34	要素	自ら学ぶ力	全体	56.6	25.1	31.5	28.5	14.9	0.1
	小要素	学習計画力	A層	61.7	29.4	32.3	25.4	13.0	0.0
			B層	56.9	25.7	31.2	30.0	13.1	0.0
		その日のめあてを決めて、授業 や家で学習に取り組んでいる。	C層	54.6	23.0	31.6	29.8	15.6	0.0
			D層	53.6	22.5	30.9	28.6	17.7	0.2
		A-D層	8.1						
35	要素	自ら学ぶ力	全体	55.0	25.2	29.7	27.8	17.1	0.1
	小要素	学習計画力	A層	63.7	32.3	31.3	24.9	11.4	0.1
			B層	57.8	27.1	30.7	27.0	15.2	0.0
		自分で学習の計画を立ててい る。	C層	51.4	21.9	29.5	30.8	17.7	0.1
			D層	47.3	19.7	27.4	28.7	23.8	0.3
		A-D層	16.4						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
36	要素	学びを律する力	全体	66.1	33.9	32.2	24.4	9.4	0.1
	小要素	学習継続力	A層	78.9	46.2	32.7	16.1	5.0	0.0
			B層	70.3	38.2	32.1	23.0	6.7	0.1
		目標に向けて、ふだんからこつこ つ学習している。	C層	61.3	28.6	32.7	28.6	10.1	0.1
			D層	54.1	22.7	31.3	29.9	15.9	0.2
		A-D層							
37	要素	学びを律する力	全体	74.1	35.9	38.1	20.7	5.2	0.1
	小要素	学習継続力	A層	83.0	44.2	38.8	14.5	2.4	0.0
			B層	76.9	37.8	39.1	19.9	3.2	0.0
		わからないことはそのままにせ ず、わかるまで努力している。	C層	71.6	31.8	39.8	23.5	4.9	0.0
			D層	65.0	29.8	35.0	24.8	10.0	0.3
		A-D層	18.0						
38	要素	学びを律する力	全体	89.3	55.0	34.2	8.6	2.1	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	92.8	59.4	33.3	6.5	0.7	0.0
			B層	92.5	58.1	34.4	6.8	0.7	0.0
		学習を始めたら、他のことに気を とられないで、集中している。	C層	89.1	54.3	34.8	8.8	2.0	0.1
			D層	83.1	48.5	34.3	12.2	4.7	0.3
		A-D層	9.7						
39	要素	学びを律する力	全体	74.0	31.1	42.9	21.1	4.9	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	78.7	34.0	44.7	18.5	2.8	0.0
			B層	76.6	32.6	43.9	20.5	2.9	0.0
		かん違いや思いこみがないか、 しっかり見直しをしている。	C層	74.0	29.7	44.4	21.1	4.9	0.0
			D層	67.0	28.3	38.5	24.1	8.8	0.4
		A-D層	11.7						
40	要素	学びを律する力	全体	71.6	26.7	44.8	22.5	5.9	0.2
	小要素	学習環境の整備	A層	76.6	28.6	48.0	19.7	3.6	0.0
			B層	73.8	26.4	47.3	21.5	4.7	0.0
		正しい姿勢で学習している。	C層	70.1	25.5	44.5	24.0	5.9	0.1
			D層	65.8	26.3	39.2	24.7	9.4	0.4
		A-D層	10.8						
41	要素	学びを律する力	全体	87.5	57.8	29.6	10.0	2.4	0.2
	小要素	学習環境の整備	A層	91.4	63.3	28.1	7.6	1.0	0.1
			B層	90.3	61.7	28.6	8.2	1.5	0.1
		必要なものをきちんとそろえて から、学習を始めている。	C層	87.6	56.8	30.7	10.2	2.2	0.1
			D層	80.8	49.5	31.0	14.1	5.0	0.3
		A-D層	10.6						
42	要素	学びを律する力	全体	88.9	55.3	33.5	8.9	2.1	0.2
	小要素	授業を受ける姿勢	A層	93.9	63.0	30.9	5.4	0.6	0.1
			B層	92.5	60.0	32.4	6.6	0.9	0.1
		授業を集中して受けている。	C層	89.3	53.6	35.7	9.1	1.6	0.0
			D層	80.2	44.7	35.0	14.4	5.4	0.5
		A-D層	13.7						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
43	要素	問題解決力	全体	71.7	31.5	40.1	22.8	5.5	0.2
	小要素		A層	81.7	40.5	41.2	15.7	2.6	0.0
			B層	75.0	34.0	41.0	21.4	3.6	0.1
			C層	68.9	27.2	41.6	25.9	5.2	0.2
			D層	61.3	24.5	36.6	28.2	10.4	0.3
			A-D層	20.4					
44	要素	問題解決力	全体	73.8	30.9	42.7	21.0	5.1	0.2
	小要素		A層	83.2	37.7	45.4	14.6	2.2	0.0
			B層	76.7	32.3	44.3	19.9	3.4	0.1
			C層	70.2	27.9	42.2	24.4	5.4	0.1
			D層	65.1	25.9	38.9	25.3	9.5	0.4
			A-D層	18.1					
45	要素	問題解決力	全体	69.4	29.5	39.7	23.2	7.3	0.2
	小要素		A層	79.3	36.3	43.0	17.3	3.5	0.0
			B層	72.3	31.7	40.5	22.2	5.3	0.2
			C層	67.1	26.5	40.5	25.7	7.2	0.1
			D層	58.9	23.7	34.9	27.6	13.3	0.5
			A-D層	20.4					
46	要素	問題解決力	全体	78.1	51.2	26.8	14.5	7.4	0.2
	小要素		A層	85.4	61.4	23.9	11.0	3.6	0.1
			B層	82.6	56.1	26.5	12.1	5.3	0.0
			C層	77.4	48.9	28.5	14.8	7.8	0.0
			D層	67.1	38.7	28.2	20.0	12.8	0.4
			A-D層	18.3					
47	要素	社会参画力	全体	67.6	33.8	33.8	21.9	10.5	0.2
	小要素		A層	76.7	41.1	35.5	18.4	4.9	0.0
			B層	72.3	36.8	35.4	20.3	7.4	0.0
			C層	66.0	31.0	34.9	23.3	10.7	0.1
			D層	55.8	26.2	29.4	25.4	18.6	0.4
			A-D層	20.9					
48	要素	社会参画力	全体	62.7	31.6	31.0	23.3	14.0	0.1
	小要素		A層	68.8	37.8	31.0	21.7	9.5	0.0
			B層	64.6	32.5	32.0	22.6	12.8	0.1
			C層	60.7	29.6	31.1	23.8	15.5	0.1
			D層	56.8	26.6	30.0	25.1	17.9	0.3
			A-D層	12.0					
49	要素	豊かな心	全体	81.5	39.7	41.6	15.4	3.1	0.2
	小要素		A層	87.0	45.0	42.0	11.6	1.4	0.0
			B層	85.2	42.2	42.9	13.6	1.2	0.1
			C層	81.3	37.3	43.9	15.9	2.8	0.1
			D層	72.6	34.6	37.7	20.3	7.0	0.4
			A-D層	14.4					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらな い	その他 無回答
50	要素	豊かな心	全体	76.3	37.4	38.8	18.5	5.1	0.1
	小要素		A層	80.6	39.4	41.1	16.5	3.0	0.0
			B層	78.8	39.0	39.7	17.6	3.6	0.0
			C層	76.3	37.3	38.9	18.8	4.9	0.1
			D層	69.7	33.9	35.6	21.2	9.0	0.4
			A-D層	10.9					
51	要素	豊かな心	全体	75.2	38.2	36.9	19.6	5.2	0.1
	小要素		A層	81.7	43.0	38.7	16.3	2.0	0.0
			B層	79.5	41.8	37.6	17.3	3.2	0.0
			C層	73.4	36.1	37.3	21.0	5.5	0.1
			D層	66.3	32.0	34.0	23.5	10.1	0.3
			A-D層	15.4					
52	要素	豊かな心	全体	88.8	57.2	31.6	8.8	2.3	0.1
	小要素		A層	93.5	66.6	27.0	5.4	1.1	0.0
			B層	92.2	59.3	32.8	6.7	1.2	0.0
			C層	88.2	54.8	33.3	9.7	2.1	0.1
			D層	81.5	48.0	33.2	13.5	4.9	0.3
			A-D層	12.0					
53	要素	自己成長力	全体	82.1	55.5	26.5	12.7	5.2	0.2
	小要素		A層	86.9	63.1	23.9	9.4	3.7	0.0
			B層	84.3	58.5	25.7	11.7	4.0	0.1
			C層	82.1	53.1	28.9	13.0	4.9	0.1
			D層	75.3	47.5	27.5	16.5	8.1	0.4
			A-D層	11.6					
54	要素	自己成長力	全体	93.3	77.4	15.8	4.6	2.1	0.1
	小要素		A層	96.7	84.6	12.1	2.7	0.6	0.0
			B層	95.9	81.1	14.7	3.2	0.9	0.0
			C層	93.7	77.6	16.1	4.4	1.9	0.1
			D層	86.9	66.4	20.3	8.1	5.0	0.3
			A-D層	9.8					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きではな い	その他 無回答
55	要素	教科の好き嫌い	全体	68.9	23.0	45.8	23.0	8.0	0.2
	小要素		A層	79.5	32.9	46.6	16.5	4.0	0.0
			B層	73.6	24.1	49.5	20.9	5.5	0.0
			C層	66.1	17.9	48.1	26.0	7.9	0.1
			D層	56.6	16.8	39.6	28.6	14.6	0.5
			A-D層	22.9					
56	要素	教科の好き嫌い	全体	62.8	28.5	34.2	25.0	12.1	0.2
	小要素		A層	71.9	36.8	35.0	21.0	7.1	0.0
			B層	65.0	29.4	35.6	24.8	10.1	0.1
			C層	58.6	25.7	32.8	27.6	13.7	0.1
			D層	56.0	22.4	33.3	26.3	17.6	0.4
			A-D層	15.9					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好きで はない	好きではな い	その他 無回答
57	要素	教科の好き嫌い	全体	69.9	41.4	28.4	17.1	13.0	0.2
	小要素		A層	83.9	57.9	25.9	10.8	5.4	0.0
			B層	75.6	45.9	29.7	15.7	8.7	0.0
			C層	67.2	37.4	29.8	19.3	13.5	0.1
			D層	52.8	24.5	28.1	22.6	24.3	0.4
		A-D層	31.1						
58	要素	教科の好き嫌い	全体	84.5	53.6	30.7	11.4	4.1	0.2
	小要素		A層	88.5	59.1	29.4	9.0	2.5	0.0
			B層	85.8	54.9	30.9	11.2	3.0	0.1
			C層	83.2	51.3	31.9	12.2	4.6	0.1
			D層	80.2	49.1	30.8	13.2	6.5	0.4
		A-D層	8.3						
59	要素	教科の好き嫌い	全体	80.9	50.9	29.8	12.5	6.6	0.2
	小要素		A層	84.2	53.2	31.0	11.5	4.3	0.0
			B層	83.8	53.1	30.6	11.4	4.8	0.1
			C層	79.3	50.0	29.2	13.5	7.2	0.1
			D層	76.2	47.7	28.2	13.7	10.0	0.4
		A-D層	8.0						
60	要素	教科の好き嫌い	全体	88.2	70.0	18.1	7.6	4.1	0.2
	小要素		A層	88.6	68.6	20.0	7.9	3.5	0.0
			B層	89.3	70.5	18.8	6.9	3.7	0.1
			C層	88.1	70.2	17.7	8.3	3.6	0.2
			D層	86.8	70.6	15.7	7.5	5.7	0.5
		A-D層	1.8						
61	要素	教科の好き嫌い	全体	89.3	69.5	19.6	6.8	3.9	0.2
	小要素		A層	87.2	64.1	23.1	8.1	4.7	0.0
			B層	89.8	68.9	20.9	6.9	3.3	0.0
			C層	90.2	72.9	17.2	6.3	3.5	0.1
			D層	90.1	72.4	17.3	5.6	4.3	0.4
		A-D層	-2.9						
62	要素	教科の好き嫌い	全体	79.1	43.2	35.8	15.4	5.5	0.2
	小要素		A層	84.9	48.9	35.9	11.7	3.4	0.1
			B層	82.3	45.8	36.5	14.1	3.5	0.0
			C層	78.4	42.5	35.8	15.7	5.9	0.1
			D層	71.0	35.5	35.2	19.7	9.1	0.4
		A-D層	13.9						
63	要素	教科の好き嫌い	全体	72.9	38.7	34.1	18.5	8.6	0.2
	小要素		A層	74.3	39.4	34.9	18.6	7.1	0.0
			B層	74.7	39.3	35.3	18.2	7.1	0.1
			C層	73.6	39.3	34.1	17.7	8.6	0.2
			D層	69.2	36.8	32.0	19.3	11.3	0.5
		A-D層	5.1						
64	要素	教科の好き嫌い	全体	86.3	56.1	30.1	9.8	3.8	0.2
	小要素		A層	91.1	63.7	27.3	7.2	1.7	0.0
			B層	90.3	59.9	30.3	7.3	2.4	0.0
			C層	86.0	55.7	30.3	10.5	3.4	0.1
			D層	78.0	45.1	32.4	14.2	7.7	0.5
		A-D層	13.1						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかつ ている	まあわかつ ている	あまりわ かっていな い	まったくわ かっていな い	その他 無回答
65	要素	教科の理解度	全体	86.3	37.1	49.0	11.1	2.6	0.2
	小要素		A層	95.5	54.9	40.5	4.2	0.3	0.1
			B層	92.4	41.2	51.2	6.9	0.7	0.0
			C層	85.9	29.5	56.4	12.3	1.7	0.1
			D層	71.3	22.7	48.3	20.9	7.7	0.4
		A-D層	24.2						
66	要素	教科の理解度	全体	80.4	38.1	42.2	15.6	3.9	0.2
	小要素		A層	91.4	52.9	38.5	7.9	0.7	0.0
			B層	85.4	41.3	44.1	12.5	2.1	0.0
			C層	78.1	33.4	44.6	18.1	3.8	0.1
			D層	67.1	25.1	41.6	23.7	9.0	0.5
		A-D層	24.3						
67	要素	教科の理解度	全体	82.4	49.0	33.2	13.2	4.3	0.2
	小要素		A層	95.1	70.4	24.6	4.3	0.6	0.0
			B層	89.5	56.8	32.6	9.1	1.3	0.1
			C層	82.2	42.3	39.8	14.5	3.3	0.1
			D層	62.9	26.9	35.7	24.9	12.1	0.5
		A-D層	32.2						
68	要素	教科の理解度	全体	89.8	55.7	33.9	8.0	2.2	0.2
	小要素		A層	95.8	67.1	28.6	3.8	0.4	0.0
			B層	93.8	59.5	34.2	5.4	0.8	0.1
			C層	88.4	51.8	36.4	9.7	1.9	0.2
			D層	81.5	44.6	36.5	13.0	5.4	0.4
		A-D層	14.3						
69	要素	教科の理解度	全体	86.7	57.6	29.0	9.7	3.5	0.2
	小要素		A層	91.6	64.3	27.3	6.8	1.6	0.0
			B層	90.3	61.5	28.7	7.9	1.8	0.1
			C層	85.6	55.7	29.8	10.5	3.8	0.2
			D層	79.5	48.9	30.2	13.8	6.6	0.5
		A-D層	12.1						
70	要素	教科の理解度	全体	91.9	68.6	23.1	5.9	2.2	0.2
	小要素		A層	93.8	71.3	22.4	5.0	1.3	0.0
			B層	93.7	70.9	22.7	5.0	1.3	0.1
			C層	91.8	67.5	24.1	6.6	1.6	0.2
			D層	88.2	64.6	23.2	7.3	4.5	0.5
		A-D層	5.6						
71	要素	教科の理解度	全体	93.2	72.2	20.8	5.1	1.7	0.3
	小要素		A層	93.9	70.4	23.5	5.0	1.1	0.0
			B層	94.2	72.7	21.4	4.9	0.9	0.1
			C層	94.0	74.1	19.6	4.3	1.7	0.3
			D層	91.1	71.9	18.6	5.9	2.9	0.6
		A-D層	2.8						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
					0さつ	1,2さつ	3,4さつ	5,6さつ	7,8さつ	9,10さつ	11さつ以上 (いじょう)	その他 無回答
72	要素	読書冊数	全体		17.7	25.2	18.5	11.6	6.2	5.1	15.3	0.4
	小要素		A層		8.8	21.2	18.4	13.2	7.1	7.3	23.9	0.2
			B層		13.3	25.4	20.1	12.2	6.8	5.1	16.7	0.2
			C層		20.7	26.5	18.2	11.2	6.0	4.7	12.3	0.4
			D層		27.9	27.6	17.1	9.8	4.9	3.5	8.2	1.0
			A-D層									
73	要素	テレビを見る時間	全体		11.6	15.5	18.9	14.7	12.1	8.4	18.3	0.4
	小要素	平日	A層		12.7	15.1	21.7	16.3	12.3	8.3	13.4	0.2
			B層		9.7	14.0	19.5	15.1	13.1	9.4	19.1	0.1
			C層		9.0	14.3	18.0	14.0	13.8	9.2	21.2	0.4
			D層		14.9	18.6	16.6	13.6	9.1	6.8	19.5	0.9
			A-D層									
74	要素	テレビを見る時間	全体		12.8	13.2	16.4	13.9	12.9	9.2	21.0	0.4
	小要素	休日	A層		10.7	11.8	17.5	16.7	14.6	9.2	19.2	0.3
			B層		10.5	11.8	16.0	14.7	15.1	10.0	21.8	0.1
			C層		12.3	12.1	15.7	13.5	13.0	9.8	23.3	0.3
			D層		17.9	17.1	16.6	10.7	9.1	7.9	19.9	0.9
			A-D層									
75	要素	学習時間	全体		14.2	28.8	19.4	11.5	7.7	5.7	12.3	0.5
	小要素	平日	A層		6.8	21.2	17.3	11.3	9.8	9.7	23.7	0.2
			B層		10.7	26.2	21.4	13.4	8.7	6.3	13.1	0.3
			C層		16.4	32.4	21.0	10.7	7.0	4.4	7.7	0.4
			D層		22.8	35.3	18.2	10.5	5.2	2.3	4.6	1.0
			A-D層									
76	要素	学習時間	全体		23.6	29.3	19.7	9.9	6.2	3.9	7.0	0.3
	小要素	休日	A層		13.6	23.2	21.2	13.2	9.1	6.3	13.3	0.1
			B層		19.7	28.7	21.5	10.7	7.2	4.5	7.5	0.2
			C層		27.4	31.4	18.7	8.6	5.7	2.8	5.1	0.2
			D層		33.6	34.0	17.4	6.9	2.9	1.9	2.4	0.8
			A-D層									
77	要素	ゲームをする時間	全体		25.1	18.0	19.2	10.7	8.8	4.9	12.8	0.4
	小要素	平日	A層		34.1	19.6	20.5	9.7	7.1	3.1	5.6	0.2
			B層		27.0	18.6	19.3	11.3	8.2	5.0	10.4	0.2
			C層		21.7	16.2	20.0	11.3	9.9	5.8	14.9	0.3
			D層		17.7	17.9	17.1	10.5	10.1	5.7	20.1	0.9
			A-D層									
78	要素	ゲームをする時間	全体		19.6	15.3	19.3	11.6	10.3	6.4	17.2	0.4
	小要素	休日	A層		25.3	16.0	21.9	12.0	9.7	5.0	9.9	0.2
			B層		20.2	15.1	20.5	12.3	11.7	5.7	14.3	0.2
			C層		17.1	14.8	18.2	12.1	10.7	7.3	19.4	0.4
			D層		15.9	15.2	16.5	9.9	9.0	7.5	25.1	0.9
			A-D層									

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
79	要素	国語	全体	50.7	19.6	30.8	31.1	17.9	0.5
	小要素		A層	59.5	24.0	35.3	28.9	11.6	0.2
			B層	53.0	20.9	31.9	32.3	14.5	0.3
		国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	C層	48.4	18.2	30.1	32.6	18.9	0.2
			D層	41.9	15.5	25.9	30.8	26.6	1.1
			A-D層	17.6					
80	要素	国語	全体	77.7	41.8	35.6	16.4	5.9	0.4
	小要素		A層	87.3	55.6	31.5	10.3	2.3	0.2
			B層	84.5	47.2	37.2	12.5	3.0	0.1
		国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	C層	76.5	37.1	39.2	18.1	5.3	0.2
			D層	62.5	27.2	34.6	24.5	12.7	1.1
			A-D層	24.8					
81	要素	国語	全体	90.1	71.0	18.7	6.9	3.0	0.4
	小要素		A層	96.7	84.3	12.2	2.5	0.8	0.1
			B層	94.9	77.8	17.0	4.0	1.0	0.1
		国語の授業で、物語を作ったことがある。	C層	91.2	69.6	21.4	6.9	1.9	0.2
			D層	77.9	52.6	24.5	13.9	8.0	1.0
			A-D層	18.8					
82	要素	国語	全体	83.5	48.8	34.3	12.8	3.7	0.4
	小要素		A層	89.5	57.0	32.4	9.1	1.3	0.1
			B層	87.7	53.3	34.4	10.6	1.7	0.0
		国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	C層	83.5	47.5	35.7	13.3	3.2	0.3
			D層	73.5	37.9	34.8	18.0	8.2	1.1
			A-D層	16.0					
83	要素	算数	全体	68.0	34.1	33.7	23.3	8.6	0.3
	小要素		A層	72.6	39.9	32.7	21.6	5.8	0.0
			B層	70.9	35.5	35.3	22.2	6.8	0.2
		算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	C層	68.3	33.2	34.9	23.4	8.2	0.2
			D層	60.3	27.7	32.1	25.8	13.5	0.9
			A-D層	12.3					
84	要素	算数	全体	68.6	39.3	29.0	22.0	9.4	0.4
	小要素		A層	82.4	56.5	25.9	14.1	3.5	0.0
			B層	73.6	43.2	30.2	20.2	6.2	0.2
		算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	C層	66.3	36.0	30.1	24.9	8.7	0.2
			D層	52.0	21.7	29.8	28.9	18.7	1.0
			A-D層	30.4					
85	要素	算数	全体	54.5	29.3	25.0	25.5	19.8	0.4
	小要素		A層	61.2	37.0	24.1	22.3	16.6	0.0
			B層	56.4	31.8	24.5	25.6	17.9	0.3
		算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	C層	54.0	28.2	25.7	26.0	19.9	0.2
			D層	46.8	20.4	25.9	28.1	24.5	1.1
			A-D層	14.4					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
86	要素	算数	全体	72.7	38.7	33.7	20.1	7.1	0.4
	小要素		A層	79.4	46.1	33.3	16.1	4.4	0.1
			B層	75.4	40.5	34.7	19.4	5.2	0.2
		算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	C層	72.2	37.5	34.5	20.9	6.9	0.2
			D層	63.9	30.8	32.4	23.9	11.7	1.2
			A-D層	15.5					
87	要素	社会	全体	69.9	38.2	31.5	20.5	9.5	0.4
	小要素		A層	74.9	44.9	29.9	18.1	6.9	0.1
			B層	72.8	40.6	32.1	18.2	8.9	0.2
		社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	C層	68.2	35.6	32.4	22.7	9.1	0.2
			D層	63.9	31.8	31.5	22.9	12.8	1.1
			A-D層	11.0					
88	要素	社会	全体	53.6	30.6	22.7	25.0	21.2	0.5
	小要素		A層	55.7	37.2	18.5	22.9	21.3	0.2
			B層	55.9	34.1	21.7	24.9	19.0	0.2
		社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	C層	52.4	28.2	24.0	26.3	21.2	0.3
			D層	50.5	23.3	26.6	26.0	23.0	1.0
			A-D層	5.2					
89	要素	社会	全体	51.0	22.9	27.9	30.5	18.2	0.5
	小要素		A層	53.0	25.2	27.7	31.4	15.6	0.1
			B層	51.7	23.6	28.0	30.4	17.8	0.2
		社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	C層	50.6	22.2	28.2	31.1	18.2	0.3
			D層	49.1	20.5	28.0	29.3	21.1	1.1
			A-D層	3.9					
90	要素	社会	全体	70.7	37.7	32.7	21.3	7.9	0.5
	小要素		A層	75.6	43.1	32.4	19.0	5.3	0.2
			B層	72.9	38.2	34.6	21.0	6.1	0.2
		社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	C層	70.2	36.6	33.2	22.3	7.4	0.4
			D層	64.3	32.9	30.6	22.7	12.5	1.2
			A-D層	11.3					
91	要素	理科	全体	88.2	61.8	26.0	8.5	3.2	0.4
	小要素		A層	95.1	75.5	19.5	3.9	1.1	0.1
			B層	92.8	68.0	24.6	5.6	1.5	0.2
		理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立て結果を予想している。	C層	88.1	59.0	28.9	9.4	2.5	0.2
			D層	76.9	45.1	31.0	15.3	7.6	0.9
			A-D層	18.2					
92	要素	理科	全体	79.4	47.1	32.0	15.0	5.5	0.5
	小要素		A層	85.1	56.5	28.6	11.4	3.4	0.1
			B層	82.5	50.7	31.6	13.5	4.0	0.2
		理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	C層	78.5	44.3	34.1	16.5	4.9	0.3
			D層	71.6	37.1	33.6	18.6	9.5	1.1
			A-D層	13.5					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
93	要素	理科	全体	72.6	37.4	34.9	21.1	6.1	0.4
	小要素		A層	80.4	45.4	34.8	16.0	3.6	0.2
	理科の授業で、実験や調査が 終わったあとに、気づいたこと や新しい疑問などについて、 話し合ったりまとめたりしてい る。		B層	77.1	41.0	35.9	18.8	4.0	0.2
			C層	70.6	34.8	35.7	23.4	6.0	0.2
			D層	62.5	28.8	33.0	26.4	10.8	1.1
A-D層	17.9								
94	要素	理科	全体	75.6	41.7	33.6	18.3	6.0	0.4
	小要素		A層	78.9	46.2	32.6	16.9	4.2	0.1
	理科の授業で、グループで話 し合いや教え合いをしている。		B層	78.4	43.2	35.1	17.6	4.0	0.2
			C層	75.8	41.0	34.6	18.9	5.3	0.3
			D層	69.3	36.5	32.1	20.0	10.3	1.1
A-D層	9.6								
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
95	要素	やりとげる力	全体	84.6	43.4	40.8	12.5	2.8	0.5
	小要素		A層	89.4	47.7	41.6	9.1	1.5	0.1
	私は、みんなで決めた学級 目標に力を合わせて取り組 んでいる。		B層	88.5	45.8	42.5	10.0	1.4	0.3
			C層	83.6	42.6	40.7	14.1	2.2	0.3
			D層	77.1	37.9	38.2	16.5	6.2	1.2
A-D層	12.3								
96	要素	やりとげる力	全体	89.0	56.3	32.2	8.8	2.2	0.5
	小要素		A層	93.7	63.6	30.0	5.4	0.9	0.1
	私は、係や当番の活動に責 任を持って取り組んでいる。		B層	92.2	61.1	31.0	6.4	1.4	0.2
			C層	88.8	55.8	32.7	9.4	1.7	0.4
			D層	81.2	45.0	35.2	13.8	4.7	1.2
A-D層	12.5								
97	要素	やりとげる力	全体	72.7	32.2	40.1	21.8	5.3	0.5
	小要素		A層	77.2	35.6	41.4	19.0	3.8	0.2
	私は、自分たちの学習や生 活をよくするための話し合 いや活動に、進んで取り組 んでいる。		B層	74.3	33.2	41.0	21.6	4.0	0.2
			C層	72.9	32.0	40.6	22.6	4.4	0.4
			D層	66.7	28.3	37.6	24.1	8.8	1.2
A-D層	10.5								
98	要素	対話力	全体	88.8	54.8	33.5	9.0	2.1	0.6
	小要素		A層	93.5	63.1	30.3	5.9	0.6	0.1
	私は、学校や授業で発言して いる人の話を最後までしっ かり聞いている。		B層	92.8	59.1	33.4	6.2	1.0	0.2
			C層	89.4	52.9	36.2	9.1	1.4	0.4
			D層	79.7	44.4	34.3	14.9	5.2	1.3
A-D層	13.8								

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああては まる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
99	要素	対話力	全体	68.0	34.4	33.3	23.2	8.6	0.5
	小要素		A層	72.7	39.2	33.4	20.7	6.6	0.1
	私は、友だちの話を賛成・反対・ つけたしと、つなげるように発 言している。		B層	70.8	36.4	34.3	22.8	6.3	0.2
			C層	66.5	32.6	33.7	25.0	8.3	0.4
			D層	62.2	29.4	31.9	24.1	13.3	1.3
A-D層	10.5								
100	要素	対話力	全体	68.7	36.0	32.3	23.2	7.9	0.6
	小要素		A層	76.0	44.8	31.0	18.7	5.2	0.2
	私は、話し合いのとき、考えや意 見を進んで出している。		B層	70.9	37.5	33.2	22.7	6.4	0.3
			C層	67.3	33.1	33.9	24.6	7.9	0.4
			D層	60.7	28.9	31.1	26.6	12.2	1.3
A-D層	15.3								
101	要素	支え合う力	全体	83.5	46.1	36.8	13.2	3.3	0.6
	小要素		A層	88.8	51.6	37.0	9.9	1.4	0.2
	私は、家庭学習や考査前学習な どで、教え合いをしている。		B層	85.3	48.0	37.1	12.6	2.1	0.2
			C層	83.5	45.0	38.2	13.3	3.1	0.4
			D層	76.3	40.3	35.0	16.9	6.5	1.4
A-D層	12.5								
102	要素	支え合う力	全体	86.1	52.3	33.3	11.3	2.5	0.6
	小要素		A層	88.5	52.7	35.7	10.0	1.5	0.1
	私は、小さなけんかやトラブル は、話し合いで解決している。		B層	88.3	54.2	33.8	10.2	1.5	0.2
			C層	86.2	52.3	33.4	11.8	1.9	0.5
			D層	81.5	50.1	30.3	13.3	4.9	1.4
A-D層	7.0								
103	要素	支え合う力	全体	92.3	66.7	25.1	6.0	1.7	0.6
	小要素		A層	94.3	69.5	24.7	4.8	0.8	0.2
	私は、「ありがとう」を伝え合っ ている。		B層	93.9	68.2	25.4	4.9	1.2	0.2
			C層	93.0	67.7	24.9	6.2	0.9	0.4
			D層	87.9	61.4	25.2	8.2	3.7	1.5
A-D層	6.4								
104	要素	共生力	全体	85.2	48.3	36.3	11.2	3.5	0.6
	小要素		A層	90.2	53.2	36.9	8.3	1.5	0.1
	私は、友だちをばかにしたりか らかったりせず、一人ひとりの 心や命を大切にしている。		B層	89.0	51.4	37.2	9.0	1.9	0.3
			C層	84.4	45.8	38.2	12.6	3.0	0.5
			D層	77.2	42.9	33.2	14.9	7.6	1.5
A-D層	13.0								
105	要素	共生力	全体	80.8	46.5	33.7	14.4	4.7	0.7
	小要素		A層	82.8	45.9	36.6	13.6	3.6	0.3
	私は、友だちの間に上下関係な く、誰とでも平等に接している。		B層	83.3	49.5	33.6	13.0	3.6	0.4
			C層	81.3	47.5	33.3	14.6	4.0	0.6
			D層	75.6	43.1	31.3	16.4	7.7	1.6
A-D層	7.2								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
106	要素 共生力	全体	76.8	37.1	39.2	18.6	4.5	0.7
	小要素	A層	78.5	37.3	41.1	18.4	3.1	0.1
	私は、友だちのよいところや がんばりを認めて伝え合っ ている。	B層	79.0	37.1	41.6	17.6	3.3	0.3
		C層	77.3	37.9	38.9	18.6	4.0	0.6
		D層	72.5	36.3	35.1	19.6	7.5	1.5
A-D層	6.0							
107	要素 規律力	全体	81.4	37.7	43.1	15.1	3.4	0.7
	小要素	A層	87.3	41.8	45.3	10.8	1.8	0.1
	私は、授業中にむだなおしゃ べりをしない。	B層	85.4	40.1	45.0	12.8	1.8	0.4
		C層	79.9	36.6	42.8	16.8	3.2	0.6
		D層	72.9	32.3	39.4	19.9	6.8	1.6
A-D層	14.4							
108	要素 規律力	全体	85.8	39.9	45.3	12.1	2.0	0.7
	小要素	A層	90.6	44.1	46.4	8.6	0.8	0.1
	私は、あいさつ、服装、持ち 物などについて、学校のき まりを守っている。	B層	89.3	42.0	47.0	9.5	1.2	0.3
		C層	85.2	38.8	46.0	13.3	1.4	0.5
		D層	78.0	34.9	41.8	17.1	4.5	1.7
A-D層	12.6							
109	要素 規律力	全体	90.5	57.0	32.9	7.6	1.8	0.7
	小要素	A層	95.1	64.0	31.0	4.3	0.6	0.1
	私は、校外でも人の迷惑に ならないように考えて行動 している。	B層	93.8	60.9	32.6	5.5	0.7	0.4
		C層	90.4	55.6	34.4	8.1	1.4	0.5
		D層	82.9	47.8	33.8	12.4	4.4	1.6
A-D層	12.2							

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
110	要素	全体	90.8	68.8	21.3	6.0	3.1	0.8
	小要素	A層	94.2	76.1	18.0	4.3	1.5	0.2
	家で学習していて、わから ないときは教えてくれる人が いる。	B層	93.4	73.6	19.5	4.6	2.0	0.3
		C層	89.4	65.6	23.2	6.4	4.1	0.7
		D層	86.1	60.3	24.3	8.7	5.0	1.8
A-D層	8.1							
111	要素	全体	80.8	48.8	31.4	14.3	4.7	0.7
	小要素	A層	90.0	64.4	25.5	8.1	1.9	0.2
	家で学習するときは、苦手な 教科もしっかりと学習してい る。	B層	85.3	54.2	30.8	11.9	2.8	0.4
		C層	77.9	42.0	35.4	16.5	5.5	0.6
		D層	70.0	34.7	34.2	20.8	8.6	1.7
A-D層	20.0							
112	要素	全体	92.4	69.5	22.2	5.4	2.1	0.8
	小要素	A層	96.8	80.8	15.8	1.9	1.3	0.2
	学校の先生が出した宿題をき ちんとやりとげている。	B層	95.8	76.1	19.3	2.9	1.3	0.4
		C層	92.2	66.8	24.7	6.2	1.6	0.7
		D層	85.1	54.7	28.9	10.8	3.9	1.8
A-D層	11.7							
113	要素	全体	85.8	55.7	29.4	10.6	3.5	0.8
	小要素	A層	90.6	63.2	27.2	7.4	2.0	0.2
	次の日の授業に必要な教科書 やノートなどは、前の日に準 備している。	B層	87.8	58.5	28.9	9.7	2.5	0.4
		C層	85.0	53.6	30.9	11.5	3.3	0.6
		D層	79.7	47.9	30.4	13.9	6.1	1.8
A-D層	10.9							
114	要素	全体	74.5	39.6	34.3	19.3	6.0	0.9
	小要素	A層	80.2	49.8	30.2	15.4	4.4	0.2
	自分の得意な分野をさらに伸 ばすために、家で自分なりに 学んでいることがある。	B層	77.8	43.0	34.4	17.8	4.3	0.5
		C層	72.9	35.4	36.9	21.3	5.7	0.7
		D層	67.3	30.4	35.5	22.6	9.5	1.9
A-D層	12.9							
115	要素	全体	77.5	46.3	30.6	15.0	7.3	0.8
	小要素	A層	86.8	56.4	30.2	9.4	3.7	0.3
	テレビやラジオをつけないで 集中して学習している。	B層	81.0	49.5	31.2	14.0	4.9	0.4
		C層	74.8	43.1	31.2	17.2	7.9	0.6
		D層	67.6	36.6	29.8	19.4	12.4	1.9
A-D層	19.2							
116	要素	全体	49.6	19.0	30.2	32.9	17.0	0.9
	小要素	A層	52.0	20.0	31.9	32.3	15.5	0.3
	授業で習ったことは、その日 のうちに復習している。	B層	49.0	17.3	31.5	34.6	16.2	0.4
		C層	47.0	17.7	28.9	35.0	17.6	0.8
		D層	50.7	21.0	28.6	29.5	18.8	2.1
A-D層	1.3							

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
117	要素	追加質問	全体	70.5	30.1	39.6	19.5	9.7	1.2
	小要素		A層	81.5	42.6	38.6	13.4	5.1	0.3
			B層	74.8	31.2	43.3	18.4	6.7	0.5
			C層	67.3	25.8	40.9	22.1	10.3	1.0
			D層	58.3	21.2	35.5	24.1	16.5	2.7
		A-D層		23.2					
118	要素	追加質問	全体	95.2	78.7	15.4	3.6	1.1	1.2
	小要素		A層	98.0	86.5	11.2	1.5	0.5	0.3
			B層	97.1	84.0	12.6	2.2	0.7	0.5
			C層	95.1	76.7	17.5	4.0	0.9	1.0
			D層	90.6	68.0	20.1	6.7	2.4	2.8
		A-D層		7.4					
119	要素	追加質問	全体	74.9	31.5	42.6	20.2	4.6	1.2
	小要素		A層	82.9	39.0	43.6	15.2	1.9	0.3
			B層	78.0	34.0	43.6	18.8	3.1	0.5
			C層	72.7	27.8	44.2	22.3	4.7	1.0
			D層	66.1	25.3	39.0	24.2	8.7	2.7
		A-D層		16.8					
120	要素	追加質問	全体	72.4	43.1	28.4	15.4	11.9	1.3
	小要素		A層	77.8	48.6	29.0	13.3	8.9	0.3
			B層	75.6	46.8	28.3	14.5	9.8	0.6
			C層	71.6	41.2	29.7	16.2	11.9	1.1
			D層	64.3	35.7	26.7	17.7	17.0	2.9
		A-D層		13.5					
121	要素	追加質問	全体	92.3	71.3	19.9	5.6	2.0	1.2
	小要素		A層	97.1	82.6	14.2	2.3	0.5	0.3
			B層	95.4	77.6	17.3	3.7	0.9	0.5
			C層	93.0	69.2	22.8	5.5	1.4	1.1
			D層	83.7	56.3	25.0	10.6	5.2	2.8
		A-D層		13.4					
122	要素	追加質問	全体	89.2	63.8	24.4	7.7	2.9	1.2
	小要素		A層	91.8	68.5	23.0	6.2	2.0	0.3
			B層	91.4	67.3	23.6	6.7	1.9	0.5
			C層	89.4	64.6	23.9	7.8	2.7	1.0
			D層	84.4	55.1	26.9	10.2	5.0	2.8
		A-D層		7.4					
123	要素	追加質問	全体	86.9	70.0	15.8	7.8	5.2	1.2
	小要素		A層	87.1	72.6	14.2	8.0	4.9	0.3
			B層	87.6	72.9	14.3	7.7	4.7	0.5
			C層	88.6	72.2	15.5	6.9	4.4	1.0
			D層	84.3	62.5	19.4	8.6	6.6	2.8
		A-D層		2.8					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
124	要素	追加質問	全体	94.5	73.8	19.6	3.8	1.6	1.2
	小要素		A層	97.4	81.1	16.0	2.1	0.5	0.3
			B層	96.6	76.7	19.4	2.5	0.9	0.5
			C層	94.9	74.3	19.7	3.7	1.3	1.1
			D層	89.1	63.2	23.4	7.0	3.6	2.9
		A-D層		8.3					
125	要素	追加質問	全体	91.4	58.0	32.3	6.9	1.6	1.2
	小要素		A層	93.7	59.0	34.4	5.7	0.6	0.3
			B層	93.7	60.3	32.9	5.3	0.9	0.6
			C層	91.7	58.2	32.4	6.9	1.4	1.1
			D層	86.7	54.8	29.4	9.6	3.3	2.8
		A-D層		7.0					
126	要素	追加質問	全体	85.0	55.3	28.6	9.4	5.4	1.3
	小要素		A層	88.0	61.5	26.2	8.2	3.8	0.3
			B層	87.4	59.4	27.5	8.1	4.4	0.6
			C層	85.6	55.9	28.8	9.2	5.0	1.1
			D層	78.9	44.6	32.0	12.0	8.5	3.0
		A-D層		9.1					
127	要素	追加質問	全体	67.3	36.3	30.1	20.3	12.1	1.3
	小要素		A層	69.3	37.2	31.9	20.2	10.4	0.3
			B層	67.9	37.9	29.7	20.9	11.0	0.6
			C層	67.5	36.9	29.8	20.1	12.0	1.2
			D層	64.2	33.4	28.9	19.8	14.9	3.0
		A-D層		5.1					
128	要素	追加質問	全体	81.2	50.7	29.5	13.0	5.5	1.3
	小要素		A層	84.3	55.0	29.0	11.9	3.8	0.3
			B層	82.9	54.1	28.2	11.9	5.0	0.6
			C層	80.9	49.5	30.4	13.2	5.7	1.2
			D層	76.7	43.9	30.4	15.0	7.7	3.1
		A-D層		7.6					
129	要素	追加質問	全体	84.0	51.5	31.4	11.6	4.2	1.4
	小要素		A層	88.0	56.2	31.5	9.3	2.7	0.4
			B層	86.1	54.0	31.7	10.7	3.1	0.6
			C層	82.8	50.0	31.7	12.6	4.4	1.3
			D層	78.9	45.8	30.6	14.0	6.4	3.2
		A-D層		9.1					
130	要素	追加質問	全体	92.4	74.5	16.7	5.2	2.3	1.4
	小要素		A層	94.7	77.7	16.7	3.9	1.4	0.4
			B層	93.2	77.2	15.5	5.0	1.7	0.5
			C層	93.3	75.5	16.6	4.5	2.1	1.2
			D層	88.4	67.5	18.0	7.5	3.8	3.2
		A-D層		6.3					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
131	要素	追加質問	全体	61.5	28.0	32.6	24.8	13.1	1.5
	小要素		A層	63.9	29.7	34.0	25.8	10.1	0.4
			B層	62.1	26.7	35.0	25.1	12.6	0.6
			C層	59.5	27.2	31.5	26.0	14.0	1.3
			D層	60.6	28.4	30.1	22.4	15.7	3.4
			A-D層	3.3					
132	要素	追加質問	全体	67.6	32.8	33.9	22.7	9.2	1.4
	小要素		A層	71.3	36.0	35.0	21.8	6.8	0.5
			B層	67.9	33.9	33.6	23.3	8.6	0.6
			C層	67.0	32.2	34.0	23.2	9.4	1.2
			D層	64.4	29.3	33.0	22.6	11.9	3.2
			A-D層	6.9					
133	要素	追加質問	全体	91.8	67.1	23.4	5.9	2.2	1.4
	小要素		A層	95.2	73.9	20.8	3.9	0.9	0.4
			B層	93.7	71.6	21.5	4.8	1.5	0.6
			C層	92.1	66.9	24.1	6.0	1.8	1.2
			D層	86.2	56.2	27.2	8.8	4.5	3.3
			A-D層	9.0					
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少 ない	その他 無回答
134	要素	追加質問	全体	54.1	21.0	32.3	28.8	16.4	1.5
	小要素		A層	51.5	19.0	32.3	31.3	17.0	0.5
			B層	52.3	20.7	31.3	31.0	16.3	0.7
			C層	55.2	21.3	33.1	28.9	15.3	1.3
			D層	57.7	23.0	32.8	24.2	16.7	3.3
			A-D層	-6.2					
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					1時間以上	30分以上～1 時間より少 ない	30分より少 ない	まったく使っ ていない	その他 無回答
135	要素	追加質問	全体	54.0	19.2	34.0	29.8	15.5	1.5
	小要素		A層	50.2	14.3	35.6	35.1	14.5	0.4
			B層	52.7	17.3	35.0	32.2	14.8	0.7
			C層	56.4	21.2	34.5	27.5	15.5	1.3
			D層	56.9	23.6	31.3	24.3	17.3	3.4
			A-D層	-6.7					
136	要素	追加質問	全体	45.0	18.5	25.8	29.4	24.7	1.6
	小要素		A層	37.8	12.7	24.9	35.6	26.3	0.4
			B層	42.9	16.3	26.3	31.4	25.3	0.7
			C層	47.3	20.6	26.1	27.8	24.2	1.4
			D層	52.3	24.3	26.1	23.0	22.9	3.7
			A-D層	-14.5					

意識調査の結果一覧【小5】

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
1	要素 豊かな基礎体験	全体	80.8	51.0	29.7	13.5	5.6	0.1
	小要素 基礎体験	A層	73.7	40.1	33.5	18.2	8.1	0.0
	友だちと外で遊んでいる。	B層	79.8	49.6	30.2	15.2	5.0	0.0
		C層	84.0	55.3	28.7	11.3	4.7	0.0
		D層	85.9	59.2	26.6	9.5	4.6	0.2
A-D層	-12.2							
2	要素 豊かな基礎体験	全体	83.7	56.9	26.8	9.9	6.4	0.0
	小要素 基礎体験	A層	76.2	47.9	28.3	13.4	10.4	0.0
	ゲーム機やケータイ、スマート フォンのゲームをしている。	B層	83.0	54.6	28.4	10.5	6.5	0.0
		C層	87.0	62.2	24.7	8.1	4.9	0.0
		D層	88.6	62.7	25.8	7.4	4.0	0.1
A-D層	-12.4							
3	要素 豊かな基礎体験	全体	57.3	27.1	30.2	28.6	14.1	0.1
	小要素 基礎体験	A層	78.0	46.6	31.4	17.8	4.2	0.0
	本や新聞を読んでいる。	B層	61.4	28.6	32.8	29.1	9.5	0.0
		C層	50.5	20.4	30.0	33.9	15.6	0.1
		D層	39.3	12.8	26.5	33.8	26.9	0.1
A-D層	38.7							
4	要素 豊かな基礎体験	全体	74.6	44.1	30.5	16.8	8.6	0.1
	小要素 基礎体験	A層	79.6	49.3	30.2	15.1	5.4	0.0
	パソコンやインターネットを使 う。	B層	75.7	43.5	32.2	17.1	7.2	0.0
		C層	73.7	43.4	30.2	17.0	9.4	0.1
		D層	69.7	40.3	29.3	18.0	12.2	0.2
A-D層	9.9							
5	要素 豊かな基礎体験	全体	44.6	17.1	27.5	32.0	23.3	0.1
	小要素 基礎体験	A層	44.7	17.1	27.6	34.1	21.3	0.0
	放課後や土曜日などに、学校 の活動や集まりがあれば、参 加している。	B層	45.4	17.3	28.1	32.9	21.7	0.1
		C層	46.0	17.8	28.1	31.0	22.9	0.1
		D層	42.7	16.2	26.4	30.2	27.0	0.2
A-D層	2.0							
6	要素 豊かな基礎体験	全体	78.1	40.1	38.0	13.1	8.8	0.1
	小要素 基礎体験	A層	88.8	54.2	34.5	7.3	4.0	0.0
	ゲーム機やケータイ、スマート フォンのゲームをするときは、 家の人と時間についてルール を決めている。(ゲームをしな い人は、1番を選んでくださ い。)	B層	82.9	42.8	40.1	11.8	5.3	0.0
		C層	75.6	37.0	38.6	15.0	9.3	0.0
		D層	65.5	26.5	38.9	17.9	16.5	0.2
A-D層	23.3							
7	要素 豊かな基礎体験	全体	68.4	46.0	22.3	13.3	18.3	0.1
	小要素 基礎体験	A層	72.9	53.5	19.3	11.6	15.5	0.1
	ケータイやスマートフォンで電 話やメールをするときは、家 の人と時間を決めている。 (ケータイやスマートフォンで 電話やメールをしない人は、1 番を選んでください。)	B層	71.9	49.4	22.5	11.9	16.1	0.0
		C層	67.3	45.0	22.2	13.7	19.0	0.1
		D層	61.6	36.3	25.2	15.7	22.6	0.2
A-D層	11.3							

※川崎市の欄に記されている数値は、肯定的な回答(「とてもあてはまる」「まああてはまる」など)をした児童生徒の割合

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
8	要素 豊かな基礎体験	全体	94.8	75.7	19.0	3.7	1.4	0.1
	小要素 基礎体験	A層	96.8	79.5	17.3	2.6	0.6	0.0
	家の人は自分のことを気かけ てきていると思う	B層	96.4	78.8	17.5	2.7	0.9	0.0
		C層	94.7	75.3	19.3	3.8	1.5	0.1
		D層	91.5	69.3	22.0	5.9	2.6	0.2
A-D層	5.3							
9	要素 豊かな基礎体験	全体	91.7	54.3	37.3	6.6	1.7	0.1
	小要素 基礎体験	A層	94.8	60.0	34.8	4.3	0.9	0.0
	今まで教えてもらった学校の先 生は、自分のことを認めてくれ ていたと思う。	B層	93.6	56.5	37.1	5.2	1.2	0.0
		C層	91.6	52.5	39.1	6.5	1.9	0.1
		D層	86.7	48.3	38.3	10.4	2.9	0.2
A-D層	8.1							
10	要素 豊かな基礎体験	全体	91.5	71.1	20.3	5.9	2.6	0.1
	小要素 基礎体験	A層	95.2	76.9	18.2	3.6	1.3	0.0
	勉強やスポーツのことで、家 の人が応援してくれる。	B層	92.9	73.3	19.7	5.2	1.9	0.0
		C層	91.1	71.0	20.1	6.2	2.7	0.0
		D層	86.9	63.3	23.3	8.5	4.6	0.3
A-D層	8.3							
11	要素 豊かな基礎体験	全体	60.9	29.8	31.0	25.6	13.5	0.1
	小要素 基礎体験	A層	67.1	34.7	32.4	24.4	8.5	0.0
	将来の夢やこれからの進路につ いて家の人と話をする。	B層	60.7	28.3	32.4	26.7	12.5	0.0
		C層	58.9	28.6	30.3	25.9	15.2	0.1
		D層	56.9	27.9	28.9	25.2	17.7	0.3
A-D層	10.2							
12	要素 豊かな基礎体験	全体	25.0	11.4	13.5	25.3	49.7	0.1
	小要素 基礎体験	A層	35.7	18.1	17.5	27.0	37.3	0.0
	新聞に書かれていることにつ いて家の人と話をする。	B層	23.5	10.0	13.6	26.1	50.3	0.1
		C層	20.5	9.0	11.5	24.5	54.9	0.1
		D層	20.2	8.6	11.5	23.7	55.9	0.3
A-D層	15.5							
13	要素 豊かな基礎体験	全体	92.6	80.8	11.7	5.4	2.0	0.1
	小要素 基本的な生活習慣	A層	96.4	87.8	8.6	2.9	0.7	0.0
	朝食は毎日食べている。	B層	95.1	85.5	9.5	3.8	1.1	0.0
		C層	93.2	81.0	12.1	4.8	2.0	0.1
		D層	85.8	69.0	16.6	10.2	3.9	0.2
A-D層	10.6							
14	要素 豊かな基礎体験	全体	66.6	33.3	33.3	23.0	10.4	0.1
	小要素 基本的な生活習慣	A層	69.0	32.1	36.9	23.7	7.3	0.0
	朝、起こされなくても自分で起 きている。	B層	67.6	33.5	34.0	23.2	9.2	0.0
		C層	65.9	33.2	32.6	23.9	10.2	0.1
		D層	64.1	34.3	29.7	21.1	14.7	0.2
A-D層	4.9							

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
15	要素	豊かな基礎体験	全体	56.3	22.1	34.2	27.9	15.8	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	59.0	20.6	38.4	28.8	12.2	0.0
			B層	58.4	22.8	35.6	27.9	13.6	0.0
			C層	54.9	20.6	34.2	28.2	16.9	0.1
			D層	53.1	24.4	28.5	26.6	20.3	0.3
			A-D層	5.9					
16	要素	豊かな基礎体験	全体	66.4	28.8	37.6	24.7	8.9	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	68.3	28.2	40.2	24.2	7.5	0.0
			B層	66.6	29.3	37.3	26.0	7.4	0.0
			C層	67.3	29.1	38.1	24.3	8.4	0.0
			D層	63.4	28.6	34.6	24.5	12.1	0.2
			A-D層	4.9					
17	要素	豊かな基礎体験	全体	74.0	36.1	37.8	20.3	5.6	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	77.5	37.4	40.1	19.2	3.2	0.0
			B層	75.6	36.5	39.1	19.6	4.8	0.1
			C層	72.6	35.5	37.0	22.0	5.4	0.1
			D層	70.4	35.2	35.0	20.6	9.0	0.3
			A-D層	7.1					
18	要素	学びに向かう力	全体	68.2	37.0	31.2	20.5	11.3	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	77.6	44.4	33.2	17.0	5.4	0.0
			B層	68.2	36.6	31.7	21.9	9.9	0.0
			C層	65.5	34.1	31.4	21.4	13.1	0.0
			D層	61.7	33.0	28.6	21.5	16.7	0.2
			A-D層	15.9					
19	要素	学びに向かう力	全体	57.6	29.6	28.0	24.4	17.9	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	64.6	34.3	30.3	23.1	12.4	0.0
			B層	58.0	29.0	29.0	25.2	16.8	0.0
			C層	55.5	28.8	26.7	25.4	19.1	0.1
			D層	52.4	26.3	26.1	24.1	23.4	0.1
			A-D層	12.2					
20	要素	学びに向かう力	全体	76.1	41.0	34.9	17.0	6.9	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	87.2	55.8	31.4	10.1	2.7	0.0
			B層	78.8	42.5	36.3	16.3	4.9	0.0
			C層	73.3	36.2	37.0	19.0	7.7	0.1
			D層	65.1	29.8	35.1	22.6	12.2	0.3
			A-D層	22.1					
21	要素	学びに向かう力	全体	92.3	67.1	25.1	6.1	1.6	0.1
	小要素	学習動機	A層	95.7	76.9	18.8	3.7	0.6	0.0
			B層	95.1	72.4	22.6	3.9	1.0	0.0
			C層	93.0	66.2	26.8	5.8	1.2	0.0
			D層	85.3	52.9	32.3	11.0	3.6	0.2
			A-D層	10.4					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
22	要素	学びに向かう力	全体	90.4	66.1	24.2	7.0	2.6	0.1
	小要素	学習動機	A層	93.7	73.2	20.5	5.1	1.2	0.0
			B層	91.5	67.4	24.1	6.6	2.0	0.0
			C層	90.3	64.8	25.4	7.2	2.5	0.0
			D層	86.1	59.2	26.7	9.2	4.7	0.2
			A-D層	7.6					
23	要素	学びに向かう力	全体	83.4	47.5	35.9	11.8	4.8	0.1
	小要素	学習動機	A層	87.0	51.8	35.1	9.7	3.4	0.0
			B層	85.4	49.8	35.6	11.2	3.4	0.0
			C層	83.9	46.8	37.1	11.4	4.6	0.1
			D層	77.4	41.7	35.6	14.9	7.6	0.2
			A-D層	9.6					
24	要素	学びに向かう力	全体	89.7	48.7	40.9	8.8	1.5	0.1
	小要素	自己責任	A層	93.3	54.3	39.0	6.2	0.5	0.0
			B層	91.1	49.7	41.4	7.9	0.9	0.0
			C層	89.9	48.0	41.9	8.5	1.5	0.0
			D層	84.3	42.9	41.2	12.5	3.1	0.2
			A-D層	9.0					
25	要素	学びに向かう力	全体	89.8	56.3	33.4	7.9	2.3	0.1
	小要素	自己有能感	A層	92.3	60.4	31.9	6.2	1.5	0.0
			B層	92.3	58.7	33.5	5.9	1.9	0.0
			C層	90.2	56.3	33.8	7.7	2.1	0.1
			D層	84.7	49.9	34.5	11.6	3.7	0.2
			A-D層	7.6					
26	要素	学びに向かう力	全体	92.1	70.0	22.1	6.0	1.9	0.1
	小要素	達成感	A層	95.4	76.9	18.4	3.6	1.0	0.0
			B層	93.7	72.1	21.6	4.9	1.4	0.0
			C層	92.1	69.7	22.3	6.0	1.9	0.0
			D層	87.3	61.3	25.8	9.5	3.2	0.2
			A-D層	8.1					
27	要素	自ら学ぶ力	全体	64.6	28.4	36.1	26.6	8.7	0.1
	小要素	学習スキル	A層	68.2	31.6	36.7	24.7	7.0	0.0
			B層	65.7	28.2	37.4	26.8	7.5	0.0
			C層	63.9	27.2	36.6	27.5	8.5	0.1
			D層	60.8	26.9	33.8	27.4	11.7	0.2
			A-D層	7.4					
28	要素	自ら学ぶ力	全体	70.8	34.6	36.1	21.1	8.1	0.1
	小要素	学習スキル	A層	79.1	44.2	34.9	16.0	4.9	0.0
			B層	72.5	36.0	36.4	20.5	7.0	0.0
			C層	68.0	30.7	37.3	22.9	9.1	0.0
			D層	63.6	27.8	35.6	25.0	11.4	0.2
			A-D層	15.5					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない		
29	要素 自ら学ぶ力	全体	54.0	21.8	32.1	30.6	15.4	0.1	
	小要素 学習スキル	A層	57.1	24.5	32.6	28.7	14.2	0.0	
	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	B層	55.7	23.3	32.4	30.5	13.7	0.0	
		C層	52.8	20.6	32.2	30.8	16.3	0.1	
		D層	50.3	18.9	31.3	32.4	17.2	0.2	
A-D層		6.8							
30	要素 自ら学ぶ力	全体	55.6	19.5	36.0	32.2	12.2	0.1	
	小要素 学習定着のための方略	A層	65.9	26.6	39.3	26.7	7.3	0.0	
	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	B層	57.5	19.0	38.5	31.4	11.1	0.0	
		C層	51.9	17.0	34.9	35.1	13.0	0.1	
		D層	47.2	15.6	31.5	35.6	17.1	0.3	
A-D層		18.7							
31	要素 自ら学ぶ力	全体	68.6	29.3	39.3	24.0	7.4	0.1	
	小要素 学習定着のための方略	A層	83.4	44.5	38.8	14.3	2.3	0.1	
	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	B層	73.0	31.9	41.1	21.0	6.0	0.0	
		C層	63.0	22.3	40.7	28.9	8.1	0.0	
		D層	55.3	18.6	36.6	31.7	12.8	0.3	
A-D層		28.1							
32	要素 自ら学ぶ力	全体	66.0	26.3	39.7	26.6	7.3	0.1	
	小要素 学習定着のための方略	A層	75.2	34.0	41.1	20.9	4.0	0.0	
	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	B層	67.7	28.2	39.5	25.7	6.6	0.0	
		C層	63.7	23.2	40.4	29.2	7.1	0.0	
		D層	57.6	19.5	38.0	30.8	11.5	0.3	
A-D層		17.6							
33	要素 自ら学ぶ力	全体	79.4	41.7	37.6	15.5	5.0	0.1	
	小要素 学習計画力	A層	86.4	50.4	36.0	10.9	2.7	0.0	
	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	B層	82.5	44.9	37.6	14.0	3.6	0.0	
		C層	78.5	38.8	39.6	16.4	5.1	0.1	
		D層	70.5	33.0	37.3	20.9	8.5	0.3	
A-D層		15.9							
34	要素 自ら学ぶ力	全体	54.3	23.0	31.3	30.1	15.6	0.1	
	小要素 学習計画力	A層	62.5	30.6	31.9	27.1	10.5	0.0	
	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	B層	56.0	23.4	32.6	30.1	14.0	0.0	
		C層	50.8	20.3	30.5	30.9	18.2	0.1	
		D層	48.2	17.9	30.2	32.2	19.4	0.3	
A-D層		14.3							
35	要素 自ら学ぶ力	全体	56.2	26.5	29.7	27.2	16.6	0.1	
	小要素 学習計画力	A層	68.1	36.8	31.3	22.6	9.2	0.0	
	自分で学習の計画を立てている。	B層	61.3	28.9	32.3	24.6	14.1	0.0	
		C層	51.2	21.3	29.9	30.0	18.7	0.1	
		D層	44.4	18.9	25.3	31.4	24.1	0.2	
A-D層		23.7							

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない		
36	要素 学びを律する力	全体	64.9	32.4	32.4	24.7	10.4	0.1	
	小要素 学習継続力	A層	81.9	50.3	31.6	14.7	3.5	0.0	
	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	B層	70.3	36.6	33.8	22.4	7.3	0.0	
		C層	59.7	25.5	34.2	29.0	11.2	0.1	
		D層	47.8	17.3	30.3	32.6	19.5	0.3	
A-D層		34.1							
37	要素 学びを律する力	全体	71.0	29.4	41.6	23.6	5.4	0.1	
	小要素 学習継続力	A層	83.1	40.6	42.5	15.5	1.5	0.0	
	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	B層	74.9	30.7	44.2	21.1	4.0	0.0	
		C層	67.2	24.4	42.7	26.9	5.9	0.1	
		D層	58.8	21.8	36.8	30.8	10.3	0.3	
A-D層		24.3							
38	要素 学びを律する力	全体	64.4	21.8	42.5	27.4	8.2	0.1	
	小要素 学習のけじめ	A層	71.1	23.1	48.1	24.2	4.6	0.0	
	学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	B層	66.7	22.2	44.5	26.4	6.8	0.0	
		C層	61.3	20.7	40.5	29.2	9.4	0.1	
		D層	58.4	21.1	37.1	29.7	11.8	0.3	
A-D層		12.7							
39	要素 学びを律する力	全体	74.1	27.6	46.4	21.3	4.5	0.1	
	小要素 学習のけじめ	A層	80.4	32.7	47.7	17.3	2.3	0.0	
	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	B層	75.8	27.0	48.7	20.3	3.8	0.0	
		C層	73.7	27.0	46.7	22.1	4.2	0.1	
		D層	66.6	23.8	42.6	25.6	7.7	0.3	
A-D層		13.8							
40	要素 学びを律する力	全体	67.5	20.9	46.4	25.9	6.6	0.2	
	小要素 学習環境の整備	A層	71.7	24.2	47.5	23.9	4.4	0.1	
	正しい姿勢で学習している。	B層	70.2	21.8	48.4	24.0	5.7	0.0	
		C層	66.4	19.6	46.7	26.9	6.7	0.1	
		D層	61.7	18.2	43.3	28.7	9.4	0.4	
A-D層		10.0							
41	要素 学びを律する力	全体	87.6	54.7	32.8	10.1	2.2	0.1	
	小要素 学習環境の整備	A層	91.2	61.1	30.0	7.8	1.1	0.1	
	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	B層	90.1	58.4	31.8	8.4	1.5	0.0	
		C層	88.8	54.3	34.4	9.3	1.9	0.0	
		D層	80.5	45.0	35.2	15.0	4.5	0.3	
A-D層		10.7							
42	要素 学びを律する力	全体	88.4	47.6	40.7	9.5	2.1	0.1	
	小要素 授業を受ける姿勢	A層	93.1	58.7	34.4	6.0	0.9	0.1	
	授業を集中して受けている。	B層	91.4	50.8	40.5	7.1	1.6	0.0	
		C層	89.4	45.2	44.1	9.1	1.5	0.1	
		D層	80.0	36.0	43.7	15.6	4.4	0.4	
A-D層		13.1							

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
43	要素	問題解決力	全体	73.8	31.9	41.8	21.5	4.6	0.1
	小要素		A層	86.4	45.0	41.4	12.3	1.3	0.0
			B層	77.7	34.3	43.4	19.0	3.2	0.1
			C層	71.8	27.7	44.0	23.9	4.3	0.1
			D層	59.4	20.6	38.6	30.7	9.7	0.4
			A-D層	27.0					
44	要素	問題解決力	全体	73.8	29.5	44.2	21.6	4.5	0.2
	小要素		A層	85.7	39.7	45.9	12.9	1.4	0.1
			B層	77.9	30.7	47.2	18.8	3.2	0.0
			C層	70.2	25.5	44.5	25.2	4.6	0.1
			D層	61.6	22.2	39.2	29.3	8.9	0.4
			A-D層	24.1					
45	要素	問題解決力	全体	66.8	26.2	40.5	25.6	7.5	0.2
	小要素		A層	79.2	37.3	41.7	18.0	2.8	0.2
			B層	69.3	27.3	42.0	25.6	5.0	0.1
			C層	62.8	22.3	40.4	28.8	8.4	0.2
			D層	56.1	17.8	38.1	30.0	13.7	0.4
			A-D層	23.1					
46	要素	問題解決力	全体	73.5	42.5	30.9	19.5	7.0	0.1
	小要素		A層	87.0	58.7	28.2	10.9	2.1	0.1
			B層	79.5	46.7	32.8	16.4	4.1	0.0
			C層	69.7	37.4	32.3	22.5	7.7	0.1
			D層	58.2	27.5	30.4	27.8	13.9	0.3
			A-D層	28.8					
47	要素	社会参画力	全体	70.3	36.8	33.4	20.6	9.0	0.1
	小要素		A層	81.7	48.3	33.4	14.6	3.6	0.0
			B層	74.0	39.7	34.3	19.4	6.6	0.0
			C層	69.0	34.4	34.6	22.2	8.8	0.0
			D層	56.6	25.0	31.4	26.3	17.0	0.4
			A-D層	25.1					
48	要素	社会参画力	全体	62.0	30.6	31.3	24.9	13.0	0.1
	小要素		A層	74.5	41.6	32.8	19.1	6.4	0.0
			B層	64.0	31.8	32.2	24.3	11.7	0.0
			C層	58.9	27.8	31.0	26.7	14.4	0.1
			D層	50.8	21.4	29.3	29.3	19.7	0.3
			A-D層	23.7					
49	要素	豊かな心	全体	84.4	40.6	43.7	13.4	2.2	0.1
	小要素		A層	90.5	48.3	42.1	8.9	0.6	0.0
			B層	87.9	43.9	44.0	10.9	1.2	0.0
			C層	83.6	37.8	45.7	14.1	2.3	0.0
			D層	75.6	32.3	43.0	19.7	4.6	0.4
			A-D層	14.9					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
50	要素	豊かな心	全体	74.1	32.7	41.4	21.0	4.8	0.1
	小要素		A層	80.0	35.8	44.1	17.5	2.4	0.1
			B層	75.2	33.9	41.3	20.9	3.9	0.0
			C層	73.1	32.2	40.8	21.7	5.3	0.0
			D層	68.3	28.9	39.1	24.1	7.5	0.4
			A-D層	11.7					
51	要素	豊かな心	全体	73.5	34.7	38.7	21.7	4.8	0.1
	小要素		A層	81.4	42.5	38.9	16.2	2.3	0.1
			B層	76.7	36.1	40.7	19.8	3.5	0.0
			C層	71.7	33.0	38.8	23.5	4.8	0.0
			D層	64.0	27.3	36.5	27.4	8.4	0.4
			A-D層	17.4					
52	要素	豊かな心	全体	90.7	58.7	31.8	7.6	1.8	0.1
	小要素		A層	95.6	67.7	27.9	3.6	0.8	0.0
			B層	93.0	61.6	31.2	5.7	1.3	0.1
			C層	90.2	57.5	32.7	8.2	1.6	0.0
			D層	83.9	48.2	35.3	12.8	3.3	0.4
			A-D層	11.7					
53	要素	自己成長力	全体	81.4	52.9	28.4	12.9	5.8	0.1
	小要素		A層	85.1	59.6	25.4	10.3	4.6	0.0
			B層	83.7	55.9	27.8	11.6	4.7	0.0
			C層	81.2	50.9	30.4	13.1	5.7	0.0
			D層	75.5	45.3	29.9	16.4	8.0	0.4
			A-D層	9.6					
54	要素	自己成長力	全体	93.0	73.8	19.1	5.3	1.7	0.1
	小要素		A層	96.5	83.2	13.3	2.5	1.0	0.0
			B層	95.5	77.4	18.1	3.6	0.9	0.0
			C層	93.0	72.3	20.7	5.6	1.4	0.0
			D層	86.8	62.3	24.1	9.5	3.6	0.5
			A-D層	9.7					
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きではな い	その他 無回答
55	要素	教科の好き嫌い	全体	63.5	17.9	45.5	26.8	9.7	0.1
	小要素		A層	76.3	29.4	46.8	18.3	5.4	0.1
			B層	64.9	17.3	47.5	26.3	8.8	0.0
			C層	59.5	14.1	45.4	30.4	10.1	0.0
			D層	53.4	10.9	42.2	32.1	14.4	0.4
			A-D層	22.9					
56	要素	教科の好き嫌い	全体	63.2	27.7	35.5	25.0	11.7	0.1
	小要素		A層	73.7	36.3	37.4	19.3	7.0	0.0
			B層	64.2	29.0	35.1	23.9	11.9	0.0
			C層	60.0	24.6	35.4	27.5	12.5	0.0
			D層	55.2	21.2	33.8	29.1	15.5	0.4
			A-D層	18.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好きで はない	好きではな い	その他 無回答
57	要素	教科の好き嫌い	全体	63.5	34.6	28.8	19.6	16.8	0.1
	小要素		A層	83.2	55.1	28.1	11.9	4.9	0.0
			B層	72.3	41.1	31.2	17.6	10.0	0.0
			C層	59.3	26.4	32.9	22.3	18.4	0.1
			D層	39.5	16.0	23.3	26.5	33.8	0.3
		A-D層	43.7						
58	要素	教科の好き嫌い	全体	82.4	47.3	35.0	12.7	4.9	0.1
	小要素		A層	85.4	51.3	34.1	11.0	3.6	0.0
			B層	81.5	46.0	35.5	13.3	5.2	0.0
			C層	82.2	46.9	35.3	12.7	5.1	0.1
			D層	80.3	45.1	34.9	13.8	5.8	0.3
		A-D層	5.1						
59	要素	教科の好き嫌い	全体	77.9	45.5	32.4	14.0	8.1	0.1
	小要素		A層	80.3	50.1	30.2	13.3	6.4	0.0
			B層	78.9	46.6	32.2	13.5	7.6	0.0
			C層	79.4	45.6	33.7	12.7	7.9	0.1
			D層	73.1	39.6	33.2	16.4	10.4	0.4
		A-D層	7.2						
60	要素	教科の好き嫌い	全体	87.6	65.8	21.7	8.1	4.3	0.1
	小要素		A層	86.1	61.3	24.8	9.1	4.8	0.0
			B層	87.4	65.3	22.1	8.2	4.3	0.0
			C層	88.1	68.1	20.0	8.1	3.8	0.0
			D層	88.8	68.6	19.8	6.9	4.3	0.4
		A-D層	-2.7						
61	要素	教科の好き嫌い	全体	85.9	63.7	22.0	8.8	5.4	0.1
	小要素		A層	82.6	57.1	25.6	11.2	6.1	0.0
			B層	85.2	63.1	22.1	9.6	5.2	0.0
			C層	88.2	66.2	21.9	7.2	4.6	0.1
			D層	87.5	68.6	18.6	7.0	5.4	0.4
		A-D層	-4.9						
62	要素	教科の好き嫌い	全体	77.3	36.8	40.4	17.2	5.5	0.1
	小要素		A層	79.9	38.4	41.5	15.5	4.6	0.0
			B層	79.7	38.0	41.7	15.5	4.8	0.0
			C層	77.7	37.9	39.8	17.7	4.6	0.0
			D層	71.9	33.0	38.6	20.1	7.9	0.4
		A-D層	8.0						
63	要素	教科の好き嫌い	全体	72.5	34.3	38.1	18.6	8.8	0.1
	小要素		A層	70.7	30.8	39.9	19.9	9.4	0.0
			B層	72.1	32.4	39.7	18.4	9.5	0.0
			C層	74.9	38.2	36.7	18.4	6.7	0.0
			D層	72.4	35.9	36.2	17.8	9.7	0.4
		A-D層	-1.7						
64	要素	教科の好き嫌い	全体	86.9	55.0	31.8	9.4	3.6	0.1
	小要素		A層	90.7	60.8	29.9	6.9	2.3	0.0
			B層	89.1	57.7	31.4	8.0	2.9	0.0
			C層	86.3	55.0	31.3	10.0	3.7	0.1
			D層	81.5	46.6	34.5	12.8	5.7	0.5
		A-D層	9.2						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかって いる	まあわかっ ている	あまりわか かっていな い	まったくわ かっていな い	その他 無回答
65	要素	教科の理解度	全体	86.7	35.6	51.0	11.2	2.1	0.1
	小要素		A層	96.4	59.2	37.2	3.3	0.3	0.0
			B層	91.5	39.7	51.8	7.7	0.7	0.0
			C層	86.0	27.0	59.0	12.3	1.7	0.1
			D層	72.9	16.6	56.0	21.5	5.5	0.4
		A-D層	23.5						
66	要素	教科の理解度	全体	83.6	39.2	44.3	13.7	2.7	0.1
	小要素		A層	94.3	57.9	36.3	5.2	0.5	0.0
			B層	87.5	42.5	45.0	11.2	1.3	0.0
			C層	82.5	32.8	49.7	15.4	2.1	0.0
			D層	70.1	23.7	46.2	23.0	6.7	0.4
		A-D層	24.2						
67	要素	教科の理解度	全体	79.9	43.7	36.1	15.3	4.8	0.2
	小要素		A層	97.1	73.6	23.5	2.7	0.2	0.0
			B層	90.7	53.1	37.6	8.4	0.8	0.0
			C層	79.9	33.1	46.7	16.9	3.2	0.1
			D層	51.9	15.2	36.4	33.1	14.8	0.5
		A-D層	45.2						
68	要素	教科の理解度	全体	90.9	52.5	38.3	7.5	1.6	0.1
	小要素		A層	96.1	66.7	29.5	3.6	0.3	0.0
			B層	93.0	55.7	37.3	6.3	0.7	0.0
			C層	90.0	47.8	42.2	8.5	1.4	0.1
			D層	84.5	39.9	44.2	11.5	3.9	0.5
		A-D層	11.6						
69	要素	教科の理解度	全体	86.7	54.0	32.6	10.0	3.3	0.1
	小要素		A層	90.4	61.4	29.0	7.7	2.0	0.0
			B層	88.8	57.5	31.3	9.1	2.1	0.0
			C層	87.5	52.9	34.6	9.9	2.5	0.1
			D層	80.1	44.4	35.5	13.3	6.4	0.3
		A-D層	10.3						
70	要素	教科の理解度	全体	92.6	66.7	25.8	5.5	1.9	0.1
	小要素		A層	93.9	66.8	27.1	4.7	1.4	0.0
			B層	93.4	68.2	25.1	5.2	1.4	0.0
			C層	93.3	68.3	24.9	4.9	1.8	0.1
			D層	89.9	63.6	26.0	7.1	3.0	0.4
		A-D層	4.0						
71	要素	教科の理解度	全体	92.3	67.0	25.0	5.8	1.9	0.3
	小要素		A層	92.4	64.3	28.1	6.0	1.5	0.1
			B層	92.8	67.9	24.7	5.5	1.7	0.2
			C層	93.7	69.4	24.0	5.0	1.3	0.2
			D層	90.2	66.4	23.4	6.5	3.2	0.5
		A-D層	2.2						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)							
					0さつ	1,2さつ	3,4さつ	5,6さつ	7,8さつ	9,10さつ	11さつ以上	その他 無回答
72	要素	読書冊数	全体		22.3	29.6	17.1	10.7	5.1	3.8	11.1	0.3
	小要素		A層		10.5	24.2	18.8	13.3	7.7	6.1	19.4	0.1
			B層		18.2	29.9	17.6	12.7	5.5	3.7	12.2	0.1
		あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	C層		24.8	33.2	16.6	9.6	4.3	3.2	7.9	0.5
			D層		35.5	30.9	15.2	7.5	2.9	2.3	5.0	0.7
			A-D層									
質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)							その他 無回答
					ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上	
73	要素	テレビを見る時間	全体		11.8	13.9	18.0	15.0	13.1	8.2	19.7	0.3
	小要素	平日	A層		14.0	15.8	20.3	16.6	13.8	7.5	11.9	0.1
			B層		9.9	12.5	18.2	16.3	14.6	8.8	19.6	0.0
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	C層		9.3	12.3	16.0	14.6	13.5	9.4	24.6	0.3
			D層		13.8	15.1	17.5	12.8	10.5	7.1	22.6	0.6
			A-D層									
74	要素	テレビを見る時間	全体		12.9	12.2	15.2	12.9	14.5	9.6	22.4	0.3
	小要素	休日	A層		11.0	12.1	17.2	15.4	16.1	9.4	18.8	0.1
			B層		10.1	10.6	16.0	12.6	16.2	10.7	23.7	0.1
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	C層		11.8	11.5	13.9	12.3	14.6	10.1	25.4	0.3
			D層		18.4	14.4	14.0	11.4	11.4	8.1	21.7	0.5
			A-D層									
75	要素	学習時間	全体		13.7	23.3	17.2	11.1	8.8	6.1	19.4	0.3
	小要素	平日	A層		4.7	12.6	12.5	10.1	9.5	9.0	41.6	0.1
			B層		9.3	22.2	18.0	12.1	10.0	7.3	20.8	0.2
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	C層		14.9	26.5	20.8	12.1	9.6	5.2	10.5	0.4
			D層		25.8	31.8	17.3	10.1	6.3	3.1	5.1	0.6
			A-D層									
76	要素	学習時間	全体		22.9	25.2	16.9	9.8	7.4	4.6	13.1	0.2
	小要素	休日	A層		9.7	16.5	14.1	10.6	11.8	8.5	28.7	0.1
			B層		17.3	26.0	18.1	11.2	8.2	5.0	14.3	0.1
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	C層		27.5	28.0	19.6	9.8	5.9	2.7	6.4	0.2
			D層		36.7	30.2	15.7	7.6	3.7	2.1	3.4	0.5
			A-D層									
77	要素	ゲームをする時間	全体		23.1	16.0	18.9	11.1	10.2	5.7	14.8	0.2
	小要素	平日	A層		33.3	19.6	20.3	9.9	7.7	3.4	5.8	0.0
			B層		24.8	16.9	20.8	10.8	10.1	5.0	11.5	0.1
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	C層		18.4	14.4	19.0	11.9	12.1	6.8	17.3	0.1
			D層		16.0	13.2	15.6	12.1	10.7	7.3	24.6	0.5
			A-D層									
78	要素	ゲームをする時間	全体		18.2	13.5	17.7	11.3	11.9	6.9	20.2	0.2
	小要素	休日	A層		24.8	16.2	22.2	10.8	11.4	5.1	9.5	0.0
			B層		19.1	14.1	18.3	12.1	12.8	6.9	16.6	0.1
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	C層		15.5	12.5	16.0	11.1	13.0	7.6	24.2	0.1
			D層		13.5	11.4	14.6	11.4	10.5	7.9	30.1	0.6
			A-D層									

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
79	要素	国語	全体	43.4	14.3	29.0	36.0	20.3	0.3
	小要素		A層	55.6	20.8	34.9	31.1	13.2	0.1
			B層	45.5	14.5	30.9	37.1	17.2	0.2
		国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	C層	37.8	11.1	26.7	39.1	23.0	0.2
			D層	34.9	11.1	23.5	36.8	27.7	1.0
			A-D層	20.7					
80	要素	国語	全体	77.8	39.8	37.8	16.6	5.6	0.2
	小要素		A層	87.2	53.3	33.9	10.1	2.7	0.0
			B層	82.7	44.5	38.0	13.4	3.9	0.1
		国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	C層	76.1	36.6	39.5	17.9	5.9	0.0
			D層	65.2	25.0	39.8	24.8	9.7	0.7
			A-D層	22.0					
81	要素	国語	全体	81.4	54.4	26.7	12.8	5.8	0.3
	小要素		A層	89.4	69.6	19.7	7.7	2.9	0.0
			B層	85.4	59.2	26.1	10.3	4.3	0.1
		国語の授業で、物語を作ったことがある。	C層	80.0	51.7	28.2	14.2	5.8	0.1
			D層	70.7	37.4	32.8	18.9	10.1	0.8
			A-D層	18.7					
82	要素	国語	全体	83.5	47.5	35.7	13.1	3.4	0.2
	小要素		A層	90.3	59.1	31.2	8.3	1.4	0.0
			B層	87.4	50.9	36.5	10.7	1.9	0.1
		国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	C層	82.4	44.4	38.0	14.0	3.6	0.0
			D層	73.8	36.0	37.3	19.2	6.8	0.8
			A-D層	16.5					
83	要素	算数	全体	63.3	29.4	33.8	27.3	9.4	0.2
	小要素		A層	68.1	35.8	32.3	25.0	6.9	0.0
			B層	66.7	32.5	34.2	25.0	8.2	0.0
		算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	C層	63.3	27.6	35.6	28.1	8.6	0.1
			D層	55.2	21.8	33.1	30.9	13.5	0.7
			A-D層	12.9					
84	要素	算数	全体	67.9	39.2	28.5	22.5	9.5	0.2
	小要素		A層	83.8	59.4	24.4	13.2	3.1	0.0
			B層	75.9	46.7	29.2	18.7	5.3	0.0
		算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	C層	63.9	32.0	31.8	26.3	9.7	0.1
			D層	48.0	19.0	28.6	31.8	19.8	0.7
			A-D層	35.8					
85	要素	算数	全体	48.7	24.8	23.8	28.8	22.4	0.2
	小要素		A層	56.1	33.6	22.5	26.5	17.4	0.0
			B層	53.3	28.2	25.0	27.2	19.5	0.1
		算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	C層	46.6	21.7	24.9	30.5	22.8	0.1
			D層	39.0	15.8	22.9	30.9	29.7	0.7
			A-D層	17.1					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
86	要素	算数	全体	72.6	37.2	35.3	19.9	7.4	0.2
	小要素		A層	81.6	48.2	33.4	14.6	3.8	0.0
			B層	78.2	42.3	35.8	16.2	5.6	0.0
		算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	C層	71.3	33.3	37.9	21.9	6.8	0.1
			D層	59.7	25.0	34.2	26.8	13.3	0.7
			A-D層	21.9					
87	要素	社会	全体	77.3	46.1	31.0	16.0	6.7	0.2
	小要素		A層	87.5	61.2	26.2	8.9	3.6	0.0
			B層	82.0	51.4	30.6	13.2	4.8	0.0
		社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	C層	75.5	41.4	34.1	17.6	6.9	0.0
			D層	64.2	30.5	33.1	24.2	11.3	0.8
			A-D層	23.3					
88	要素	社会	全体	70.0	45.0	24.8	19.3	10.6	0.3
	小要素		A層	75.9	57.2	18.6	14.8	9.2	0.1
			B層	74.1	50.1	24.0	16.9	9.0	0.0
		社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	C層	70.8	41.5	29.2	20.3	9.0	0.0
			D層	59.3	31.4	27.3	25.2	15.1	1.0
			A-D層	16.6					
89	要素	社会	全体	57.5	26.0	31.4	28.3	14.1	0.2
	小要素		A層	64.3	32.7	31.6	26.2	9.4	0.0
			B層	60.1	28.3	31.8	27.5	12.4	0.0
		社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。	C層	56.9	23.7	33.2	28.0	15.0	0.0
			D層	48.8	19.3	29.1	31.2	19.5	0.9
			A-D層	15.5					
90	要素	社会	全体	73.7	38.4	35.1	19.9	6.3	0.3
	小要素		A層	79.3	46.2	33.0	17.1	3.6	0.1
			B層	76.7	41.1	35.5	18.2	5.0	0.1
		社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	C層	73.2	36.9	36.3	20.6	6.1	0.1
			D層	65.7	29.6	35.4	23.5	10.5	1.0
			A-D層	13.6					
91	要素	理科	全体	91.3	65.5	25.6	6.7	2.0	0.2
	小要素		A層	97.3	81.1	16.2	2.3	0.4	0.0
			B層	94.4	70.1	24.3	4.5	1.0	0.0
		理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立て結果を予想している。	C層	90.8	62.4	28.4	7.6	1.6	0.0
			D層	82.7	48.7	33.2	12.3	4.9	0.9
			A-D層	14.6					
92	要素	理科	全体	86.1	55.0	30.8	10.8	3.1	0.3
	小要素		A層	93.5	68.5	25.0	5.6	0.9	0.0
			B層	89.8	60.0	29.8	7.9	2.3	0.1
		理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	C層	84.9	51.2	33.7	12.4	2.7	0.0
			D層	76.0	40.7	34.6	17.2	6.6	0.9
			A-D層	17.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
93	要素	理科	全体	76.0	40.9	34.9	19.1	4.9	0.2
	小要素		A層	86.7	53.8	32.9	11.5	1.8	0.0
			B層	78.7	42.9	35.8	17.8	3.5	0.0
			C層	74.0	37.3	36.6	20.7	5.3	0.0
			D層	64.6	29.9	34.2	26.1	9.0	0.9
			A-D層	22.1					
94	要素	理科	全体	79.0	43.8	34.9	16.6	4.4	0.2
	小要素		A層	84.5	49.9	34.6	13.1	2.4	0.0
			B層	80.7	44.4	36.2	16.0	3.3	0.1
			C層	78.4	43.7	34.6	17.3	4.4	0.0
			D層	72.3	37.5	34.2	20.0	7.5	0.9
			A-D層	12.2					
95	要素	やりとげる力	全体	86.9	42.1	44.6	10.8	2.2	0.2
	小要素		A層	90.8	47.0	43.8	7.8	1.4	0.0
			B層	89.5	44.0	45.4	9.5	1.0	0.0
			C層	87.2	41.4	45.8	10.9	1.9	0.0
			D層	80.3	36.2	43.3	15.1	4.4	0.9
			A-D層	10.5					
96	要素	やりとげる力	全体	91.6	58.7	32.7	6.9	1.5	0.2
	小要素		A層	94.8	66.0	28.8	4.6	0.7	0.0
			B層	94.0	63.5	30.5	5.2	0.7	0.0
			C層	92.3	57.4	34.9	6.1	1.6	0.0
			D層	85.3	48.1	36.5	11.5	3.1	0.9
			A-D層	9.5					
97	要素	やりとげる力	全体	73.7	31.0	42.6	22.2	4.0	0.3
	小要素		A層	78.5	36.6	41.9	19.1	2.4	0.0
			B層	75.7	32.5	43.2	20.9	3.4	0.0
			C層	73.6	28.8	44.7	22.6	3.8	0.0
			D層	67.3	26.1	40.6	26.0	6.4	0.9
			A-D層	11.2					
98	要素	対話力	全体	90.9	53.9	36.8	7.5	1.6	0.2
	小要素		A層	94.5	63.0	31.6	5.0	0.5	0.0
			B層	93.2	57.3	35.8	5.9	1.0	0.0
			C層	91.7	51.3	40.3	7.2	1.1	0.0
			D層	84.1	43.8	39.5	12.0	3.7	0.9
			A-D層	10.4					
99	要素	対話力	全体	65.9	31.6	34.1	25.5	8.6	0.2
	小要素		A層	72.9	39.0	33.9	21.3	5.9	0.0
			B層	67.6	33.7	33.9	25.2	7.2	0.0
			C層	63.1	28.0	35.1	27.8	9.1	0.1
			D層	60.1	25.8	33.8	27.5	12.0	0.9
			A-D層	12.8					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああては まる	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
100	要素	対話力	全体	63.6	32.2	31.2	26.4	10.0	0.3
	小要素		A層	71.1	42.2	28.8	21.5	7.4	0.0
			B層	65.4	34.3	31.1	25.7	8.9	0.1
			C層	61.0	29.2	31.7	28.6	10.4	0.1
			D層	56.9	23.1	33.3	29.6	13.1	0.9
			A-D層	14.2					
101	要素	支え合う力	全体	85.0	46.2	38.6	12.6	2.3	0.3
	小要素		A層	89.6	52.8	36.8	9.4	1.0	0.0
			B層	87.0	48.4	38.6	11.3	1.6	0.1
			C層	84.4	44.3	40.0	13.4	2.2	0.1
			D層	79.1	39.3	38.9	16.2	4.5	1.1
			A-D層	10.5					
102	要素	支え合う力	全体	87.7	52.5	34.9	10.2	2.1	0.3
	小要素		A層	90.0	54.8	35.1	8.8	1.3	0.0
			B層	89.5	53.9	35.5	9.0	1.5	0.1
			C層	87.1	51.6	35.5	10.5	2.3	0.0
			D層	84.2	49.6	33.6	12.2	3.4	1.2
			A-D層	5.8					
103	要素	支え合う力	全体	93.6	66.7	26.6	5.1	1.3	0.3
	小要素		A層	95.1	68.2	26.8	4.2	0.7	0.0
			B層	94.8	69.5	25.2	4.4	0.8	0.1
			C層	93.9	66.6	27.1	4.9	1.3	0.1
			D層	90.7	62.4	27.4	6.8	2.4	1.0
			A-D層	4.4					
104	要素	共生力	全体	85.9	44.7	40.9	11.4	2.7	0.3
	小要素		A層	90.8	49.4	41.3	7.9	1.4	0.0
			B層	88.1	45.9	42.1	10.3	1.6	0.1
			C層	85.1	44.7	40.4	12.1	2.8	0.0
			D層	79.6	38.8	39.9	15.2	4.9	1.1
			A-D層	11.2					
105	要素	共生力	全体	79.5	43.8	35.3	15.6	4.8	0.4
	小要素		A層	81.1	45.5	35.5	15.2	3.7	0.1
			B層	81.1	44.5	36.3	15.1	3.8	0.2
			C層	78.7	43.1	35.4	16.3	5.0	0.2
			D層	77.4	42.3	34.2	15.7	6.6	1.2
			A-D層	3.7					
106	要素	共生力	全体	76.1	35.3	40.5	19.4	4.5	0.3
	小要素		A層	78.8	36.0	42.8	17.7	3.5	0.0
			B層	76.7	35.4	41.2	19.7	3.6	0.1
			C層	75.9	34.9	41.0	19.3	4.8	0.1
			D層	72.9	35.0	37.1	20.8	6.0	1.1
			A-D層	5.9					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
107	要素 規律力	全体	79.2	32.1	46.8	17.4	3.4	0.3
	小要素	A層	84.9	36.6	48.3	13.6	1.5	0.0
		B層	81.3	33.3	47.9	16.2	2.4	0.1
	私は、授業中にむだなお しゃべりをしない。	C層	78.9	30.8	48.1	17.7	3.4	0.1
		D層	71.6	27.7	43.0	22.1	6.0	1.1
A-D層	13.3							
108	要素 規律力	全体	84.9	35.1	49.5	13.0	2.1	0.3
	小要素	A層	89.5	40.5	49.1	9.5	0.9	0.0
		B層	88.1	37.1	50.8	10.5	1.5	0.1
	私は、あいさつ、服装、持ち 物などについて、学校のき まりを守っている。	C層	84.3	33.6	50.7	14.0	1.6	0.1
		D層	77.6	29.1	47.7	17.8	4.3	1.1
A-D層	11.9							
109	要素 規律力	全体	91.9	56.3	35.3	6.6	1.5	0.4
	小要素	A層	95.5	63.3	32.2	4.0	0.5	0.0
		B層	94.5	60.9	33.5	4.8	0.7	0.1
	私は、校外でも人の迷惑に ならないように考えて行動 している。	C層	92.0	55.5	36.4	6.6	1.4	0.1
		D層	85.7	45.5	39.1	10.8	3.3	1.3
A-D層	9.8							
110	要素	全体	89.8	68.4	21.1	6.8	3.3	0.4
	小要素	A層	93.2	75.6	17.6	5.0	1.8	0.0
		B層	91.4	71.6	19.6	6.0	2.6	0.1
	家で学習していて、わから ないときは教えてくれる人 がいる。	C層	89.5	69.0	20.4	7.0	3.5	0.2
		D層	85.2	57.5	26.7	9.1	5.5	1.2
A-D層	8.0							
111	要素	全体	79.7	48.4	31.0	15.1	5.1	0.4
	小要素	A層	91.2	66.4	24.8	7.1	1.7	0.1
		B層	83.7	53.9	29.7	13.0	3.3	0.1
	家で学習するときは、苦手 な教科もしっかりと学習し ている。	C層	77.1	42.4	34.5	17.3	5.6	0.1
		D層	66.9	31.2	34.9	22.9	9.7	1.2
A-D層	24.3							
112	要素	全体	91.1	65.3	25.4	6.3	2.6	0.4
	小要素	A層	94.1	74.6	19.4	3.7	2.2	0.1
		B層	94.6	71.5	23.0	3.3	2.1	0.1
	学校の先生が出した宿題を きちんとやりとげている。	C層	92.0	65.1	26.7	6.3	1.7	0.2
		D層	83.7	50.2	32.4	11.9	4.2	1.2
A-D層	10.4							
113	要素	全体	82.5	52.2	29.9	12.9	4.5	0.4
	小要素	A層	84.5	56.0	28.5	11.5	4.1	0.0
		B層	83.6	54.9	28.5	12.4	4.0	0.1
	次の日の授業に必要な教科 書やノートなどは、前の日に 準備している。	C層	83.5	53.2	30.2	12.8	3.7	0.2
		D層	78.5	44.8	32.7	15.0	6.2	1.3
A-D層	6.0							

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
114	要素	全体	74.7	39.9	34.5	19.1	6.1	0.4
	小要素	A層	81.3	49.9	31.3	14.3	4.4	0.1
		B層	76.7	43.1	33.5	18.2	5.1	0.1
	自分の得意な分野をさらに伸 ばすために、家で自分なりに 学んでいることがある。	C層	73.7	37.2	36.3	19.7	6.5	0.3
		D層	67.2	29.7	36.6	24.1	8.3	1.3
A-D層	14.1							
115	要素	全体	75.4	41.9	33.1	17.1	7.4	0.5
	小要素	A層	85.8	54.9	30.8	11.2	3.0	0.0
		B層	78.5	45.4	33.1	16.1	5.3	0.1
	テレビやラジオをつけなくて 集中して学習している。	C層	72.7	36.8	35.6	19.0	8.3	0.4
		D層	64.5	30.7	32.9	21.9	13.0	1.4
A-D層	21.3							
116	要素	全体	42.8	14.6	27.9	36.3	20.6	0.6
	小要素	A層	50.6	17.9	32.6	33.3	16.0	0.2
		B層	42.3	14.4	27.9	37.8	19.7	0.1
	授業で習ったことは、その日の うちに復習している。	C層	39.7	12.1	27.4	38.4	21.7	0.5
		D層	38.6	14.1	23.9	35.7	24.8	1.6
A-D層	12.0							
117	要素 追加質問	全体	60.4	21.7	38.4	25.3	14.1	0.5
	小要素	A層	75.3	35.6	39.7	18.2	6.5	0.0
		B層	64.6	22.8	41.6	24.4	10.9	0.3
	勉強は、好きである。	C層	56.1	16.2	39.7	28.3	15.4	0.3
		D層	45.7	12.4	32.7	30.2	23.2	1.5
A-D層	29.6							
118	要素 追加質問	全体	94.8	75.7	18.6	3.9	1.3	0.5
	小要素	A層	98.0	86.0	12.1	1.6	0.4	0.0
		B層	97.0	80.6	16.2	2.4	0.5	0.2
	勉強をすることは、大切なこ とだと思う。	C層	94.7	73.6	20.8	4.2	1.1	0.3
		D層	89.3	62.9	25.0	7.6	2.9	1.6
A-D層	8.7							
119	要素 追加質問	全体	71.6	27.1	44.2	23.1	5.1	0.6
	小要素	A層	83.4	37.9	45.5	14.5	2.0	0.1
		B層	74.7	28.9	45.5	21.3	4.0	0.2
	わかった点・わからなかった点 を見直し、次の学習に繋げて いる。	C層	68.6	23.0	45.3	26.2	5.1	0.3
		D層	59.8	18.5	40.3	30.2	9.3	1.6
A-D層	23.6							
120	要素 追加質問	全体	76.9	44.5	32.0	14.3	8.7	0.6
	小要素	A層	81.6	50.9	30.6	11.9	6.5	0.0
		B層	80.0	47.6	32.3	13.4	6.5	0.2
	道で外国人に英語で話しかけ られた時、なんとか英語で話 そうとする。	C層	76.5	44.1	32.0	14.0	9.4	0.4
		D層	69.5	35.4	33.0	17.6	12.4	1.6
A-D層	12.1							

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
121	要素 追加質問	全体	92.6	69.1	23.0	5.6	1.7	0.6
	小要素	A層	96.1	79.0	17.1	3.2	0.7	0.0
	授業で学んだことは、 将来、社会に出たとき に、役に立つ。	B層	95.1	74.3	20.5	4.0	0.9	0.2
		C層	93.8	68.4	25.0	4.7	1.5	0.4
		D層	85.5	54.9	29.2	10.5	3.8	1.7
A-D層	10.6							
122	要素 追加質問	全体	88.9	62.9	25.5	8.0	3.0	0.6
	小要素	A層	91.2	67.4	23.7	6.6	2.2	0.0
	学級みんなで協力して 何かをやりとげ、うれ しかったことがある。	B層	90.2	65.8	24.2	7.5	2.2	0.2
		C層	89.4	62.6	26.5	7.4	3.1	0.3
		D層	84.8	56.0	27.4	10.5	4.4	1.7
A-D層	6.4							
123	要素 追加質問	全体	84.5	66.7	17.3	9.2	6.2	0.6
	小要素	A層	84.0	66.1	17.9	10.6	5.5	0.0
	将来の夢や目標を持っ ている。	B層	83.9	67.9	15.8	9.3	6.7	0.2
		C層	84.7	67.9	16.5	8.5	6.7	0.3
		D層	85.4	65.2	18.7	8.4	6.0	1.8
A-D層	-1.4							
124	要素 追加質問	全体	95.0	73.9	20.6	3.6	1.4	0.6
	小要素	A層	96.7	80.0	16.8	2.5	0.7	0.0
	人の役に立つ人間にな りたいと思う。	B層	96.6	77.2	19.2	2.4	1.0	0.2
		C層	95.2	74.1	20.7	3.3	1.5	0.3
		D層	91.6	64.5	25.5	5.8	2.4	1.7
A-D層	5.1							
125	要素 追加質問	全体	91.7	55.1	36.1	6.9	1.4	0.6
	小要素	A層	93.4	54.2	39.2	5.7	0.9	0.0
	人が困っているときは、 進んで助けている。	B層	92.8	56.5	36.1	6.4	0.7	0.2
		C層	91.2	55.4	35.4	7.5	1.3	0.4
		D層	89.5	54.4	33.7	7.7	2.6	1.7
A-D層	3.9							
126	要素 追加質問	全体	82.3	52.1	29.7	11.6	6.0	0.6
	小要素	A層	86.3	59.3	26.9	9.2	4.5	0.0
	自分には、よいところ があると思う。	B層	83.3	55.1	28.1	11.7	4.9	0.2
		C層	82.3	51.0	30.9	11.6	6.1	0.4
		D層	77.4	43.0	33.0	13.8	8.4	1.8
A-D層	8.9							
127	要素 追加質問	全体	64.0	33.8	29.8	22.4	13.4	0.6
	小要素	A層	66.5	33.8	32.7	23.7	9.8	0.0
	不安やなやみ、ストレス があるとき、だれかに 相談することができて いる。	B層	65.0	34.8	30.1	23.0	11.9	0.2
		C層	62.0	33.5	28.2	22.7	15.2	0.4
		D層	62.6	33.3	28.1	20.1	16.6	1.8
A-D層	3.9							

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
128	要素 追加質問	全体	81.2	51.2	29.5	13.2	5.4	0.7
	小要素	A層	84.9	54.5	30.5	11.4	3.6	0.0
	困ったとき、なやんだ ときは、身近な大人が 話を聞いてくれる。	B層	83.0	53.4	29.4	12.1	4.8	0.3
		C層	80.4	51.3	28.7	13.6	5.9	0.5
		D層	76.3	45.5	29.4	15.8	7.4	1.8
A-D層	8.6							
129	要素 追加質問	全体	85.1	50.6	34.0	11.3	3.5	0.6
	小要素	A層	89.7	55.9	33.8	8.2	2.1	0.0
	自分のことは自分で決 められるよう、身近な 大人が助けてくれる。	B層	87.3	53.2	33.9	10.2	2.4	0.2
		C層	84.1	49.7	34.0	11.8	4.0	0.4
		D層	79.4	44.0	34.0	15.0	5.3	1.8
A-D層	10.3							
130	要素 追加質問	全体	91.1	69.1	21.4	6.1	2.7	0.7
	小要素	A層	91.7	68.7	23.0	6.0	2.3	0.0
	自分の住んでいる町が すきである。	B層	92.2	72.1	19.9	5.8	2.1	0.2
		C層	91.6	69.1	22.1	5.9	2.4	0.4
		D層	88.9	66.4	20.8	6.8	4.0	1.9
A-D層	2.8							
131	要素 追加質問	全体	60.5	25.4	34.6	26.6	12.7	0.7
	小要素	A層	63.3	25.9	37.4	26.0	10.7	0.0
	今、住んでいる地域の 行事に参加している。	B層	62.3	26.7	35.4	26.7	10.9	0.2
		C層	59.8	25.3	34.2	27.2	12.8	0.5
		D層	56.5	23.8	31.4	26.4	16.2	2.1
A-D層	6.8							
132	要素 追加質問	全体	64.3	30.1	33.7	25.8	9.6	0.7
	小要素	A層	70.9	35.5	35.4	22.2	6.9	0.0
	地域や社会をよりよく するために、何をすべ きか考えたことがある。	B層	64.6	30.4	34.0	26.7	8.6	0.2
		C層	63.4	29.6	33.5	25.5	10.8	0.5
		D層	58.4	25.0	32.3	28.6	12.2	1.9
A-D層	12.5							
133	要素 追加質問	全体	92.8	69.3	22.9	5.2	1.9	0.7
	小要素	A層	94.3	74.9	19.4	4.1	1.6	0.0
	GIGAたん末は学習の 役に立つと思う。	B層	94.8	72.3	22.2	3.9	1.3	0.3
		C層	93.6	69.8	23.4	4.7	1.6	0.5
		D層	88.5	60.2	26.6	7.9	3.3	2.0
A-D層	5.8							

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少 ない	その他 無回答
134	要素	追加質問	全体	61.3	24.9	36.0	27.3	11.1	0.7
	小要素		A層	62.0	25.0	36.9	29.0	9.0	0.1
			B層	60.6	24.6	35.7	28.5	10.8	0.3
			C層	61.3	25.1	35.9	27.2	11.3	0.5
			D層	61.4	24.8	35.4	24.6	13.2	1.9
		A-D層	0.6						
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					1時間以上	30分以上～ 1時間より少 ない	30分より少 ない	まったく使っ ていない	その他 無回答
135	要素	追加質問	全体	55.5	20.0	35.2	30.8	13.4	0.7
	小要素		A層	53.7	17.1	36.5	35.3	10.9	0.1
			B層	55.2	17.9	37.1	31.6	13.1	0.3
			C層	56.5	22.3	34.0	29.6	13.7	0.4
			D層	56.8	22.5	33.1	26.6	15.8	2.0
		A-D層	-3.1						
136	要素	追加質問	全体	42.4	18.3	23.7	31.6	25.5	0.8
	小要素		A層	36.5	14.6	21.9	37.8	25.7	0.0
			B層	40.5	16.4	24.0	33.1	26.1	0.4
			C層	44.2	19.3	24.7	29.3	26.3	0.5
			D層	48.5	23.2	24.4	26.5	24.0	2.1
		A-D層	-12.0						

意識調査の結果一覧【小6】

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
1	要素	豊かな基礎体験	全体	76.6	48.1	28.5	16.4	7.0	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	63.1	32.0	31.1	25.4	11.4	0.0	
	友だちと外で遊んでいる。			B層	76.5	46.3	30.3	17.2	6.3	0.0
				C層	82.0	54.1	27.9	12.7	5.2	0.0
				D層	84.8	60.2	24.6	10.3	4.9	0.0
				A-D層	-21.7					
2	要素	豊かな基礎体験	全体	84.4	62.3	22.0	9.4	6.3	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	71.9	45.2	26.7	15.0	13.0	0.0	
	ゲーム機やケータイ、スマート フォンでゲームをしている。			B層	83.4	61.8	21.6	10.1	6.5	0.0
				C層	89.8	69.2	20.5	7.2	3.0	0.0
				D層	92.3	72.9	19.3	5.1	2.6	0.0
				A-D層	-20.4					
3	要素	豊かな基礎体験	全体	54.6	25.1	29.5	29.9	15.5	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	73.6	42.2	31.3	20.9	5.5	0.0	
	本や新聞を読んでいる。			B層	61.8	27.8	34.0	28.8	9.4	0.0
				C層	48.0	18.0	30.0	33.7	18.3	0.0
				D層	35.1	12.3	22.9	36.6	28.2	0.0
				A-D層	38.5					
4	要素	豊かな基礎体験	全体	84.8	56.1	28.6	11.1	4.1	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	86.3	55.7	30.7	10.8	2.9	0.0	
	パソコンやインターネットを使 う。			B層	86.2	58.0	28.3	10.7	3.0	0.0
				C層	84.7	58.0	26.7	11.4	3.8	0.0
				D層	81.9	52.9	28.9	11.5	6.7	0.1
				A-D層	4.4					
5	要素	豊かな基礎体験	全体	46.8	18.5	28.2	31.0	22.2	0.1	
	小要素	基礎体験	A層	44.1	18.2	25.9	32.4	23.5	0.1	
	放課後や土曜日などに、学校 の活動や集まりがあれば、参 加している。			B層	49.0	19.9	29.1	31.7	19.2	0.1
				C層	49.0	19.1	29.9	30.4	20.7	0.0
				D層	45.2	17.1	28.0	29.7	25.0	0.2
				A-D層	-1.1					
6	要素	豊かな基礎体験	全体	76.3	38.9	37.3	14.7	8.9	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	87.9	54.9	33.0	8.8	3.3	0.0	
	ゲーム機やケータイ、スマート フォンでゲームをするときは、 家の人と時間についてルール を決めている。(ゲームをしな い人は、1番を選んでくださ い。)			B層	81.8	42.5	39.4	12.4	5.8	0.0
				C層	74.1	33.9	40.2	17.0	8.9	0.0
				D層	61.7	24.7	37.0	20.7	17.5	0.1
				A-D層	26.2					
7	要素	豊かな基礎体験	全体	66.9	43.4	23.4	14.7	18.5	0.1	
	小要素	基礎体験	A層	73.9	53.3	20.6	12.3	13.8	0.0	
	ケータイやスマートフォンで電 話やメールをするときは、家 の人と時間を決めている。(ケ ータイやスマートフォンで電話 やメールをしない人は、1番を 選んでください。)			B層	69.8	46.3	23.4	13.3	16.9	0.1
				C層	67.3	42.6	24.6	14.9	17.8	0.0
				D層	56.6	31.4	25.1	18.2	25.1	0.1
				A-D層	17.3					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
8	要素	豊かな基礎体験	全体	95.0	74.3	20.6	3.9	1.2	0.1	
	小要素	基礎体験	A層	96.2	77.2	19.0	2.8	1.0	0.0	
	家の人や自分のことを気にか けてくれていると思う			B層	96.0	74.4	21.5	3.4	0.6	0.0
				C層	95.4	74.7	20.5	3.7	0.9	0.1
				D層	92.5	71.1	21.3	5.4	2.1	0.1
				A-D層	3.7					
9	要素	豊かな基礎体験	全体	91.3	52.0	39.3	7.1	1.6	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	93.5	58.5	35.0	5.4	1.1	0.0	
	今まで教えてもらった学校の先 生は、自分のことを認めてくれ ていたと思う。			B層	92.3	54.1	38.2	6.5	1.2	0.0
				C層	91.0	48.4	42.6	7.0	1.9	0.0
				D層	88.3	47.0	41.2	9.4	2.2	0.1
				A-D層	5.2					
10	要素	豊かな基礎体験	全体	92.3	71.6	20.7	5.7	2.0	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	95.5	77.8	17.8	3.5	1.0	0.0	
	勉強やスポーツのことで、家 の人が応援してくれる。			B層	93.8	72.7	21.0	5.0	1.2	0.1
				C層	92.5	70.8	21.7	5.7	1.8	0.0
				D層	87.6	65.3	22.3	8.4	4.0	0.1
				A-D層	7.9					
11	要素	豊かな基礎体験	全体	59.7	29.5	30.2	27.0	13.3	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	69.9	38.2	31.7	22.0	8.1	0.0	
	将来の夢やこれからの進路につ いて家の人と話をする。			B層	60.2	28.6	31.6	28.2	11.6	0.0
				C層	56.3	25.9	30.4	28.5	15.1	0.0
				D層	52.6	25.3	27.3	29.2	18.2	0.1
				A-D層	17.3					
12	要素	豊かな基礎体験	全体	25.4	11.7	13.7	25.6	49.0	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	39.2	19.7	19.6	24.4	36.4	0.0	
	新聞に書かれていることにつ いて家の人と話をする。			B層	26.0	12.2	13.8	27.0	47.0	0.0
				C層	19.0	7.4	11.6	26.3	54.7	0.0
				D層	17.4	7.6	9.8	24.8	57.7	0.1
				A-D層	21.8					
13	要素	豊かな基礎体験	全体	91.1	77.4	13.7	6.5	2.4	0.0	
	小要素	基本的な生活習慣	A層	95.4	85.8	9.6	3.2	1.4	0.0	
	朝食は毎日食べている。			B層	94.6	83.0	11.6	3.8	1.6	0.0
				C層	91.2	76.3	14.9	6.6	2.2	0.0
				D層	83.4	64.8	18.6	12.0	4.5	0.0
				A-D層	12.0					
14	要素	豊かな基礎体験	全体	66.5	33.1	33.4	23.6	9.9	0.1	
	小要素	基本的な生活習慣	A層	66.3	30.9	35.4	24.7	9.0	0.0	
	朝、起こされなくても自分で起 きている。			B層	69.2	34.5	34.7	22.9	7.9	0.0
				C層	65.7	32.7	32.9	24.6	9.7	0.0
				D層	65.1	34.4	30.5	21.9	13.0	0.2
				A-D層	1.2					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
15	要素	豊かな基礎体験	全体	54.6	21.1	33.6	29.0	16.3	0.0
	小要素	基本的な生活習慣	A層	55.0	20.6	34.4	30.2	14.9	0.0
			B層	59.1	21.9	37.2	27.8	13.1	0.0
			C層	54.0	20.1	33.9	30.0	16.1	0.0
			D層	50.8	21.7	29.1	28.1	21.0	0.1
			A-D層	4.2					
16	要素	豊かな基礎体験	全体	68.9	30.6	38.3	24.0	7.1	0.0
	小要素	基本的な生活習慣	A層	68.1	29.0	39.0	25.0	6.9	0.1
			B層	70.8	30.6	40.2	23.1	6.1	0.0
			C層	69.9	32.3	37.6	23.9	6.2	0.0
			D層	67.2	30.8	36.3	23.9	8.9	0.1
			A-D層	0.9					
17	要素	豊かな基礎体験	全体	76.5	36.9	39.5	19.1	4.4	0.0
	小要素	基本的な生活習慣	A層	78.5	38.1	40.4	18.2	3.3	0.0
			B層	78.8	38.4	40.4	17.6	3.6	0.0
			C層	75.7	36.3	39.4	20.1	4.2	0.0
			D層	72.8	34.8	37.9	20.6	6.6	0.1
			A-D層	5.7					
18	要素	学びに向かう力	全体	72.3	38.9	33.4	20.1	7.6	0.0
	小要素	感じ取る力	A層	79.5	45.9	33.6	16.6	3.9	0.0
			B層	75.7	41.3	34.4	18.7	5.5	0.0
			C層	69.7	36.1	33.6	21.8	8.5	0.0
			D層	64.4	32.4	31.9	23.2	12.3	0.1
			A-D層	15.1					
19	要素	学びに向かう力	全体	62.2	33.3	28.9	23.0	14.8	0.0
	小要素	感じ取る力	A層	68.9	39.1	29.8	20.7	10.4	0.0
			B層	64.0	34.7	29.3	22.7	13.3	0.0
			C層	59.2	30.5	28.7	24.7	16.1	0.0
			D層	56.9	28.8	28.0	23.6	19.4	0.1
			A-D層	12.0					
20	要素	学びに向かう力	全体	75.5	39.8	35.7	17.4	7.1	0.0
	小要素	感じ取る力	A層	87.4	56.2	31.1	9.7	2.9	0.0
			B層	78.7	42.7	36.0	15.9	5.3	0.0
			C層	72.4	33.0	39.3	19.9	7.8	0.0
			D層	63.7	27.3	36.4	24.1	12.1	0.0
			A-D層	23.7					
21	要素	学びに向かう力	全体	91.1	63.7	27.4	7.2	1.7	0.1
	小要素	学習動機	A層	93.4	70.3	23.1	5.5	1.1	0.0
			B層	92.9	67.1	25.7	5.8	1.3	0.1
			C層	91.4	62.9	28.5	7.4	1.2	0.0
			D層	86.9	54.5	32.3	10.0	3.1	0.1
			A-D層	6.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
22	要素	学びに向かう力	全体	90.2	64.2	26.0	7.4	2.4	0.0
	小要素	学習動機	A層	92.9	71.3	21.6	5.9	1.2	0.0
			B層	91.0	64.8	26.2	6.9	2.0	0.0
			C層	90.5	62.3	28.2	7.0	2.6	0.0
			D層	86.4	58.6	27.7	9.8	3.8	0.0
			A-D層	6.5					
23	要素	学びに向かう力	全体	83.3	45.6	37.6	12.4	4.4	0.0
	小要素	学習動機	A層	85.0	48.1	36.9	11.3	3.7	0.0
			B層	84.5	48.1	36.4	11.5	3.9	0.1
			C層	83.9	44.3	39.5	12.2	3.9	0.0
			D層	79.8	42.0	37.8	14.3	5.9	0.1
			A-D層	5.2					
24	要素	学びに向かう力	全体	90.1	48.5	41.6	8.4	1.5	0.0
	小要素	自己責任	A層	93.8	55.7	38.2	5.6	0.6	0.0
			B層	91.8	50.3	41.4	7.3	0.9	0.0
			C層	90.2	46.9	43.2	8.3	1.5	0.0
			D層	84.9	41.2	43.7	12.2	2.9	0.1
			A-D層	8.9					
25	要素	学びに向かう力	全体	89.3	54.9	34.4	8.2	2.5	0.0
	小要素	自己有能感	A層	90.7	57.6	33.1	7.7	1.6	0.0
			B層	90.0	56.0	34.0	7.8	2.2	0.0
			C層	89.9	56.2	33.7	7.7	2.3	0.0
			D層	86.8	49.9	36.8	9.3	3.9	0.1
			A-D層	3.9					
26	要素	学びに向かう力	全体	93.0	71.3	21.8	5.5	1.5	0.0
	小要素	達成感	A層	95.6	76.5	19.1	3.6	0.8	0.0
			B層	94.1	73.4	20.7	4.5	1.4	0.0
			C層	93.3	71.1	22.2	5.4	1.3	0.0
			D層	89.2	64.3	24.8	8.3	2.5	0.1
			A-D層	6.4					
27	要素	自ら学ぶ力	全体	67.0	29.1	37.9	25.4	7.6	0.0
	小要素	学習スキル	A層	71.6	33.5	38.0	22.7	5.7	0.0
			B層	69.1	30.4	38.7	24.3	6.6	0.0
			C層	65.2	26.5	38.7	27.6	7.2	0.0
			D層	62.4	26.0	36.2	27.1	10.4	0.2
			A-D層	9.2					
28	要素	自ら学ぶ力	全体	64.8	29.0	35.7	25.6	9.7	0.0
	小要素	学習スキル	A層	76.9	43.4	33.4	17.1	6.1	0.0
			B層	68.3	30.0	38.3	24.5	7.2	0.0
			C層	61.8	23.7	38.0	28.3	9.8	0.1
			D層	52.4	19.2	33.2	32.3	15.3	0.0
			A-D層	24.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
29	要素	自ら学ぶ力	全体	54.0	22.6	31.3	30.2	15.8	0.0
	小要素	学習スキル	A層	55.4	25.2	30.2	29.0	15.6	0.0
			B層	57.3	23.9	33.3	28.7	14.0	0.0
			C層	53.3	21.4	32.0	31.0	15.7	0.0
			D層	50.1	20.1	29.9	32.3	17.6	0.1
		A-D層	5.3						
30	要素	自ら学ぶ力	全体	53.2	17.8	35.4	33.6	13.1	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	66.4	27.4	38.9	25.1	8.5	0.0
			B層	57.0	17.8	39.2	32.8	10.2	0.0
			C層	48.0	13.3	34.7	38.7	13.4	0.0
			D層	41.7	12.6	29.0	37.9	20.2	0.2
		A-D層	24.7						
31	要素	自ら学ぶ力	全体	70.5	30.8	39.7	23.1	6.4	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	87.0	50.9	36.1	11.1	1.9	0.0
			B層	77.3	33.0	44.3	18.9	3.8	0.0
			C層	64.2	22.9	41.2	28.4	7.4	0.0
			D層	53.8	16.4	37.3	33.9	12.3	0.2
		A-D層	33.2						
32	要素	自ら学ぶ力	全体	66.2	25.1	41.1	26.5	7.3	0.0
	小要素	学習定着のための方 略	A層	75.3	34.8	40.5	20.5	4.3	0.0
			B層	70.8	26.5	44.3	23.9	5.3	0.0
			C層	63.2	21.9	41.3	28.5	8.3	0.0
			D層	55.8	17.3	38.4	33.0	11.2	0.1
		A-D層	19.5						
33	要素	自ら学ぶ力	全体	82.7	44.3	38.4	13.6	3.7	0.0
	小要素	学習計画力	A層	88.2	54.4	33.8	9.3	2.5	0.0
			B層	85.5	46.2	39.3	11.9	2.6	0.0
			C層	82.5	42.1	40.4	14.3	3.3	0.0
			D層	75.0	34.6	40.3	18.7	6.2	0.1
		A-D層	13.2						
34	要素	自ら学ぶ力	全体	52.9	22.1	30.8	30.5	16.6	0.0
	小要素	学習計画力	A層	65.8	34.1	31.7	23.6	10.6	0.0
			B層	56.0	22.8	33.1	29.7	14.3	0.0
			C層	47.5	17.0	30.5	33.4	19.1	0.0
			D層	42.3	14.5	27.8	35.4	22.2	0.1
		A-D層	23.5						
35	要素	自ら学ぶ力	全体	56.0	27.4	28.6	27.7	16.3	0.0
	小要素	学習計画力	A層	73.3	43.6	29.6	19.2	7.5	0.0
			B層	61.5	30.4	31.1	25.7	12.8	0.0
			C層	49.7	20.7	29.1	31.7	18.5	0.0
			D層	39.7	15.1	24.6	34.2	26.0	0.1
		A-D層	33.6						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
36	要素	学びを律する力	全体	63.0	30.5	32.4	25.8	11.2	0.0
	小要素	学習継続力	A層	84.2	53.8	30.3	12.5	3.4	0.0
			B層	69.1	32.7	36.4	23.6	7.3	0.0
			C層	56.6	21.9	34.7	31.2	12.2	0.0
			D層	42.4	13.8	28.6	36.0	21.6	0.1
		A-D層	41.8						
37	要素	学びを律する力	全体	70.0	27.6	42.4	24.6	5.4	0.0
	小要素	学習継続力	A層	85.7	43.1	42.6	12.7	1.6	0.0
			B層	75.7	30.2	45.4	20.9	3.4	0.0
			C層	64.0	21.1	42.9	29.6	6.4	0.0
			D層	54.8	16.1	38.7	35.1	10.1	0.1
		A-D層	30.9						
38	要素	学びを律する力	全体	65.7	20.5	45.1	26.9	7.4	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	72.2	23.4	48.7	23.5	4.4	0.0
			B層	67.7	21.1	46.5	26.3	6.0	0.0
			C層	64.2	19.4	44.8	28.0	7.7	0.0
			D層	58.8	18.3	40.4	29.7	11.4	0.2
		A-D層	13.4						
39	要素	学びを律する力	全体	76.1	27.5	48.5	20.2	3.7	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	82.8	34.3	48.4	15.4	1.8	0.1
			B層	78.2	27.0	51.2	19.0	2.7	0.0
			C層	75.5	25.5	49.9	20.7	3.8	0.0
			D層	68.3	23.5	44.8	25.3	6.4	0.1
		A-D層	14.5						
40	要素	学びを律する力	全体	63.4	18.1	45.3	29.0	7.6	0.1
	小要素	学習環境の整備	A層	68.1	19.8	48.3	25.7	6.2	0.0
			B層	66.1	19.3	46.8	28.0	5.9	0.0
			C層	63.0	18.1	44.9	29.6	7.4	0.0
			D層	56.8	15.3	41.3	32.6	10.5	0.2
		A-D層	11.3						
41	要素	学びを律する力	全体	86.8	52.5	34.2	10.9	2.3	0.1
	小要素	学習環境の整備	A層	90.3	58.4	31.9	8.2	1.5	0.0
			B層	88.9	56.2	32.7	9.6	1.5	0.0
			C層	87.9	51.8	36.0	9.9	2.2	0.1
			D層	80.4	43.9	36.4	15.8	3.8	0.1
		A-D層	9.9						
42	要素	学びを律する力	全体	87.5	43.5	43.9	10.5	2.0	0.1
	小要素	授業を受ける姿勢	A層	91.7	51.5	40.2	7.2	1.1	0.0
			B層	90.2	47.6	42.6	8.7	1.1	0.0
			C層	88.0	41.4	46.6	10.1	1.8	0.0
			D層	80.3	33.9	46.3	15.9	3.8	0.2
		A-D層	11.4						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
43	要素	問題解決力	全体	76.8	35.5	41.2	19.3	3.9	0.1
	小要素		A層	89.8	52.0	37.8	8.9	1.3	0.1
			B層	81.9	39.8	42.1	15.8	2.3	0.0
			C層	74.0	28.7	45.3	21.9	4.1	0.0
			D層	61.7	21.8	39.8	30.7	7.5	0.1
		A-D層	28.1						
44	要素	問題解決力	全体	75.8	30.7	45.0	20.4	3.7	0.1
	小要素		A層	88.0	44.6	43.3	10.6	1.4	0.1
			B層	80.4	32.7	47.7	17.4	2.2	0.0
			C層	73.4	25.5	47.9	22.8	3.8	0.0
			D層	61.6	20.3	41.2	30.9	7.4	0.2
		A-D層	26.4						
45	要素	問題解決力	全体	65.7	24.8	40.8	26.3	7.9	0.1
	小要素		A層	80.3	37.7	42.5	16.2	3.4	0.1
			B層	71.5	26.7	44.8	23.6	4.8	0.1
			C層	61.2	18.9	42.3	30.2	8.5	0.1
			D層	49.9	16.2	33.6	35.2	14.7	0.3
		A-D層	30.4						
46	要素	問題解決力	全体	77.0	44.6	32.3	17.7	5.4	0.1
	小要素		A層	90.0	61.5	28.4	8.8	1.2	0.0
			B層	83.1	51.0	32.0	14.0	2.9	0.0
			C層	75.1	38.6	36.5	19.3	5.6	0.0
			D層	60.3	27.9	32.3	28.2	11.4	0.2
		A-D層	29.7						
47	要素	社会参画力	全体	75.9	38.3	37.6	18.2	5.9	0.1
	小要素		A層	85.5	48.9	36.5	11.9	2.6	0.0
			B層	80.1	41.2	38.9	15.7	4.2	0.0
			C層	76.0	35.7	40.3	19.3	4.8	0.0
			D層	62.6	27.5	35.0	25.8	11.5	0.2
		A-D層	22.9						
48	要素	社会参画力	全体	68.1	34.0	34.1	22.8	9.1	0.1
	小要素		A層	79.9	46.6	33.3	16.1	4.0	0.0
			B層	71.7	36.4	35.4	21.5	6.7	0.0
			C層	65.1	30.2	34.9	24.5	10.3	0.0
			D層	56.2	23.1	33.0	28.6	15.1	0.2
		A-D層	23.7						
49	要素	豊かな心	全体	86.9	43.8	43.1	11.4	1.7	0.1
	小要素		A層	92.3	52.5	39.8	6.9	0.9	0.0
			B層	89.6	46.9	42.7	9.4	1.0	0.0
			C層	87.4	41.9	45.5	11.2	1.4	0.0
			D層	78.5	34.2	44.1	18.1	3.4	0.2
		A-D層	13.8						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
50	要素	豊かな心	全体	73.2	30.5	42.7	22.3	4.5	0.0
	小要素		A層	78.8	34.9	43.9	18.3	2.9	0.0
			B層	74.9	31.2	43.6	21.6	3.5	0.0
			C層	72.1	29.2	42.9	23.2	4.7	0.0
			D層	67.1	26.7	40.3	25.9	7.0	0.2
		A-D層	11.7						
51	要素	豊かな心	全体	73.2	33.6	39.5	22.8	4.1	0.1
	小要素		A層	81.8	41.8	40.0	16.6	1.6	0.0
			B層	77.6	37.0	40.5	20.0	2.4	0.0
			C層	71.1	29.9	41.2	24.2	4.7	0.0
			D層	62.4	25.9	36.4	30.2	7.3	0.2
		A-D層	19.4						
52	要素	豊かな心	全体	90.2	53.2	36.9	7.8	2.0	0.1
	小要素		A層	94.8	61.9	32.8	4.3	1.0	0.0
			B層	93.4	57.5	35.8	5.7	1.0	0.0
			C層	91.1	53.2	37.9	7.3	1.6	0.0
			D層	81.7	40.5	41.0	14.0	4.2	0.2
		A-D層	13.1						
53	要素	自己成長力	全体	78.8	50.8	28.0	14.8	6.4	0.1
	小要素		A層	82.5	57.0	25.5	12.5	5.0	0.0
			B層	79.4	51.4	28.0	14.3	6.3	0.0
			C層	77.6	49.9	27.7	15.9	6.5	0.1
			D層	75.7	44.9	30.6	16.6	7.6	0.2
		A-D層	6.8						
54	要素	自己成長力	全体	94.7	75.5	19.2	4.0	1.3	0.0
	小要素		A層	97.6	82.9	14.7	1.8	0.6	0.0
			B層	96.5	77.6	18.9	2.4	1.1	0.0
			C層	94.4	75.7	18.7	4.5	1.1	0.0
			D層	90.4	65.7	24.5	7.4	2.2	0.2
		A-D層	7.2						
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きでは ない	その他 無回答
55	要素	教科の好き嫌い	全体	61.5	17.0	44.5	28.3	10.2	0.0
	小要素		A層	73.9	28.7	45.2	19.9	6.2	0.0
			B層	64.6	18.7	45.9	27.0	8.4	0.0
			C層	57.8	11.8	45.9	31.0	11.1	0.0
			D層	49.8	8.8	40.9	35.4	14.8	0.1
		A-D層	24.1						
56	要素	教科の好き嫌い	全体	67.0	31.2	35.8	22.5	10.4	0.0
	小要素		A層	74.9	40.4	34.4	17.8	7.3	0.0
			B層	67.8	31.9	35.9	22.4	9.8	0.0
			C層	63.6	25.9	37.6	24.2	12.1	0.0
			D層	62.1	26.6	35.4	25.6	12.3	0.1
		A-D層	12.8						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きでは ない	その他 無回答
57	要素	教科の好き嫌い	全体	59.7	30.2	29.4	21.2	19.1	0.0
			小要素	A層	85.5	57.2	28.3	9.8	4.7
	算数・数学	B層	71.2	35.8	35.4	18.5	10.3	0.1	
		C層	51.1	18.3	32.8	27.3	21.6	0.0	
		D層	31.1	9.6	21.5	29.3	39.5	0.1	
		A-D層	54.4						
58	要素	教科の好き嫌い	全体	74.5	35.7	38.8	18.2	7.3	0.0
			小要素	A層	77.4	40.9	36.5	16.5	6.1
	理科	B層	74.5	36.9	37.6	18.5	6.9	0.0	
		C層	73.6	32.8	40.7	18.6	7.7	0.0	
		D層	72.6	32.1	40.3	19.2	8.2	0.1	
		A-D層	4.8						
59	要素	教科の好き嫌い	全体	74.5	38.8	35.7	16.6	8.9	0.0
			小要素	A層	76.7	43.0	33.7	15.7	7.7
	音楽	B層	76.3	41.2	35.1	15.3	8.4	0.0	
		C層	74.9	37.2	37.6	16.0	9.1	0.0	
		D層	70.7	33.9	36.8	18.9	10.3	0.1	
		A-D層	6.0						
60	要素	教科の好き嫌い	全体	84.5	58.3	26.1	9.9	5.6	0.1
			小要素	A層	81.2	54.4	26.8	12.3	6.5
	図画工作・美術	B層	84.8	57.5	27.4	9.9	5.3	0.0	
		C層	86.0	60.3	25.7	9.1	4.9	0.1	
		D層	86.0	61.1	24.6	8.4	5.6	0.2	
		A-D層	-4.8						
61	要素	教科の好き嫌い	全体	83.1	59.1	23.9	10.2	6.7	0.1
			小要素	A層	79.4	52.6	26.8	13.1	7.5
	保健体育	B層	81.8	57.8	23.9	10.6	7.6	0.1	
		C層	85.2	61.7	23.5	8.8	6.0	0.0	
		D層	85.9	64.5	21.3	8.1	5.9	0.1	
		A-D層	-6.5						
62	要素	教科の好き嫌い	全体	82.9	46.7	36.2	12.6	4.5	0.1
			小要素	A層	85.0	49.2	35.7	10.5	4.5
	家庭	B層	84.7	48.0	36.6	11.7	3.6	0.1	
		C層	82.6	47.3	35.3	13.7	3.7	0.0	
		D層	79.5	42.5	36.9	14.5	5.9	0.1	
		A-D層	5.5						
63	要素	教科の好き嫌い	全体	64.7	28.9	35.8	22.8	12.5	0.0
			小要素	A層	68.2	32.0	36.2	20.3	11.6
	英語	B層	70.4	32.7	37.7	19.5	10.1	0.0	
		C層	64.5	28.2	36.4	23.8	11.6	0.0	
		D層	56.0	22.9	33.0	27.3	16.6	0.2	
		A-D層	12.2						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きでは ない	その他 無回答
64	要素	教科の好き嫌い	全体	75.4	34.6	40.8	18.1	6.4	0.1
			小要素	A層	77.7	37.2	40.5	16.2	6.2
	総合的な学習の時間・生活	B層	76.5	36.4	40.0	18.0	5.5	0.0	
		C層	75.6	32.5	43.1	18.5	5.9	0.0	
		D層	72.1	32.5	39.6	19.7	8.1	0.2	
		A-D層	5.6						
65	要素	教科の好き嫌い	全体	72.3	32.1	40.2	19.4	8.3	0.0
			小要素	A層	68.8	26.9	41.9	21.2	10.0
	道徳	B層	72.8	32.5	40.3	19.0	8.1	0.0	
		C層	74.8	33.8	41.0	18.1	7.1	0.0	
		D層	72.7	35.0	37.6	19.3	7.9	0.1	
		A-D層	-3.9						
66	要素	教科の好き嫌い	全体	86.6	52.1	34.4	9.8	3.6	0.1
			小要素	A層	89.6	57.6	32.0	7.5	2.9
	学級活動	B層	88.6	55.1	33.5	8.6	2.7	0.0	
		C層	86.2	51.4	34.7	10.4	3.4	0.0	
		D層	82.4	44.6	37.6	12.3	5.3	0.2	
		A-D層	7.2						
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
67	要素	教科の理解度	全体	87.4	34.9	52.4	10.8	1.8	0.1
			小要素	A層	97.6	60.5	37.1	2.1	0.3
	国語	B層	93.0	40.6	52.4	6.2	0.8	0.0	
		C層	87.1	24.8	62.2	11.6	1.3	0.0	
		D層	72.0	14.1	57.8	23.2	4.7	0.1	
		A-D層	25.6						
68	要素	教科の理解度	全体	86.8	43.2	43.6	11.3	1.9	0.0
			小要素	A層	95.5	64.3	31.2	3.9	0.7
	社会	B層	90.0	46.2	43.7	9.0	1.1	0.1	
		C層	85.3	34.6	50.7	13.3	1.4	0.0	
		D層	77.0	27.9	49.0	18.7	4.3	0.1	
		A-D層	18.5						
69	要素	教科の理解度	全体	74.8	39.3	35.4	19.5	5.7	0.0
			小要素	A層	98.2	78.8	19.4	1.7	0.1
	算数・数学	B層	89.5	49.0	40.5	9.2	1.2	0.0	
		C層	70.1	21.7	48.3	26.0	3.9	0.0	
		D層	41.7	8.0	33.7	41.0	17.2	0.1	
		A-D層	56.5						
70	要素	教科の理解度	全体	86.5	42.1	44.4	11.3	2.1	0.0
			小要素	A層	93.5	61.0	32.5	5.8	0.7
	理科	B層	88.7	44.4	44.4	9.9	1.4	0.0	
		C層	84.7	34.6	50.1	12.9	2.4	0.0	
		D層	79.5	28.8	50.5	16.8	3.8	0.1	
		A-D層	14.0						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかつ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
71	要素	教科の理解度	全体	84.0	48.4	35.6	12.2	3.8	0.0
		小要素	A層	87.4	55.4	32.0	10.3	2.3	0.0
	音楽		B層	86.0	50.6	35.4	10.7	3.3	0.0
			C層	83.9	47.3	36.6	12.5	3.6	0.0
			D層	79.0	40.6	38.4	15.1	5.8	0.1
	A-D層	8.4							
72	要素	教科の理解度	全体	92.4	61.5	30.8	5.8	1.8	0.1
		小要素	A層	91.9	61.8	30.1	6.4	1.7	0.0
	図画工作・美術		B層	92.9	62.3	30.6	5.7	1.3	0.0
			C層	93.1	62.9	30.2	5.1	1.8	0.0
			D層	91.6	59.1	32.3	6.1	2.3	0.2
	A-D層	0.3							
73	要素	教科の理解度	全体	90.6	61.9	28.6	7.1	2.3	0.1
		小要素	A層	89.8	58.8	31.0	8.1	2.1	0.0
	保健体育		B層	90.9	61.9	29.0	7.2	1.9	0.1
			C層	91.9	64.2	27.7	5.8	2.3	0.0
			D層	89.9	62.9	26.8	7.2	3.0	0.1
	A-D層	-0.1							
74	要素	教科の理解度	全体	87.9	48.9	38.9	9.7	2.3	0.2
		小要素	A層	90.5	54.8	35.6	7.7	1.8	0.1
	家庭		B層	90.0	51.0	39.0	8.4	1.6	0.0
			C層	89.0	49.3	39.5	8.8	2.2	0.2
			D層	82.4	40.7	41.4	13.9	3.7	0.3
	A-D層	8.1							

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)							
					0さつ	1,2さつ	3,4さつ	5,6さつ	7,8さつ	9,10さつ	11さつ以上	その他 無回答
75	要素	読書冊数	全体		25.2	31.9	15.5	9.4	4.3	2.6	9.6	1.5
		小要素	A層		12.4	27.1	18.5	12.5	6.8	4.3	17.3	1.1
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)		B層		19.4	31.3	18.0	11.1	4.9	3.0	10.7	1.5
			C層		30.1	36.1	13.6	7.5	3.0	2.0	6.3	1.3
			D層		38.7	33.0	12.0	6.5	2.6	1.3	4.0	2.1
	A-D層											
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)							
					ほとんど見 ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他 無回答
76	要素	テレビを見る時間	全体		12.6	15.2	18.3	14.4	14.0	7.5	17.9	0.1
		小要素	A層		15.5	19.3	23.0	14.5	11.4	6.3	10.0	0.0
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。		B層		10.4	12.7	19.3	16.6	15.4	7.9	17.7	0.0
			C層		9.7	13.7	16.5	13.8	16.3	8.3	21.8	0.1
			D層		14.7	15.1	14.7	12.6	12.8	7.7	22.0	0.3
	A-D層											
77	要素	テレビを見る時間	全体		13.6	11.6	15.9	12.3	14.6	9.2	22.7	0.1
		小要素	A層		13.1	14.2	20.0	14.0	15.1	7.8	15.8	0.0
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。		B層		11.6	10.0	14.6	12.9	16.2	11.0	23.6	0.0
			C層		11.2	10.4	15.5	11.6	14.0	10.6	26.7	0.0
			D層		18.3	11.7	13.6	10.8	13.1	7.4	24.7	0.3
	A-D層											

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
					ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他 無回答
78	要素	学習時間	全体		13.0	18.8	16.1	11.7	10.0	7.7	22.7	0.1
	小要素	平日	A層		3.3	8.6	8.6	8.6	8.7	9.1	53.0	0.0
			B層		8.7	17.7	16.3	14.2	12.1	9.2	21.7	0.0
			C層		14.5	22.9	20.2	12.8	11.3	7.7	10.6	0.0
			D層		25.1	25.9	19.3	11.4	7.9	4.7	5.6	0.2
		A-D層										
79	要素	学習時間	全体		23.4	23.3	15.6	8.0	6.3	4.0	19.3	0.1
	小要素	休日	A層		7.7	11.0	10.8	7.3	7.4	5.1	50.7	0.0
			B層		17.8	23.8	19.0	9.8	6.7	5.7	17.2	0.0
			C層		29.1	29.1	17.5	8.6	6.3	3.1	6.3	0.0
			D層		38.8	29.2	15.0	6.4	4.8	2.2	3.4	0.3
		A-D層										
80	要素	ゲームをする時間	全体		22.3	14.1	18.2	11.3	11.3	6.0	16.7	0.1
	小要素	平日	A層		38.7	17.9	18.1	9.5	7.8	3.1	4.9	0.0
			B層		22.2	15.7	20.6	13.0	11.2	5.1	12.2	0.0
			C層		16.6	12.3	18.3	11.9	14.0	7.2	19.5	0.1
			D層		12.0	10.5	16.0	11.1	11.9	8.3	29.9	0.3
		A-D層										
81	要素	ゲームをする時間	全体		18.9	12.0	16.1	10.6	12.2	7.6	22.6	0.1
	小要素	休日	A層		29.8	16.2	18.5	10.6	10.4	5.4	9.1	0.0
			B層		19.4	12.6	18.4	11.5	13.0	6.8	18.4	0.0
			C層		14.4	11.1	15.4	9.8	13.9	9.2	26.3	0.0
			D層		11.9	8.3	12.2	10.5	11.2	9.1	36.5	0.3
		A-D層										

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
82	要素	国語	全体	43.9	14.9	28.8	36.2	19.7	0.4
	小要素		A層	56.6	22.2	34.4	30.4	12.9	0.1
			B層	47.8	16.4	31.3	35.6	16.6	0.1
			C層	37.6	11.7	25.6	39.7	22.4	0.6
			D層	33.6	9.2	24.1	39.2	26.7	0.8
			A-D層		23.0				
83	要素	国語	全体	80.6	43.4	37.1	14.7	4.6	0.1
	小要素		A層	90.0	58.1	31.9	7.8	2.1	0.0
			B層	85.8	49.4	36.4	11.4	2.8	0.0
			C層	79.9	39.7	40.2	15.4	4.7	0.0
			D層	67.0	27.0	39.8	24.2	8.7	0.2
			A-D層		23.0				

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
84	要素	国語	全体	89.1	65.7	23.2	8.0	3.0	0.1
	小要素		A層	94.7	78.1	16.6	4.0	1.3	0.0
			B層	92.3	71.4	20.9	5.5	2.1	0.0
			C層	88.9	63.9	25.0	8.4	2.7	0.0
			D層	80.9	50.1	30.6	13.5	5.5	0.2
			A-D層		13.8				
85	要素	国語	全体	85.8	49.4	36.3	11.7	2.5	0.1
	小要素		A層	92.4	61.0	31.3	6.6	1.1	0.0
			B層	89.2	53.2	35.9	9.4	1.4	0.1
			C層	85.6	46.6	39.0	12.5	1.9	0.1
			D層	76.4	37.3	38.9	18.1	5.4	0.2
			A-D層		16.0				

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
86	要素	算数	全体	63.5	29.8	33.7	27.2	9.2	0.1
	小要素		A層	68.6	37.8	30.8	23.4	8.0	0.0
			B層	67.8	32.9	34.8	25.1	7.1	0.1
			C層	63.6	27.4	36.2	27.6	8.7	0.1
			D層	54.5	21.2	33.2	32.6	12.8	0.2
			A-D層	14.1					
87	要素	算数	全体	69.3	40.6	28.6	22.0	8.7	0.1
	小要素		A層	89.0	67.8	21.3	9.6	1.4	0.0
			B層	78.6	48.0	30.6	17.0	4.4	0.1
			C層	64.2	30.5	33.7	26.8	9.0	0.0
			D層	45.9	16.6	29.2	34.5	19.5	0.3
			A-D層	43.1					
88	要素	算数	全体	45.9	23.7	22.2	30.6	23.4	0.1
	小要素		A層	58.0	35.6	22.4	24.1	17.9	0.0
			B層	51.5	27.5	23.9	29.3	19.2	0.1
			C層	41.2	19.6	21.7	33.7	25.0	0.0
			D層	33.4	12.4	20.8	35.6	30.9	0.2
			A-D層	24.6					
89	要素	算数	全体	74.3	39.8	34.4	19.1	6.6	0.1
	小要素		A層	84.6	55.4	29.2	12.4	2.9	0.0
			B層	80.5	45.1	35.4	15.6	3.9	0.1
			C層	73.1	35.2	37.9	20.6	6.3	0.0
			D層	59.7	24.1	35.5	27.7	12.5	0.2
			A-D層	24.9					
90	要素	社会	全体	85.6	56.5	29.0	10.7	3.6	0.2
	小要素		A層	91.0	68.8	22.1	7.3	1.7	0.1
			B層	88.9	61.3	27.5	8.7	2.3	0.1
			C層	85.2	54.1	31.0	11.2	3.5	0.2
			D層	77.8	42.2	35.3	15.4	6.7	0.4
			A-D層	13.2					
91	要素	社会	全体	70.1	43.3	26.7	20.1	9.8	0.1
	小要素		A層	73.9	52.2	21.7	16.9	9.2	0.0
			B層	74.0	47.0	27.0	18.0	8.0	0.0
			C層	69.8	42.1	27.6	20.7	9.5	0.0
			D層	63.2	32.5	30.6	24.6	12.1	0.2
			A-D層	10.7					
92	要素	社会	全体	74.9	39.5	35.3	19.4	5.7	0.1
	小要素		A層	81.6	49.0	32.6	14.5	3.8	0.0
			B層	79.1	41.8	37.3	17.2	3.7	0.0
			C層	74.1	37.8	36.3	20.4	5.5	0.0
			D層	65.2	29.8	35.2	25.2	9.5	0.2
			A-D層	16.4					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
93	要素	社会	全体	77.7	43.1	34.5	17.7	4.6	0.1
	小要素		A層	82.2	50.2	32.0	14.6	3.2	0.0
			B層	80.7	45.9	34.7	16.0	3.3	0.0
			C層	77.9	42.1	35.7	17.7	4.5	0.0
			D層	70.4	34.6	35.6	22.3	7.2	0.2
			A-D層	11.8					
94	要素	理科	全体	89.6	60.7	28.9	8.1	2.3	0.1
	小要素		A層	96.2	75.9	20.3	3.2	0.7	0.0
			B層	93.2	67.0	26.1	5.4	1.4	0.0
			C層	90.4	57.8	32.6	7.9	1.7	0.0
			D層	79.0	42.2	36.6	15.6	5.4	0.2
			A-D層	17.2					
95	要素	理科	全体	89.6	60.3	29.3	8.1	2.3	0.1
	小要素		A層	95.3	73.1	22.2	3.8	0.9	0.0
			B層	93.2	65.0	28.2	5.2	1.6	0.0
			C層	88.7	58.6	30.1	9.1	2.2	0.0
			D層	81.6	44.6	36.7	14.0	4.3	0.3
			A-D層	13.7					
96	要素	理科	全体	79.1	41.3	37.7	16.9	4.0	0.1
	小要素		A層	88.3	53.2	35.1	9.9	1.8	0.0
			B層	83.3	45.7	37.6	14.1	2.6	0.0
			C層	77.2	36.7	40.5	19.1	3.6	0.0
			D層	67.9	29.8	37.9	24.4	7.7	0.2
			A-D層	20.4					
97	要素	理科	全体	81.4	44.6	36.8	14.9	3.6	0.1
	小要素		A層	84.5	51.5	32.9	13.0	2.5	0.0
			B層	85.0	47.1	37.9	12.3	2.7	0.0
			C層	81.6	42.8	38.8	15.4	3.1	0.0
			D層	75.1	37.3	37.7	19.0	5.8	0.2
			A-D層	9.4					
98	要素	やりとげる力	全体	88.7	41.6	47.0	9.6	1.7	0.1
	小要素		A層	91.6	43.9	47.7	7.3	1.1	0.0
			B層	90.9	43.0	47.9	7.8	1.2	0.0
			C層	89.6	42.2	47.3	9.3	1.1	0.1
			D層	83.3	37.5	45.5	13.5	3.1	0.3
			A-D層	8.3					
99	要素	やりとげる力	全体	93.3	58.2	35.0	5.6	1.1	0.1
	小要素		A層	94.3	61.5	32.8	4.7	1.0	0.0
			B層	94.4	61.1	33.2	5.1	0.6	0.0
			C層	94.3	58.9	35.3	4.8	0.9	0.0
			D層	90.4	51.4	38.7	7.9	1.7	0.3
			A-D層	3.9					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
100	要素	やりとげる力	全体	76.6	32.7	43.8	19.7	3.7	0.1
	小要素		A層	81.3	38.9	42.4	15.4	3.3	0.0
			B層	78.2	35.8	42.4	19.1	2.7	0.0
			C層	76.1	29.3	46.8	20.6	3.3	0.0
			D層	71.1	26.8	44.0	23.3	5.5	0.4
			A-D層	10.2					
101	要素	対話力	全体	92.0	53.3	38.6	6.6	1.3	0.1
	小要素		A層	94.3	59.8	34.5	5.0	0.7	0.0
			B層	94.4	56.7	37.7	5.0	0.7	0.0
			C層	93.3	52.4	40.9	5.4	1.3	0.1
			D層	86.3	44.5	41.5	11.1	2.5	0.4
			A-D層	8.0					
102	要素	対話力	全体	65.0	30.5	34.4	26.2	8.7	0.1
	小要素		A層	73.5	38.9	34.6	20.7	5.8	0.0
			B層	68.3	32.5	35.8	24.2	7.5	0.0
			C層	62.2	27.6	34.5	28.7	9.1	0.1
			D層	56.4	23.2	33.0	31.3	12.1	0.4
			A-D層	17.1					
103	要素	対話力	全体	59.9	29.2	30.7	28.4	11.6	0.1
	小要素		A層	70.0	40.6	29.4	22.6	7.4	0.0
			B層	63.0	31.9	31.1	26.9	10.0	0.0
			C層	56.4	24.3	32.0	30.8	12.8	0.0
			D層	50.7	20.1	30.4	33.1	16.0	0.4
			A-D層	19.3					
104	要素	支え合う力	全体	85.4	44.6	40.7	12.4	2.2	0.1
	小要素		A層	89.7	51.7	37.9	8.9	1.4	0.0
			B層	88.0	46.6	41.4	10.5	1.6	0.0
			C層	84.6	42.6	42.0	13.3	2.1	0.0
			D層	79.6	37.6	41.7	16.6	3.7	0.3
			A-D層	10.1					
105	要素	支え合う力	全体	88.2	52.4	35.6	9.8	2.0	0.2
	小要素		A層	89.0	52.2	36.8	9.3	1.7	0.1
			B層	89.3	53.6	35.6	9.1	1.6	0.1
			C層	89.2	53.7	35.4	9.0	1.8	0.1
			D層	85.2	50.4	34.4	11.6	3.1	0.4
			A-D層	3.8					
106	要素	支え合う力	全体	94.9	68.9	25.9	4.3	0.8	0.1
	小要素		A層	95.4	68.5	26.9	3.7	0.8	0.0
			B層	95.5	70.6	24.9	4.0	0.6	0.0
			C層	95.2	69.6	25.6	4.0	0.7	0.0
			D層	93.4	66.9	26.2	5.3	1.2	0.3
			A-D層	2.0					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
107	要素	共生力	全体	85.2	39.5	45.6	12.6	2.2	0.1
	小要素		A層	88.6	43.4	45.2	9.9	1.5	0.0
			B層	87.2	41.8	45.4	11.6	1.3	0.0
			C層	86.4	38.9	47.5	11.8	1.8	0.0
			D層	78.8	34.1	44.4	17.0	4.2	0.4
			A-D層	9.8					
108	要素	共生力	全体	78.1	41.8	36.2	16.6	5.3	0.1
	小要素		A層	78.7	41.8	37.0	16.4	4.8	0.0
			B層	78.7	42.2	36.5	16.6	4.7	0.0
			C層	78.7	42.0	36.7	16.4	4.9	0.0
			D層	76.5	41.4	34.7	16.9	6.6	0.4
			A-D層	2.2					
109	要素	共生力	全体	76.5	34.3	42.2	19.2	4.2	0.1
	小要素		A層	77.8	34.0	43.7	19.1	3.0	0.1
			B層	78.2	34.8	43.4	18.1	3.7	0.0
			C層	76.2	34.5	41.6	19.8	4.0	0.0
			D層	74.2	33.7	40.2	19.8	5.9	0.4
			A-D層	3.6					
110	要素	規律力	全体	77.2	28.6	48.5	18.7	4.1	0.1
	小要素		A層	81.4	31.8	49.5	14.8	3.8	0.0
			B層	80.1	30.8	49.3	17.1	2.8	0.0
			C層	76.5	26.7	49.8	20.4	3.1	0.0
			D層	70.6	25.1	45.1	22.6	6.8	0.4
			A-D層	10.8					
111	要素	規律力	全体	85.0	32.2	52.8	12.8	2.2	0.1
	小要素		A層	88.6	36.7	51.9	9.5	1.9	0.0
			B層	87.0	34.9	52.2	11.5	1.4	0.0
			C層	86.1	30.4	55.7	12.0	1.8	0.1
			D層	78.4	26.8	51.4	18.0	3.5	0.3
			A-D層	10.2					
112	要素	規律力	全体	92.8	54.7	38.0	6.0	1.2	0.1
	小要素		A層	95.3	60.5	34.7	4.1	0.6	0.0
			B層	94.7	58.0	36.8	4.5	0.8	0.0
			C層	93.2	54.1	39.1	5.4	1.4	0.0
			D層	87.9	46.4	41.3	10.1	2.0	0.3
			A-D層	7.4					
113	要素		全体	87.4	64.0	23.2	8.8	3.8	0.2
	小要素		A層	88.4	69.7	18.7	8.5	3.2	0.0
			B層	89.2	66.6	22.6	7.8	3.0	0.0
			C層	89.4	65.0	24.3	7.4	3.1	0.1
			D層	82.9	55.2	27.2	11.2	5.8	0.6
			A-D層	5.5					

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
				とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
114	要素	全体	77.6	45.7	31.8	15.9	6.4	0.2	
	小要素	A層	91.2	66.1	25.0	6.9	2.0	0.0	
	家で学習するときは、苦手な教科もしっかりと学習している。	B層	82.5	50.2	32.3	13.0	4.5	0.0	
		C層	74.9	39.3	35.5	18.6	6.5	0.1	
		D層	62.0	27.4	34.3	25.2	12.5	0.7	
		A-D層	29.2						
115	要素	全体	90.1	62.4	27.5	7.5	2.3	0.2	
	小要素	A層	92.8	71.8	21.0	4.8	2.4	0.0	
	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。	B層	93.2	69.2	24.0	5.0	1.8	0.1	
		C層	91.7	62.2	29.4	6.8	1.5	0.1	
		D層	83.0	46.8	35.6	13.4	3.5	0.6	
		A-D層	9.8						
116	要素	全体	79.1	47.1	31.8	15.3	5.6	0.2	
	小要素	A層	78.7	49.5	29.2	14.8	6.5	0.0	
	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。	B層	81.7	49.9	31.8	13.8	4.5	0.0	
		C層	81.2	48.3	32.9	14.3	4.5	0.1	
		D層	74.9	41.1	33.4	18.2	6.7	0.7	
		A-D層	3.8						
117	要素	全体	74.4	41.3	32.9	19.3	6.3	0.2	
	小要素	A層	82.6	53.7	29.0	13.7	3.7	0.0	
	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	B層	77.1	43.2	33.9	18.5	4.4	0.1	
		C層	72.6	38.2	34.3	21.1	6.2	0.1	
		D層	65.5	30.4	34.7	23.6	10.6	0.7	
		A-D層	17.1						
118	要素	全体	72.7	40.2	32.3	18.6	8.6	0.2	
	小要素	A層	84.7	55.4	29.2	11.8	3.5	0.0	
	テレビやラジオをつけずに集中して学習している。	B層	76.9	42.9	34.0	16.7	6.3	0.0	
		C層	69.0	34.8	34.0	21.1	9.9	0.1	
		D層	60.3	27.9	32.1	24.8	14.6	0.7	
		A-D層	24.4						
119	要素	全体	37.8	12.5	25.1	38.2	23.8	0.3	
	小要素	A層	49.6	19.2	30.4	32.2	18.2	0.0	
	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	B層	38.2	11.8	26.4	39.3	22.5	0.1	
		C層	32.4	9.0	23.4	41.4	26.0	0.2	
		D層	31.1	10.2	20.6	40.0	28.3	0.9	
		A-D層	18.5						
120	要素	追加質問	全体	55.3	17.6	37.6	28.2	16.3	0.3
	小要素	A層	73.7	32.4	41.3	18.1	8.2	0.1	
	勉強は、好きである。	B層	60.5	18.1	42.3	26.8	12.7	0.0	
		C層	48.4	11.1	37.2	32.5	19.1	0.1	
		D層	38.8	8.7	29.8	35.5	25.2	0.8	
		A-D層	34.9						

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					
				とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
121	要素	追加質問	全体	94.6	73.9	20.5	4.1	1.3	0.2
	小要素	A層	97.5	83.7	13.8	1.7	0.7	0.1	
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	B層	96.2	78.3	17.8	3.1	0.7	0.0	
		C層	94.7	71.9	22.7	4.2	1.2	0.0	
		D層	90.0	61.9	27.5	7.3	2.6	0.8	
		A-D層	7.5						
122	要素	追加質問	全体	71.6	26.6	44.9	23.5	4.8	0.3
	小要素	A層	85.4	40.1	45.2	12.7	1.9	0.1	
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	B層	76.6	28.6	48.0	20.6	2.8	0.0	
		C層	67.4	21.3	46.0	27.5	5.1	0.1	
		D層	57.6	16.3	40.8	32.7	9.3	0.8	
		A-D層	27.8						
123	要素	追加質問	全体	79.8	46.8	32.7	13.1	7.1	0.3
	小要素	A層	82.2	50.0	32.1	11.8	5.9	0.1	
	道で外国人に英語で話しかけられた時、なんとか英語で話そうとする。	B層	82.7	50.6	32.1	11.5	5.9	0.1	
		C層	81.3	47.2	34.1	12.2	6.4	0.0	
		D層	73.1	39.7	32.7	16.7	10.0	0.9	
		A-D層	9.1						
124	要素	追加質問	全体	92.6	67.2	25.2	6.0	1.3	0.3
	小要素	A層	94.1	72.0	21.9	5.2	0.8	0.1	
	授業で学んだことは、将来、社会に出たときに、役に立つ。	B層	94.6	72.6	21.9	4.7	0.8	0.1	
		C層	93.6	66.4	27.2	5.2	1.2	0.0	
		D層	88.1	57.8	29.6	9.1	2.7	0.8	
		A-D層	6.0						
125	要素	追加質問	全体	88.6	61.6	26.7	8.4	2.9	0.3
	小要素	A層	89.0	64.1	24.8	8.2	2.8	0.1	
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	B層	89.6	62.2	27.3	8.2	2.3	0.1	
		C層	88.7	62.3	26.3	8.3	2.9	0.1	
		D層	87.2	57.9	28.5	9.0	3.7	0.9	
		A-D層	1.8						
126	要素	追加質問	全体	80.2	60.6	19.4	12.3	7.4	0.3
	小要素	A層	80.1	59.0	21.0	13.6	6.3	0.1	
	将来の夢や目標を持っている。	B層	79.6	60.6	18.9	12.8	7.5	0.1	
		C層	79.7	61.2	18.4	12.2	8.0	0.1	
		D層	81.7	61.8	19.3	10.4	7.7	0.8	
		A-D層	-1.6						
127	要素	追加質問	全体	95.5	73.5	21.8	3.4	1.1	0.3
	小要素	A層	96.8	77.7	19.0	2.3	0.9	0.1	
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	B層	96.4	75.1	21.2	3.0	0.7	0.1	
		C層	96.1	73.9	22.0	3.0	1.0	0.1	
		D層	93.0	67.4	24.8	5.2	1.7	0.8	
		A-D層	3.8						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない	その他	
128	要素 追加質問	全体	92.2	54.0	38.0	6.6	1.1	0.3	
	小要素	A層	93.2	52.8	40.3	5.7	1.1	0.1	
		B層	92.4	54.1	38.2	6.8	0.8	0.1	
	人が困っているときは、進んで助けている。	C層	93.3	54.4	38.8	5.9	0.8	0.1	
		D層	90.1	54.7	34.6	8.0	1.8	0.9	
		A-D層	3.1						
129	要素 追加質問	全体	79.3	47.9	31.3	14.2	6.4	0.3	
	小要素	A層	82.1	52.1	29.9	12.9	5.0	0.1	
		B層	80.0	49.3	30.6	14.0	6.0	0.1	
	自分には、よいところがあると思う。	C層	79.3	48.1	31.2	14.4	6.3	0.1	
		D層	76.1	42.2	33.2	15.5	8.3	0.8	
		A-D層	6.0						
130	要素 追加質問	全体	63.4	32.7	30.6	23.2	13.3	0.3	
	小要素	A層	65.1	33.0	32.0	24.7	10.1	0.1	
		B層	63.3	31.9	31.3	24.3	12.3	0.1	
	不安やなやみ、ストレスがあるとき、だれかに相談することができている。	C層	63.6	33.5	30.0	21.9	14.5	0.1	
		D層	61.9	32.4	29.0	21.6	16.2	0.8	
		A-D層	3.2						
131	要素 追加質問	全体	81.1	48.8	32.1	13.0	5.8	0.3	
	小要素	A層	83.2	52.1	30.9	12.2	4.6	0.1	
		B層	81.6	50.1	31.4	13.2	5.1	0.1	
	困ったとき、なやんだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	C層	81.9	48.8	33.0	12.4	5.7	0.1	
		D層	78.0	44.4	33.0	14.2	7.6	0.8	
		A-D層	5.2						
132	要素 追加質問	全体	86.4	50.8	35.3	10.2	3.4	0.3	
	小要素	A層	89.4	56.0	33.2	8.6	2.1	0.1	
		B層	87.9	52.7	35.1	9.2	2.9	0.1	
	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	C層	86.6	49.5	36.9	9.8	3.6	0.1	
		D層	81.8	45.3	35.9	13.1	4.9	0.8	
		A-D層	7.6						
133	要素 追加質問	全体	88.4	61.9	26.2	8.3	3.3	0.3	
	小要素	A層	87.2	59.4	27.7	9.3	3.5	0.1	
		B層	89.4	63.0	26.4	7.7	2.9	0.1	
	自分の住んでいる町がすきである。	C層	89.1	63.4	25.5	7.7	3.2	0.1	
		D層	87.6	61.8	25.1	8.6	3.6	0.8	
		A-D層	-0.4						
134	要素 追加質問	全体	52.3	21.4	30.7	30.1	17.4	0.4	
	小要素	A層	49.1	18.2	30.8	32.0	18.9	0.1	
		B層	55.5	23.5	31.9	29.6	14.8	0.2	
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	C層	54.7	21.8	32.8	29.4	15.9	0.2	
		D層	50.2	22.3	27.5	29.4	19.9	1.0	
		A-D層	-1.1						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない	その他	
135	要素 追加質問	全体	65.6	30.4	35.0	25.3	9.0	0.3	
	小要素	A層	69.7	35.5	34.0	23.3	7.0	0.2	
		B層	67.7	31.8	35.8	24.5	7.8	0.1	
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	C層	65.5	28.8	36.6	25.9	8.5	0.2	
		D層	60.0	25.8	33.7	27.3	12.4	0.8	
		A-D層	9.7						
136	要素 追加質問	全体	93.3	69.0	24.0	4.8	1.9	0.3	
	小要素	A層	93.2	70.8	22.3	4.8	2.0	0.1	
		B層	94.3	71.9	22.2	4.2	1.5	0.2	
	GIGAたん末は学習の役に立つと思う。	C層	94.2	69.8	24.3	4.3	1.5	0.1	
		D層	91.5	63.6	27.1	6.0	2.4	0.8	
		A-D層	1.7						
質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
				ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少ない		
137	要素 追加質問	全体	71.1	32.4	38.5	22.0	6.8	0.4	
	小要素	A層	77.0	37.7	39.2	19.0	4.0	0.1	
		B層	73.0	33.4	39.5	21.3	5.6	0.2	
	前の学年までに受けた授業で、GIGAたん末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	C層	68.7	30.6	38.0	23.3	7.9	0.2	
		D層	66.0	27.9	37.4	24.1	9.5	1.0	
		A-D層	11.0						
質問番号	質問内容	母集団	肯定群回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					その他無回答
				1時間以上	30分以上~1時間より少ない	30分より少ない	まったく使っていない		
138	要素 追加質問	全体	56.4	23.2	33.0	31.5	12.0	0.4	
	小要素	A層	56.0	22.4	33.5	34.0	9.9	0.1	
		B層	57.1	21.8	35.2	33.1	9.7	0.1	
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGAたん末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	C層	55.9	22.9	33.0	31.4	12.6	0.2	
		D層	56.6	25.7	30.3	27.6	15.3	1.0	
		A-D層	-0.6						
139	要素 追加質問	全体	40.7	18.3	22.3	32.8	26.3	0.3	
	小要素	A層	37.5	15.6	21.9	36.9	25.5	0.1	
		B層	37.9	16.6	21.2	36.3	25.7	0.1	
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGAたん末などのICT機器を勉強のために使っていますか。	C層	40.6	18.3	22.2	31.5	27.8	0.1	
		D層	47.0	22.5	24.0	26.6	25.9	1.0	
		A-D層	-9.5						

意識調査の結果一覧【中1】

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
1	要素	豊かな基礎体験	全体	76.0	45.1	30.9	18.5	5.4	0.0
	小要素	基礎体験	A層	65.8	32.8	33.0	26.1	8.1	0.0
	友だちと外で遊んでいる。		B層	75.6	42.8	32.9	20.0	4.4	0.0
			C層	80.3	49.0	31.4	15.4	4.3	0.0
			D層	82.5	56.1	26.3	12.5	5.0	0.1
			A-D層	-16.7					
2	要素	豊かな基礎体験	全体	88.8	68.9	19.7	7.6	3.6	0.1
	小要素	基礎体験	A層	82.6	60.0	22.6	11.2	6.2	0.0
	ゲーム機やケータイ、スマート フォンのゲームをしている。		B層	89.0	68.6	20.3	7.5	3.5	0.0
			C層	90.4	70.6	19.7	6.8	2.8	0.1
			D層	93.1	76.3	16.5	5.0	1.9	0.3
			A-D層	-10.5					
3	要素	豊かな基礎体験	全体	46.5	18.0	28.4	35.4	17.9	0.3
	小要素	基礎体験	A層	65.2	30.9	34.1	27.5	7.2	0.2
	本や新聞を読んでいる。		B層	48.8	17.9	30.7	37.6	13.5	0.3
			C層	40.5	14.3	26.0	39.4	19.9	0.3
			D層	31.9	9.0	22.7	37.3	30.6	0.3
			A-D層	33.3					
4	要素	豊かな基礎体験	全体	89.0	60.5	28.2	8.3	2.6	0.4
	小要素	基礎体験	A層	91.0	62.3	28.6	7.7	1.3	0.1
	パソコンやインターネットを使 う。		B層	91.1	63.5	27.2	7.1	1.7	0.4
			C層	88.9	60.3	28.3	8.4	2.6	0.3
			D層	85.0	56.0	28.5	10.0	4.9	0.6
			A-D層	6.0					
5	要素	豊かな基礎体験	全体	52.8	19.0	33.6	31.4	15.7	0.3
	小要素	基礎体験	A層	56.9	19.9	36.9	29.6	13.5	0.1
	放課後や土曜日などに、学校 の活動や集まりがあれば、参 加している。		B層	53.8	19.1	34.6	32.1	13.9	0.3
			C層	50.9	18.4	32.3	32.9	16.0	0.4
			D層	49.8	18.8	30.8	30.6	19.5	0.3
			A-D層	7.1					
6	要素	豊かな基礎体験	全体	69.2	32.4	36.6	18.6	12.1	0.2
	小要素	基礎体験	A層	82.1	44.6	37.4	12.0	5.8	0.1
	ゲーム機やケータイ、スマート フォンのゲームをするときは、 家の人と時間についてルール を決めている。(ゲームをしな い人は、1番を選んでください。)		B層	74.4	35.5	38.8	16.8	8.8	0.1
			C層	66.5	29.1	37.2	21.8	11.7	0.2
			D層	53.9	20.6	33.0	23.9	21.9	0.6
			A-D層	28.2					
7	要素	豊かな基礎体験	全体	58.1	28.6	29.4	20.6	21.2	0.2
	小要素	基礎体験	A層	69.3	40.2	29.0	16.6	14.1	0.1
	ケータイやスマートフォンで電 話やメールをするときは、家 の人と時間を決めている。 (ケータイやスマートフォンで 電話やメールをしない人は、1 番を選んでください。)		B層	60.5	28.2	32.2	20.8	18.7	0.2
			C層	56.1	26.1	30.0	21.5	22.3	0.1
			D層	46.8	20.2	26.3	23.4	29.6	0.4
			A-D層	22.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
8	要素	豊かな基礎体験	全体	95.6	73.3	22.0	3.5	0.9	0.3
	小要素	基礎体験	A層	97.1	76.0	21.0	2.5	0.4	0.1
	家の人や自分のことを気にか けてくれていると思う		B層	96.3	75.2	21.0	2.9	0.8	0.1
			C層	95.5	74.1	21.1	3.7	0.8	0.3
			D層	93.5	68.3	24.6	4.8	1.6	0.6
			A-D層	3.6					
9	要素	豊かな基礎体験	全体	92.5	53.6	38.7	6.2	1.2	0.3
	小要素	基礎体験	A層	94.9	57.9	36.8	4.3	0.8	0.1
	今まで教えてもらった学校の 先生は、自分のことを認めてく れていたと思う。		B層	94.4	55.1	39.2	4.7	0.8	0.1
			C層	92.6	53.1	39.2	6.5	0.9	0.3
			D層	88.3	48.5	39.4	9.3	2.3	0.5
			A-D層	6.6					
10	要素	豊かな基礎体験	全体	94.7	72.1	22.5	4.1	1.1	0.1
	小要素	基礎体験	A層	96.0	74.5	21.4	3.4	0.6	0.0
	勉強やスポーツのことで、家 の人が応援してくれる。		B層	95.8	73.9	21.9	3.4	0.8	0.0
			C層	94.9	72.5	22.2	4.3	0.8	0.1
			D層	92.3	67.6	24.4	5.3	2.5	0.3
			A-D層	3.7					
11	要素	豊かな基礎体験	全体	65.1	29.9	35.0	26.4	8.4	0.2
	小要素	基礎体験	A層	67.8	32.0	35.7	26.1	6.0	0.2
	将来の夢やこれからの進路に ついて家の人と話をする。		B層	65.5	29.0	36.3	26.3	8.2	0.2
			C層	64.6	29.7	34.8	27.0	8.3	0.1
			D層	62.5	28.8	33.4	26.2	11.2	0.4
			A-D層	5.3					
12	要素	豊かな基礎体験	全体	16.9	5.7	11.2	27.0	55.8	0.3
	小要素	基礎体験	A層	23.0	8.3	14.7	29.1	47.9	0.1
	新聞に書かれていることにつ いて家の人と話をする。		B層	16.6	5.7	10.9	28.2	55.1	0.2
			C層	14.0	4.1	9.8	25.9	59.8	0.3
			D層	14.2	4.6	9.4	24.7	60.7	0.6
			A-D層	8.8					
13	要素	豊かな基礎体験	全体	90.7	75.0	15.4	6.4	2.8	0.4
	小要素	基本的な生活習慣	A層	96.1	85.2	10.8	2.9	1.0	0.2
	朝食は毎日食べている。		B層	93.4	79.9	13.3	4.6	2.0	0.3
			C層	90.1	72.9	16.9	7.0	2.8	0.4
			D層	83.4	62.3	20.5	11.0	5.5	0.8
			A-D層	12.7					
14	要素	豊かな基礎体験	全体	69.2	34.4	34.6	23.0	7.7	0.3
	小要素	基本的な生活習慣	A層	70.5	34.5	36.0	23.3	6.2	0.0
	朝、起こされなくても自分で起 きている。		B層	70.2	33.8	36.1	23.1	6.6	0.3
			C層	67.5	34.3	33.0	23.2	9.2	0.3
			D層	68.9	34.9	33.5	22.1	8.8	0.6
			A-D層	1.6					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
15	要素	豊かな基礎体験	全体	52.2	17.9	34.2	32.0	15.6	0.2
	小要素	基本的な生活習慣	A層	58.5	18.3	40.2	32.1	9.3	0.1
			B層	54.2	17.0	37.1	32.4	13.3	0.2
			C層	50.2	17.6	32.5	31.7	18.0	0.2
			D層	46.2	18.8	27.3	31.9	21.8	0.3
			A-D層	12.3					
16	要素	豊かな基礎体験	全体	68.1	27.5	40.5	25.0	6.8	0.2
	小要素	基本的な生活習慣	A層	70.6	27.6	43.0	24.0	5.4	0.0
			B層	70.2	27.4	42.7	24.4	5.4	0.1
			C層	66.9	27.4	39.4	26.0	7.1	0.2
			D層	65.1	27.7	37.1	25.6	9.2	0.4
			A-D層	5.5					
17	要素	豊かな基礎体験	全体	74.7	33.9	40.6	21.3	3.9	0.3
	小要素	基本的な生活習慣	A層	78.5	33.7	44.6	19.1	2.4	0.3
			B層	76.6	34.6	41.8	21.1	2.3	0.1
			C層	74.2	35.1	38.9	21.8	4.0	0.2
			D層	69.7	32.4	36.8	23.4	6.7	0.7
			A-D層	8.8					
18	要素	学びに向かう力	全体	72.9	36.7	36.1	20.6	6.4	0.2
	小要素	感じ取る力	A層	81.4	42.4	38.9	16.1	2.5	0.1
			B層	76.1	37.7	38.3	19.0	4.9	0.1
			C層	69.1	34.3	34.7	23.6	7.2	0.2
			D層	65.2	32.2	32.8	23.6	11.1	0.3
			A-D層	16.2					
19	要素	学びに向かう力	全体	64.4	34.2	30.1	23.6	12.0	0.2
	小要素	感じ取る力	A層	69.5	39.9	29.6	21.6	8.8	0.0
			B層	66.5	36.0	30.3	23.3	10.1	0.2
			C層	63.1	32.3	30.7	24.7	12.2	0.2
			D層	58.5	28.4	29.8	24.8	16.4	0.5
			A-D層	11.0					
20	要素	学びに向かう力	全体	82.3	44.1	38.1	14.0	3.7	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	88.5	52.4	36.1	9.9	1.6	0.0
			B層	83.5	43.8	39.5	13.5	3.0	0.2
			C層	81.2	41.2	39.9	15.2	3.6	0.1
			D層	76.3	39.5	36.7	17.0	6.6	0.1
			A-D層	12.2					
21	要素	学びに向かう力	全体	93.1	61.2	31.9	5.9	1.0	0.0
	小要素	学習動機	A層	95.0	65.0	29.9	4.4	0.6	0.0
			B層	94.4	63.1	31.3	4.7	0.8	0.1
			C層	93.0	61.1	31.9	6.3	0.7	0.0
			D層	89.9	55.7	34.1	8.3	1.9	0.0
			A-D層	5.1					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
22	要素	学びに向かう力	全体	92.4	64.5	27.8	6.3	1.3	0.0
	小要素	学習動機	A層	94.4	68.1	26.2	4.9	0.8	0.0
			B層	93.1	64.9	28.2	6.0	0.8	0.0
			C層	93.1	64.1	28.9	5.9	1.1	0.0
			D層	89.0	61.0	28.0	8.3	2.7	0.1
			A-D層	5.4					
23	要素	学びに向かう力	全体	85.2	44.6	40.5	11.6	3.2	0.1
	小要素	学習動機	A層	86.9	46.6	40.3	10.7	2.4	0.0
			B層	87.5	45.5	41.8	10.3	2.2	0.1
			C層	86.5	44.7	41.7	10.6	2.9	0.1
			D層	80.3	42.1	38.1	14.4	5.2	0.2
			A-D層	6.6					
24	要素	学びに向かう力	全体	90.8	46.4	44.3	8.1	1.1	0.1
	小要素	自己責任	A層	92.8	49.3	43.5	6.3	0.8	0.0
			B層	92.7	47.7	44.8	6.9	0.4	0.2
			C層	91.1	45.5	45.6	7.9	1.0	0.0
			D層	86.6	43.1	43.3	11.1	2.2	0.3
			A-D層	6.2					
25	要素	学びに向かう力	全体	88.8	53.2	35.5	8.9	2.3	0.1
	小要素	自己有能感	A層	88.3	51.8	36.6	9.4	2.3	0.0
			B層	90.3	54.3	35.9	7.8	2.0	0.1
			C層	89.0	53.6	35.2	9.1	1.9	0.2
			D層	88.0	53.5	34.4	9.1	2.9	0.2
			A-D層	0.3					
26	要素	学びに向かう力	全体	93.9	70.6	23.2	4.9	1.2	0.1
	小要素	達成感	A層	94.9	72.1	22.7	4.2	0.9	0.1
			B層	94.8	72.5	22.2	4.3	0.9	0.1
			C層	94.6	71.7	22.7	4.5	0.8	0.2
			D層	91.3	66.2	25.0	6.5	2.2	0.2
			A-D層	3.6					
27	要素	自ら学ぶ力	全体	70.9	29.8	41.0	24.2	4.9	0.1
	小要素	学習スキル	A層	75.3	32.6	42.6	22.0	2.8	0.0
			B層	74.2	31.2	42.9	22.3	3.4	0.1
			C層	70.4	29.0	41.3	24.3	5.3	0.2
			D層	63.5	26.6	36.8	28.2	8.3	0.2
			A-D層	11.8					
28	要素	自ら学ぶ力	全体	58.9	20.5	38.3	31.1	9.9	0.2
	小要素	学習スキル	A層	73.7	31.1	42.6	21.5	4.8	0.0
			B層	62.5	21.1	41.3	29.9	7.5	0.2
			C層	52.6	16.3	36.3	36.4	11.0	0.1
			D層	47.0	13.7	33.1	36.5	16.3	0.4
			A-D層	26.7					

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
29	要素 自ら学ぶ力	全体	53.4	20.0	33.3	33.8	12.8	0.1
	小要素 学習スキル	A層	57.1	21.9	35.1	32.5	10.4	0.1
	授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	B層	54.4	21.2	33.2	33.2	12.3	0.1
		C層	53.2	19.4	33.8	34.1	12.7	0.0
		D層	48.9	17.7	31.1	35.1	15.9	0.2
A-D層	8.2							
30	要素 自ら学ぶ力	全体	52.4	14.7	37.6	36.7	10.9	0.1
	小要素 学習定着のための方略	A層	64.0	20.2	43.8	29.7	6.3	0.1
	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	B層	55.5	15.8	39.7	35.2	9.3	0.1
		C層	48.9	12.4	36.5	39.7	11.2	0.2
		D層	41.3	10.7	30.6	42.0	16.6	0.2
A-D層	22.7							
31	要素 自ら学ぶ力	全体	66.0	25.8	40.1	26.8	7.1	0.1
	小要素 学習定着のための方略	A層	82.1	38.8	43.3	15.4	2.5	0.0
	授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	B層	72.1	28.2	43.8	23.3	4.6	0.0
		C層	61.1	21.9	39.2	31.1	7.8	0.1
		D層	48.9	14.6	34.2	37.4	13.5	0.2
A-D層	33.2							
32	要素 自ら学ぶ力	全体	61.4	20.5	40.9	30.3	8.2	0.2
	小要素 学習定着のための方略	A層	69.8	25.9	43.8	25.9	4.3	0.1
	授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	B層	62.5	21.2	41.2	30.2	7.2	0.2
		C層	60.2	18.6	41.6	30.4	9.3	0.0
		D層	53.6	16.1	37.2	34.1	12.1	0.5
A-D層	16.2							
33	要素 自ら学ぶ力	全体	82.3	39.4	42.7	14.3	3.4	0.2
	小要素 学習計画力	A層	86.8	43.8	43.0	11.4	1.8	0.0
	習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	B層	85.1	40.7	44.3	12.6	2.3	0.1
		C層	82.4	39.5	42.7	14.2	3.3	0.3
		D層	75.0	33.8	40.9	18.8	6.1	0.4
A-D層	11.8							
34	要素 自ら学ぶ力	全体	44.4	14.5	29.8	37.6	17.9	0.3
	小要素 学習計画力	A層	50.2	18.2	32.0	36.9	12.8	0.0
	その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	B層	47.1	15.3	31.6	36.5	16.3	0.3
		C層	41.3	12.9	28.3	39.8	18.9	0.1
		D層	39.4	11.5	27.7	36.8	23.3	0.7
A-D層	10.8							
35	要素 自ら学ぶ力	全体	51.2	19.0	32.2	33.7	15.0	0.1
	小要素 学習計画力	A層	62.3	27.2	35.2	27.9	9.7	0.0
	自分で学習の計画を立てている。	B層	54.6	20.1	34.5	32.5	12.8	0.1
		C層	48.0	16.3	31.6	36.4	15.5	0.1
		D層	40.2	12.6	27.5	37.9	21.7	0.3
A-D層	22.1							

質問 番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
36	要素 学びを律する力	全体	57.0	20.3	36.7	32.1	10.9	0.1
	小要素 学習継続力	A層	68.3	28.0	40.4	25.1	6.6	0.0
	目標に向けて、ふだんからこつこつ学習している。	B層	60.7	21.3	39.3	30.7	8.5	0.2
		C層	54.1	17.8	36.2	33.9	11.9	0.1
		D層	45.2	14.2	30.9	38.4	16.3	0.3
A-D層	23.1							
37	要素 学びを律する力	全体	68.1	24.0	44.1	27.1	4.8	0.1
	小要素 学習継続力	A層	81.2	34.5	46.7	17.2	1.6	0.0
	わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	B層	72.9	25.8	47.1	24.0	3.1	0.0
		C層	65.0	20.0	44.9	30.0	5.0	0.1
		D層	53.6	15.8	37.7	36.9	9.4	0.3
A-D層	27.6							
38	要素 学びを律する力	全体	60.5	17.0	43.4	31.0	8.5	0.1
	小要素 学習のけじめ	A層	66.2	18.9	47.3	28.8	5.0	0.0
	学習を始めたなら、他のことに気をとられないで、集中している。	B層	61.7	18.0	43.6	31.3	7.0	0.1
		C層	60.1	16.5	43.6	30.3	9.6	0.0
		D層	54.4	14.9	39.4	33.0	12.4	0.3
A-D層	11.8							
39	要素 学びを律する力	全体	66.9	21.1	45.7	28.1	4.9	0.1
	小要素 学習のけじめ	A層	74.2	25.6	48.6	22.8	3.0	0.0
	かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	B層	68.8	21.3	47.5	27.4	3.8	0.0
		C層	64.7	19.6	45.1	30.2	5.1	0.0
		D層	59.8	18.2	41.4	32.0	8.0	0.4
A-D層	14.4							
40	要素 学びを律する力	全体	65.3	19.1	46.1	28.8	6.0	0.1
	小要素 学習環境の整備	A層	67.6	20.2	47.4	27.6	4.9	0.0
	正しい姿勢で学習している。	B層	67.8	19.4	48.5	27.0	5.2	0.0
		C層	66.0	18.8	47.2	28.1	5.9	0.0
		D層	59.7	18.1	41.4	32.3	7.8	0.4
A-D層	7.9							
41	要素 学びを律する力	全体	90.2	53.2	36.9	8.7	1.1	0.1
	小要素 学習環境の整備	A層	92.2	54.6	37.5	7.2	0.6	0.1
	必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	B層	92.0	57.3	34.6	7.5	0.5	0.0
		C層	90.6	54.8	35.8	8.3	1.1	0.1
		D層	86.0	46.4	39.4	11.9	2.1	0.3
A-D層	6.2							
42	要素 学びを律する力	全体	89.1	45.2	43.8	9.8	1.1	0.1
	小要素 授業を受ける姿勢	A層	93.4	52.2	41.1	6.2	0.4	0.0
	授業を集中して受けている。	B層	92.3	48.7	43.5	7.0	0.7	0.1
		C層	88.7	43.6	45.1	10.4	0.8	0.0
		D層	82.3	36.6	45.5	15.4	2.3	0.2
A-D層	11.1							

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
43	要素	問題解決力	全体	73.3	27.7	45.5	22.9	3.8	0.1
	小要素		A層	87.1	39.7	47.4	11.6	1.3	0.0
			B層	78.6	30.7	47.8	19.0	2.4	0.1
			C層	71.3	22.8	48.5	25.6	3.1	0.0
			D層	56.7	18.0	38.6	34.7	8.5	0.2
			A-D層	30.4					
44	要素	問題解決力	全体	65.8	20.0	45.7	29.5	4.6	0.2
	小要素		A層	78.2	29.2	49.0	19.8	2.0	0.0
			B層	70.5	21.2	49.2	26.8	2.7	0.1
			C層	63.2	17.3	45.8	32.0	4.7	0.1
			D層	51.6	12.7	38.7	39.4	8.9	0.4
			A-D層	26.6					
45	要素	問題解決力	全体	62.3	20.4	41.9	30.3	7.4	0.1
	小要素		A層	74.4	27.3	47.1	22.2	3.4	0.0
			B層	66.5	21.6	44.9	27.7	5.8	0.0
			C層	58.6	18.6	40.0	33.8	7.5	0.1
			D層	49.8	14.2	35.4	37.5	12.6	0.3
			A-D層	24.6					
46	要素	問題解決力	全体	74.2	36.3	37.8	20.1	5.7	0.1
	小要素		A層	87.1	50.5	36.6	11.6	1.3	0.0
			B層	81.1	41.2	39.8	15.7	3.3	0.0
			C層	71.4	32.8	38.5	23.3	5.2	0.2
			D層	57.5	21.1	36.3	29.4	12.9	0.3
			A-D層	29.6					
47	要素	社会参画力	全体	69.6	31.2	38.3	23.2	7.2	0.1
	小要素		A層	77.9	39.5	38.4	18.6	3.5	0.1
			B層	73.2	33.8	39.3	21.1	5.8	0.0
			C層	69.1	29.3	39.7	23.8	7.0	0.1
			D層	58.6	22.4	35.9	29.1	12.2	0.3
			A-D層	19.3					
48	要素	社会参画力	全体	62.6	26.4	36.2	27.4	9.9	0.1
	小要素		A層	74.4	35.8	38.6	21.2	4.4	0.0
			B層	65.3	27.4	37.9	26.8	7.9	0.1
			C層	59.2	23.3	35.7	30.0	10.8	0.2
			D層	51.4	19.1	32.3	31.9	16.5	0.2
			A-D層	23.0					
49	要素	豊かな心	全体	86.6	42.5	43.8	12.0	1.3	0.3
	小要素		A層	91.6	49.5	42.1	7.7	0.7	0.1
			B層	90.5	47.0	43.5	8.9	0.5	0.1
			C層	86.1	41.9	44.0	12.9	1.0	0.3
			D層	78.2	32.2	45.6	18.6	3.1	0.5
			A-D層	13.4					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
50	要素	豊かな心	全体	69.5	26.4	43.0	25.6	4.9	0.2
	小要素		A層	72.1	26.4	45.6	24.7	3.3	0.0
			B層	71.0	27.2	43.8	24.7	4.3	0.1
			C層	69.5	26.5	42.9	25.8	4.7	0.1
			D層	65.4	25.5	39.6	27.0	7.4	0.5
			A-D層	6.7					
51	要素	豊かな心	全体	68.2	26.4	41.7	27.1	4.7	0.2
	小要素		A層	77.2	31.6	45.6	20.1	2.7	0.1
			B層	70.3	27.5	42.8	26.2	3.4	0.0
			C層	66.8	25.8	40.9	28.8	4.4	0.0
			D層	58.7	20.8	37.6	33.1	8.0	0.5
			A-D層	18.5					
52	要素	豊かな心	全体	91.7	55.4	36.2	7.0	1.3	0.1
	小要素		A層	95.6	61.8	33.9	4.0	0.3	0.0
			B層	94.5	59.1	35.3	5.0	0.4	0.1
			C層	92.8	57.0	35.7	6.2	1.0	0.1
			D層	84.0	43.7	39.9	12.6	3.3	0.4
			A-D層	11.6					
53	要素	自己成長力	全体	75.0	43.0	31.9	18.0	6.9	0.1
	小要素		A層	76.8	44.6	32.1	17.3	5.9	0.0
			B層	78.3	47.5	30.7	15.9	5.8	0.0
			C層	73.7	41.3	32.4	19.2	7.1	0.0
			D層	71.4	38.8	32.3	19.8	8.7	0.4
			A-D層	5.4					
54	要素	自己成長力	全体	95.1	74.9	20.1	4.0	0.9	0.1
	小要素		A層	97.2	80.2	16.9	2.5	0.3	0.0
			B層	96.4	78.3	18.0	3.1	0.5	0.1
			C層	95.6	74.4	21.0	3.6	0.8	0.2
			D層	91.2	66.5	24.4	6.9	1.9	0.2
			A-D層	6.0					
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他無回答
55	要素	教科の好き嫌い	全体	54.2	9.9	44.2	34.4	11.3	0.2
	小要素		A層	66.8	17.5	49.3	27.2	6.0	0.0
			B層	55.3	9.4	45.8	35.0	9.7	0.1
			C層	50.8	7.1	43.6	37.0	12.1	0.2
			D層	44.4	5.7	38.3	38.0	17.3	0.6
			A-D層	22.4					
56	要素	教科の好き嫌い	全体	61.8	25.0	36.6	26.0	12.2	0.2
	小要素		A層	77.0	41.0	36.0	17.4	5.6	0.0
			B層	65.3	26.3	38.9	23.9	10.7	0.2
			C層	57.0	19.5	37.3	30.1	12.8	0.3
			D層	47.8	13.3	34.3	32.7	19.4	0.3
			A-D層	29.2					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好きで はない	好きではな い	その他 無回答
57	要素	教科の好き嫌い	全体	54.3	24.5	29.7	23.8	21.8	0.2
	小要素		A層	79.9	46.0	33.8	14.0	6.1	0.0
			B層	63.4	28.0	35.3	22.3	14.3	0.1
			C層	46.3	16.5	29.6	29.7	23.9	0.2
			D層	27.9	7.5	20.2	29.0	42.8	0.4
			A-D層	52.0					
58	要素	教科の好き嫌い	全体	62.7	23.1	39.5	26.6	10.6	0.1
	小要素		A層	75.8	36.9	38.8	19.4	4.7	0.1
			B層	64.6	22.6	41.9	26.2	9.2	0.0
			C層	58.1	18.2	39.8	28.5	13.4	0.0
			D層	52.5	14.6	37.7	32.2	15.2	0.3
			A-D層	23.3					
59	要素	教科の好き嫌い	全体	70.5	31.2	39.2	20.9	8.6	0.2
	小要素		A層	75.1	38.5	36.6	18.0	6.8	0.0
			B層	73.5	32.1	41.3	18.9	7.5	0.1
			C層	69.3	29.3	39.9	22.7	7.9	0.2
			D層	64.0	25.2	38.5	23.9	11.9	0.4
			A-D層	11.1					
60	要素	教科の好き嫌い	全体	66.3	30.8	35.4	23.5	10.1	0.2
	小要素		A層	65.3	30.1	35.2	24.5	10.2	0.0
			B層	67.9	32.4	35.4	22.0	10.1	0.1
			C層	67.5	31.1	36.2	22.3	10.1	0.2
			D層	64.8	29.7	34.9	24.9	10.2	0.4
			A-D層	0.5					
61	要素	教科の好き嫌い	全体	73.5	40.4	33.0	18.8	7.7	0.1
	小要素		A層	69.2	33.3	35.9	21.2	9.6	0.0
			B層	74.5	40.7	33.8	17.5	8.0	0.1
			C層	75.4	42.7	32.7	18.3	6.3	0.0
			D層	74.8	45.0	29.5	17.9	7.2	0.4
			A-D層	-5.6					
62	要素	教科の好き嫌い	全体	66.7	20.3	46.3	26.8	6.4	0.2
	小要素		A層	73.8	24.6	49.2	21.2	4.9	0.1
			B層	66.9	19.7	47.1	26.9	6.2	0.2
			C層	64.4	19.1	45.3	29.3	6.2	0.1
			D層	61.8	17.9	43.5	29.6	8.5	0.6
			A-D層	12.0					
63	要素	教科の好き嫌い	全体	69.5	27.1	42.2	23.1	7.3	0.2
	小要素		A層	73.3	29.1	44.3	21.4	5.3	0.0
			B層	71.3	29.1	42.1	22.6	6.1	0.2
			C層	67.9	26.2	41.5	24.4	7.6	0.3
			D層	65.4	24.2	40.9	23.9	10.5	0.5
			A-D層	7.9					
64	要素	教科の好き嫌い	全体	61.0	27.9	32.9	23.2	15.7	0.2
	小要素		A層	77.0	42.9	34.1	16.0	7.0	0.0
			B層	66.1	27.7	38.3	22.5	11.3	0.1
			C層	58.5	24.6	33.8	25.8	15.7	0.2
			D層	39.7	12.6	26.9	30.2	29.9	0.5
			A-D層	37.3					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きではな い	その他 無回答
65	要素	教科の好き嫌い	全体	70.0	25.4	44.6	23.1	6.9	0.1
	小要素		A層	71.3	24.4	46.9	23.1	5.6	0.0
			B層	71.0	25.0	45.9	22.1	6.9	0.1
			C層	71.2	27.0	44.1	22.6	6.2	0.1
			D層	67.0	25.1	41.7	24.3	8.6	0.3
			A-D層	4.3					
66	要素	教科の好き嫌い	全体	69.3	25.0	44.3	22.5	8.1	0.2
	小要素		A層	67.8	21.7	46.1	24.0	8.2	0.0
			B層	70.3	23.5	46.8	21.5	8.2	0.1
			C層	70.1	27.6	42.4	22.4	7.5	0.1
			D層	69.1	27.2	41.6	22.4	8.3	0.4
			A-D層	-1.3					
67	要素	教科の好き嫌い	全体	80.1	36.0	44.0	15.2	4.7	0.2
	小要素		A層	84.8	39.9	44.9	12.4	2.8	0.0
			B層	83.4	37.2	46.1	12.9	3.7	0.1
			C層	80.6	37.3	43.2	15.0	4.4	0.0
			D層	72.1	29.6	42.1	20.0	7.8	0.5
			A-D層	12.7					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
68	要素	教科の理解度	全体	79.3	19.6	59.4	17.6	3.0	0.4
	小要素		A層	92.1	35.6	56.5	7.4	0.5	0.1
			B層	85.2	21.3	63.7	13.2	1.5	0.2
			C層	77.3	13.4	63.6	19.9	2.8	0.3
			D層	62.8	8.3	53.9	29.8	7.0	0.9
			A-D層	29.3					
69	要素	教科の理解度	全体	71.6	23.4	48.1	23.8	4.5	0.1
	小要素		A層	88.2	41.0	47.1	10.7	1.1	0.0
			B層	75.9	24.9	50.9	21.4	2.7	0.0
			C層	67.3	17.1	50.1	28.2	4.5	0.1
			D層	55.3	10.8	44.3	34.8	9.8	0.3
			A-D層	32.9					
70	要素	教科の理解度	全体	67.9	27.6	40.2	24.0	8.0	0.2
	小要素		A層	93.3	54.7	38.5	6.2	0.4	0.1
			B層	81.2	33.3	47.9	16.6	2.1	0.1
			C層	63.3	16.2	47.1	29.9	6.7	0.0
			D層	34.2	6.4	27.6	42.9	22.6	0.5
			A-D層	59.1					
71	要素	教科の理解度	全体	72.9	21.9	50.8	23.0	4.1	0.2
	小要素		A層	88.5	37.6	50.9	10.8	0.7	0.0
			B層	77.4	21.4	55.9	20.0	2.6	0.1
			C層	67.4	16.6	50.6	28.0	4.6	0.2
			D層	58.4	12.0	46.1	32.7	8.7	0.6
			A-D層	30.1					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかつて いる	まあわかつて いる	あまりわかつ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
72	要素	教科の理解度	全体	75.4	30.9	44.4	19.5	5.1	0.2
	小要素		A層	79.0	38.4	40.6	17.6	3.4	0.0
			B層	79.6	33.2	46.3	16.6	3.8	0.1
	音楽		C層	74.8	27.9	46.7	19.7	5.5	0.1
			D層	68.3	24.2	43.8	23.9	7.6	0.5
			A-D層	10.7					
73	要素	教科の理解度	全体	66.9	24.2	42.6	25.1	7.9	0.2
	小要素		A層	71.0	26.7	44.3	22.2	6.7	0.0
			B層	69.7	24.8	44.8	23.7	6.6	0.1
	図画工作・美術		C層	66.4	23.5	42.8	25.7	7.9	0.1
			D層	60.6	21.6	38.6	28.6	10.5	0.6
			A-D層	10.4					
74	要素	教科の理解度	全体	80.9	35.6	45.1	15.5	3.5	0.3
	小要素		A層	81.3	31.6	49.6	15.6	3.1	0.1
			B層	83.5	36.2	47.2	13.8	2.6	0.2
	保健体育		C層	81.6	36.7	44.7	15.1	3.3	0.2
			D層	77.6	38.0	39.1	17.2	5.0	0.6
			A-D層	3.7					
75	要素	教科の理解度	全体	57.9	14.3	43.4	31.1	10.8	0.3
	小要素		A層	66.0	17.1	48.8	25.1	8.9	0.2
			B層	57.7	14.6	43.0	31.5	10.8	0.2
	技術		C層	55.8	12.6	43.0	33.6	10.5	0.4
			D層	52.3	13.0	39.0	34.3	13.2	0.6
			A-D層	13.7					
76	要素	教科の理解度	全体	76.7	27.1	49.4	19.2	4.0	0.2
	小要素		A層	81.2	31.2	50.0	16.7	2.1	0.0
			B層	79.8	29.6	50.1	16.8	3.4	0.1
	家庭		C層	77.0	24.8	52.1	19.4	3.5	0.1
			D層	69.0	22.9	45.7	23.7	7.1	0.6
			A-D層	12.2					
77	要素	教科の理解度	全体	66.5	29.8	36.6	22.8	10.6	0.2
	小要素		A層	85.2	49.3	35.8	11.6	3.2	0.1
			B層	71.3	29.1	42.1	22.4	6.2	0.1
	英語		C層	65.7	24.3	41.2	25.2	9.0	0.3
			D層	40.4	11.1	29.1	34.8	24.6	0.4
			A-D層	44.8					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
					0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	その他 無回答
78	要素	読書冊数	全体		29.2	37.5	15.0	7.6	3.2	2.0	5.2	0.3
	小要素		A層		15.2	36.6	18.5	10.9	4.9	3.3	10.5	0.1
			B層		26.1	39.4	15.8	8.2	3.6	1.7	4.7	0.3
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)		C層		32.4	38.5	15.0	6.4	2.4	1.8	3.3	0.3
			D層		42.9	35.2	10.8	4.9	2.0	1.2	2.3	0.7
			A-D層									

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
					ほとんど見 ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他 無回答
79	要素	テレビを見る時間	全体		12.6	14.4	18.3	15.1	15.1	7.9	16.1	0.5
	小要素	平日	A層		12.9	15.3	21.4	16.3	13.6	6.8	13.5	0.2
			B層		10.4	14.5	18.2	16.5	17.0	7.5	15.4	0.5
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	C層		11.7	13.6	17.8	15.3	15.6	8.3	17.4	0.3
			D層		15.2	14.4	15.7	12.4	14.3	8.7	18.3	1.1
		A-D層										
80	要素	テレビを見る時間	全体		12.6	10.4	15.0	12.9	15.5	9.3	23.9	0.4
	小要素	休日	A層		9.6	9.0	16.0	15.7	16.9	9.4	23.3	0.2
			B層		10.5	9.7	15.5	11.8	16.4	10.6	25.3	0.3
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	C層		13.3	10.4	13.7	13.7	15.3	9.6	23.7	0.3
			D層		17.1	12.4	14.9	10.6	13.4	7.6	23.3	0.8
		A-D層										
81	要素	学習時間	全体		16.2	19.4	16.1	13.4	12.3	10.4	12.0	0.3
	小要素	平日	A層		6.6	16.6	17.7	15.0	14.6	13.9	15.7	0.1
			B層		11.6	18.8	16.5	12.9	13.6	11.6	14.7	0.2
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	C層		17.5	19.7	14.8	13.3	12.1	10.6	11.6	0.3
			D層		28.6	22.4	15.4	12.4	9.3	5.3	6.0	0.6
		A-D層										
82	要素	学習時間	全体		27.6	25.0	20.4	10.6	7.6	3.8	4.6	0.3
	小要素	休日	A層		13.8	23.1	23.6	13.9	11.6	5.9	8.1	0.0
			B層		22.4	26.3	23.1	11.6	8.1	3.8	4.6	0.2
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	C層		31.0	26.0	20.0	9.8	6.1	3.2	3.4	0.3
			D層		42.8	24.8	14.9	7.3	4.7	2.4	2.5	0.6
		A-D層										
83	要素	ゲームをする時間	全体		17.7	13.5	17.2	12.3	12.9	6.9	19.3	0.3
	小要素	平日	A層		25.8	18.3	20.8	11.1	11.1	4.9	7.9	0.1
			B層		18.9	14.2	18.7	12.8	14.1	5.6	15.4	0.3
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	C層		15.5	11.8	16.3	12.2	13.2	8.1	22.7	0.3
			D層		10.8	9.3	12.9	13.3	13.3	8.7	31.1	0.6
		A-D層										
84	要素	ゲームをする時間	全体		13.9	10.1	13.9	11.2	13.0	8.0	29.7	0.3
	小要素	休日	A層		17.7	12.9	20.1	12.0	12.8	7.1	17.2	0.1
			B層		15.0	10.7	14.1	11.9	15.4	7.0	25.8	0.2
		あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	C層		13.2	9.3	11.1	11.4	13.2	8.5	33.2	0.2
			D層		9.7	7.4	10.3	9.5	10.8	9.2	42.4	0.7
		A-D層										

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
85	要素	国語	全体	34.8	9.2	25.4	40.4	24.6	0.4
	小要素		A層	45.2	13.5	31.6	37.7	17.1	0.1
			B層	35.1	9.4	25.7	42.4	22.3	0.3
			C層	31.6	7.3	24.2	41.7	26.4	0.4
			D層	27.5	6.7	20.5	39.7	32.3	0.8
			A-D層	17.7					
国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べようとしている。									
86	要素	国語	全体	74.8	32.7	41.8	18.9	6.1	0.5
	小要素		A層	86.4	44.7	41.7	11.2	2.3	0.0
			B層	79.6	35.3	44.0	15.9	4.5	0.3
			C層	72.9	29.7	42.8	21.0	6.0	0.5
			D層	60.6	21.5	38.6	27.4	11.7	0.9
			A-D層	25.8					
国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。									
87	要素	国語	全体	69.8	39.1	30.4	19.6	10.4	0.5
	小要素		A層	83.0	53.0	29.9	11.9	5.1	0.0
			B層	73.4	42.7	30.4	17.8	8.8	0.3
			C層	67.5	36.0	31.1	22.1	10.2	0.6
			D層	55.8	24.8	30.5	26.6	17.1	0.9
			A-D層	27.2					
国語の授業で、物語を作ったことがある。									
88	要素	国語	全体	82.4	40.3	41.7	14.4	3.2	0.4
	小要素		A層	88.9	49.0	39.9	9.6	1.5	0.0
			B層	86.5	43.9	42.4	11.6	1.9	0.2
			C層	82.2	38.3	43.4	15.2	2.5	0.6
			D層	72.3	30.7	41.0	20.9	6.5	0.9
			A-D層	16.6					
国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。									
89	要素	数学	全体	59.5	23.9	35.4	29.9	10.3	0.5
	小要素		A層	66.1	29.9	36.0	27.1	6.7	0.2
			B層	63.9	26.5	37.2	28.1	7.9	0.3
			C層	60.5	23.1	37.1	29.7	9.7	0.4
			D層	48.3	16.3	31.5	34.8	16.4	0.9
			A-D層	17.8					
算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。									
90	要素	数学	全体	65.4	32.4	32.7	24.3	10.1	0.5
	小要素		A層	86.7	53.0	33.4	10.9	2.3	0.4
			B層	75.0	37.8	37.0	20.1	4.8	0.3
			C層	60.1	25.9	34.0	29.2	10.4	0.5
			D層	40.7	13.5	26.8	36.8	22.0	0.9
			A-D層	46.0					
算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。									
91	要素	数学	全体	47.3	20.3	26.7	31.5	20.9	0.5
	小要素		A層	61.5	30.0	31.4	24.8	13.5	0.3
			B層	52.9	23.6	29.2	29.9	17.1	0.3
			C層	43.7	18.1	25.4	34.2	21.9	0.4
			D層	31.8	10.3	21.2	37.0	30.5	0.9
			A-D層	29.7					
算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。									

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
92	要素	数学	全体	71.1	32.0	38.6	22.1	6.6	0.6
	小要素		A層	81.9	42.8	38.8	14.9	3.2	0.3
			B層	76.4	35.8	40.3	19.7	3.8	0.4
			C層	71.2	30.7	40.3	22.8	5.9	0.3
			D層	55.4	19.4	35.2	31.2	12.9	1.3
			A-D層	26.5					
算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。									
93	要素	社会	全体	80.1	43.9	35.8	15.5	4.3	0.6
	小要素		A層	88.2	55.8	32.2	9.8	2.0	0.2
			B層	85.1	46.4	38.4	11.9	3.0	0.3
			C層	78.8	42.1	36.2	16.7	4.4	0.6
			D層	68.9	31.7	36.5	23.1	7.7	1.0
			A-D層	19.3					
社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。									
94	要素	社会	全体	60.6	32.6	27.6	25.6	13.6	0.5
	小要素		A層	68.8	41.1	27.5	21.2	9.9	0.2
			B層	63.6	34.5	28.9	23.2	13.1	0.3
			C層	59.8	31.0	28.4	25.9	14.1	0.6
			D層	50.5	24.1	25.9	31.8	17.2	1.0
			A-D層	18.3					
社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。									
95	要素	社会	全体	67.6	29.2	38.0	24.2	8.0	0.5
	小要素		A層	76.9	37.3	39.4	18.8	4.3	0.3
			B層	70.3	30.8	39.3	22.8	6.7	0.3
			C層	67.1	28.1	38.5	25.1	7.6	0.6
			D層	56.5	20.9	35.1	30.3	12.8	0.9
			A-D層	20.4					
社会の授業で、いま、世の中で起こっていることについて、資料をもとにして考えることがある。									
96	要素	社会	全体	73.3	33.7	39.2	21.3	5.2	0.5
	小要素		A層	80.8	40.8	39.7	16.1	3.1	0.3
			B層	75.2	34.0	40.9	19.9	4.8	0.4
			C層	73.3	34.0	39.0	21.8	4.8	0.4
			D層	64.4	26.2	37.6	27.2	8.1	0.9
			A-D層	16.4					
社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。									
97	要素	理科	全体	83.6	47.6	35.6	12.9	3.4	0.6
	小要素		A層	94.6	63.2	31.2	4.7	0.6	0.2
			B層	89.2	53.5	35.4	9.0	1.7	0.4
			C層	82.6	44.0	38.2	14.3	3.0	0.4
			D層	68.1	29.6	37.7	23.3	8.2	1.2
			A-D層	26.5					
理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立て結果を予想している。									
98	要素	理科	全体	86.9	51.0	35.4	10.5	2.5	0.6
	小要素		A層	94.6	61.5	32.7	4.9	0.6	0.3
			B層	91.4	56.2	34.9	7.2	1.4	0.3
			C層	87.0	49.6	37.0	10.6	2.3	0.5
			D層	75.0	36.9	37.2	19.0	5.7	1.2
			A-D層	19.6					
理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。									

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
99	要素	理科	全体	75.2	33.3	41.5	20.2	4.5	0.6
	小要素		A層	86.2	43.5	42.4	12.2	1.6	0.3
			B層	79.4	36.7	42.5	17.9	2.6	0.3
			C層	73.8	30.4	42.9	21.9	4.2	0.6
			D層	61.5	22.5	38.2	28.6	9.4	1.2
		A-D層		24.7					
100	要素	理科	全体	77.8	36.5	40.8	18.1	3.9	0.6
	小要素		A層	83.5	42.1	41.1	14.1	2.4	0.3
			B層	81.0	38.8	41.9	16.0	2.9	0.5
			C層	77.3	34.6	42.3	19.0	3.6	0.5
			D層	69.4	30.7	37.8	23.3	6.9	1.2
		A-D層		14.1					
質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
101	要素	やりとげる力	全体	87.8	38.3	48.9	10.2	2.0	0.6
	小要素		A層	89.1	37.2	51.7	9.1	1.8	0.2
			B層	90.1	39.3	50.4	8.4	1.5	0.4
			C層	88.7	40.6	47.8	9.6	1.7	0.4
			D層	83.3	36.3	45.8	13.5	3.0	1.4
		A-D層		5.8					
102	要素	やりとげる力	全体	93.1	52.9	39.7	6.0	0.9	0.6
	小要素		A層	96.1	57.8	38.2	3.4	0.4	0.1
			B層	95.3	56.3	38.5	4.2	0.5	0.5
			C層	93.3	53.6	39.3	5.9	0.8	0.4
			D層	87.9	44.4	42.3	10.2	1.8	1.3
		A-D層		8.2					
103	要素	やりとげる力	全体	74.2	28.0	45.7	22.5	3.1	0.7
	小要素		A層	77.8	31.6	46.0	20.0	2.2	0.2
			B層	76.6	28.1	48.1	20.9	2.5	0.5
			C層	74.0	28.5	45.0	23.0	2.9	0.6
			D層	68.8	24.2	43.4	26.1	4.6	1.7
		A-D層		9.0					
104	要素	やりとげる力	全体	73.3	26.8	46.0	21.9	4.6	0.8
	小要素		A層	76.9	28.5	48.1	19.3	3.8	0.3
			B層	76.1	27.5	48.2	19.9	3.9	0.6
			C層	73.7	27.8	45.5	21.8	4.4	0.6
			D層	66.9	23.5	42.2	26.1	6.4	1.7
		A-D層		10.0					
105	要素	自律力	全体	53.8	16.3	37.1	37.2	8.5	0.8
	小要素		A層	56.2	17.5	38.5	36.1	7.7	0.2
			B層	55.6	16.6	38.7	36.8	7.4	0.6
			C層	53.5	16.2	36.8	37.9	8.3	0.8
			D層	50.2	15.0	34.3	38.2	10.7	1.8
		A-D層		6.0					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
106	要素	自律力	全体	84.6	39.3	44.6	13.3	1.9	0.9
	小要素		A層	90.9	45.9	44.8	8.2	0.8	0.2
			B層	88.6	43.4	44.6	9.8	1.5	0.6
			C層	83.6	37.3	45.6	14.9	1.3	0.8
			D層	75.6	30.7	43.6	20.1	3.9	1.8
		A-D層		15.3					
107	要素	自律力	全体	91.9	50.5	40.5	7.2	0.9	0.9
	小要素		A層	95.1	55.0	39.8	4.7	0.2	0.3
			B層	94.7	55.0	39.1	4.8	0.5	0.6
			C層	91.9	50.3	40.9	7.2	0.8	0.8
			D層	85.8	42.1	42.3	12.0	1.9	1.7
		A-D層		9.3					
108	要素	自律力	全体	56.6	31.0	25.0	24.6	18.4	1.0
	小要素		A層	67.6	41.3	26.0	19.9	12.5	0.4
			B層	61.0	34.9	25.6	22.5	16.3	0.7
			C層	53.9	28.1	25.3	26.4	19.2	0.9
			D層	44.3	19.9	23.5	29.4	25.2	1.9
		A-D層		23.3					
109	要素	対話力	全体	91.3	49.7	40.7	7.4	1.2	1.0
	小要素		A層	95.3	56.3	38.5	4.4	0.3	0.5
			B層	94.8	54.0	40.0	4.7	0.5	0.8
			C層	90.3	47.9	41.7	8.3	1.2	0.9
			D層	85.0	40.7	42.6	11.9	2.9	2.0
		A-D層		10.3					
110	要素	対話力	全体	64.1	26.2	37.3	27.7	7.8	1.0
	小要素		A層	71.9	32.2	39.4	22.5	5.5	0.4
			B層	67.4	28.3	38.6	26.2	6.1	0.7
			C層	60.1	24.4	35.1	30.8	8.7	0.9
			D層	57.1	19.8	36.0	31.0	11.0	2.2
		A-D層		14.8					
111	要素	対話力	全体	54.2	22.3	31.3	33.4	12.0	1.1
	小要素		A層	62.1	30.4	31.4	29.3	8.4	0.4
			B層	57.0	24.7	31.8	32.5	10.2	0.8
			C層	50.3	19.2	30.7	36.8	12.5	0.9
			D層	47.3	15.1	31.1	34.9	16.7	2.1
		A-D層		14.8					
112	要素	対話力	全体	54.2	21.5	32.1	32.6	12.7	1.1
	小要素		A層	64.0	29.0	34.7	27.3	8.5	0.4
			B層	58.1	23.9	33.7	29.9	11.5	0.9
			C層	50.1	19.2	30.4	36.3	13.1	1.0
			D層	44.6	14.0	29.7	36.6	17.7	2.1
		A-D層		19.4					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
113	要素	支え合う力	全体	44.4	13.4	30.5	38.5	16.5	1.1
	小要素		A層	47.1	15.2	31.7	36.9	15.7	0.6
			B層	46.2	14.4	31.4	38.2	15.2	0.8
			C層	42.7	12.2	30.1	40.3	16.4	1.0
			D層	41.8	12.1	28.8	38.5	18.4	2.2
			A-D層	5.3					
114	要素	支え合う力	全体	81.9	38.8	42.1	14.4	3.5	1.2
	小要素		A層	87.4	44.3	42.7	10.5	2.0	0.5
			B層	84.7	39.7	44.1	12.6	2.6	0.9
			C層	82.5	38.2	43.3	14.7	2.6	1.1
			D層	73.0	33.1	38.3	19.7	6.6	2.2
			A-D層	14.4					
115	要素	支え合う力	全体	95.1	65.4	28.6	4.2	0.6	1.1
	小要素		A層	95.7	64.5	30.7	4.0	0.3	0.5
			B層	96.3	65.8	29.7	3.3	0.4	0.8
			C層	95.5	68.1	26.4	3.9	0.6	1.1
			D層	93.0	63.4	27.7	5.5	1.3	2.1
			A-D層	2.7					
116	要素	支え合う力	全体	84.8	38.4	45.4	12.9	2.1	1.2
	小要素		A層	89.3	43.7	45.1	9.6	1.1	0.6
			B層	87.2	40.4	46.1	11.4	1.4	0.8
			C層	84.6	37.2	46.4	13.2	1.9	1.2
			D層	78.2	32.7	43.8	17.1	4.2	2.2
			A-D層	11.1					
117	要素	共生力	全体	91.3	49.2	41.0	7.5	1.0	1.3
	小要素		A層	92.8	49.8	42.4	6.4	0.7	0.6
			B層	93.2	50.4	41.9	6.0	0.7	1.0
			C層	91.9	50.1	40.6	7.2	0.8	1.3
			D層	87.4	46.5	39.0	10.6	1.7	2.2
			A-D層	5.4					
118	要素	共生力	全体	92.0	51.6	39.0	6.7	1.1	1.5
	小要素		A層	94.2	52.1	41.3	5.1	0.7	0.8
			B層	94.2	52.8	40.2	5.1	0.6	1.3
			C層	91.8	52.9	37.6	7.1	1.0	1.4
			D層	88.0	48.8	36.7	9.6	2.1	2.8
			A-D層	6.2					
119	要素	共生力	全体	89.4	47.4	40.7	9.2	1.2	1.6
	小要素		A層	90.1	46.7	42.7	9.0	0.8	0.8
			B層	91.0	49.1	40.7	8.0	0.9	1.3
			C層	89.7	49.2	39.2	9.2	0.9	1.4
			D層	87.0	44.5	40.1	10.7	2.0	2.8
			A-D層	3.1					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
120	要素	共生力	全体	92.1	54.0	36.6	6.6	1.2	1.7
	小要素		A層	94.4	56.9	36.7	4.9	0.7	0.8
			B層	94.9	56.7	36.8	4.4	0.6	1.4
			C層	92.4	56.0	35.0	6.6	0.8	1.5
			D層	86.9	46.7	37.7	10.1	2.6	2.9
			A-D層	7.5					
121	要素	規律力	全体	78.4	30.1	47.1	18.4	2.9	1.6
	小要素		A層	85.6	34.6	50.2	13.0	1.3	0.9
			B層	81.2	31.7	48.5	16.3	2.2	1.2
			C層	77.4	29.0	47.4	19.9	2.4	1.3
			D層	69.2	25.2	42.1	24.4	5.5	2.8
			A-D層	16.4					
122	要素	規律力	全体	95.7	62.0	32.1	3.7	0.6	1.6
	小要素		A層	98.1	66.7	30.6	1.8	0.1	0.9
			B層	97.0	65.5	30.1	2.8	0.3	1.4
			C層	95.7	61.4	33.1	3.6	0.6	1.4
			D層	92.1	54.6	34.8	6.3	1.4	2.9
			A-D層	6.0					
123	要素	規律力	全体	64.6	22.5	41.1	29.2	5.6	1.6
	小要素		A層	65.6	22.4	42.7	29.8	4.2	0.9
			B層	64.3	22.5	41.0	29.4	5.8	1.3
			C層	65.1	22.1	42.2	28.9	5.5	1.4
			D層	63.6	23.0	38.7	28.4	6.9	2.9
			A-D層	2.0					
124	要素	規律力	全体	92.4	52.7	38.2	6.5	1.0	1.6
	小要素		A層	95.1	56.8	37.6	4.2	0.6	0.8
			B層	94.5	55.8	37.5	5.0	0.5	1.2
			C層	92.8	52.9	38.6	6.7	0.4	1.4
			D層	87.0	45.5	39.0	10.1	2.5	2.9
			A-D層	8.1					
125	要素		全体	86.8	58.5	26.6	9.0	4.0	1.9
	小要素		A層	89.9	62.9	26.2	7.4	2.7	0.9
			B層	88.5	61.8	25.6	8.3	3.0	1.4
			C層	86.7	58.4	26.8	8.9	4.2	1.7
			D層	82.2	51.2	28.1	11.2	6.0	3.6
			A-D層	7.7					
126	要素		全体	78.2	40.1	36.6	16.0	5.4	1.9
	小要素		A層	87.8	51.4	35.5	10.0	2.1	1.0
			B層	82.1	42.3	38.5	13.8	3.8	1.5
			C層	76.7	38.2	37.2	17.6	5.3	1.7
			D層	66.1	28.7	35.1	22.5	10.2	3.5
			A-D層	21.7					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
127	要素		全体	92.1	59.1	31.1	6.7	1.1	2.0
	小要素		A層	96.5	70.1	25.5	3.0	0.4	1.0
	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。		B層	95.6	65.4	28.6	3.9	0.4	1.6
			C層	92.2	58.3	32.3	6.8	0.8	1.8
			D層	84.2	43.1	38.1	12.6	2.7	3.5
			A-D層	12.3					
128	要素		全体	83.4	47.1	34.6	13.0	3.3	2.0
	小要素		A層	86.5	51.3	34.2	11.2	2.2	1.1
	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。		B層	84.8	49.1	34.3	12.5	2.5	1.6
			C層	83.8	47.5	34.9	12.9	3.0	1.7
			D層	78.5	40.7	34.9	15.4	5.3	3.7
			A-D層	8.0					
129	要素		全体	75.1	37.4	36.2	19.2	5.2	2.0
	小要素		A層	80.4	43.6	36.0	16.2	3.2	1.1
	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。		B層	77.4	39.8	36.4	18.3	3.9	1.6
			C層	74.4	36.9	36.2	19.6	5.6	1.7
			D層	68.0	29.5	36.1	22.8	8.0	3.6
			A-D層	12.4					
130	要素		全体	66.6	32.4	32.8	23.4	9.2	2.1
	小要素		A層	76.7	41.7	34.1	17.4	5.6	1.1
	テレビやラジオをつけないで集中して学習している。		B層	69.8	34.5	34.1	22.3	7.5	1.7
			C層	63.9	29.7	33.0	25.6	9.8	1.8
			D層	56.0	23.8	30.0	28.4	13.9	3.9
			A-D層	20.7					
131	要素		全体	37.6	9.7	27.1	40.7	20.3	2.1
	小要素		A層	45.4	12.0	32.9	40.0	14.0	1.1
	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。		B層	39.1	9.9	28.5	41.2	18.6	1.9
			C層	34.3	8.6	25.0	42.9	21.7	1.8
			D層	32.0	8.6	22.2	38.5	26.9	3.8
			A-D層	13.4					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)						
					高校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	四年制大学まで	大学院まで	その他	その他無回答
132	要素	進路意識	全体		14.9	21.8	7.4	36.9	12.2	3.9	2.8
	小要素		A層		4.6	14.0	4.6	56.3	15.9	3.2	1.4
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1～6から一つ選びなさい。		B層		8.5	22.8	8.0	43.1	11.8	3.4	2.3
			C層		15.8	26.7	8.3	31.9	11.3	3.3	2.6
			D層		30.2	23.8	8.9	16.6	9.8	5.8	4.9
			A-D層								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあて はまる	まああて はまる	まああては まあまりあ てはまった くあて	あまりあ てはまった くあて	その他 無回答	
133	要素 追加質問	全体	47.7	11.7	34.9	31.9	19.2	2.3	
	小要素	A層	66.5	21.3	44.3	24.1	8.9	1.4	
		B層	51.7	11.8	38.8	31.7	15.6	2.1	
	勉強は、好きである。	C層	40.4	7.7	32.0	37.4	21.1	1.8	
		D層	32.0	6.1	24.6	34.4	30.8	4.1	
		A-D層	34.5						
134	要素 追加質問	全体	95.4	69.0	23.9	3.5	1.0	2.5	
	小要素	A層	98.3	77.8	19.1	1.4	0.3	1.5	
		B層	97.4	72.5	22.6	2.2	0.4	2.3	
	勉強をすることは、大切 なことだと思う。	C層	95.4	67.7	25.7	3.8	0.7	2.1	
		D層	90.5	58.0	28.5	6.6	2.5	4.3	
		A-D層	7.8						
135	要素 追加質問	全体	68.7	20.9	46.0	25.9	4.6	2.6	
	小要素	A層	80.6	30.3	49.0	16.9	2.2	1.6	
		B層	74.5	21.8	51.0	22.2	2.7	2.3	
	わかった点・わからなかつ た点を見直し、次の学習 に繋げている。	C層	65.8	18.0	46.4	29.2	4.3	2.1	
		D層	53.7	13.9	37.5	35.1	9.1	4.4	
		A-D層	26.9						
136	要素 追加質問	全体	84.6	47.8	34.6	10.7	4.3	2.6	
	小要素	A層	88.6	54.0	33.2	8.4	2.8	1.6	
		B層	87.5	50.7	34.7	9.0	3.3	2.4	
	道で外国人に英語で話し かけられた時、なんとか 英語で話そうとする。	C層	85.6	48.0	35.8	10.7	3.5	2.0	
		D層	76.8	38.7	34.7	14.7	7.5	4.4	
		A-D層	11.8						
137	要素 追加質問	全体	92.4	59.0	30.8	6.2	1.3	2.7	
	小要素	A層	95.3	65.3	28.4	4.0	0.6	1.7	
		B層	94.6	61.6	30.7	4.4	0.9	2.4	
	授業で学んだことは、将 来、社会に出たときに、役 に立つ。	C層	92.3	58.6	31.7	6.6	1.0	2.1	
		D層	87.2	51.0	32.1	9.7	2.6	4.7	
		A-D層	8.1						
138	要素 追加質問	全体	88.4	55.5	30.4	8.6	2.6	2.8	
	小要素	A層	89.7	57.8	30.2	7.8	2.3	1.8	
		B層	90.1	57.4	30.5	7.4	2.2	2.5	
	学級みんなで協力して何 かをやりとげ、うれし かったことがある。	C層	88.3	56.2	30.2	9.5	1.9	2.2	
		D層	85.5	50.9	30.5	9.7	4.0	4.8	
		A-D層	4.2						
139	要素 追加質問	全体	80.8	57.3	21.3	12.2	6.4	2.8	
	小要素	A層	78.4	53.9	23.2	14.6	6.6	1.7	
		B層	80.2	56.8	21.4	12.7	6.6	2.5	
	将来の夢や目標を持って いる。	C層	82.3	59.5	20.8	10.6	6.8	2.3	
		D層	82.4	59.0	19.4	11.0	5.8	4.7	
		A-D層	-4.0						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあて はまる	まああて はまる	まああては まあまりあ てはまった くあて	あまりあ てはまった くあて	その他 無回答	
140	要素 追加質問	全体	95.7	70.1	22.9	3.4	0.7	2.8	
	小要素	A層	96.6	73.0	21.9	2.9	0.5	1.8	
		B層	96.9	72.7	21.8	2.5	0.5	2.5	
	人の役に立つ人間になり たいと思う。	C層	96.6	71.3	22.9	2.8	0.5	2.4	
		D層	92.9	63.4	25.1	5.3	1.4	4.7	
		A-D層	3.7						
141	要素 追加質問	全体	93.1	52.5	37.9	5.8	0.9	2.9	
	小要素	A層	92.2	48.2	42.3	6.9	0.8	1.8	
		B層	94.9	53.2	39.2	4.3	0.7	2.6	
	人が困っているときは、 進んで助けている。	C層	93.7	55.3	36.2	5.5	0.7	2.3	
		D層	91.8	53.3	34.1	6.4	1.3	4.9	
		A-D層	0.4						
142	要素 追加質問	全体	80.0	44.5	33.1	13.6	5.7	3.0	
	小要素	A層	82.1	45.8	34.7	12.2	5.4	1.9	
		B層	81.9	47.0	32.7	12.9	4.7	2.7	
	自分には、よいところが あると思う。	C層	79.2	44.5	32.5	14.7	5.6	2.6	
		D層	77.3	40.9	32.6	14.6	7.0	4.9	
		A-D層	4.8						
143	要素 追加質問	全体	66.1	32.2	31.9	22.0	10.7	3.1	
	小要素	A層	67.6	30.3	36.0	23.8	8.0	1.9	
		B層	66.3	32.1	32.3	22.7	10.0	3.0	
	不安やなやみ、ストレスが あるとき、だれかに相談 することができている。	C層	66.4	34.1	30.7	21.6	11.2	2.5	
		D層	64.4	32.7	28.4	20.1	13.6	5.2	
		A-D層	3.2						
144	要素 追加質問	全体	81.6	44.4	34.6	13.3	4.5	3.1	
	小要素	A層	85.0	45.2	38.1	11.5	3.3	2.0	
		B層	82.5	47.1	33.1	12.8	4.2	2.8	
	困ったとき、なやんだとき は、身近な大人が話を聞 いてくれる。	C層	81.4	45.0	34.2	13.7	4.4	2.7	
		D層	77.3	40.6	32.7	15.1	6.4	5.1	
		A-D層	7.7						
145	要素 追加質問	全体	88.1	46.9	38.4	9.0	2.6	3.2	
	小要素	A層	91.9	49.8	40.2	5.9	2.0	2.0	
		B層	89.5	48.5	38.5	8.5	1.7	2.9	
	自分のことは自分で決め られるよう、身近な大人 が助けてくれる。	C層	87.2	47.4	37.4	9.7	2.8	2.7	
		D層	83.7	42.3	37.1	11.5	3.9	5.2	
		A-D層	8.2						
146	要素 追加質問	全体	88.8	55.0	30.9	8.4	2.4	3.3	
	小要素	A層	88.5	52.8	33.9	9.0	2.3	2.0	
		B層	89.8	55.8	31.1	8.0	1.8	3.2	
	自分の住んでいる町がす きである。	C層	89.1	56.0	30.6	8.3	2.2	2.8	
		D層	87.9	55.8	27.4	8.2	3.2	5.4	
		A-D層	0.6						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあては まる	まああては まる	まああては まらない	まったくあて はまらない	その他	
147	要素 追加質問	全体	53.9	20.4	31.7	29.3	15.2	3.4	
	小要素	A層	57.0	21.4	34.4	29.9	12.1	2.2	
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	B層	55.7	21.0	33.0	28.7	14.2	3.1	
		C層	53.2	20.9	30.7	30.0	15.4	3.0	
		D層	49.8	18.7	28.5	28.6	19.0	5.3	
A-D層		7.2							
148	要素 追加質問	全体	64.4	25.1	37.2	26.0	8.3	3.4	
	小要素	A層	71.6	29.8	40.1	22.4	5.4	2.3	
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	B層	66.4	24.7	39.4	25.1	7.4	3.4	
		C層	60.8	24.5	34.6	29.6	8.6	2.8	
		D層	59.0	21.4	34.4	26.9	12.0	5.3	
A-D層		12.6							
149	要素 追加質問	全体	93.2	62.9	27.3	4.9	1.6	3.3	
	小要素	A層	94.1	64.6	27.4	4.2	1.5	2.2	
	GIGAたん末は学習の役に立つと思う。	B層	95.1	65.4	26.9	3.4	1.4	3.0	
		C層	93.1	65.0	25.6	5.5	1.2	2.7	
		D層	90.5	56.7	28.9	6.5	2.5	5.5	
A-D層		3.6							

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				その他 無回答
				ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少ない	
150	要素 追加質問	全体	82.8	44.8	35.0	13.3	3.3	3.6
	小要素	A層	87.5	49.0	36.3	10.8	1.5	2.4
	前の学年までに受けた授業で、GIGAたん末などのICT機器をどの程度使用しましたか。	B層	85.2	46.3	36.1	12.1	2.2	3.3
		C層	81.6	45.3	33.7	13.9	3.9	3.1
		D層	76.9	38.6	33.9	16.4	5.5	5.6
A-D層		10.6						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				その他 無回答
				1時間以上	30分以上~1時間より少ない	30分より少ない	まったく使っていない	
151	要素 追加質問	全体	62.2	27.2	32.8	27.3	9.1	3.6
	小要素	A層	64.9	28.2	35.0	28.1	6.1	2.6
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	B層	61.6	26.1	33.4	29.1	8.1	3.4
		C層	62.5	27.4	33.2	26.6	9.7	3.1
		D層	60.3	27.3	29.8	25.1	12.5	5.4
A-D層		4.6						
152	要素 追加質問	全体	43.5	20.4	21.6	33.4	21.1	3.5
	小要素	A層	42.8	19.1	22.6	37.1	18.7	2.4
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	B層	40.8	18.9	20.6	36.0	21.3	3.2
		C層	44.6	21.3	21.9	32.8	21.1	2.9
		D層	46.2	22.5	21.2	27.7	23.1	5.4
A-D層		-3.4						

意識調査の結果一覧【中2】

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
1	要素	豊かな基礎体験	全体	73.5	40.4	33.1	19.1	7.4	0.0	
	小要素	基礎体験	A層	64.3	28.6	35.7	26.6	9.1	0.0	
	友だちと外で遊んでいる。			B層	72.7	39.0	33.7	20.3	7.0	0.0
				C層	75.8	42.1	33.7	17.2	7.1	0.0
				D層	81.4	52.2	29.1	12.2	6.3	0.2
				A-D層	-17.1					
2	要素	豊かな基礎体験	全体	87.4	68.3	19.1	8.2	4.4	0.0	
小要素	基礎体験	A層	83.4	63.8	19.6	9.4	7.1	0.0		
ゲーム機やケータイ、スマート フォンでゲームをしている。			B層	86.9	66.4	20.5	9.0	4.1	0.0	
			C層	88.3	68.3	20.0	8.2	3.5	0.0	
			D層	90.9	74.6	16.2	6.4	2.7	0.1	
			A-D層	-7.5						
3	要素	豊かな基礎体験	全体	42.5	15.6	26.9	35.6	21.8	0.1	
小要素	基礎体験	A層	57.0	23.5	33.5	31.4	11.5	0.0		
本や新聞を読んでいる。			B層	47.2	18.7	28.5	35.1	17.7	0.0	
			C層	36.9	11.8	25.1	39.8	23.4	0.0	
			D層	29.1	8.6	20.5	36.2	34.5	0.1	
			A-D層	27.9						
4	要素	豊かな基礎体験	全体	92.6	65.5	26.9	5.9	1.5	0.1	
小要素	基礎体験	A層	95.0	69.4	25.6	4.1	0.9	0.0		
パソコンやインターネットを使 う。			B層	93.6	67.1	26.4	5.8	0.6	0.1	
			C層	92.1	65.1	27.0	6.5	1.4	0.1	
			D層	89.6	60.8	28.5	7.3	3.0	0.4	
			A-D層	5.4						
5	要素	豊かな基礎体験	全体	76.5	50.3	26.2	14.3	9.1	0.1	
小要素	基礎体験	A層	84.2	58.6	25.6	10.7	5.1	0.0		
放課後や土曜日などに、学校 の活動や集まりがあれば、参 加している。			B層	79.3	52.6	26.8	13.6	7.1	0.0	
			C層	75.5	49.8	25.7	15.4	9.0	0.0	
			D層	67.6	40.9	26.5	17.4	14.9	0.4	
			A-D層	16.6						
6	要素	豊かな基礎体験	全体	60.4	26.0	34.3	21.2	18.3	0.1	
小要素	基礎体験	A層	74.3	36.2	38.1	16.9	8.8	0.1		
ゲーム機やケータイ、スマート フォンでゲームをするときは、 家の人と時間についてルール を決めている。(ゲームをしな い人は、1番を選んでくださ い。)			B層	66.4	28.4	38.0	20.5	13.1	0.1	
			C層	58.7	23.6	35.1	22.4	18.8	0.1	
			D層	42.6	16.3	26.2	25.4	31.9	0.2	
			A-D層	31.7						
7	要素	豊かな基礎体験	全体	47.1	19.5	27.6	22.3	30.5	0.1	
小要素	基礎体験	A層	58.2	28.4	29.8	20.7	21.1	0.0		
ケータイやスマートフォンで電 話やメールをするときは、家 の人と時間を決めている。 (ケータイやスマートフォンで 電話やメールをしない人は、1 番を選んでください。)			B層	50.3	20.4	29.9	23.0	26.7	0.0	
			C層	46.9	18.0	28.8	22.3	30.8	0.0	
			D層	33.4	11.6	21.8	23.3	43.0	0.3	
			A-D層	24.8						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
8	要素	豊かな基礎体験	全体	95.0	68.5	26.3	3.8	1.1	0.3	
	小要素	基礎体験	A層	96.9	72.6	24.2	2.3	0.8	0.0	
	家の人や自分のことを気にか けてくれていると思う			B層	95.4	70.7	24.5	3.6	1.0	0.3
				C層	94.7	66.9	27.6	4.1	1.2	0.2
				D層	93.1	63.8	28.9	5.2	1.6	0.5
				A-D層	3.8					
9	要素	豊かな基礎体験	全体	91.5	47.3	44.0	7.2	1.3	0.1	
小要素	基礎体験	A層	94.3	54.2	40.0	5.0	0.7	0.0		
今まで教えてもらった学校の先 生は、自分のことを認めてくれ ていたと思う。			B層	92.8	49.3	43.4	6.0	1.2	0.1	
			C層	91.7	44.9	46.8	6.9	1.4	0.1	
			D層	87.3	41.5	45.6	10.7	2.0	0.2	
			A-D層	7.0						
10	要素	豊かな基礎体験	全体	94.3	69.6	24.5	4.3	1.4	0.1	
小要素	基礎体験	A層	96.7	73.2	23.5	2.5	0.8	0.0		
勉強やスポーツのことで、家 の人が応援してくれる。			B層	95.6	71.6	24.0	3.4	0.9	0.0	
			C層	94.4	68.4	25.9	4.1	1.4	0.2	
			D層	90.5	65.5	24.7	7.1	2.5	0.3	
			A-D層	6.2						
11	要素	豊かな基礎体験	全体	68.0	31.2	36.8	23.3	8.6	0.1	
小要素	基礎体験	A層	75.1	37.3	37.8	19.6	5.3	0.0		
将来の夢やこれからの進路に ついて家の人と話をする。			B層	69.5	31.5	38.1	23.7	6.7	0.0	
			C層	66.2	28.2	37.9	25.1	8.7	0.1	
			D層	61.5	27.6	33.7	24.6	13.8	0.2	
			A-D層	13.6						
12	要素	豊かな基礎体験	全体	15.7	5.2	10.5	26.0	58.2	0.2	
小要素	基礎体験	A層	21.7	7.1	14.5	29.9	48.4	0.1		
新聞に書かれていることにつ いて家の人と話をする。			B層	16.7	5.6	11.1	27.4	55.8	0.1	
			C層	12.8	3.7	9.1	25.1	62.0	0.1	
			D層	11.7	4.4	7.3	21.8	66.1	0.4	
			A-D層	10.0						
13	要素	豊かな基礎体験	全体	88.6	72.1	16.3	7.2	4.2	0.2	
小要素	基本的な生活習慣	A層	95.0	83.1	11.8	3.4	1.6	0.1		
朝食は毎日食べている。			B層	93.0	78.4	14.5	4.4	2.6	0.1	
			C層	88.7	71.1	17.4	7.4	4.0	0.2	
			D層	78.4	56.7	21.2	13.1	8.4	0.6	
			A-D層	16.6						
14	要素	豊かな基礎体験	全体	68.6	36.1	32.3	22.0	9.3	0.1	
小要素	基本的な生活習慣	A層	68.6	34.7	33.8	23.4	7.9	0.1		
朝、起こされなくても自分で起 きている。			B層	69.2	35.6	33.5	22.4	8.5	0.1	
			C層	67.8	34.6	33.2	22.1	10.1	0.0	
			D層	68.9	39.6	29.1	20.3	10.7	0.3	
			A-D層	-0.3						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
15	要素	豊かな基礎体験	全体	46.3	14.0	32.2	33.7	20.0	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	51.9	14.5	37.3	34.6	13.5	0.1
			B層	49.1	14.6	34.4	34.3	16.5	0.0
			C層	44.7	12.9	31.8	35.8	19.5	0.0
			D層	39.7	14.0	25.6	30.1	30.1	0.1
			A-D層	12.2					
16	要素	豊かな基礎体験	全体	63.3	22.7	40.4	28.4	8.3	0.2
	小要素	基本的な生活習慣	A層	66.6	22.5	44.0	27.3	6.1	0.0
			B層	66.4	23.1	43.3	26.4	7.2	0.0
			C層	61.6	21.5	40.0	29.7	8.7	0.0
			D層	58.8	24.3	34.2	30.0	11.1	0.5
			A-D層	7.8					
17	要素	豊かな基礎体験	全体	74.3	32.4	41.8	20.9	4.8	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	75.4	30.5	44.8	20.9	3.7	0.1
			B層	75.9	31.6	44.3	20.4	3.7	0.0
			C層	73.5	33.6	39.9	21.9	4.6	0.0
			D層	72.9	34.1	38.6	19.9	7.1	0.2
			A-D層	2.5					
18	要素	学びに向かう力	全体	70.5	32.5	37.9	23.1	6.4	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	77.9	38.2	39.7	19.3	2.8	0.0
			B層	73.4	33.5	39.9	22.6	4.0	0.0
			C層	69.0	30.5	38.4	24.5	6.4	0.1
			D層	61.8	28.3	33.3	25.8	12.3	0.3
			A-D層	16.1					
19	要素	学びに向かう力	全体	64.0	31.4	32.5	23.7	12.3	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	70.4	35.2	35.2	22.1	7.5	0.0
			B層	67.5	33.4	34.0	22.3	10.2	0.0
			C層	62.0	31.4	30.5	25.2	12.8	0.1
			D層	56.3	25.9	30.3	25.2	18.4	0.3
			A-D層	14.1					
20	要素	学びに向かう力	全体	75.0	33.5	41.4	17.7	7.3	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	85.7	45.4	40.3	11.4	2.9	0.1
			B層	78.7	34.7	43.9	16.1	5.2	0.0
			C層	70.7	27.1	43.5	21.2	8.1	0.0
			D層	65.4	27.3	37.8	21.7	12.8	0.3
			A-D層	20.3					
21	要素	学びに向かう力	全体	87.9	48.0	39.9	9.9	2.2	0.1
	小要素	学習動機	A層	91.9	54.1	37.8	7.1	1.1	0.0
			B層	88.3	49.8	38.4	9.9	1.8	0.0
			C層	87.1	44.4	42.7	10.5	2.4	0.0
			D層	84.2	43.7	40.3	12.1	3.7	0.2
			A-D層	7.7					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
22	要素	学びに向かう力	全体	89.7	56.8	32.9	8.2	2.1	0.0
	小要素	学習動機	A層	93.5	63.8	29.6	5.5	1.0	0.0
			B層	90.8	57.3	33.6	7.4	1.8	0.0
			C層	88.5	54.2	34.3	9.1	2.4	0.0
			D層	86.2	52.1	34.0	10.4	3.3	0.1
			A-D層	7.3					
23	要素	学びに向かう力	全体	81.7	38.7	43.0	13.6	4.7	0.1
	小要素	学習動機	A層	84.6	40.7	43.9	11.9	3.4	0.0
			B層	82.9	38.8	44.0	13.3	3.8	0.1
			C層	82.0	39.0	42.9	13.4	4.6	0.0
			D層	77.8	36.6	41.2	15.5	6.7	0.1
			A-D層	6.8					
24	要素	学びに向かう力	全体	90.4	43.0	47.3	8.2	1.4	0.1
	小要素	自己責任	A層	93.3	47.4	45.8	6.0	0.7	0.0
			B層	92.9	44.1	48.8	6.4	0.7	0.0
			C層	90.0	42.8	47.2	8.9	1.0	0.0
			D層	85.7	38.0	47.5	11.2	3.0	0.2
			A-D層	7.6					
25	要素	学びに向かう力	全体	84.7	44.3	40.4	12.1	3.2	0.0
	小要素	自己有能感	A層	85.9	45.5	40.4	11.5	2.6	0.0
			B層	85.9	45.0	40.9	11.4	2.7	0.0
			C層	83.8	43.2	40.6	13.1	3.1	0.0
			D層	83.6	43.8	39.6	12.0	4.4	0.1
			A-D層	2.3					
26	要素	学びに向かう力	全体	91.4	63.9	27.4	6.9	1.7	0.1
	小要素	達成感	A層	92.9	66.6	26.3	5.9	1.2	0.0
			B層	93.1	64.4	28.7	5.4	1.5	0.0
			C層	91.3	63.9	27.5	7.5	1.2	0.0
			D層	88.3	61.3	26.8	9.0	2.7	0.3
			A-D層	4.6					
27	要素	自ら学ぶ力	全体	67.9	28.0	39.9	25.2	6.9	0.1
	小要素	学習スキル	A層	78.0	35.3	42.7	18.9	3.1	0.0
			B層	72.4	30.6	41.8	22.4	5.2	0.0
			C層	64.9	25.4	39.4	28.3	6.7	0.1
			D層	57.0	20.9	35.9	30.4	12.5	0.3
			A-D層	21.0					
28	要素	自ら学ぶ力	全体	51.0	15.1	35.9	35.0	13.9	0.1
	小要素	学習スキル	A層	67.3	25.2	42.1	26.4	6.3	0.1
			B層	54.5	16.4	38.2	35.4	10.1	0.0
			C層	47.4	10.9	36.4	38.3	14.3	0.1
			D層	34.9	8.0	26.9	39.8	25.1	0.2
			A-D層	32.4					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
29	要素	自ら学ぶ力	全体	42.0	14.3	27.6	36.7	21.3	0.0
	小要素	学習スキル	A層	44.2	16.0	28.3	36.2	19.5	0.0
			B層	45.6	15.2	30.5	35.3	19.0	0.0
		授業で学んだことを自分なりにノートにまとめ直している。	C層	40.5	12.9	27.5	37.9	21.6	0.0
			D層	37.5	13.3	24.2	37.4	25.0	0.2
		A-D層	6.7						
30	要素	自ら学ぶ力	全体	48.8	13.7	35.1	37.7	13.4	0.1
	小要素	学習定着のための方略	A層	63.2	21.3	41.8	30.7	6.1	0.1
			B層	55.1	14.5	40.6	35.7	9.3	0.0
		新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	C層	42.5	10.1	32.3	42.4	15.0	0.1
			D層	35.0	9.2	25.8	42.0	22.8	0.2
		A-D層	28.2						
31	要素	自ら学ぶ力	全体	62.3	22.3	39.9	28.3	9.5	0.1
	小要素	学習定着のための方略	A層	82.5	37.3	45.2	14.9	2.6	0.0
			B層	68.0	24.8	43.2	26.2	5.7	0.0
		授業で習ったことはそのまま覚えるのではなく、その理由や考え方も一緒に理解しようとしている。	C層	56.1	16.0	40.2	33.6	10.3	0.0
			D層	42.7	11.3	31.3	38.1	19.1	0.3
		A-D層	39.8						
32	要素	自ら学ぶ力	全体	50.9	14.6	36.2	36.1	13.0	0.1
	小要素	学習定着のための方略	A層	61.5	20.2	41.3	31.7	6.7	0.0
			B層	54.5	15.8	38.7	34.9	10.6	0.0
		授業で習ったことをふだんの生活と結びつけて考えている。	C層	46.8	11.4	35.3	38.1	15.2	0.0
			D層	41.0	11.2	29.7	39.6	19.1	0.4
		A-D層	20.5						
33	要素	自ら学ぶ力	全体	80.6	35.4	45.2	15.1	4.3	0.1
	小要素	学習計画力	A層	88.6	41.4	47.2	9.6	1.8	0.0
			B層	84.0	36.2	47.7	13.4	2.6	0.0
		習った内容の中で、何がまだ理解できていないか、わかっている。	C層	79.3	33.1	46.2	16.3	4.4	0.0
			D層	71.2	31.3	39.6	20.6	8.2	0.3
		A-D層	17.4						
34	要素	自ら学ぶ力	全体	37.7	11.0	26.7	38.9	23.3	0.1
	小要素	学習計画力	A層	42.1	14.7	27.3	39.1	18.8	0.1
			B層	41.6	10.4	31.2	39.2	19.1	0.0
		その日のめあてを決めて、授業や家で学習に取り組んでいる。	C層	35.1	9.8	25.3	40.5	24.3	0.0
			D層	32.2	9.0	23.1	37.0	30.6	0.3
		A-D層	9.9						
35	要素	自ら学ぶ力	全体	48.8	16.7	32.0	33.3	17.9	0.2
	小要素	学習計画力	A層	59.9	23.9	35.9	29.3	10.8	0.1
			B層	54.5	19.1	35.3	31.5	13.9	0.2
		自分で学習の計画を立てている。	C層	44.5	13.6	30.9	36.8	18.6	0.1
			D層	36.6	10.4	26.1	35.3	27.9	0.3
		A-D層	23.3						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
36	要素	学びを律する力	全体	48.0	15.1	32.9	35.9	16.0	0.1
	小要素	学習継続力	A層	61.0	22.4	38.6	30.3	8.6	0.1
			B層	52.5	16.0	36.5	35.0	12.5	0.0
		目標に向けて、ふだんからコツコツ学習している。	C層	41.4	10.5	30.9	41.3	17.2	0.0
			D層	37.6	11.6	25.8	36.9	25.3	0.4
		A-D層	23.4						
37	要素	学びを律する力	全体	61.4	18.4	43.0	30.8	7.8	0.1
	小要素	学習継続力	A層	80.9	30.9	49.9	17.0	2.2	0.0
			B層	67.4	18.4	48.9	28.4	4.3	0.0
		わからないことはそのままにせず、わかるまで努力している。	C層	54.8	13.1	41.6	36.7	8.5	0.1
			D層	43.0	11.3	31.6	41.0	15.9	0.2
		A-D層	37.9						
38	要素	学びを律する力	全体	50.6	12.9	37.7	36.6	12.7	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	61.0	15.4	45.5	31.7	7.3	0.0
			B層	54.1	14.6	39.5	35.8	10.1	0.0
		学習を始めたら、他のことに気をとられないで、集中している。	C層	46.5	11.5	34.9	41.2	12.3	0.1
			D層	41.1	10.1	30.9	37.7	21.0	0.2
		A-D層	19.9						
39	要素	学びを律する力	全体	62.5	18.1	44.4	30.3	7.1	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	74.0	23.9	50.1	22.9	3.1	0.0
			B層	65.5	19.9	45.5	28.9	5.6	0.0
		かん違いや思いこみがないか、しっかり見直しをしている。	C層	59.6	14.7	44.8	32.7	7.7	0.1
			D層	51.6	13.8	37.7	36.4	11.9	0.3
		A-D層	22.4						
40	要素	学びを律する力	全体	62.7	17.7	44.9	28.7	8.6	0.1
	小要素	学習環境の整備	A層	65.5	18.3	47.1	27.9	6.6	0.0
			B層	64.9	19.2	45.7	27.0	8.2	0.0
		正しい姿勢で学習している。	C層	61.7	17.7	44.0	30.1	8.2	0.0
			D層	58.7	15.7	42.8	29.5	11.6	0.4
		A-D層	6.8						
41	要素	学びを律する力	全体	86.4	46.0	40.3	11.2	2.4	0.1
	小要素	学習環境の整備	A層	88.8	49.3	39.6	9.5	1.6	0.0
			B層	89.5	50.5	39.0	8.7	1.8	0.0
		必要なものをきちんとそろえてから、学習を始めている。	C層	87.7	45.3	42.3	10.9	1.5	0.0
			D層	79.5	39.3	39.9	15.9	4.5	0.3
		A-D層	9.3						
42	要素	学びを律する力	全体	85.2	37.4	47.7	12.5	2.3	0.1
	小要素	授業を受ける姿勢	A層	92.5	49.0	43.6	6.4	1.0	0.0
			B層	89.5	40.6	48.9	9.0	1.5	0.0
		授業を集中して受けている。	C層	84.9	33.5	51.4	13.2	1.9	0.0
			D層	74.1	27.2	46.7	21.1	4.7	0.3
		A-D層	18.4						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
43	要素 問題解決力	全体	70.3	24.1	46.2	24.9	4.7	0.1
	小要素	A層	85.7	35.8	49.9	13.0	1.3	0.0
		B層	76.0	26.1	49.9	21.4	2.5	0.0
		C層	67.3	19.9	47.4	27.9	4.8	0.0
		D層	52.8	14.7	38.0	36.9	10.2	0.3
		A-D層		32.9				
44	要素 問題解決力	全体	65.2	19.1	46.0	29.1	5.6	0.1
	小要素	A層	81.0	30.3	50.6	16.7	2.3	0.1
		B層	69.9	19.5	50.4	26.9	3.2	0.0
		C層	61.5	15.6	45.9	32.4	6.0	0.0
		D層	49.1	11.3	37.6	39.9	10.9	0.4
		A-D層		31.9				
45	要素 問題解決力	全体	61.0	18.0	42.9	31.6	7.3	0.1
	小要素	A層	73.1	26.1	47.0	23.4	3.4	0.0
		B層	66.5	19.6	46.9	28.2	5.3	0.0
		C層	57.9	14.5	43.3	34.4	7.7	0.1
		D層	47.1	12.3	34.7	40.2	12.5	0.3
		A-D層		26.0				
46	要素 問題解決力	全体	71.8	29.9	41.9	21.2	6.9	0.1
	小要素	A層	85.9	42.5	43.4	12.0	2.1	0.0
		B層	79.1	33.7	45.3	17.4	3.6	0.0
		C層	69.2	25.8	43.4	24.0	6.7	0.1
		D層	53.9	17.8	35.9	30.9	15.0	0.4
		A-D層		32.0				
47	要素 社会参画力	全体	66.6	26.1	40.4	24.7	8.6	0.2
	小要素	A層	74.2	31.9	42.3	20.2	5.6	0.0
		B層	70.8	29.4	41.4	22.0	7.2	0.0
		C層	66.1	24.7	41.4	26.5	7.4	0.1
		D層	55.7	18.9	36.6	29.9	14.1	0.6
		A-D層		18.5				
48	要素 社会参画力	全体	55.4	20.4	35.0	31.0	13.5	0.1
	小要素	A層	67.1	27.2	39.9	26.2	6.7	0.0
		B層	60.3	22.5	37.8	29.9	9.8	0.0
		C層	53.2	18.0	35.1	32.9	13.9	0.0
		D層	41.6	13.9	27.5	35.1	23.1	0.4
		A-D層		25.5				
49	要素 豊かな心	全体	86.0	39.0	46.9	12.0	2.0	0.2
	小要素	A層	90.7	44.3	46.4	8.2	1.0	0.0
		B層	89.1	41.8	47.2	9.7	1.1	0.1
		C層	86.1	38.1	48.0	12.0	1.9	0.1
		D層	78.5	32.1	46.0	17.6	3.8	0.4
		A-D層		12.2				

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
50	要素 豊かな心	全体	66.3	21.8	44.4	27.8	5.9	0.1
	小要素	A層	70.0	23.2	46.7	25.8	4.1	0.1
		B層	68.6	21.8	46.8	26.5	4.8	0.0
		C層	64.2	20.8	43.5	29.3	6.5	0.0
		D層	62.8	21.6	41.0	29.4	7.7	0.4
		A-D層		7.2				
51	要素 豊かな心	全体	63.6	21.8	41.8	30.6	5.8	0.1
	小要素	A層	72.2	26.4	45.8	24.6	3.2	0.0
		B層	67.0	23.5	43.5	29.1	3.9	0.0
		C層	61.1	19.6	41.5	32.7	6.2	0.0
		D層	54.3	17.9	36.2	35.8	9.7	0.4
		A-D層		17.9				
52	要素 豊かな心	全体	92.6	52.9	39.6	6.1	1.3	0.1
	小要素	A層	96.3	58.1	38.1	3.2	0.5	0.0
		B層	94.5	56.2	38.4	4.8	0.7	0.0
		C層	93.8	54.7	38.9	5.3	0.9	0.1
		D層	86.2	43.2	42.7	10.8	2.9	0.4
		A-D層		10.1				
53	要素 自己成長力	全体	70.1	36.6	33.4	20.9	8.9	0.1
	小要素	A層	75.1	40.7	34.4	18.9	6.0	0.0
		B層	70.9	36.6	34.3	20.8	8.3	0.0
		C層	69.0	36.1	32.9	21.2	9.7	0.0
		D層	66.1	33.6	32.3	22.5	11.2	0.4
		A-D層		9.0				
54	要素 自己成長力	全体	94.3	70.9	23.3	4.2	1.4	0.1
	小要素	A層	97.1	77.5	19.6	2.1	0.8	0.0
		B層	96.1	74.1	22.0	3.2	0.7	0.0
		C層	94.6	69.1	25.5	4.1	1.3	0.0
		D層	89.8	63.6	26.0	7.5	2.7	0.3
		A-D層		7.3				
質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない	その他 無回答
55	要素 教科の好き嫌い	全体	63.9	14.9	48.9	27.3	8.8	0.1
	小要素	A層	74.3	21.7	52.5	20.9	4.8	0.0
		B層	67.7	16.6	51.1	24.9	7.4	0.0
		C層	63.4	13.0	50.3	27.7	8.9	0.1
		D層	50.2	8.7	41.3	35.7	13.9	0.4
		A-D層		24.1				
56	要素 教科の好き嫌い	全体	60.8	22.9	37.9	25.6	13.5	0.1
	小要素	A層	78.6	40.8	37.7	15.5	5.9	0.1
		B層	62.1	22.9	39.1	25.6	12.4	0.0
		C層	55.6	16.2	39.4	29.7	14.6	0.1
		D層	47.1	11.6	35.3	31.4	21.3	0.4
		A-D層		31.5				

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きではな い	その他 無回答
57	要素	教科の好き嫌い	全体	50.9	20.9	29.9	26.4	22.6	0.2
	小要素		A層	78.6	44.4	34.2	14.9	6.6	0.0
			B層	60.9	23.4	37.4	25.7	13.4	0.0
		算数・数学	C層	40.8	11.4	29.3	32.7	26.3	0.2
			D層	23.6	4.9	18.6	32.2	43.9	0.4
		A-D層		55.0					
58	要素	教科の好き嫌い	全体	59.4	21.0	38.4	27.5	13.0	0.2
	小要素		A層	76.5	34.5	42.0	18.0	5.5	0.1
			B層	63.2	23.2	40.0	25.9	11.0	0.0
		理科	C層	53.6	14.3	39.1	30.6	15.7	0.2
			D層	44.2	11.8	32.4	35.6	20.0	0.3
		A-D層		32.3					
59	要素	教科の好き嫌い	全体	65.6	25.1	40.4	23.8	10.5	0.2
	小要素		A層	66.6	26.0	40.5	23.0	10.4	0.0
			B層	65.5	25.4	40.0	24.1	10.3	0.1
		音楽	C層	66.6	25.8	40.7	23.4	10.0	0.1
			D層	63.9	23.3	40.3	24.8	11.2	0.4
		A-D層		2.7					
60	要素	教科の好き嫌い	全体	67.8	27.5	40.2	22.5	9.6	0.2
	小要素		A層	66.5	25.8	40.6	23.8	9.7	0.1
			B層	67.7	27.4	40.3	23.4	9.0	0.0
		図画工作・美術	C層	69.4	28.4	40.8	21.3	9.3	0.2
			D層	67.3	28.0	39.1	21.7	10.8	0.3
		A-D層		-0.8					
61	要素	教科の好き嫌い	全体	71.5	38.5	32.9	17.7	10.8	0.1
	小要素		A層	65.6	30.2	35.3	20.5	14.0	0.0
			B層	70.0	36.8	33.2	18.7	11.3	0.0
		保健体育	C層	73.2	39.9	33.1	16.9	9.8	0.2
			D層	77.6	47.5	29.9	14.6	7.8	0.3
		A-D層		-12.0					
62	要素	教科の好き嫌い	全体	63.7	21.6	42.0	26.1	10.1	0.1
	小要素		A層	68.1	22.9	45.2	23.8	8.1	0.0
			B層	64.0	22.1	41.8	27.7	8.3	0.0
		技術	C層	62.7	21.2	41.5	26.5	10.7	0.1
			D層	60.7	20.6	39.9	26.3	13.0	0.2
		A-D層		7.4					
63	要素	教科の好き嫌い	全体	65.3	20.3	44.9	25.6	9.1	0.2
	小要素		A層	67.2	20.1	47.1	24.5	8.3	0.0
			B層	66.6	20.5	46.0	25.4	8.0	0.1
		家庭	C層	63.9	20.4	43.5	26.5	9.6	0.0
			D層	63.7	20.4	43.0	25.9	10.3	0.4
		A-D層		3.5					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きではな い	その他 無回答
64	要素	教科の好き嫌い	全体	59.1	25.7	33.3	23.4	17.4	0.1
	小要素		A層	82.8	47.3	35.4	12.8	4.3	0.1
			B層	70.6	32.0	38.6	19.7	9.7	0.0
		英語	C層	49.8	15.5	34.2	29.0	21.1	0.1
			D層	33.3	8.2	25.1	32.3	34.3	0.2
		A-D層		49.5					
65	要素	教科の好き嫌い	全体	69.2	22.9	46.2	22.1	8.6	0.1
	小要素		A層	66.8	19.1	47.7	23.0	10.1	0.0
			B層	69.2	21.3	47.8	23.2	7.6	0.0
		総合的な学習の時間・生活	C層	69.9	23.7	46.1	22.5	7.6	0.1
			D層	71.2	27.7	43.3	19.9	8.9	0.3
		A-D層		-4.4					
66	要素	教科の好き嫌い	全体	70.2	23.6	46.5	21.2	8.6	0.1
	小要素		A層	66.9	18.5	48.4	23.4	9.7	0.0
			B層	69.2	21.8	47.3	22.5	8.3	0.0
		道徳	C層	72.5	25.7	46.8	19.6	7.8	0.1
			D層	72.1	28.4	43.5	19.1	8.7	0.3
		A-D層		-5.2					
67	要素	教科の好き嫌い	全体	77.1	31.9	45.2	16.3	6.6	0.1
	小要素		A層	79.8	32.1	47.7	14.5	5.7	0.1
			B層	77.6	31.8	45.8	16.8	5.6	0.0
		学級活動	C層	78.2	33.3	44.9	16.0	5.8	0.0
			D層	73.1	30.5	42.4	17.8	9.0	0.3
		A-D層		6.7					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
68	要素	教科の理解度	全体	78.0	18.5	59.4	18.7	3.3	0.2
	小要素		A層	92.3	35.0	57.1	7.0	0.8	0.1
			B層	86.0	22.0	63.9	12.6	1.5	0.1
		国語	C層	77.2	11.5	65.6	19.9	2.9	0.1
			D層	57.1	5.6	51.2	34.8	7.9	0.5
		A-D層		35.2					
69	要素	教科の理解度	全体	63.9	18.6	45.2	28.2	7.9	0.2
	小要素		A層	86.4	41.0	45.4	11.8	1.8	0.0
			B層	69.2	17.9	51.2	25.5	5.3	0.1
		社会	C層	57.0	9.6	47.4	35.0	7.9	0.1
			D層	43.2	5.8	37.2	40.5	16.1	0.4
		A-D層		43.2					
70	要素	教科の理解度	全体	61.1	22.9	38.2	27.6	11.3	0.1
	小要素		A層	91.9	54.8	37.1	7.1	1.0	0.0
			B層	76.7	24.7	52.0	20.3	3.0	0.0
		算数・数学	C層	51.4	9.5	41.8	37.9	10.7	0.1
			D層	24.8	3.1	21.6	44.9	30.0	0.4
		A-D層		67.1					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
71	要素 教科の理解度	全体	64.3	16.3	48.0	28.8	6.9	0.1
		小要素	A層	85.8	34.4	51.4	13.1	1.1
	理科	B層	71.0	16.1	54.9	25.3	3.7	0.0
		C層	55.6	8.7	46.8	36.3	8.0	0.2
		D層	44.9	6.0	38.9	40.5	14.5	0.2
		A-D層	40.9					
72	要素 教科の理解度	全体	71.5	22.3	49.2	22.6	5.8	0.1
		小要素	A層	74.3	26.9	47.4	21.2	4.5
	音楽	B層	73.0	24.2	48.8	21.4	5.6	0.0
		C層	72.7	21.1	51.6	22.5	4.8	0.0
		D層	66.6	17.1	49.2	25.4	7.9	0.4
		A-D層	7.7					
73	要素 教科の理解度	全体	74.1	23.6	50.4	20.8	5.1	0.1
		小要素	A層	75.6	25.6	49.9	20.3	4.1
	図画工作・美術	B層	76.0	23.9	52.1	19.7	4.3	0.0
		C層	74.7	23.4	51.3	20.4	4.9	0.0
		D層	70.3	21.8	48.2	22.7	6.9	0.4
		A-D層	5.3					
74	要素 教科の理解度	全体	77.8	27.1	50.6	17.8	4.4	0.2
		小要素	A層	77.3	25.2	52.1	18.5	4.2
	保健体育	B層	78.2	26.0	52.2	18.2	3.6	0.0
		C層	78.7	26.6	52.0	17.0	4.3	0.1
		D層	77.5	31.0	46.1	17.3	5.2	0.4
		A-D層	-0.2					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
75	要素 教科の理解度	全体	69.2	17.0	52.1	25.1	5.7	0.1
		小要素	A層	77.0	21.8	55.2	20.0	3.0
	技術	B層	71.9	17.2	54.7	24.3	3.8	0.0
		C層	67.4	14.5	52.9	26.2	6.3	0.1
		D層	61.2	14.7	46.3	29.7	9.0	0.4
		A-D層	15.8					
76	要素 教科の理解度	全体	71.4	18.5	52.8	23.4	5.2	0.1
		小要素	A層	77.8	22.8	54.9	18.7	3.6
	家庭	B層	73.6	18.1	55.5	22.7	3.7	0.0
		C層	70.5	16.6	53.9	24.3	5.2	0.0
		D層	64.1	16.6	47.2	27.9	7.9	0.5
		A-D層	13.7					
77	要素 教科の理解度	全体	63.6	27.6	35.9	24.0	12.3	0.1
		小要素	A層	94.1	63.3	30.7	5.0	0.9
	英語	B層	79.1	31.2	47.9	17.4	3.4	0.0
		C層	51.5	11.4	40.0	34.7	13.9	0.0
		D層	30.3	5.0	25.2	39.0	30.4	0.3
		A-D層	63.8					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
				0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	その他 無回答
78	要素 読書冊数	全体		34.7	41.7	11.9	5.0	2.0	1.2	3.2	0.3
		小要素	A層		23.7	43.3	15.4	7.3	2.7	1.9	5.3
	あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。(教科書や参考書、マンガは数にいません。)	B層		29.9	44.0	13.4	5.4	2.2	1.4	3.7	0.0
		C層		37.1	44.0	10.3	4.3	1.7	0.7	1.7	0.1
		D層		48.1	35.5	8.6	3.2	1.4	0.6	2.0	0.7
		A-D層									
質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
				ほとんど見ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他 無回答
79	要素 テレビを見る時間	全体		17.0	16.8	20.5	13.4	13.3	6.0	12.6	0.3
		小要素 平日	A層		16.6	20.5	23.5	13.9	12.1	4.8	8.2
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	B層		15.4	15.8	22.0	14.2	15.7	5.1	11.8	0.0
		C層		15.8	16.2	19.2	13.4	13.6	7.1	14.6	0.1
		D層		20.1	15.1	17.0	12.3	11.7	7.1	15.7	0.9
		A-D層									
80	要素 テレビを見る時間	全体		16.4	11.9	15.9	11.8	15.2	8.6	20.0	0.3
		小要素 休日	A層		13.3	12.2	17.0	12.8	18.0	9.3	17.2
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいテレビを見ますか。	B層		13.9	10.8	17.0	12.7	15.7	9.5	20.2	0.0
		C層		15.4	12.2	14.3	11.6	15.7	8.5	22.1	0.1
		D層		22.6	12.5	15.2	9.9	11.6	7.0	20.5	0.7
		A-D層									

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
					ほとんどしな い	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他 無回答
81	要素	学習時間	全体		17.8	12.8	13.5	14.3	15.4	11.7	14.2	0.2
	小要素	平日	A層		6.7	10.8	13.1	13.4	18.3	17.9	20.0	0.0
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)		B層		11.1	12.1	13.9	14.6	18.2	13.3	16.8	0.0
			C層		18.8	12.7	14.2	16.9	14.5	10.0	12.8	0.0
			D層		34.1	15.8	12.9	12.5	11.0	5.6	7.6	0.5
		A-D層										
82	要素	学習時間	全体		28.8	18.1	16.0	10.2	10.7	6.8	9.2	0.2
	小要素	休日	A層		12.3	14.9	16.8	12.1	16.0	10.8	17.0	0.0
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)		B層		21.7	18.3	16.8	11.9	12.4	8.9	9.9	0.0
			C層		32.4	19.9	16.8	10.4	9.7	4.5	6.2	0.1
			D層		48.2	19.3	13.7	6.7	5.0	2.8	3.6	0.7
		A-D層										
83	要素	ゲームをする時間	全体		20.9	12.6	16.6	11.7	13.0	6.5	18.6	0.2
	小要素	平日	A層		26.9	17.8	20.2	11.9	11.1	3.9	8.1	0.1
	あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。		B層		22.8	12.6	18.8	12.6	13.1	6.5	13.7	0.0
			C層		19.1	11.5	14.8	12.0	14.5	7.4	20.3	0.2
			D層		15.0	8.4	12.7	10.0	13.4	8.0	32.0	0.6
		A-D層										
84	要素	ゲームをする時間	全体		16.8	9.4	11.6	9.3	13.6	8.1	31.0	0.2
	小要素	休日	A層		20.6	11.8	15.1	11.6	14.5	6.6	19.8	0.1
	あなたは、土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。		B層		17.8	9.9	12.8	9.3	15.3	9.1	25.8	0.0
			C層		16.1	8.6	9.5	9.2	14.1	8.2	34.2	0.1
			D層		12.8	7.1	9.3	7.2	10.4	8.7	43.9	0.5
		A-D層										

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはま まる	まああてはま る	あまりあてはま まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
85	要素	国語	全体	23.8	5.6	18.2	40.7	35.3	0.3
	小要素		A層	30.0	8.4	21.6	40.0	29.9	0.1
	国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べようとしている。		B層	25.9	5.6	20.3	41.9	32.1	0.1
			C層	21.2	4.8	16.4	41.8	36.9	0.1
			D層	18.3	3.6	14.5	38.7	42.4	0.7
		A-D層	11.7						
86	要素	国語	全体	71.3	27.5	43.6	20.8	7.8	0.3
	小要素		A層	81.2	36.0	45.2	15.0	3.8	0.0
	国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。		B層	77.2	31.2	45.9	17.5	5.3	0.1
			C層	71.0	26.1	44.9	22.2	6.7	0.2
			D層	56.2	17.2	38.6	28.4	15.0	0.8
		A-D層	25.0						
87	要素	国語	全体	64.6	31.4	33.1	22.2	13.0	0.3
	小要素		A層	75.4	42.2	33.1	16.6	8.0	0.1
	国語の授業で、物語を作ったことがある。		B層	70.3	35.6	34.7	19.5	10.1	0.1
			C層	64.5	29.4	34.9	22.4	13.0	0.2
			D層	49.5	19.2	29.8	29.9	20.3	0.8
		A-D層	25.9						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはま まる	まああてはま る	あまりあてはま まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
88	要素	国語	全体	79.0	34.4	44.4	16.7	4.2	0.3
	小要素		A層	87.0	43.3	43.6	11.2	1.9	0.0
	国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。		B層	82.4	38.2	44.1	14.7	2.9	0.1
			C層	79.5	31.5	48.0	17.0	3.4	0.1
			D層	68.4	25.3	42.6	23.6	7.8	0.8
		A-D層	18.6						
89	要素	数学	全体	57.3	23.2	33.9	28.5	14.1	0.3
	小要素		A層	62.1	30.2	31.8	26.7	11.2	0.0
	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。		B層	61.3	26.0	35.3	27.1	11.6	0.1
			C層	58.5	20.9	37.4	28.2	13.3	0.3
			D層	47.9	16.1	31.4	32.3	19.5	0.8
		A-D層	14.2						
90	要素	数学	全体	53.1	23.0	30.0	30.3	16.4	0.3
	小要素		A層	75.6	44.1	31.4	18.7	5.6	0.1
	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。		B層	61.8	26.0	35.8	28.6	9.6	0.0
			C層	46.1	13.7	32.3	37.7	16.1	0.2
			D層	30.0	8.6	21.1	36.3	33.2	0.8
		A-D層	45.6						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
91	要素	数学	全体	39.7	15.9	23.7	32.3	27.8	0.3
	小要素		A層	50.4	24.8	25.5	29.4	20.2	0.0
			B層	44.7	18.7	26.0	31.8	23.5	0.0
			C層	37.8	12.0	25.6	33.8	28.2	0.4
			D層	26.6	8.5	17.9	34.6	38.2	0.9
			A-D層	23.8					
92	要素	数学	全体	68.2	30.5	37.6	21.8	9.9	0.3
	小要素		A層	78.6	43.7	34.9	15.7	5.7	0.0
			B層	75.7	34.6	41.1	18.0	6.3	0.0
			C層	67.5	26.7	40.6	23.1	9.3	0.3
			D層	52.3	17.6	34.2	30.0	17.3	0.8
			A-D層	26.3					
93	要素	社会	全体	84.3	53.7	30.3	11.1	4.6	0.3
	小要素		A層	91.7	67.1	24.5	6.1	2.2	0.1
			B層	89.0	59.0	29.9	8.3	2.7	0.1
			C層	84.8	51.0	33.6	10.9	4.3	0.2
			D層	72.3	38.5	33.2	18.6	8.8	0.8
			A-D層	19.4					
94	要素	社会	全体	43.1	17.3	25.6	32.4	24.4	0.3
	小要素		A層	47.2	21.5	25.7	29.9	23.0	0.0
			B層	44.7	18.8	25.8	32.0	23.2	0.1
			C層	43.7	16.7	26.9	33.1	23.1	0.2
			D層	36.9	12.5	24.1	34.6	28.0	0.9
			A-D層	10.3					
95	要素	社会	全体	61.1	24.1	36.7	27.1	11.7	0.3
	小要素		A層	70.4	31.8	38.5	22.4	7.2	0.1
			B層	65.8	26.4	39.2	25.6	8.6	0.2
			C層	61.4	23.5	37.7	27.5	11.0	0.3
			D層	47.0	15.1	31.6	32.8	19.7	0.8
			A-D層	23.4					
96	要素	社会	全体	73.8	35.9	37.6	18.5	7.6	0.4
	小要素		A層	83.0	47.0	35.9	12.2	4.7	0.2
			B層	77.0	38.3	38.5	17.1	5.9	0.2
			C層	73.8	34.9	38.6	18.7	7.4	0.3
			D層	62.4	24.0	37.9	25.4	11.9	0.8
			A-D層	20.6					
97	要素	理科	全体	81.2	41.9	39.1	14.7	4.0	0.3
	小要素		A層	89.3	51.9	37.2	9.5	1.2	0.2
			B層	86.0	47.5	38.4	11.5	2.4	0.2
			C層	81.3	38.9	42.1	15.1	3.6	0.3
			D層	69.3	30.1	38.8	22.2	8.4	0.6
			A-D層	20.0					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
98	要素	理科	全体	86.6	48.8	37.5	10.5	2.9	0.3
	小要素		A層	94.1	61.0	32.9	5.0	0.8	0.2
			B層	90.2	53.4	36.6	8.1	1.7	0.1
			C層	86.8	46.3	40.3	10.7	2.4	0.4
			D層	76.0	35.3	40.2	17.7	6.1	0.6
			A-D層	18.1					
99	要素	理科	全体	73.2	29.9	43.1	21.2	5.5	0.3
	小要素		A層	81.2	36.1	45.0	16.1	2.8	0.1
			B層	78.5	33.6	44.8	18.2	3.2	0.1
			C層	72.5	27.8	44.4	22.8	4.6	0.4
			D層	61.3	22.4	38.5	27.3	11.1	0.7
			A-D層	19.9					
100	要素	理科	全体	75.6	33.8	41.6	18.6	5.6	0.3
	小要素		A層	80.7	38.9	41.6	15.8	3.5	0.1
			B層	79.4	36.9	42.4	16.9	3.7	0.1
			C層	76.8	32.8	43.7	17.8	5.4	0.4
			D層	66.4	27.1	38.8	23.8	9.7	0.6
			A-D層	14.3					
101	要素	英語	全体	67.5	36.5	30.8	19.9	12.4	0.4
	小要素		A層	80.5	52.5	27.8	12.0	7.5	0.2
			B層	74.4	42.8	31.3	16.9	8.7	0.3
			C層	66.6	32.1	34.1	21.9	11.4	0.4
			D層	49.7	19.2	30.2	28.8	21.2	0.5
			A-D層	30.8					
102	要素	英語	全体	61.3	25.9	35.1	25.7	12.8	0.4
	小要素		A層	75.8	37.8	37.8	18.3	5.8	0.2
			B層	67.5	30.1	37.3	23.5	8.9	0.3
			C層	59.2	22.4	36.6	28.7	12.0	0.3
			D層	43.5	13.9	29.3	32.6	23.6	0.6
			A-D層	32.3					
103	要素	英語	全体	74.2	38.9	35.1	17.9	7.7	0.3
	小要素		A層	85.2	51.7	33.3	11.2	3.5	0.2
			B層	78.7	43.7	34.7	15.9	5.3	0.3
			C層	74.7	35.5	39.0	19.1	6.2	0.3
			D層	59.4	25.3	33.7	25.3	15.1	0.5
			A-D層	25.8					
104	要素	英語	全体	68.0	28.5	39.2	23.5	8.4	0.4
	小要素		A層	76.2	37.5	38.6	18.5	5.2	0.2
			B層	72.0	31.8	39.9	22.0	6.0	0.3
			C層	68.7	26.1	42.5	23.6	7.7	0.3
			D層	55.8	19.2	36.2	29.9	14.0	0.7
			A-D層	20.4					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
105	要素	やりとげる力	全体	86.8	36.5	50.0	10.5	2.6	0.4
	小要素		A層	88.2	36.0	52.1	9.3	2.4	0.2
			B層	87.3	35.6	51.7	10.4	2.2	0.0
			C層	88.1	37.9	49.8	9.3	2.5	0.4
			D層	83.8	37.0	46.0	12.7	3.3	0.9
			A-D層	4.4					
106	要素	やりとげる力	全体	93.2	52.4	40.5	5.5	1.2	0.4
	小要素		A層	95.8	57.6	38.1	3.4	0.7	0.1
			B層	94.8	54.4	40.4	4.2	0.9	0.0
			C層	93.6	53.0	40.2	5.3	1.1	0.4
			D層	89.1	45.1	43.2	8.9	1.9	0.9
			A-D層	6.7					
107	要素	やりとげる力	全体	73.3	27.9	45.1	22.6	4.1	0.4
	小要素		A層	78.3	33.2	45.0	18.9	2.7	0.2
			B層	74.9	28.9	45.9	21.5	3.6	0.0
			C層	72.7	25.3	47.1	23.4	3.7	0.4
			D層	67.6	24.5	42.5	26.3	5.8	0.9
			A-D層	10.7					
108	要素	やりとげる力	全体	78.6	33.2	45.1	17.7	3.6	0.4
	小要素		A層	84.0	37.6	46.3	13.8	2.1	0.2
			B層	79.9	34.7	45.2	17.0	3.0	0.0
			C層	78.8	33.5	45.0	17.8	3.2	0.4
			D層	72.1	27.5	43.8	22.0	5.6	1.1
			A-D層	11.9					
109	要素	自律力	全体	49.7	16.6	32.9	38.7	11.4	0.4
	小要素		A層	53.9	19.2	34.7	36.6	9.3	0.2
			B層	49.1	15.3	33.7	41.4	9.5	0.0
			C層	48.6	16.0	32.4	39.0	12.2	0.4
			D層	47.5	16.1	30.9	37.9	14.1	1.0
			A-D層	6.4					
110	要素	自律力	全体	82.7	34.8	47.6	14.9	2.3	0.4
	小要素		A層	89.2	42.5	46.5	9.7	1.1	0.1
			B層	85.4	37.2	48.1	12.8	1.7	0.1
			C層	82.4	32.0	50.0	15.6	1.9	0.4
			D層	74.1	27.7	45.7	21.3	4.4	1.0
			A-D層	15.1					
111	要素	自律力	全体	90.6	48.4	41.8	8.1	1.3	0.4
	小要素		A層	94.7	55.1	39.4	4.8	0.6	0.2
			B層	93.1	52.1	40.8	5.8	1.1	0.1
			C層	91.0	47.6	42.9	8.1	0.9	0.5
			D層	83.8	39.2	43.7	13.5	2.5	1.0
			A-D層	10.9					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
112	要素	自律力	全体	42.9	22.2	20.5	27.1	29.7	0.5
	小要素		A層	53.5	32.7	20.6	23.9	22.4	0.4
			B層	46.0	23.8	22.1	26.9	27.0	0.1
			C層	38.2	18.7	19.3	29.1	32.2	0.7
			D層	33.9	13.8	19.8	28.6	36.9	1.0
			A-D層	19.6					
113	要素	対話力	全体	89.4	46.2	42.8	9.0	1.6	0.5
	小要素		A層	94.1	53.9	40.0	5.1	0.8	0.2
			B層	92.1	49.6	42.4	6.7	1.1	0.1
			C層	89.2	45.3	43.4	9.6	1.2	0.6
			D層	82.4	36.4	45.1	14.2	3.3	1.0
			A-D層	11.7					
114	要素	対話力	全体	55.4	19.2	35.9	32.3	12.1	0.6
	小要素		A層	63.3	22.5	40.5	28.0	8.6	0.4
			B層	55.3	19.8	35.5	34.0	10.6	0.2
			C層	52.6	18.5	33.8	34.2	12.9	0.7
			D層	50.6	16.3	33.8	32.9	15.9	1.1
			A-D層	12.7					
115	要素	対話力	全体	49.3	18.3	30.7	34.9	15.5	0.6
	小要素		A層	60.1	26.0	33.8	29.5	10.2	0.4
			B層	51.8	18.8	32.9	34.8	13.3	0.1
			C層	43.9	15.0	28.6	39.0	16.8	0.6
			D層	41.6	13.6	27.5	36.2	21.5	1.1
			A-D層	18.5					
116	要素	対話力	全体	48.3	18.5	29.6	33.4	18.0	0.6
	小要素		A層	59.7	26.4	33.0	27.8	12.3	0.4
			B層	51.7	19.6	31.9	33.3	14.9	0.3
			C層	43.6	15.9	27.4	35.8	20.2	0.7
			D層	38.7	12.1	26.2	36.4	24.2	1.1
			A-D層	21.0					
117	要素	支え合う力	全体	40.6	12.3	28.1	38.6	20.5	0.6
	小要素		A層	47.8	16.2	31.4	34.5	17.5	0.4
			B層	42.7	12.7	30.0	40.1	17.0	0.3
			C層	36.6	11.0	25.4	40.9	22.2	0.6
			D層	35.7	9.6	25.7	38.8	24.8	1.1
			A-D層	12.1					
118	要素	支え合う力	全体	82.7	38.2	44.0	13.4	3.8	0.6
	小要素		A層	88.6	43.4	44.8	9.2	2.2	0.4
			B層	85.0	40.8	44.0	11.7	3.3	0.2
			C層	81.6	36.7	44.5	14.7	3.6	0.6
			D層	75.6	32.1	42.6	18.0	6.1	1.1
			A-D層	13.0					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
119	要素	支え合う力	全体	94.3	63.3	30.5	4.8	0.9	0.6
	小要素		A層	94.8	61.8	32.6	4.6	0.6	0.4
			B層	94.7	65.3	29.1	4.7	0.6	0.2
			C層	95.8	64.1	31.1	3.6	0.5	0.7
			D層	92.0	61.9	29.1	6.1	1.8	1.1
			A-D層	2.8					
120	要素	支え合う力	全体	83.6	37.7	45.3	13.3	3.0	0.6
	小要素		A層	88.7	44.2	44.1	9.4	1.9	0.4
			B層	85.5	39.6	45.8	12.3	2.2	0.2
			C層	83.2	34.3	48.3	14.3	2.4	0.7
			D層	77.5	33.4	43.2	16.8	5.4	1.1
			A-D層	11.2					
121	要素	共生力	全体	91.2	46.4	44.3	7.5	1.2	0.7
	小要素		A層	92.5	46.4	45.7	6.4	1.0	0.4
			B層	92.0	47.0	44.8	7.2	0.8	0.2
			C層	91.7	46.7	44.2	7.1	1.2	0.7
			D層	88.9	45.6	42.2	9.2	1.8	1.2
			A-D層	3.6					
122	要素	共生力	全体	91.4	50.5	40.3	7.2	1.4	0.6
	小要素		A層	92.1	50.0	41.7	6.7	1.2	0.4
			B層	92.8	51.5	41.1	6.1	1.1	0.2
			C層	92.5	52.4	39.5	6.3	1.1	0.7
			D層	88.5	48.3	39.1	9.3	2.0	1.2
			A-D層	3.6					
123	要素	共生力	全体	89.9	47.2	42.1	8.7	1.3	0.7
	小要素		A層	90.1	47.0	42.7	8.8	1.1	0.4
			B層	90.5	48.7	41.6	8.3	1.1	0.2
			C層	91.4	48.3	42.3	7.5	1.0	0.8
			D層	87.8	45.0	41.7	9.9	2.2	1.2
			A-D層	2.3					
124	要素	共生力	全体	90.8	49.4	40.7	7.7	1.4	0.7
	小要素		A層	93.5	54.6	38.5	5.5	0.9	0.5
			B層	92.8	50.7	41.9	6.0	1.1	0.2
			C層	91.5	49.2	41.5	7.3	1.1	0.9
			D層	85.6	44.0	40.4	11.8	2.5	1.3
			A-D層	7.9					
125	要素	規律力	全体	71.5	26.2	44.7	23.3	5.1	0.7
	小要素		A層	80.5	31.7	48.5	16.7	2.6	0.5
			B層	74.9	28.3	46.5	21.0	4.0	0.2
			C層	70.3	24.5	45.2	25.2	4.2	0.8
			D層	60.2	20.5	39.0	30.0	9.3	1.3
			A-D層	20.3					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
126	要素	規律力	全体	92.9	55.9	36.3	6.0	1.1	0.7
	小要素		A層	96.4	63.3	32.5	3.0	0.6	0.5
			B層	94.7	58.7	35.8	4.6	0.7	0.2
			C層	93.5	55.2	37.5	5.8	0.7	0.8
			D層	87.2	46.9	39.1	10.2	2.5	1.3
			A-D層	9.2					
127	要素	規律力	全体	58.5	20.3	37.8	32.8	8.4	0.7
	小要素		A層	59.6	19.3	40.0	33.3	6.9	0.6
			B層	59.6	20.8	38.6	32.5	7.9	0.2
			C層	57.5	21.1	35.9	33.8	8.2	0.9
			D層	57.5	20.2	36.6	31.3	10.6	1.3
			A-D層	2.1					
128	要素	規律力	全体	91.7	50.1	41.0	6.9	1.3	0.8
	小要素		A層	94.9	55.2	39.2	4.1	1.0	0.6
			B層	93.2	52.7	40.3	5.8	1.1	0.2
			C層	92.4	48.9	42.7	6.9	0.6	0.9
			D層	86.7	43.7	41.8	10.6	2.5	1.4
			A-D層	8.2					
129	要素		全体	79.3	47.4	31.1	13.2	7.2	1.0
	小要素		A層	83.9	54.6	28.7	11.2	4.8	0.8
			B層	82.0	49.8	31.8	12.7	5.3	0.4
			C層	78.5	45.7	32.0	13.9	7.4	0.9
			D層	73.1	39.8	32.1	15.2	11.3	1.6
			A-D層	10.8					
130	要素		全体	75.4	36.6	38.1	17.4	6.9	1.0
	小要素		A層	87.6	49.5	37.4	10.5	1.8	0.8
			B層	81.2	40.2	40.7	15.0	3.7	0.4
			C層	74.2	32.4	41.0	18.9	6.7	0.9
			D層	59.3	24.8	33.6	24.9	15.1	1.7
			A-D層	28.3					
131	要素		全体	85.1	46.5	37.7	12.4	2.4	1.0
	小要素		A層	93.6	61.2	31.7	5.4	0.9	0.9
			B層	89.6	53.6	35.7	9.0	1.3	0.4
			C層	85.6	43.8	40.9	12.4	1.9	1.0
			D層	72.1	28.4	42.4	22.0	5.3	1.9
			A-D層	21.5					
132	要素		全体	73.0	34.8	37.4	19.9	6.9	1.0
	小要素		A層	75.8	37.7	37.4	17.8	6.3	0.9
			B層	75.3	36.7	38.3	19.0	5.6	0.4
			C層	72.9	34.4	37.6	20.6	6.2	1.1
			D層	68.4	30.7	36.5	21.9	9.1	1.8
			A-D層	7.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	
133	要素	全体	69.3	31.7	36.9	22.9	7.5	1.0	
	小要素	A層	77.5	40.9	35.8	17.9	4.4	0.9	
	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。	B層	73.3	34.0	39.0	21.3	5.3	0.4	
		C層	66.0	27.3	38.1	25.5	8.2	1.0	
		D層	60.9	25.0	34.8	26.6	11.7	1.9	
A-D層	16.6								
134	要素	全体	63.4	30.8	31.9	24.6	11.6	1.1	
	小要素	A層	72.8	40.8	31.3	19.3	7.6	1.0	
	テレビやラジオをつけないで集中して学習している。	B層	68.5	33.5	34.6	22.7	8.7	0.5	
		C層	61.4	28.0	32.7	26.3	12.0	1.0	
		D層	51.2	21.3	28.9	29.9	17.9	1.9	
A-D層	21.6								
135	要素	全体	25.7	6.5	18.9	42.3	31.3	1.0	
	小要素	A層	30.0	7.1	22.7	43.3	26.1	0.9	
	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。	B層	25.8	6.2	19.4	45.4	28.5	0.4	
		C層	23.4	5.7	17.5	43.1	32.8	1.0	
		D層	23.6	7.0	16.2	37.5	37.6	1.8	
A-D層	6.4								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				部活動に参加しているが、熱心に活動している	部活動には参加しているが、あまり熱心には活動していない	以前は参加していたが、今は参加していない	今まで参加したことはない	その他	
136	要素	全体	68.5	16.7	6.9	6.7	1.2		
	小要素	A層	75.2	14.5	4.1	5.4	0.9		
	あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1～4から一つ選びなさい。	B層	72.8	14.9	4.9	6.7	0.7		
		C層	67.1	19.0	6.3	6.4	1.1		
		D層	60.1	18.1	11.6	8.2	2.0		
A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)						その他 無回答
				高校まで	専門学校・各種学校まで	短期大学まで	四年制大学まで	大学院まで	その他	
137	要素	全体	15.1	16.9	6.6	46.5	10.0	3.5	1.3	
	小要素	A層	3.0	8.1	3.7	68.5	13.2	2.7	1.0	
	あなたは将来、どの学校まで進みたいですか。下の1～6から一つ選びなさい。	B層	6.9	15.3	6.5	56.1	11.1	3.4	0.7	
		C層	16.1	20.6	7.7	41.7	9.4	3.3	1.2	
		D層	34.0	23.7	8.6	20.3	6.6	4.5	2.3	
A-D層										

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	
138	要素	全体	35.7	8.5	26.8	34.7	28.9	1.0	
	小要素	A層	56.5	17.2	38.9	28.0	15.2	0.7	
	勉強は、好きである。	B層	40.7	8.5	32.0	38.3	20.8	0.5	
		C層	25.9	4.5	21.1	39.2	33.9	1.3	
		D層	19.5	3.9	15.2	33.9	45.3	1.7	
A-D層	37.0								
139	要素	全体	93.4	62.3	30.0	4.8	1.7	1.1	
	小要素	A層	97.0	73.2	23.1	2.3	0.7	0.6	
	勉強をすることは、大切なことだと思う。	B層	95.5	66.2	28.7	3.5	1.0	0.5	
		C層	93.4	57.9	34.2	4.8	1.7	1.4	
		D層	87.8	52.2	34.0	8.4	3.5	1.8	
A-D層	9.2								
140	要素	全体	60.9	16.4	43.8	31.7	7.0	1.2	
	小要素	A層	79.1	28.0	50.5	18.3	2.4	0.7	
	わかった点・わからなかった点を見直し、次の学習に繋げている。	B層	67.2	17.0	49.6	28.7	3.8	0.9	
		C層	54.0	11.6	41.7	38.6	6.7	1.4	
		D層	43.6	9.0	33.8	40.9	14.5	1.9	
A-D層	35.5								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	
141	要素	全体	81.7	40.6	40.1	12.0	6.0	1.3	
	小要素	A層	86.7	47.0	39.0	9.2	4.1	0.8	
	道で外国人に英語で話しかけられた時、なんとか英語で話そうとする。	B層	84.9	43.0	41.3	10.9	4.1	0.8	
		C層	81.6	39.0	41.4	12.4	5.7	1.4	
		D層	73.9	33.6	38.8	15.6	9.9	2.1	
A-D層	12.8								
142	要素	全体	86.7	46.9	38.7	10.7	2.4	1.3	
	小要素	A層	91.2	54.0	36.5	7.8	1.0	0.7	
	授業で学んだことは、将来社会に出たときに、役に立つ。	B層	89.0	49.2	39.0	9.0	2.0	0.9	
		C層	85.7	44.0	40.4	11.9	2.2	1.5	
		D層	81.2	40.5	38.9	13.8	4.5	2.2	
A-D層	10.0								
143	要素	全体	86.3	51.5	33.6	10.0	3.5	1.4	
	小要素	A層	89.0	55.6	32.6	8.1	2.8	0.9	
	学級みんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	B層	87.9	53.4	33.8	9.1	2.9	0.9	
		C層	85.8	50.8	33.6	10.7	3.2	1.6	
		D層	82.7	46.6	34.2	11.9	4.9	2.3	
A-D層	6.3								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
144	要素 追加質問	全体	69.0	42.3	25.8	19.8	10.8	1.4
	小要素	A層	68.0	40.0	27.4	22.9	8.9	0.7
	将来の夢や目標を持っている。	B層	68.9	41.3	27.0	19.7	11.2	0.9
		C層	68.8	42.7	24.9	19.3	11.5	1.7
		D層	70.6	45.0	24.0	17.3	11.5	2.2
A-D層		-2.6						
145	要素 追加質問	全体	93.4	63.1	29.0	5.1	1.4	1.4
	小要素	A層	95.4	67.5	27.2	3.5	1.1	0.8
	人の役に立つ人間になりたいと思う。	B層	95.1	65.7	28.6	3.7	1.1	0.8
		C層	93.5	61.9	30.0	5.0	1.4	1.8
		D層	89.8	57.6	30.1	8.0	2.0	2.3
A-D層		5.6						
146	要素 追加質問	全体	90.1	47.2	41.6	8.7	1.1	1.4
	小要素	A層	90.1	45.5	43.9	9.0	0.8	0.8
	人が困っているときは、進んで助けている。	B層	91.9	45.8	45.3	7.0	1.1	0.8
		C層	90.5	47.9	41.1	8.5	0.8	1.8
		D層	88.0	49.7	36.3	10.1	1.5	2.3
A-D層		2.1						
147	要素 追加質問	全体	76.7	38.2	37.4	16.2	6.8	1.4
	小要素	A層	79.9	41.3	37.9	14.9	5.0	0.9
	自分には、よいところがあると思う。	B層	78.4	37.7	40.1	15.4	6.0	0.8
		C層	75.9	37.7	36.9	16.1	7.6	1.7
		D層	73.0	36.4	34.9	18.0	8.4	2.3
A-D層		6.9						
148	要素 追加質問	全体	66.5	30.6	34.9	22.8	10.2	1.5
	小要素	A層	69.7	29.7	39.4	22.5	7.5	0.9
	不安やなやみ、ストレスがあるとき、だれかに相談することができている。	B層	68.7	30.6	37.5	22.1	8.9	0.9
		C層	64.6	29.9	33.5	23.8	10.9	1.9
		D層	63.3	32.5	29.2	22.5	13.3	2.5
A-D層		6.4						
149	要素 追加質問	全体	78.9	40.2	37.4	14.9	5.8	1.6
	小要素	A層	82.1	42.3	39.1	13.8	3.9	0.9
	困ったとき、なやんだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。	B層	81.6	41.4	39.3	13.3	4.9	1.0
		C層	78.1	39.8	36.9	15.1	6.5	1.8
		D層	74.2	37.9	34.3	17.5	7.7	2.7
A-D層		7.9						
150	要素 追加質問	全体	86.2	43.1	41.7	10.4	3.2	1.6
	小要素	A層	90.4	46.8	42.7	7.8	1.7	1.0
	自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。	B層	89.0	45.3	42.8	8.6	2.3	1.0
		C層	85.1	41.4	42.2	10.9	3.7	1.8
		D層	80.4	39.3	38.9	14.2	4.8	2.7
A-D層		10.0						
151	要素 追加質問	全体	85.1	46.3	37.4	11.0	3.7	1.6
	小要素	A層	85.5	45.1	39.5	11.4	2.9	1.1
	自分の住んでいる町が好きである。	B層	85.7	46.5	38.4	10.4	3.7	0.9
		C層	85.0	44.8	38.6	10.8	3.9	1.8
		D層	84.4	49.1	33.0	11.2	4.1	2.7
A-D層		1.1						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他無回答
152	要素 追加質問	全体	45.4	15.5	29.2	32.9	20.8	1.6
	小要素	A層	47.7	15.0	32.2	34.4	17.3	1.1
	今、住んでいる地域の行事に参加している。	B層	48.4	16.1	31.8	32.8	18.2	1.0
		C層	43.2	15.2	27.2	33.5	22.3	1.8
		D層	42.4	15.8	25.4	31.2	24.9	2.7
A-D層		5.3						
153	要素 追加質問	全体	53.6	18.6	34.1	32.0	13.7	1.6
	小要素	A層	59.5	21.3	37.6	30.4	9.6	1.1
	地域や社会をよりよくするために、何をすべきか考えたことがある。	B層	57.1	19.2	37.3	31.0	11.5	1.0
		C層	50.9	18.1	31.8	34.0	14.2	1.8
		D層	47.1	16.0	29.7	32.6	18.9	2.7
A-D層		12.4						
154	要素 追加質問	全体	90.4	53.1	35.7	7.2	2.3	1.7
	小要素	A層	90.7	53.5	36.1	7.2	2.0	1.2
	GIGAたん末は学習の役に立つと思う。	B層	91.8	54.9	35.9	6.0	2.1	1.1
		C層	91.5	54.3	35.6	6.7	1.6	1.8
		D層	87.6	50.2	35.1	8.5	3.6	2.6
A-D層		3.1						
質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少ない	その他無回答
155	要素 追加質問	全体	79.2	34.6	43.2	17.1	3.4	1.7
	小要素	A層	84.6	44.0	39.5	13.7	1.6	1.2
	前の学年までに受けた授業で、GIGAたん末などのICT機器をどの程度使いましたか。	B層	81.3	35.4	45.1	16.0	2.4	1.0
		C層	78.3	33.5	43.4	17.8	3.4	1.9
		D層	72.6	25.7	44.9	20.7	5.9	2.7
A-D層		12.0						
質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				1時間以上	30分以上~1時間より少ない	30分より少ない	まったく使ってない	その他無回答
156	要素 追加質問	全体	56.7	24.8	31.0	31.1	11.5	1.7
	小要素	A層	58.9	25.1	33.1	32.5	8.1	1.1
	学校の授業がある月曜日から金曜日、一日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	B層	58.4	25.4	32.5	32.5	8.7	1.0
		C層	56.5	25.0	30.4	30.4	12.3	1.9
		D層	53.2	23.8	28.0	29.1	16.3	2.9
A-D層		5.7						
157	要素 追加質問	全体	39.3	19.2	19.5	33.7	26.0	1.7
	小要素	A層	38.5	17.8	20.2	38.7	22.2	1.1
	土曜日や日曜日など、学校が休みの日に、1日にどれくらいスマートフォンやGIGA端末などのICT機器を、勉強のために使っていますか。	B層	40.0	19.2	20.4	36.9	22.6	0.9
		C層	39.4	19.7	18.9	31.3	28.1	2.0
		D層	39.3	19.9	18.3	28.4	30.7	2.7
A-D層		-0.8						

意識調査の結果一覧【中3】

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
1	要素	豊かな基礎体験	全体	71.3	35.7	35.6	21.1	7.6	0.0
	小要素	基礎体験	A層	59.8	24.0	35.8	30.0	10.3	0.0
	友だちと外で遊んでいる。		B層	70.1	33.1	37.0	22.4	7.6	0.0
			C層	75.1	38.8	36.2	18.2	6.7	0.0
			D層	80.5	47.0	33.5	14.0	5.5	0.0
			A-D層	-20.7					
2	要素	豊かな基礎体験	全体	85.0	65.9	19.0	9.2	5.8	0.0
小要素	基礎体験	A層	78.2	57.0	21.1	13.2	8.5	0.0	
ゲーム機やケータイ、スマート フォンでゲームをしている。		B層	84.9	66.3	18.6	8.8	6.3	0.0	
		C層	86.5	66.8	19.7	8.5	4.9	0.0	
		D層	90.0	73.2	16.8	6.6	3.3	0.1	
		A-D層	-11.8						
3	要素	豊かな基礎体験	全体	40.1	14.7	25.3	34.6	25.3	0.1
小要素	基礎体験	A層	51.5	20.9	30.5	33.5	15.0	0.0	
本や新聞を読んでいる。		B層	43.9	16.4	27.4	34.3	21.8	0.0	
		C層	35.2	12.2	22.9	37.5	27.2	0.1	
		D層	30.0	9.3	20.7	33.0	37.0	0.0	
		A-D層	21.5						
4	要素	豊かな基礎体験	全体	93.8	69.2	24.5	5.0	1.2	0.1
小要素	基礎体験	A層	95.9	73.8	22.1	3.6	0.5	0.0	
パソコンやインターネットを使 う。		B層	94.8	71.7	23.0	4.4	0.8	0.1	
		C層	94.1	67.7	26.2	4.9	1.0	0.2	
		D層	90.6	63.8	26.7	7.0	2.4	0.0	
		A-D層	5.3						
5	要素	豊かな基礎体験	全体	76.2	51.0	25.1	13.4	10.4	0.1
小要素	基礎体験	A層	82.4	56.6	25.8	11.2	6.3	0.0	
放課後や土曜日などに、学校 の活動や集まりがあれば、参 加している。		B層	79.2	54.9	24.3	11.9	8.8	0.0	
		C層	75.7	50.6	25.0	14.5	9.8	0.1	
		D層	68.6	42.9	25.6	15.3	16.1	0.1	
		A-D層	13.8						
6	要素	豊かな基礎体験	全体	56.1	24.8	31.2	22.4	21.4	0.2
小要素	基礎体験	A層	70.2	36.6	33.5	17.8	12.1	0.0	
ゲーム機やケータイ、スマート フォンでゲームをするときは、 家の人と時間についてルール を決めている。(ゲームをしな い人は、1番を選んでくださ い。)		B層	60.7	27.8	32.8	21.5	17.7	0.2	
		C層	52.7	20.1	32.5	25.2	22.0	0.2	
		D層	41.5	15.0	26.4	25.2	33.3	0.2	
		A-D層	28.7						
7	要素	豊かな基礎体験	全体	42.2	17.5	24.7	22.9	34.9	0.1
小要素	基礎体験	A層	54.1	26.6	27.5	21.4	24.5	0.0	
ケータイやスマートフォンで電 話やメールをするときは、家 の人と時間を決めている。 (ケータイやスマートフォンで 電話やメールをしない人は、1 番を選んでください。)		B層	45.6	19.6	26.0	23.0	31.4	0.0	
		C層	38.8	13.9	24.8	23.9	37.2	0.2	
		D層	31.1	10.0	21.1	23.2	45.5	0.1	
		A-D層	23.0						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
8	要素	豊かな基礎体験	全体	94.5	66.5	27.9	4.5	1.0	0.1
	小要素	基礎体験	A層	96.3	72.0	24.3	3.3	0.5	0.0
	家の人や自分のことを気にか けてくれていると思う		B層	95.5	68.3	27.2	3.9	0.6	0.0
			C層	94.8	65.9	28.6	4.3	0.9	0.3
			D層	91.8	60.2	31.5	6.2	1.9	0.1
			A-D層	4.5					
9	要素	豊かな基礎体験	全体	91.6	47.9	43.6	7.3	1.1	0.1
小要素	基礎体験	A層	94.7	54.2	40.4	4.6	0.7	0.0	
今まで教えてもらった学校の 先生は、自分のことを認めてく れていたと思う。		B層	92.7	51.0	41.8	6.5	0.8	0.0	
		C層	91.5	46.2	45.2	7.4	1.1	0.1	
		D層	87.6	40.7	46.8	10.6	1.8	0.1	
		A-D層	7.1						
10	要素	豊かな基礎体験	全体	94.4	68.9	25.4	4.4	1.2	0.0
小要素	基礎体験	A層	96.6	75.2	21.4	2.9	0.5	0.0	
勉強やスポーツのことで、家 の人が応援してくれる。		B層	95.8	70.3	25.5	3.3	0.9	0.0	
		C層	94.5	68.7	25.8	4.3	1.2	0.0	
		D層	90.8	62.5	28.3	7.1	2.1	0.0	
		A-D層	5.8						
11	要素	豊かな基礎体験	全体	84.8	47.3	37.5	11.8	3.5	0.0
小要素	基礎体験	A層	89.4	53.4	36.0	9.1	1.5	0.0	
将来の夢やこれからの進路に ついて家の人と話をする。		B層	87.1	48.9	38.2	10.3	2.6	0.0	
		C層	84.3	47.6	36.6	12.5	3.3	0.0	
		D層	78.3	39.3	39.0	15.3	6.4	0.0	
		A-D層	11.1						
12	要素	豊かな基礎体験	全体	16.5	5.6	10.9	24.1	59.3	0.1
小要素	基礎体験	A層	24.0	8.6	15.4	26.5	49.5	0.0	
新聞に書かれていることにつ いて家の人と話をする。		B層	16.7	5.8	11.0	26.0	57.3	0.0	
		C層	13.2	4.3	8.9	24.2	62.5	0.1	
		D層	12.5	3.9	8.6	20.1	67.3	0.1	
		A-D層	11.5						
13	要素	豊かな基礎体験	全体	87.3	70.5	16.7	8.1	4.7	0.1
小要素	基本的な生活習慣	A層	93.5	81.6	11.9	4.3	2.2	0.0	
朝食は毎日食べている。		B層	91.0	75.7	15.2	6.4	2.6	0.1	
		C層	87.2	68.9	18.2	8.1	4.6	0.2	
		D層	77.8	56.6	21.1	13.2	8.9	0.2	
		A-D層	15.7						
14	要素	豊かな基礎体験	全体	68.2	35.6	32.5	22.6	9.2	0.1
小要素	基本的な生活習慣	A層	63.7	32.1	31.6	26.9	9.3	0.1	
朝、起こされなくても自分で起 きている。		B層	69.1	34.4	34.6	22.0	8.9	0.1	
		C層	68.6	36.3	32.1	22.2	9.2	0.1	
		D層	71.2	39.5	31.7	19.6	9.2	0.0	
		A-D層	-7.5						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
15	要素	豊かな基礎体験	全体	44.7	12.8	31.8	34.8	20.4	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	48.4	12.9	35.5	36.6	15.1	0.0
			B層	47.2	13.5	33.7	34.8	17.9	0.1
			C層	43.8	12.1	31.6	36.1	20.0	0.2
			D層	39.6	12.8	26.8	32.2	28.0	0.1
			A-D層	8.8					
16	要素	豊かな基礎体験	全体	62.8	22.4	40.4	28.1	9.1	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	64.2	21.1	43.1	28.9	7.0	0.0
			B層	63.6	22.5	41.1	27.9	8.5	0.0
			C層	63.0	21.7	41.3	28.3	8.7	0.0
			D層	60.5	24.3	36.1	27.5	12.0	0.1
			A-D層	3.7					
17	要素	豊かな基礎体験	全体	74.2	33.5	40.6	21.0	4.7	0.1
	小要素	基本的な生活習慣	A層	74.2	31.5	42.7	22.0	3.9	0.0
			B層	75.1	31.5	43.5	20.3	4.5	0.1
			C層	74.4	35.7	38.6	21.0	4.6	0.1
			D層	73.2	35.5	37.5	21.0	5.8	0.2
			A-D層	1.0					
18	要素	学びに向かう力	全体	72.2	32.9	39.3	22.3	5.4	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	79.7	39.3	40.4	17.9	2.4	0.0
			B層	75.9	34.6	41.3	20.2	3.8	0.0
			C層	68.4	30.0	38.4	25.5	6.1	0.1
			D層	65.2	27.6	37.5	25.6	9.2	0.1
			A-D層	14.5					
19	要素	学びに向かう力	全体	69.1	36.4	32.6	20.3	10.7	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	73.7	41.0	32.7	19.1	7.2	0.0
			B層	72.1	38.9	33.1	19.0	8.9	0.0
			C層	68.1	36.5	31.6	21.0	10.9	0.0
			D層	62.8	29.5	33.1	21.8	15.4	0.2
			A-D層	10.9					
20	要素	学びに向かう力	全体	76.1	34.2	41.8	17.9	6.0	0.1
	小要素	感じ取る力	A層	87.8	48.0	39.9	9.8	2.4	0.0
			B層	80.9	36.2	44.6	15.0	4.1	0.1
			C層	71.5	27.6	43.8	21.7	6.8	0.1
			D層	64.1	25.3	38.8	25.2	10.6	0.1
			A-D層	23.7					
21	要素	学びに向かう力	全体	84.4	40.5	43.9	12.7	2.9	0.0
	小要素	学習動機	A層	86.9	45.9	41.0	11.1	2.0	0.0
			B層	83.6	41.4	42.2	13.6	2.8	0.0
			C層	84.9	38.4	46.5	12.0	3.1	0.0
			D層	82.4	36.5	45.9	14.1	3.6	0.0
			A-D層	4.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
22	要素	学びに向かう力	全体	91.6	57.2	34.3	6.7	1.7	0.0
	小要素	学習動機	A層	94.8	66.2	28.6	4.0	1.2	0.0
			B層	92.7	58.6	34.1	6.0	1.3	0.0
			C層	90.5	54.5	35.9	7.8	1.7	0.0
			D層	88.3	49.7	38.6	9.0	2.6	0.0
			A-D層	6.5					
23	要素	学びに向かう力	全体	80.8	38.2	42.6	14.0	5.2	0.0
	小要素	学習動機	A層	83.7	39.8	43.8	12.2	4.1	0.0
			B層	83.6	39.5	44.1	12.5	3.9	0.0
			C層	81.5	37.2	44.2	13.7	4.8	0.1
			D層	75.8	36.8	39.0	16.8	7.4	0.0
			A-D層	7.9					
24	要素	学びに向かう力	全体	91.7	45.4	46.2	7.3	1.0	0.1
	小要素	自己責任	A層	93.9	50.4	43.5	5.6	0.6	0.0
			B層	93.2	45.4	47.8	6.1	0.7	0.0
			C層	91.4	44.0	47.4	7.8	0.8	0.0
			D層	88.4	41.9	46.3	9.6	2.0	0.1
			A-D層	5.5					
25	要素	学びに向かう力	全体	83.0	41.7	41.3	13.4	3.6	0.0
	小要素	自己有能感	A層	84.1	42.3	41.8	13.1	2.8	0.0
			B層	84.3	43.3	41.0	13.0	2.7	0.0
			C層	83.1	41.0	42.1	13.0	3.8	0.0
			D層	81.2	40.7	40.5	14.0	4.8	0.1
			A-D層	2.9					
26	要素	学びに向かう力	全体	91.3	61.8	29.5	7.0	1.7	0.0
	小要素	達成感	A層	92.8	64.4	28.5	5.8	1.4	0.0
			B層	92.6	63.2	29.3	6.1	1.3	0.0
			C層	91.4	61.3	30.1	7.2	1.4	0.0
			D層	88.7	58.5	30.1	8.7	2.6	0.0
			A-D層	4.1					
27	要素	自ら学ぶ力	全体	71.6	33.8	37.7	21.6	6.8	0.0
	小要素	学習スキル	A層	80.2	44.6	35.6	15.4	4.3	0.0
			B層	76.1	37.3	38.8	19.5	4.4	0.0
			C層	71.2	30.1	41.1	22.8	6.0	0.1
			D層	59.4	23.5	35.9	28.4	12.1	0.1
			A-D層	20.8					
28	要素	自ら学ぶ力	全体	52.5	16.1	36.4	33.6	13.9	0.1
	小要素	学習スキル	A層	67.0	25.4	41.6	26.3	6.7	0.0
			B層	56.7	17.4	39.4	32.4	10.8	0.0
			C層	48.8	11.6	37.1	37.4	13.8	0.1
			D層	38.1	10.1	28.0	38.2	23.7	0.1
			A-D層	28.9					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
29	要素	自ら学ぶ力	全体	41.5	14.7	26.7	35.5	23.0	0.1
	小要素	学習スキル	A層	41.8	15.5	26.2	33.7	24.6	0.0
			B層	44.2	16.5	27.7	35.0	20.7	0.0
			C層	41.2	13.5	27.6	37.1	21.7	0.1
			D層	39.1	13.5	25.5	36.3	24.5	0.2
		A-D層	2.7						
30	要素	自ら学ぶ力	全体	56.1	17.3	38.7	33.0	10.9	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	70.5	25.9	44.5	24.3	5.2	0.1
			B層	62.0	20.0	42.0	30.4	7.6	0.0
			C層	51.6	13.1	38.4	36.6	11.8	0.1
			D層	41.3	10.5	30.7	40.3	18.4	0.1
		A-D層	29.2						
31	要素	自ら学ぶ力	全体	67.4	26.1	41.2	24.9	7.6	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	85.1	44.4	40.7	12.7	2.1	0.0
			B層	75.3	28.7	46.5	20.7	4.1	0.1
			C層	62.0	18.5	43.4	29.7	8.3	0.1
			D層	47.6	12.9	34.6	36.5	15.8	0.2
		A-D層	37.5						
32	要素	自ら学ぶ力	全体	50.4	16.0	34.4	36.5	13.1	0.1
	小要素	学習定着のための方 略	A層	62.6	24.3	38.3	30.5	7.0	0.0
			B層	52.6	15.8	36.8	36.6	10.8	0.0
			C層	46.5	12.6	34.0	39.4	14.1	0.0
			D層	40.2	11.5	28.6	39.7	19.9	0.3
		A-D層	22.4						
33	要素	自ら学ぶ力	全体	81.0	34.8	46.1	15.1	3.9	0.1
	小要素	学習計画力	A層	87.0	40.6	46.3	11.3	1.7	0.0
			B層	83.8	36.6	47.2	13.1	3.1	0.0
			C層	79.5	32.3	47.2	16.7	3.7	0.1
			D層	74.2	30.0	44.1	19.1	6.6	0.1
		A-D層	12.8						
34	要素	自ら学ぶ力	全体	38.1	11.5	26.6	38.4	23.4	0.1
	小要素	学習計画力	A層	43.9	14.2	29.7	36.5	19.6	0.0
			B層	39.8	12.3	27.5	38.9	21.3	0.1
			C層	36.3	9.5	26.8	40.3	23.3	0.1
			D層	32.7	10.2	22.5	38.1	29.1	0.1
		A-D層	11.2						
35	要素	自ら学ぶ力	全体	50.9	18.5	32.4	32.5	16.6	0.1
	小要素	学習計画力	A層	60.0	26.7	33.3	27.4	12.6	0.1
			B層	55.7	19.6	36.1	31.3	13.0	0.0
			C層	48.2	15.2	33.0	35.5	16.2	0.1
			D層	40.1	12.4	27.6	35.7	24.1	0.1
		A-D層	19.9						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
36	要素	学びを律する力	全体	51.4	16.5	34.9	33.8	14.8	0.1
	小要素	学習継続力	A層	63.9	25.7	38.2	26.5	9.6	0.0
			B層	54.2	16.1	38.0	34.0	11.8	0.0
			C層	46.9	12.4	34.4	37.6	15.5	0.0
			D層	41.4	11.8	29.5	36.8	21.7	0.1
		A-D層	22.5						
37	要素	学びを律する力	全体	66.5	21.7	44.8	26.6	6.9	0.0
	小要素	学習継続力	A層	84.6	36.0	48.7	13.5	1.9	0.0
			B層	72.5	24.1	48.4	23.7	3.8	0.0
			C層	61.2	14.7	46.4	31.6	7.3	0.0
			D層	48.0	12.0	36.0	37.7	14.2	0.1
		A-D層	36.6						
38	要素	学びを律する力	全体	50.8	14.3	36.5	36.9	12.2	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	59.6	17.5	42.1	32.0	8.4	0.0
			B層	54.2	15.6	38.5	35.6	10.2	0.0
			C層	46.1	11.0	35.1	42.0	11.8	0.0
			D層	43.4	12.8	30.6	38.4	18.1	0.1
		A-D層	16.2						
39	要素	学びを律する力	全体	65.1	19.8	45.3	28.6	6.3	0.1
	小要素	学習のけじめ	A層	75.4	26.8	48.5	21.5	3.1	0.0
			B層	68.7	20.3	48.4	26.6	4.7	0.0
			C層	61.3	16.1	45.2	32.3	6.4	0.0
			D層	55.2	16.0	39.1	34.2	10.6	0.1
		A-D層	20.2						
40	要素	学びを律する力	全体	62.7	19.6	43.1	28.5	8.8	0.1
	小要素	学習環境の整備	A層	63.1	20.4	42.7	28.9	7.9	0.1
			B層	64.6	20.3	44.2	27.1	8.2	0.1
			C層	63.7	19.2	44.5	28.3	8.0	0.0
			D層	59.6	18.4	41.1	29.6	10.8	0.1
		A-D層	3.5						
41	要素	学びを律する力	全体	86.9	46.8	40.1	10.8	2.3	0.1
	小要素	学習環境の整備	A層	88.1	48.8	39.3	10.1	1.8	0.0
			B層	90.0	50.8	39.1	8.2	1.8	0.0
			C層	88.1	47.9	40.2	10.1	1.8	0.1
			D層	81.8	40.0	41.7	14.5	3.7	0.1
		A-D層	6.3						
42	要素	学びを律する力	全体	87.0	41.0	45.9	10.9	2.1	0.1
	小要素	授業を受ける姿勢	A層	92.5	51.8	40.6	6.5	1.0	0.1
			B層	90.9	44.3	46.5	7.9	1.2	0.0
			C層	87.1	37.6	49.5	11.4	1.5	0.0
			D層	78.0	30.6	47.3	17.4	4.5	0.1
		A-D層	14.5						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない		
43	要素 問題解決力	全体	73.4	26.3	47.1	22.3	4.3	0.1	
	小要素	A層	88.1	39.1	48.9	10.7	1.2	0.0	
	調べてわかったことをもとに、考えをまとめることができる。	B層	80.4	30.5	50.0	17.2	2.4	0.0	
		C層	70.2	21.3	48.8	26.1	3.6	0.2	
		D層	55.8	15.0	40.7	34.6	9.6	0.1	
		A-D層	32.3						
44	要素 問題解決力	全体	68.7	22.1	46.6	26.2	5.0	0.1	
	小要素	A層	82.5	34.1	48.4	15.8	1.6	0.0	
	筋道を立てて、ものごとを考えることができる。	B層	75.4	24.7	50.7	21.8	2.8	0.0	
		C層	64.8	16.3	48.4	30.7	4.4	0.2	
		D層	53.2	13.5	39.5	35.8	11.0	0.2	
		A-D層	29.3						
45	要素 問題解決力	全体	63.1	20.2	42.8	29.4	7.5	0.1	
	小要素	A層	75.1	27.2	47.8	21.9	3.0	0.0	
	自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。	B層	67.5	23.2	44.3	27.0	5.5	0.0	
		C層	59.0	16.2	42.8	33.3	7.7	0.0	
		D層	51.4	14.2	37.1	35.5	13.0	0.1	
		A-D層	23.7						
46	要素 問題解決力	全体	75.5	31.8	43.6	19.3	5.2	0.1	
	小要素	A層	87.2	43.5	43.7	11.6	1.2	0.0	
	調べたことを、パソコンを使ってまとめたり、発表したりすることができる。	B層	83.8	37.6	46.2	13.6	2.6	0.0	
		C層	71.9	26.9	45.0	23.2	4.9	0.1	
		D層	59.8	19.7	40.1	28.5	11.7	0.1	
		A-D層	27.4						
47	要素 社会参画力	全体	66.0	24.9	41.1	26.2	7.8	0.1	
	小要素	A層	69.5	28.6	40.9	24.8	5.7	0.0	
	テレビのニュースや新聞などで、最近の社会のできごとをよく知っている。	B層	68.7	28.7	40.0	24.9	6.5	0.0	
		C層	66.7	22.9	43.8	26.1	7.1	0.0	
		D層	60.0	19.4	40.5	28.5	11.4	0.2	
		A-D層	9.5						
48	要素 社会参画力	全体	56.9	20.6	36.3	30.6	12.5	0.0	
	小要素	A層	65.8	27.7	38.1	26.3	7.9	0.0	
	社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。	B層	61.0	22.8	38.2	29.0	9.9	0.0	
		C層	54.4	17.0	37.4	32.8	12.8	0.1	
		D層	46.7	14.7	32.0	34.5	18.7	0.1	
		A-D層	19.1						
49	要素 豊かな心	全体	87.2	41.3	45.8	10.8	2.0	0.1	
	小要素	A層	90.3	46.6	43.7	8.8	0.9	0.0	
	自分がやらなければならないことは、責任を持ってやりぬくことができる。	B層	90.1	44.0	46.1	8.5	1.4	0.0	
		C層	87.8	40.3	47.4	10.6	1.5	0.1	
		D層	81.1	34.4	46.6	14.9	3.9	0.1	
		A-D層	9.2						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない		
50	要素 豊かな心	全体	65.8	22.9	42.8	27.9	6.3	0.1	
	小要素	A層	67.8	23.6	44.1	28.1	4.1	0.0	
	難しいことでも、失敗をおそれないで、取り組んでいる。	B層	69.0	23.1	45.9	26.0	5.0	0.0	
		C層	64.9	22.0	42.8	28.5	6.6	0.1	
		D層	62.3	23.1	39.1	28.8	8.8	0.2	
		A-D層	5.5						
51	要素 豊かな心	全体	64.3	23.1	41.2	29.6	6.1	0.1	
	小要素	A層	70.0	27.2	42.9	26.2	3.7	0.0	
	いつも新しいアイデアを考えたり、工夫したりしている。	B層	69.2	25.5	43.7	26.3	4.5	0.0	
		C層	62.6	21.1	41.4	31.1	6.3	0.0	
		D層	55.8	18.6	37.1	34.7	9.5	0.2	
		A-D層	14.2						
52	要素 豊かな心	全体	93.4	54.4	38.9	5.3	1.3	0.1	
	小要素	A層	95.5	58.5	36.9	3.7	0.8	0.0	
	自分と違う意見も尊重している。	B層	95.4	57.7	37.7	3.6	1.0	0.0	
		C層	93.9	54.2	39.7	5.0	1.1	0.0	
		D層	89.2	47.6	41.5	8.7	2.1	0.2	
		A-D層	6.3						
53	要素 自己成長力	全体	69.3	36.3	32.9	20.7	10.0	0.1	
	小要素	A層	74.2	40.7	33.5	18.6	7.2	0.0	
	自分には、先生や友だちからほめられるような得意なことがある。	B層	70.2	37.2	32.9	21.0	8.8	0.0	
		C層	68.0	35.2	32.8	21.2	10.8	0.1	
		D層	65.3	32.5	32.7	21.7	13.0	0.1	
		A-D層	8.9						
54	要素 自己成長力	全体	94.5	71.8	22.7	4.0	1.4	0.0	
	小要素	A層	97.5	79.4	18.1	2.0	0.4	0.0	
	自分の力をできるだけ伸ばしたいと思う。	B層	95.6	75.2	20.4	3.2	1.2	0.0	
		C層	94.1	70.5	23.6	4.5	1.5	0.0	
		D層	91.3	62.9	28.2	6.3	2.4	0.1	
		A-D層	6.2						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とても好き	まあ好き	あまり好きではない	好きではない		
55	要素 教科の好き嫌い	全体	64.5	15.8	48.6	26.3	9.1	0.2	
	小要素	A層	73.9	23.5	50.4	20.6	5.5	0.0	
	国語	B層	67.5	17.5	50.0	25.3	7.2	0.0	
		C層	63.6	13.5	50.0	27.3	9.0	0.2	
		D層	52.8	9.1	43.5	32.1	14.9	0.4	
		A-D層	21.1						
56	要素 教科の好き嫌い	全体	69.1	28.5	40.6	21.5	9.3	0.1	
	小要素	A層	81.4	45.1	36.2	14.6	4.1	0.0	
	社会	B層	73.5	31.0	42.4	19.1	7.3	0.1	
		C層	67.2	24.0	43.1	23.1	9.6	0.2	
		D層	54.8	13.9	40.9	29.3	15.9	0.0	
		A-D層	26.6						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きでは ない	その他 無回答
57	要素	教科の好き嫌い	全体	55.2	23.3	31.8	25.7	19.1	0.1
	小要素		A層	77.9	44.3	33.6	15.8	6.3	0.0
			B層	63.1	26.7	36.4	25.0	11.8	0.2
			C層	47.9	14.9	33.0	31.0	20.9	0.2
			D層	32.1	7.5	24.6	31.0	36.8	0.1
		A-D層	45.8						
58	要素	教科の好き嫌い	全体	59.8	22.1	37.5	26.8	13.4	0.1
	小要素		A層	76.8	39.0	37.9	18.0	5.2	0.0
			B層	65.3	24.6	40.6	24.9	9.8	0.1
			C層	53.7	15.2	38.4	30.2	16.0	0.2
			D層	43.5	9.9	33.5	34.2	22.2	0.1
		A-D層	33.3						
59	要素	教科の好き嫌い	全体	67.7	28.0	39.7	22.0	10.3	0.1
	小要素		A層	67.6	29.2	38.4	22.1	10.2	0.0
			B層	67.8	28.5	39.3	21.7	10.5	0.0
			C層	69.2	27.8	41.3	21.1	9.7	0.2
			D層	66.2	26.8	39.2	23.0	10.8	0.3
		A-D層	1.4						
60	要素	教科の好き嫌い	全体	66.6	28.3	38.1	22.7	10.7	0.2
	小要素		A層	65.0	27.2	37.8	23.2	11.8	0.0
			B層	66.0	28.9	37.1	23.1	10.8	0.1
			C層	69.7	29.7	39.9	20.7	9.4	0.3
			D層	65.5	27.6	37.8	23.8	10.6	0.3
		A-D層	-0.5						
61	要素	教科の好き嫌い	全体	71.9	39.7	32.2	17.1	10.9	0.1
	小要素		A層	63.6	31.2	32.4	22.0	14.4	0.0
			B層	72.0	37.4	34.6	17.1	10.9	0.0
			C層	74.3	42.3	31.9	16.1	9.6	0.1
			D層	78.2	48.0	30.1	13.4	8.3	0.2
		A-D層	-14.6						
62	要素	教科の好き嫌い	全体	56.6	15.9	40.7	30.9	12.4	0.1
	小要素		A層	61.7	19.0	42.7	28.0	10.3	0.0
			B層	57.0	16.6	40.5	30.4	12.6	0.0
			C層	54.1	12.9	41.2	32.9	12.9	0.1
			D層	53.8	15.3	38.4	32.2	13.8	0.3
		A-D層	7.9						
63	要素	教科の好き嫌い	全体	64.9	18.4	46.5	26.3	8.8	0.1
	小要素		A層	65.3	18.1	47.2	27.0	7.6	0.0
			B層	64.5	17.7	46.8	27.1	8.4	0.0
			C層	65.7	18.7	47.0	25.7	8.6	0.1
			D層	64.4	19.0	45.3	25.3	10.2	0.2
		A-D層	0.9						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とても好き	まあ好き	あまり好き ではない	好きでは ない	その他 無回答
64	要素	教科の好き嫌い	全体	54.3	22.3	32.0	25.5	20.1	0.1
	小要素		A層	81.1	44.1	36.9	13.7	5.2	0.1
			B層	63.8	24.7	39.0	25.1	11.2	0.0
			C層	45.3	14.1	31.2	31.1	23.6	0.0
			D層	27.3	6.5	20.7	32.6	40.0	0.2
		A-D層	53.8						
65	要素	教科の好き嫌い	全体	71.4	24.5	46.8	20.3	8.3	0.1
	小要素		A層	67.7	21.2	46.5	23.3	9.0	0.0
			B層	70.7	22.7	47.9	20.2	9.1	0.1
			C層	73.4	25.8	47.6	19.6	6.9	0.1
			D層	74.0	28.7	45.2	18.1	7.9	0.2
		A-D層	-6.3						
66	要素	教科の好き嫌い	全体	67.4	21.1	46.3	22.7	9.9	0.1
	小要素		A層	61.8	15.5	46.3	26.0	12.1	0.0
			B層	66.7	19.0	47.7	23.4	9.9	0.0
			C層	69.1	22.9	46.1	21.8	9.0	0.1
			D層	72.2	26.9	45.1	19.9	7.9	0.2
		A-D層	-10.4						
67	要素	教科の好き嫌い	全体	77.9	32.2	45.6	15.9	6.2	0.1
	小要素		A層	77.3	31.3	46.0	17.3	5.3	0.0
			B層	80.0	31.6	48.4	13.6	6.4	0.0
			C層	78.1	33.2	44.7	16.3	5.7	0.1
			D層	76.8	33.3	43.4	16.3	6.9	0.1
		A-D層	0.5						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
68	要素	教科の理解度	全体	76.1	19.0	57.0	20.0	3.8	0.2
	小要素		A層	90.9	35.3	55.5	8.3	0.8	0.0
			B層	83.9	22.6	61.2	14.3	1.7	0.1
			C層	74.3	12.9	61.2	22.4	3.2	0.3
			D層	56.8	5.7	50.8	33.8	9.1	0.5
		A-D層	34.1						
69	要素	教科の理解度	全体	70.6	23.3	47.2	23.2	6.2	0.1
	小要素		A層	89.4	45.6	43.8	9.6	1.1	0.0
			B層	78.0	25.8	52.1	18.8	3.2	0.1
			C層	66.7	15.3	51.3	27.7	5.5	0.1
			D層	49.1	6.6	42.5	36.5	14.3	0.2
		A-D層	40.3						
70	要素	教科の理解度	全体	64.1	22.6	41.4	25.6	10.3	0.1
	小要素		A層	90.3	49.7	40.5	8.2	1.5	0.0
			B層	76.4	25.3	51.1	20.3	3.3	0.0
			C層	59.1	10.8	48.2	32.3	8.6	0.0
			D層	31.7	4.7	26.9	41.1	27.0	0.3
		A-D層	58.6						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
71	要素 教科の理解度	全体	62.6	17.6	44.9	28.9	8.4	0.2
	小要素	A層	86.2	39.4	46.8	12.7	1.1	0.0
		B層	71.5	18.0	53.4	24.5	4.0	0.0
	理科	C層	54.6	8.9	45.6	35.4	9.9	0.2
		D層	39.1	4.4	34.5	42.6	18.1	0.3
		A-D層	47.1					
72	要素 教科の理解度	全体	70.1	23.4	46.6	22.9	7.0	0.1
	小要素	A層	73.2	29.1	44.1	21.1	5.6	0.0
		B層	71.0	26.0	45.0	22.0	6.9	0.0
	音楽	C層	70.8	21.2	49.5	23.5	5.7	0.2
		D層	65.4	17.8	47.4	25.0	9.5	0.4
		A-D層	7.8					
73	要素 教科の理解度	全体	71.5	22.4	49.1	21.9	6.6	0.2
	小要素	A層	74.2	25.7	48.4	20.3	5.4	0.0
		B層	71.4	23.8	47.6	22.6	5.9	0.0
	図画工作・美術	C層	72.6	21.6	50.8	21.7	5.6	0.2
		D層	68.6	18.5	49.9	22.4	8.9	0.4
		A-D層	5.6					
74	要素 教科の理解度	全体	77.3	27.9	49.3	17.7	5.0	0.1
	小要素	A層	75.1	26.4	48.7	19.8	5.1	0.0
		B層	77.5	26.8	50.7	18.0	4.5	0.0
	保健体育	C層	79.9	28.5	51.4	15.9	4.1	0.1
		D層	77.5	30.5	46.7	16.2	6.2	0.4
		A-D層	-2.4					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				よくわかって いる	まあわかって いる	あまりわかっ ていない	まったくわ かっていない	その他 無回答
75	要素 教科の理解度	全体	59.9	12.7	47.0	30.6	9.5	0.1
	小要素	A層	70.1	19.8	50.2	24.0	5.9	0.1
		B層	61.8	13.7	48.2	30.3	7.9	0.0
	技術	C層	56.8	9.3	47.5	32.5	10.6	0.1
		D層	51.9	8.5	43.2	34.7	13.3	0.3
		A-D層	18.2					
76	要素 教科の理解度	全体	71.7	17.0	54.7	22.7	5.5	0.1
	小要素	A層	78.5	21.5	56.9	17.7	3.8	0.0
		B層	73.0	17.0	56.0	22.1	4.9	0.0
	家庭	C層	71.8	15.7	56.0	23.5	4.7	0.1
		D層	64.9	13.7	50.9	26.8	8.2	0.3
		A-D層	13.6					
77	要素 教科の理解度	全体	58.8	23.4	35.3	25.6	15.6	0.1
	小要素	A層	92.0	56.1	35.8	6.5	1.6	0.1
		B層	73.2	24.9	48.3	21.6	5.2	0.0
	英語	C層	48.0	9.6	38.4	35.1	16.8	0.1
		D層	22.7	3.5	19.2	39.0	38.1	0.3
		A-D層	69.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
				0冊	1,2冊	3,4冊	5,6冊	7,8冊	9,10冊	11冊以上	その他 無回答
78	要素 読書冊数	全体		41.4	39.2	10.1	4.1	1.6	0.8	2.6	0.2
	小要素	A層		32.1	42.6	12.2	5.9	2.2	0.9	4.0	0.0
		B層		38.2	40.5	12.2	4.3	1.4	0.8	2.6	0.0
	あなたは、この1か月の間に 本を何冊くらい読みましたか。 (教科書や参考書、マンガは数 にいません。)	C層		43.8	40.0	8.5	3.1	1.3	0.8	2.3	0.3
		D層		51.4	33.7	7.6	3.4	1.3	0.5	1.8	0.4
		A-D層									

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)							
				ほとんど見 ない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分 くらい	2時間くらい	2時間30分 くらい	3時間以上	その他 無回答
79	要素 テレビを見る時間	全体		20.7	18.8	21.6	13.6	12.5	4.1	8.4	0.3
	小要素 平日	A層		21.5	22.0	24.2	13.3	11.0	2.6	5.3	0.1
		B層		19.5	19.6	22.2	14.6	13.1	3.7	7.2	0.1
	あなたは、学校の授業がある 月曜日から金曜日に、1日に どれくらいテレビを見ますか。	C層		17.6	18.0	22.5	14.4	13.4	4.5	9.3	0.3
		D層		23.8	15.4	17.7	12.4	12.7	5.6	11.8	0.5
		A-D層									
80	要素 テレビを見る時間	全体		19.0	12.7	17.5	12.1	15.8	7.2	15.5	0.2
	小要素 休日	A層		17.2	13.9	19.2	13.0	17.5	6.5	12.6	0.0
		B層		16.4	12.6	17.6	12.5	18.3	7.8	14.6	0.0
	あなたは、土曜日や日曜日な ど、学校が休みの日に、1日に どれくらいテレビを見ますか。	C層		18.0	12.0	17.3	12.0	16.5	6.9	16.9	0.4
		D層		23.7	12.3	15.6	11.0	11.0	7.7	18.1	0.4
		A-D層									

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)							
					ほとんどしない	30分くらい	1時間くらい	1時間30分くらい	2時間くらい	2時間30分くらい	3時間以上	その他 無回答
81	要素	学習時間	全体		12.5	9.0	12.3	15.2	17.9	14.6	18.4	0.2
	小要素	平日	A層		4.0	5.6	9.8	12.6	18.0	21.1	28.9	0.0
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、学校の授業以外で1日にどれくらい勉強していますか？(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	B層		7.4	7.1	13.2	15.7	19.5	16.8	20.2	0.1
			C層		12.2	10.5	12.6	18.3	18.8	12.6	14.6	0.3
			D層		25.3	12.6	13.2	14.6	15.3	8.6	10.2	0.3
	A-D層											
82	要素	学習時間	全体		21.9	12.7	13.4	10.7	12.8	11.1	17.2	0.1
	小要素	休日	A層		7.2	6.5	10.6	9.8	16.0	16.5	33.4	0.0
		あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日にどれくらい勉強していますか。(じゅくで勉強している時間や、家庭教師の先生にみてもらっている時間もふくみます。)	B層		15.0	10.7	15.8	12.2	13.5	13.6	19.2	0.1
			C層		25.0	16.0	13.4	12.2	12.9	9.7	10.7	0.2
			D層		39.4	17.4	14.1	8.8	8.9	5.1	6.1	0.3
	A-D層											
83	要素	ゲームをする時間	全体		24.4	13.0	15.7	11.0	12.5	6.1	17.2	0.2
	小要素	平日	A層		33.7	16.0	18.3	10.2	9.3	4.3	8.1	0.0
		あなたは、学校の授業がある月曜日から金曜日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	B層		25.0	14.1	16.1	11.4	14.4	5.6	13.2	0.1
			C層		22.4	12.1	15.2	11.4	13.6	6.2	18.9	0.2
			D層		16.4	10.1	13.6	11.1	12.6	8.2	27.8	0.3
	A-D層											
84	要素	ゲームをする時間	全体		19.9	9.9	11.7	8.8	13.3	7.2	29.0	0.2
	小要素	休日	A層		26.7	11.7	14.6	9.2	13.4	6.2	18.1	0.0
		あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日にどれくらいゲームをしますか。	B層		19.8	10.6	11.7	9.8	14.5	7.4	26.2	0.1
			C層		18.4	9.7	11.1	8.5	13.6	7.5	30.9	0.3
			D層		14.6	7.9	9.7	7.7	12.0	7.7	40.1	0.3
	A-D層											

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
85	要素	国語	全体	25.3	6.3	18.9	37.2	37.4	0.2
	小要素		A層	32.2	9.0	23.2	36.7	31.1	0.0
		国語の授業で、わからない言葉があれば、国語辞典で調べるようにしている。	B層	24.8	6.6	18.2	37.9	37.3	0.0
			C層	24.0	5.1	18.8	37.5	38.3	0.2
			D層	20.0	4.4	15.5	37.1	42.6	0.4
	A-D層		12.2						
86	要素	国語	全体	72.4	28.1	44.2	19.5	8.0	0.2
	小要素		A層	80.8	35.0	45.8	15.0	4.2	0.1
		国語の授業で、文章の書き方のよい例を参考にして書くことがある。	B層	75.6	31.6	44.0	18.6	5.8	0.0
			C層	73.5	26.9	46.4	18.8	7.6	0.1
			D層	60.6	19.6	40.7	25.4	13.9	0.4
	A-D層		20.2						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	まああてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
87	要素	国語	全体	57.8	28.9	28.7	24.0	18.1	0.2
	小要素		A層	65.9	38.8	27.1	19.4	14.6	0.0
		国語の授業で、物語を作ったことがある。	B層	61.1	32.0	29.1	22.6	16.3	0.0
			C層	57.3	27.3	29.9	25.2	17.5	0.1
			D層	48.1	18.6	29.3	28.8	22.9	0.5
	A-D層		17.8						
88	要素	国語	全体	80.1	38.1	41.9	14.9	4.9	0.2
	小要素		A層	85.5	47.6	37.9	11.6	2.9	0.0
		国語の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	B層	83.3	41.7	41.6	13.1	3.6	0.0
			C層	80.8	36.8	43.9	15.1	4.0	0.1
			D層	72.7	27.3	45.1	19.3	7.9	0.5
	A-D層		12.8						

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
89	要素 数学	全体	57.6	23.3	34.2	25.8	16.6	0.2	
	小要素	A層	64.9	31.5	33.4	21.5	13.5	0.0	
	算数・数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。	B層	61.0	26.4	34.5	24.7	14.2	0.2	
		C層	56.8	20.2	36.5	27.4	15.8	0.1	
		D層	48.9	15.5	33.2	29.6	21.4	0.3	
A-D層	16.0								
90	要素 数学	全体	55.2	23.2	31.9	28.0	16.6	0.2	
	小要素	A層	76.7	41.3	35.3	17.2	6.0	0.1	
	算数・数学の授業で、文章や式、図や表などを組み合わせて自分の考えを説明したことがある。	B層	64.3	26.7	37.6	25.5	10.1	0.1	
		C層	49.7	17.7	31.9	34.1	16.1	0.2	
		D層	31.9	8.0	23.8	35.2	32.8	0.2	
A-D層	44.8								
91	要素 数学	全体	35.2	13.4	21.7	31.4	33.2	0.2	
	小要素	A層	43.4	20.4	22.9	29.3	27.3	0.1	
	算数・数学の宿題で、文章題を作ったことがある。	B層	37.5	15.2	22.2	32.5	29.9	0.2	
		C層	35.5	11.2	24.2	31.3	33.0	0.2	
		D層	25.7	7.4	18.2	32.6	41.4	0.4	
A-D層	17.7								
92	要素 数学	全体	71.1	34.7	36.2	18.6	10.3	0.2	
	小要素	A層	80.9	47.8	33.0	12.9	6.2	0.1	
	算数・数学の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	B層	77.2	40.8	36.3	15.7	7.0	0.2	
		C層	70.5	29.9	40.5	20.0	9.4	0.2	
		D層	57.3	21.3	35.9	25.2	17.3	0.3	
A-D層	23.6								
93	要素 社会	全体	86.8	58.8	27.8	8.7	4.6	0.2	
	小要素	A層	91.9	70.9	20.9	5.3	2.8	0.1	
	社会の授業で、テレビや電子黒板などを使って、写真や地図・グラフなどを見ることがある。	B層	90.3	63.7	26.4	6.0	3.7	0.1	
		C層	87.9	58.1	29.6	8.3	3.7	0.2	
		D層	77.9	43.5	34.1	14.8	7.2	0.4	
A-D層	14.0								
94	要素 社会	全体	40.7	16.0	24.6	31.4	27.8	0.2	
	小要素	A層	41.2	18.3	22.8	31.3	27.6	0.0	
	社会の授業で、調べたことを、新聞形式でまとめたことがある。	B層	41.7	16.3	25.4	30.4	27.8	0.2	
		C層	42.5	16.9	25.5	31.4	26.0	0.2	
		D層	38.0	12.9	24.9	32.7	29.2	0.3	
A-D層	3.2								
95	要素 社会	全体	57.1	21.2	35.7	29.6	13.3	0.2	
	小要素	A層	60.2	25.8	34.4	28.9	10.9	0.0	
	社会の授業で、いま、世の中で起きていることについて、資料をもとにして考えることがある。	B層	57.2	21.6	35.5	29.9	12.8	0.1	
		C層	60.2	21.9	38.2	28.2	11.5	0.2	
		D層	51.4	15.8	35.5	31.2	17.2	0.3	
A-D層	8.8								

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)					その他 無回答
				とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
96	要素 社会	全体	75.1	40.4	34.6	16.2	8.6	0.2	
	小要素	A層	81.2	50.8	30.3	12.4	6.3	0.1	
	社会の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	B層	77.1	42.0	35.0	15.2	7.7	0.1	
		C層	76.4	40.5	35.7	15.6	8.0	0.3	
		D層	66.8	29.0	37.7	21.5	11.7	0.2	
A-D層	14.4								
97	要素 理科	全体	85.1	49.2	35.8	11.4	3.5	0.2	
	小要素	A層	90.0	58.6	31.4	8.2	1.8	0.0	
	理科の授業で、実験や調査に取り組む前に、仮説を立て結果を予想している。	B層	89.8	55.9	33.8	8.6	1.6	0.1	
		C層	86.7	47.9	38.8	11.2	2.1	0.1	
		D層	75.3	35.1	40.0	17.2	7.4	0.3	
A-D層	14.7								
98	要素 理科	全体	89.3	54.6	34.5	8.0	2.7	0.2	
	小要素	A層	93.8	66.2	27.5	4.9	1.3	0.1	
	理科の授業で、テレビや電子黒板などを使って、実験や観察のようすや自然のいろいろなようすなどについて、写真や映像などを見ることがある。	B層	92.8	61.1	31.7	5.3	1.9	0.1	
		C層	90.4	51.2	39.1	7.8	1.7	0.2	
		D層	80.9	41.0	39.6	13.5	5.5	0.4	
A-D層	12.9								
99	要素 理科	全体	77.3	35.2	42.0	17.3	5.3	0.2	
	小要素	A層	84.5	43.6	40.8	12.8	2.8	0.0	
	理科の授業で、実験や調査が終わったあとに、気づいたことや新しい疑問などについて、話し合ったりまとめたりしている。	B層	82.0	40.5	41.3	13.9	4.1	0.1	
		C層	77.6	32.1	45.4	17.5	4.9	0.2	
		D層	66.4	24.9	41.2	24.8	8.7	0.4	
A-D層	18.1								
100	要素 理科	全体	77.3	36.9	40.2	16.5	6.1	0.2	
	小要素	A層	80.3	42.0	38.2	15.4	4.3	0.0	
	理科の授業で、グループで話し合いや教え合いをしている。	B層	80.8	41.3	39.4	13.9	5.3	0.1	
		C層	79.3	35.7	43.5	15.4	5.2	0.2	
		D層	69.7	29.1	40.2	21.3	8.9	0.5	
A-D層	10.6								
101	要素 英語	全体	73.6	40.2	33.2	16.1	10.3	0.2	
	小要素	A層	84.5	54.9	29.5	9.3	6.2	0.1	
	英語の宿題で、日常的な出来事について、短い英作文を書いたことがある。	B層	79.9	47.3	32.6	13.2	6.9	0.1	
		C層	75.2	37.0	37.9	15.8	9.0	0.4	
		D層	56.2	22.4	33.6	25.9	17.9	0.2	
A-D層	28.3								
102	要素 英語	全体	64.2	27.0	37.1	24.5	11.3	0.2	
	小要素	A層	75.2	38.3	36.8	19.1	5.7	0.1	
	英語の授業で、買い物や旅行などの場面を通して、自分で会話を作ってコミュニケーションしている。	B層	70.6	30.7	39.9	22.3	7.0	0.0	
		C層	65.1	23.5	41.3	25.3	9.5	0.4	
		D層	47.6	16.0	31.4	31.2	21.1	0.2	
A-D層	27.6								

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
103	要素	英語	全体	77.5	41.8	35.6	15.8	6.6	0.2
	小要素		A層	85.7	52.7	32.9	11.3	2.9	0.1
	英語の授業で、テレビや 電子黒板などを使って、 映像やアニメーションを 見ながら会話練習をして いる。		B層	83.3	48.2	35.0	12.6	4.1	0.1
			C層	78.8	39.6	39.0	15.5	5.6	0.4
			D層	63.5	27.3	36.0	23.7	12.8	0.3
	A-D層		22.2						
104	要素	英語	全体	71.0	31.1	39.8	20.8	8.1	0.2
	小要素		A層	78.4	39.7	38.6	15.9	5.7	0.1
	英語の授業で、グループ で話し合いや教え合いを している。		B層	75.4	34.0	41.3	19.2	5.4	0.0
			C層	71.0	28.9	41.8	21.8	7.1	0.4
			D層	61.0	22.5	38.4	25.8	13.0	0.2
	A-D層		17.4						
105	要素	やりとげる力	全体	86.9	38.4	48.3	10.5	2.5	0.2
	小要素		A層	86.4	36.5	49.9	11.3	2.3	0.0
	私は、みんなで決めた学級目標 に力を合わせて取り組んで いる。		B層	87.1	39.0	47.9	10.9	2.0	0.3
			C層	88.9	38.7	49.9	8.9	2.1	0.4
			D層	86.3	40.0	46.0	10.3	3.3	0.4
	A-D層		0.1						
106	要素	やりとげる力	全体	93.4	53.4	39.8	5.3	1.2	0.2
	小要素		A層	95.4	57.6	37.8	3.7	0.9	0.0
	私は、係や当番の活動に責任 を持って取り組んでいる。		B層	95.2	56.5	38.6	3.9	0.9	0.2
			C層	94.1	52.4	41.5	5.0	0.8	0.3
			D層	89.8	47.8	41.6	8.1	2.0	0.4
	A-D層		5.6						
107	要素	やりとげる力	全体	74.8	30.9	43.7	20.7	4.5	0.2
	小要素		A層	78.6	34.6	44.0	18.2	3.3	0.0
	私は、自分たちの学習や生活を よくするための話し合いや活動 に、進んで取り組んでいる。		B層	76.1	33.2	42.7	20.3	3.5	0.2
			C層	74.9	29.7	45.1	21.0	4.1	0.3
			D層	70.8	26.9	43.6	22.6	6.4	0.4
	A-D層		7.8						
108	要素	やりとげる力	全体	80.1	37.1	42.8	16.0	3.9	0.2
	小要素		A層	83.4	41.9	41.5	14.0	2.6	0.0
	私は、生徒会で決めた活動や学 校行事に、進んで取り組んで いる。		B層	82.3	39.9	42.3	15.0	2.6	0.2
			C層	80.2	35.5	44.5	15.9	3.8	0.3
			D層	75.4	31.7	43.3	18.7	5.7	0.5
	A-D層		8.0						
109	要素	自律力	全体	51.4	18.4	32.9	35.8	12.7	0.2
	小要素		A層	53.7	20.6	33.1	35.8	10.5	0.0
	私は、学年や学校のためになる 活動を提案して、進んで取り組 んでいる。		B層	52.2	19.0	33.1	35.6	12.1	0.2
			C層	51.4	16.6	34.7	36.1	12.4	0.3
			D層	49.5	18.0	31.3	35.5	14.7	0.4
	A-D層		4.2						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答
110	要素	自律力	全体	85.4	39.9	45.3	12.4	2.2	0.3
	小要素		A層	89.7	46.0	43.7	9.0	1.2	0.0
	私は、楽しむときとまじめに集 中するときのけじめをつけるこ とができる。		B層	88.6	43.7	44.7	9.8	1.6	0.2
			C層	85.6	38.2	47.1	12.7	1.7	0.3
			D層	78.1	31.7	45.9	17.9	4.0	0.6
	A-D層		11.6						
111	要素	自律力	全体	90.7	50.3	40.1	7.9	1.4	0.3
	小要素		A層	93.0	56.7	36.2	5.9	1.1	0.0
	私は、集合の時間、授業開始の 時間、活動終了の時間などを 守っている。		B層	92.7	54.2	38.3	6.2	1.1	0.2
			C層	91.7	50.3	41.1	7.4	0.9	0.3
			D層	85.9	40.3	45.1	11.9	2.1	0.5
	A-D層		7.1						
112	要素	自律力	全体	40.0	21.3	18.5	25.4	34.4	0.3
	小要素		A層	50.3	31.7	18.6	22.4	27.3	0.0
	私は、学級会で、司会や記録を 担当して話し合いを進めたこと がある。		B層	40.3	22.6	17.6	25.6	34.0	0.3
			C層	37.8	17.9	19.8	26.2	35.8	0.4
			D層	32.2	13.8	18.3	27.6	39.6	0.7
	A-D層		18.1						
113	要素	対話力	全体	90.7	49.1	41.4	7.6	1.6	0.3
	小要素		A層	94.3	56.5	37.9	4.5	1.1	0.0
	私は、学校や授業で発言してい る人の話を最後までしっかり聞 いている。		B層	92.0	52.0	39.8	6.7	1.2	0.2
			C層	91.6	47.5	43.8	7.1	1.2	0.4
			D層	85.3	40.7	44.1	11.8	2.8	0.6
	A-D層		9.0						
114	要素	対話力	全体	56.2	20.2	35.7	31.4	12.3	0.4
	小要素		A層	61.3	23.4	37.9	29.2	9.5	0.0
	私は、友だちの話しに賛成・反 対・つけたしと、つなげるよう に発言している。		B層	59.0	22.1	36.7	29.8	11.1	0.3
			C層	54.1	18.7	35.2	33.1	12.6	0.4
			D層	50.9	17.1	33.3	33.0	15.7	0.8
	A-D層		10.4						
115	要素	対話力	全体	51.6	20.2	31.2	33.0	15.3	0.4
	小要素		A層	59.3	27.2	32.1	29.9	10.8	0.0
	私は、話し合いのとき、考えや 意見を進んで出している。		B層	55.0	21.8	33.0	31.2	13.7	0.3
			C層	48.9	16.9	31.8	34.6	16.4	0.3
			D層	43.7	15.2	28.2	35.8	20.0	0.7
	A-D層		15.6						
116	要素	対話力	全体	49.7	21.2	28.3	31.7	18.5	0.4
	小要素		A層	58.4	29.1	29.3	28.2	13.4	0.0
	私は、異なる意見や提案をよく 聞いて、話し合いをまとめたこ とがある。		B層	54.2	23.9	30.2	29.5	16.2	0.3
			C層	46.1	17.5	28.4	34.6	19.0	0.4
			D層	40.6	14.6	25.6	34.5	24.4	0.8
	A-D層		17.8						

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
117	要素	支え合う力	全体	41.7	13.9	27.6	35.7	22.4	0.4	
	小要素		A層	49.9	17.2	32.7	30.9	19.1	0.0	
			B層	43.5	15.0	28.4	36.0	20.3	0.3	
	私は、家庭学習や 考查前学習 などで、教え合 いをしている。			C層	38.0	11.3	26.5	38.8	22.9	0.5
				D層	35.9	12.3	23.3	37.2	26.4	0.8
				A-D層	14.0					
118	要素	支え合う力	全体	85.9	41.6	44.0	10.7	3.3	0.4	
	小要素		A層	89.6	47.2	42.4	9.0	1.3	0.0	
			B層	87.7	45.1	42.3	9.2	3.1	0.3	
	私は、小さなけんか やトラブルは、話 し合いで解決して いる。			C層	85.7	39.6	45.8	11.0	3.3	0.4
				D層	81.0	34.9	45.5	13.4	5.4	0.8
				A-D層	8.6					
119	要素	支え合う力	全体	95.0	65.3	29.4	4.1	0.9	0.4	
	小要素		A層	95.9	64.7	31.3	3.6	0.5	0.0	
			B層	95.7	67.7	27.7	3.7	0.6	0.3	
	私は、「ありがとう」 を伝え合っ ている。			C層	95.5	66.2	28.9	3.6	0.9	0.4
				D層	93.0	62.7	29.5	5.4	1.5	0.8
				A-D層	2.9					
120	要素	支え合う力	全体	84.6	40.7	43.5	12.6	2.8	0.4	
	小要素		A層	90.2	47.2	43.1	8.6	1.2	0.0	
			B層	86.1	43.3	42.6	11.5	2.4	0.3	
	私は、授業中、グル ープ学習やグル ープ活動によく協 力している。			C層	84.9	39.1	45.4	12.8	2.2	0.4
				D層	78.0	33.9	43.4	16.7	5.2	0.8
				A-D層	12.2					
121	要素	共生力	全体	90.1	47.7	42.0	8.4	1.4	0.5	
	小要素		A層	91.7	47.6	44.0	7.3	1.0	0.0	
			B層	90.4	48.2	41.9	8.0	1.6	0.3	
	私は、友だちをばか にしたりからかっ たりせず、一人ひ とりの心や命を大 切にしている。			C層	90.6	48.0	42.2	8.1	1.2	0.5
				D層	88.0	47.1	40.1	10.4	1.6	0.9
				A-D層	3.7					
122	要素	共生力	全体	92.1	54.4	37.3	6.2	1.6	0.4	
	小要素		A層	92.4	53.7	38.7	5.7	1.8	0.0	
			B層	92.0	55.9	35.8	6.8	1.2	0.3	
	私は、友だちの間 に上下関係なく、 誰とでも平等に接 している。			C層	92.8	54.8	37.7	5.4	1.7	0.4
				D層	91.4	53.0	37.5	6.9	1.6	0.9
				A-D層	1.0					
123	要素	共生力	全体	91.6	50.8	40.5	7.2	1.2	0.4	
	小要素		A層	92.4	52.0	40.4	6.4	1.2	0.0	
			B層	92.2	51.1	40.8	6.9	0.9	0.3	
	私は、友だちのよい ところやがんばり を認めて伝え合っ ている。			C層	92.2	50.9	40.8	6.8	1.0	0.4
				D層	89.9	49.1	40.0	8.5	1.6	0.9
				A-D層	2.5					

質問 番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)					
					とてもあては まる	まああてはま る	あまりあては まらない	まったくあて はまらない	その他 無回答	
124	要素	共生力	全体	92.1	52.1	39.5	6.4	1.5	0.4	
	小要素		A層	95.1	56.2	38.8	4.0	1.0	0.0	
			B層	93.4	54.3	38.8	5.2	1.4	0.3	
	私は、友だちと共 に学んだり活 動したりしている。			C層	92.3	51.8	40.1	6.5	1.2	0.5
				D層	88.2	46.6	40.8	9.4	2.2	0.9
				A-D層	6.9					
125	要素	規律力	全体	75.0	29.7	44.9	20.6	4.3	0.5	
	小要素		A層	81.2	34.4	46.7	16.2	2.7	0.0	
			B層	78.0	31.5	46.3	18.3	3.6	0.3	
	私は、授業中にむ だなおしゃべ りをしない。			C層	74.2	27.2	46.6	21.1	4.6	0.5
				D層	66.7	25.6	40.4	26.8	6.1	1.1
				A-D層	14.5					
126	要素	規律力	全体	93.0	56.0	36.5	5.8	1.1	0.5	
	小要素		A層	95.3	62.2	32.9	3.9	0.8	0.1	
			B層	94.7	59.9	34.4	4.7	0.6	0.4	
	私は、あいさつ、服 装、持ち物など について、学校の きまりを守って いる。			C層	93.6	53.9	39.2	5.3	1.1	0.5
				D層	88.6	48.4	39.3	9.3	2.0	1.0
				A-D層	6.7					
127	要素	規律力	全体	57.4	22.1	35.0	32.1	10.2	0.5	
	小要素		A層	57.9	22.1	35.8	32.8	9.2	0.1	
			B層	57.3	22.3	34.9	33.3	9.3	0.3	
	私は、ろうかや教 室を込んで整 理整頓している。			C層	58.0	21.8	35.8	31.6	10.2	0.7
				D層	56.8	22.0	34.1	30.7	12.0	1.1
				A-D層	1.1					
128	要素	規律力	全体	92.8	53.6	38.7	6.0	1.2	0.5	
	小要素		A層	94.5	57.9	36.6	4.9	0.6	0.0	
			B層	94.2	57.4	36.6	4.8	1.0	0.3	
	私は、校外でも人 の迷惑になら ないように考 えて行動して いる。			C層	93.3	52.5	40.2	5.7	0.9	0.6
				D層	89.5	46.8	41.8	8.3	2.1	1.0
				A-D層	5.0					
129	要素		全体	72.4	40.1	31.8	16.9	10.6	0.6	
	小要素		A層	77.8	47.5	30.2	14.9	7.3	0.1	
			B層	72.8	42.4	30.1	16.6	10.6	0.4	
	家で学習して いて、わから ないときは教 えてくれる人 がいる。			C層	71.0	37.6	32.9	18.0	10.8	0.7
				D層	68.4	33.4	34.1	18.0	13.2	1.3
				A-D層	9.4					
130	要素		全体	76.2	38.0	37.8	17.2	6.4	0.6	
	小要素		A層	87.3	53.2	34.1	10.4	2.3	0.1	
			B層	81.0	41.4	39.3	14.6	4.4	0.4	
	家で学習する ときは、苦 手な教科も しっかりと学 習している。			C層	74.5	33.0	41.0	19.6	5.8	0.6
				D層	63.1	25.2	37.2	23.9	12.6	1.2
				A-D層	24.2					

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	その他 無回答
131	要素		全体	85.7	48.9	36.2	11.6	2.7	0.6
	小要素		A層	93.4	65.3	28.1	5.1	1.5	0.0
	学校の先生が出した宿題をきちんとやりとげている。		B層	91.2	54.9	36.0	7.3	1.5	0.4
			C層	86.8	45.2	41.1	11.3	1.8	0.6
			D層	72.5	31.3	40.1	21.6	5.5	1.4
			A-D層		20.9				
132	要素		全体	71.3	34.2	36.6	20.6	7.9	0.6
	小要素		A層	70.6	34.9	35.6	21.9	7.6	0.0
	次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。		B層	71.4	35.9	35.2	20.4	8.1	0.4
			C層	73.8	34.0	39.4	19.1	6.9	0.6
			D層	69.6	31.8	36.9	21.1	8.9	1.3
			A-D層		1.0				
133	要素		全体	69.9	32.5	37.0	22.3	7.6	0.6
	小要素		A層	76.8	42.1	34.7	18.3	4.9	0.0
	自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。		B層	72.8	35.4	37.2	20.5	6.5	0.4
			C層	69.0	28.8	39.8	23.4	7.4	0.6
			D層	61.6	23.8	37.0	26.7	11.2	1.4
			A-D層		15.2				
134	要素		全体	63.8	32.5	30.9	24.4	11.6	0.7
	小要素		A層	70.4	40.6	29.8	21.7	7.8	0.1
	テレビやラジオをつけないで集中して学習している。		B層	67.4	35.0	32.1	22.2	10.3	0.4
			C層	61.9	29.0	32.5	25.5	12.3	0.7
			D層	55.6	25.6	29.3	28.0	15.8	1.4
			A-D層		14.8				
135	要素		全体	25.7	6.7	18.8	41.2	32.6	0.6
	小要素		A層	26.1	6.9	19.2	43.6	30.2	0.1
	授業で習ったことは、その日のうちに復習している。		B層	26.7	7.3	19.3	39.9	33.1	0.4
			C層	25.4	5.7	19.5	43.0	31.1	0.7
			D層	24.9	7.0	17.5	38.1	36.1	1.3
			A-D層		1.2				

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
					部活動に参加し、熱心に活動している	部活動には参加しているが、あまり熱心には活動していない	以前は参加していたが、今は参加していない	今まで参加したことはない	その他 無回答
136	要素	部活動	全体		61.7	20.3	11.2	6.1	0.7
	小要素		A層		68.0	20.0	6.9	5.0	0.1
	あなたは現在、部活動に参加していますか。下の1～4から一つ選びなさい。		B層		66.2	19.1	8.9	5.3	0.5
			C層		61.2	20.3	11.4	6.2	0.8
			D層		52.8	22.0	16.5	7.3	1.3
			A-D層						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)						
					高校まで	専門学校・各 種学校まで	短期大学ま で	四年制大学 まで	大学院まで	その他	その他 無回答
137	要素	進路意識	全体		12.9	15.4	5.4	54.2	8.7	2.5	0.9
	小要素		A層		1.8	5.5	2.8	75.2	12.5	2.0	0.2
			B層		5.2	11.9	3.9	67.9	8.7	1.9	0.5
		あなたは将来、どの学校ま で進みたいですか。下の1 ～6から一つ選びなさい。	C層		11.9	19.5	6.9	50.4	8.0	2.5	0.9
			D層		31.4	24.8	8.2	24.6	5.7	3.3	2.0
		A-D層									

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああて はまる	まああて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
138	要素	追加質問	全体	36.5	9.0	27.2	34.5	28.4	0.8
	小要素		A層	56.5	17.5	38.7	30.0	13.4	0.3
			B層	39.9	9.1	30.6	36.9	22.9	0.5
		勉強は、好きである。	C層	28.1	4.9	23.1	39.0	32.3	0.8
			D層	21.8	4.7	16.7	32.3	44.7	1.6
		A-D層	34.7						
139	要素	追加質問	全体	92.9	61.4	30.8	5.3	1.7	0.8
	小要素		A層	95.9	72.1	23.5	3.3	0.8	0.3
			B層	94.0	65.2	28.3	4.6	1.3	0.6
		勉強をすることは、大切 なことだと思う。	C層	93.1	58.1	34.3	5.3	1.5	0.8
			D層	88.8	50.6	36.9	8.1	2.9	1.5
		A-D層	7.1						
140	要素	追加質問	全体	63.9	18.7	44.7	29.4	6.4	0.8
	小要素		A層	80.4	29.6	50.4	17.1	2.4	0.5
			B層	70.1	20.7	49.0	26.7	3.0	0.6
		わかった点・わからな かった点を見直し、次の 学習に繋げている。	C層	59.7	13.5	45.7	33.3	6.7	0.8
			D層	46.0	10.9	34.4	40.0	13.2	1.5
		A-D層	34.4						
141	要素	追加質問	全体	82.1	40.8	40.5	11.5	6.3	0.9
	小要素		A層	87.3	48.4	38.5	8.7	3.9	0.5
			B層	85.8	44.5	40.7	9.2	4.9	0.6
		道で外国人に英語で話し かけられた時、なんとか 英語で話そうとする。	C層	81.3	38.5	42.2	12.1	6.5	0.8
			D層	74.3	32.6	40.4	15.5	9.8	1.7
		A-D層	13.0						
142	要素	追加質問	全体	82.4	39.7	41.9	13.8	3.6	0.9
	小要素		A層	86.3	45.8	40.1	10.8	2.8	0.4
			B層	82.5	41.4	40.4	13.5	3.8	0.9
		授業で学んだことは、将 来、社会に出たときに、 役に立つ。	C層	82.8	37.0	45.2	13.8	3.3	0.8
			D層	78.6	35.1	42.2	16.7	4.4	1.6
		A-D層	7.7						
143	要素	追加質問	全体	86.8	52.2	33.8	9.5	3.5	0.9
	小要素		A層	88.6	55.7	32.4	8.2	3.2	0.4
			B層	88.2	54.8	32.8	8.7	3.0	0.8
		学級みんなで協力して何 かをやりとげ、うれし かったことがある。	C層	87.6	52.9	33.9	9.2	3.1	0.9
			D層	83.5	46.2	35.9	11.6	4.6	1.7
		A-D層	5.1						

質問番号	質問内容		母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
					とてもあて はまる	まああて はまる	まああて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
144	要素	追加質問	全体	69.0	40.4	28.0	19.9	10.8	0.9
	小要素		A層	68.8	40.0	28.5	21.1	9.9	0.5
			B層	68.8	39.2	29.0	20.5	10.5	0.8
		将来の夢や目標を持っている。	C層	70.1	41.3	28.2	18.6	11.0	0.8
			D層	68.7	41.0	26.7	19.0	11.8	1.6
			A-D層	0.1					
145	要素	追加質問	全体	93.1	62.3	30.0	5.0	1.8	0.9
	小要素		A層	93.5	66.8	26.3	4.9	1.6	0.4
			B層	93.5	64.2	28.6	4.7	1.7	0.8
		人の役に立つ人間になりたいと 思う。	C層	94.3	62.3	31.3	4.1	1.6	0.8
			D層	91.4	56.3	33.7	6.3	2.2	1.6
			A-D層	2.1					
146	要素	追加質問	全体	89.8	46.7	42.3	8.8	1.3	0.9
	小要素		A層	89.8	43.5	45.9	9.2	1.0	0.5
			B層	90.0	47.8	41.5	8.7	1.2	0.8
		人が困っているときは、進んで助 けている。	C層	90.4	47.0	42.6	8.3	1.2	0.8
			D層	89.6	49.0	39.1	8.6	1.6	1.7
			A-D層	0.2					
147	要素	追加質問	全体	76.1	37.8	37.5	16.3	7.3	1.0
	小要素		A層	79.7	41.1	38.2	15.1	5.1	0.5
			B層	77.0	38.1	38.2	16.6	6.2	0.9
		自分には、よいところがあると思 う。	C層	75.8	37.2	38.0	15.9	8.0	0.8
			D層	72.5	35.4	35.9	17.4	9.6	1.8
			A-D層	7.2					
148	要素	追加質問	全体	68.5	31.8	35.9	21.5	9.7	1.0
	小要素		A層	71.5	31.8	39.3	21.9	6.5	0.5
			B層	69.7	33.3	35.7	20.5	9.5	0.9
		不安やなやみ、ストレスがあると き、だれかに相談することができ ている。	C層	69.2	32.6	35.9	22.0	8.6	0.9
			D層	64.5	29.7	33.6	21.0	13.8	1.9
			A-D層	7.0					
149	要素	追加質問	全体	78.1	39.0	38.3	15.2	6.4	1.0
	小要素		A層	81.0	41.6	39.0	14.4	4.5	0.5
			B層	79.2	40.7	37.8	15.1	5.5	0.9
		困ったとき、なやんだときは、身 近な大人が話を聞いてくれる。	C層	78.2	38.8	38.7	15.0	6.6	0.9
			D層	74.7	35.3	38.0	16.1	8.7	1.9
			A-D層	6.3					

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				とてもあて はまる	まああては まる	あまりあて はまらない	まったくあ てはまらない	その他 無回答
150	要素 追加質問	全体	85.9	42.7	42.3	10.5	3.4	1.0
	小要素	A層	90.4	47.1	42.9	7.4	2.1	0.5
	自分のことは自分で決 められるよう、身近な 大人が助けてくれる。	B層	87.0	44.1	42.2	10.4	2.5	0.8
		C層	86.7	42.3	43.7	9.6	3.5	0.9
		D層	80.1	37.6	41.0	14.2	5.4	1.9
A-D層	10.3							
151	要素 追加質問	全体	83.5	41.4	41.3	12.0	4.3	1.0
	小要素	A層	84.0	40.7	42.9	11.8	4.2	0.5
	自分の住んでいる町が すきである。	B層	83.5	41.2	41.6	12.0	4.4	0.8
		C層	84.6	41.1	42.7	11.4	3.9	0.9
		D層	82.5	42.6	38.2	12.4	4.8	2.0
A-D層	1.5							
152	要素 追加質問	全体	38.0	12.3	25.3	34.2	27.1	1.1
	小要素	A層	36.9	11.7	25.0	38.5	24.3	0.5
	今、住んでいる地域の 行事に参加している。	B層	40.2	13.1	26.8	33.5	25.8	0.8
		C層	38.3	11.3	26.5	33.4	27.6	1.1
		D層	37.1	13.3	23.1	31.5	30.2	2.0
A-D層	-0.2							
153	要素 追加質問	全体	49.5	16.8	32.2	33.5	16.5	1.1
	小要素	A層	51.8	18.2	33.3	33.4	14.6	0.5
	地域や社会をよりよく するために、何をすべ きか考えたことがある。	B層	52.2	18.0	33.7	32.6	14.8	0.8
		C層	49.4	15.6	33.4	32.9	17.1	0.9
		D層	44.9	15.6	28.3	35.0	19.0	2.0
A-D層	6.9							
154	要素 追加質問	全体	90.1	52.9	36.2	7.2	2.6	1.1
	小要素	A層	90.5	56.3	33.7	6.5	3.0	0.5
	GIGAたん末は学習の 役に立つと思う。	B層	90.1	53.2	36.2	7.1	2.7	0.8
		C層	91.0	52.8	37.3	6.6	2.3	1.1
		D層	88.9	49.4	37.7	8.4	2.4	2.0
A-D層	1.6							
質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合 (%)	選択肢別回答割合(%)				
				ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	週1回より少 ない	その他 無回答
155	要素 追加質問	全体	84.4	44.9	38.5	12.8	2.7	1.2
	小要素	A層	89.9	53.8	35.5	8.9	1.2	0.6
	前の学年までに受けた 授業で、GIGAたん末 などのICT機器をどの 程度使用しましたか。	B層	87.1	47.3	39.1	11.0	1.8	0.8
		C層	82.8	41.7	40.2	14.4	2.7	1.1
		D層	78.2	37.4	39.1	16.6	4.7	2.2
A-D層	11.7							

質問番号	質問内容	母集団	肯定群 回答割合(%)	選択肢別回答割合(%)				
				1時間以上	30分以上～ 1時間より少 ない	30分より少 ない	まったく使っ ていない	その他 無回答
156	要素 追加質問	全体	61.1	28.2	32.1	29.2	9.3	1.2
	小要素	A層	61.5	28.6	32.5	31.6	6.7	0.7
	学校の授業がある月曜日 から金曜日、一日にどれく らいスマートフォンやGIG A端末などのICT機器を、 勉強のために使っています か。	B層	62.3	29.3	32.4	29.8	7.6	0.9
		C層	61.7	28.0	33.0	29.0	8.9	1.0
		D層	59.2	27.2	30.6	26.4	13.5	2.3
A-D層	2.3							
157	要素 追加質問	全体	40.9	19.3	21.1	34.5	23.9	1.1
	小要素	A層	40.1	17.8	22.1	39.9	19.5	0.6
	土曜日や日曜日など、学校 が休みの日に、1日にどれ くらいスマートフォンやGI GA端末などのICT機器を、 勉強のために使っています か。	B層	39.5	17.5	21.6	36.9	23.1	0.9
		C層	42.3	20.3	21.6	33.1	24.1	0.9
		D層	41.6	21.4	19.3	28.3	28.9	2.2
A-D層	-1.5							

第2章 VI 今後の各種事業の取組について

1 研究会・研究部会の各事業

(1)川崎市立小学校国語教育研究会

国語教育研究会の研究主題「**生きてはたらくことばの力を育てる国語教室**」は、国語科での学びが他の教科等でも生かせるようにすることが大切になります。例えばそれは、人とのかかわりをつくりだす力や、必要な情報を探し出し活用する力ともいえます。

国語教育研究会では、国語科の学習を「ことばの教育」として捉え、言葉による見方・考え方を働かせて豊かなことばの使い手を育成するために、「ことばの教育」を通して川崎の子どもの心を育てることを第一に考えてきました。「生きてはたらくことばの力」の意味には、「確かさ」と合わせて、「豊かさ」や「しなやかさ」といったその子らしい表現も含まれます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 年数回開催の常任委員授業では、「目の前の子どもの実態に応じた単元づくり」「資質・能力を明確にした授業」「日常的な言語活動」を手立てとして、研究主題につながる実践の提案をします。
- 学習状況調査の結果を基に、授業改善につながる実践の提案もしていきます。
- 国語科教育研修では、子どもが資質・能力を身に付けることと、言葉の見方・考え方を働かせながら主体的な学びを実現することをどのように両立させることができるのか、また、学習状況調査の結果をどのように授業改善につなげていくのかを考える研修を実施します。

(2)川崎市立小学校算数教育研究会

今年度、川崎市立小学校算数教育研究会の研究テーマは、「考える力が伸びる算数の学びを目指して～数学的な見方・考え方を働かせて、試行錯誤する(しちゃう)子～」です。また、その研究テーマを達成するために特に力を入れている重点目標は、【学びの自覚と指導の改善】です。

学びの自覚と指導の改善とは、学習の中で子どもが何を学んだのか、または何が分からなかったのかを教師が適切に見取り、次の学習にどのように生かしていくかを考えることです。このことは、授業改善そのものと考えられます。また、この「学びの自覚と指導の改善」を目指すうえで、大切になるのが【振り返り】と【単元計画(案)の修正】となります。子ども主体の学びを実現するためには、子どもの学習状況や変容を見取り、単元計画を柔軟に修正していく必要があるためです。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会においては令和7年度の結果を受けて、算数研究会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、令和8年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することが考えられます。
- 常任委員授業では、教員が川崎市の子どもたちが苦手としている学習等において、思考を生かした柔軟な学習展開ができるよう「学びの自覚と指導の改善」を意識した「単元計画」と子ども同士の学びを充実させるため「振り返り」を手立てとして、研究主題につながる実践の提案をします。
- 実践事例集や夏季研修会等において、学習状況調査の結果を踏まえた授業改善への提案を行います。

(3)川崎市立中学校教育研究会国語科部会

令和7年度の国語科部会の研究主題は、「社会生活に生きる国語力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」であり、これは学習指導要領の目標を土台としたものです。社会生活を送るにあたっては、確かな国語力を身に付けていくことが求められています。そのために、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し、自分の思いや考えを深めていくことを目指していきます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会においては令和7年度の結果を受けて、国語科部会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、令和8年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することが考えられます。
- 年2回開催の教科主任会においては、部会事業についての理解を図ったり、本調査における国語科としての分析を報告したりする予定です。
- 授業研究会の開催については、本研究部会では、北部地区と南部地区に分かれ、「社会生活に生きる国語力の育成～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～」という共通テーマのもと、授業研究会に取り組んでいます。本調査の結果を基に、授業改善につながる実践の提案をしていきます。

(4)川崎市立中学校教育研究会社会科部会

今年度の社会科研究会の重点は、「社会的事象を『自分事』としてとらえ、主体的に社会形成に参画しようとする態度の育成～仲間と協働して課題を設定・追究し、自らの言葉で表現する社会科学習を通して～」です。社会科の授業の中で、「社会的事象」と「自分との関係」を考えることやそこに関わっている人たちに共感すること、生徒が学習を進めるうえで、前のめりに取り組んだり、一生懸命考えたりすることを通して、社会的事象を自分事として捉えることができるようにしていくことを大切にしています。そのためにも、生徒自らが課題を立て、追究し、自分の言葉で表現できる単元づくりを行っていけるようにしていきます。そのために、次の3点の手立てを設定しました。

- ①「単元を貫く課題」の設定 ・導入での問題意識が持てる資料 ・生徒自らが課題を設定する
 - ②仲間と協働して追究する場面の設定 ・社会的事象について話し合う ・協働して追究する
 - ③自らの言葉で表現する場面の設定 ・自分が考えたことを話し合う ・単元で学習したことをまとめる
- このような社会科学習を通して、主体的に社会形成に参画する態度、学びを人生や社会に生かそうとする公民としての資質・能力の基礎の育成を目指していきます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の部会総会で、調査結果を踏まえた授業の進め方について考えたり、6月の教科主任会で資質・能力の育成を目指した単元デザインと授業 改善に関する研修を行ったりすることが考えられます。
- 年4回開催する地区授業研究会においては、本調査の結果を踏まえた授業改善を意識しながら、GIGA端末を効果的に活用した授業や話し合い活動を取り入れた授業を通して、仲間と協働して課題を設定・追究し、自らの言葉で表現しながら解決に迫る単元のあり方に議論することが考えられます。
- これまでの取組によって、ペアやグループによる話し合い活動を取り入れた授業が多く見られるようになりましたが、より一層、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善につながる実践を提案できるようにしていきます。

(5)川崎市中学校教育研究会数学科部会

令和7年度の部会重点目標は、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、次の3点を重視した指導法の工夫・改善に努めることです。

- ① 概念や原理・法則の理解に裏付けられて生きて働く知識及び技能を習得する(知識及び技能)
 - ② 既習の内容を基にして、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察する力を育てる(思考力, 判断力, 表現力等)
 - ③ 問題解決において粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返り評価・改善する態度、多様な考えを認め、よりよく問題を解決する態度を養う(学びに向かう力, 人間性等)
- また、生徒が数学の学習に主体的に取り組むことができるように、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することが大切です。既習が新たな内容や発展的な内容、あるいは、他教科の学習に生かされたり、また、数学が生活や生活における考え方に生かされたりすることで、その実感は色濃くなります。生涯にわたって必要となる数学的な素養を広く身に付けることを目指しています。

【調査結果を踏まえた取組】

- 4月の教科総会、6月と8月に教育委員会と協力し教育課程研究会、2月に教科主任会を予定しています。
- 教科総会においては令和6年度の結果を受けて、数学科部会から選出された分析委員会の調査・分析結果から、令和7年度に取り組む重点的な授業改善の手立てやアイデア等を報告することも考えられます。
- 北部地区と南部地区の2チームで進められている「生徒が主体的に数学的活動に取り組む授業づくり」をテーマにした研究を、調査・分析結果を生かした授業づくりについて考える一助として活用することも考えられます。
- 8月の教育課程研究会、2月の教科主任会において、本調査の数学科の分析を報告する予定です。

(6)川崎市立中学校教育研究会理科部会

中学校教育研究会理科部会では、「**科学的な探究の過程を通して、個別最適な学び・協働的な学びを目指し、一人ひとりの子どもの資質・能力を育む理科教育**」を目標に研究を進めています。探究の過程を通して、生徒が理科用語を使いながら思考したり、議論したりしながら科学的な概念を構築するよう、教師の意識的な授業改善に取り組んでいます。

これらを継続・発展させていくために、未知の状況にも対応できる思考力, 判断力, 表現力等を育成するとともに、実社会で生きて働く知識及び技能の習得を図る場面では、理科用語を使いながら、日常生活や身近な事象とのつながりを意識した概念的な理解を図り、学びを人生や社会に生かそうとする授業改善を行っていくことが大切であると考えます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 教科部会総会では、本調査を基にした報告及び授業改善例を紹介するとともに、実践指導事例集の内容を紹介する中でも、課題や重点を踏まえた授業づくりや事例等を紹介します。
- 理科部会では、4つの研究推進委員会で研究を推進しており、4地区の地区授業研究会とタイアップをしながら研究の充実と波及に取り組んでいます。これらの機会では、引き続き本調査の結果も踏まえながら、川崎の生徒が科学的に探究する理科教育の研究を推進していきます。

(7)川崎市立中学校教育研究会英語科部会

令和7年度の川崎市立中学校教育研究会英語科部会の研究主題は「自学び合いを通して、表現豊かに考えや気持ちを伝え、他者とのつながりを大切にする生徒の育成～学びの連続性を生かした授業の実践～」です。小学校からのつながりや単元内でのつながりなど学びの継続性を意識した授業づくりを進めています。また、コミュニケーションの目的や場面、状況を設定し、言語活動を通して既習表現を活用させながら生徒のコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図っていきます。

【調査結果を踏まえた取組】

- 実践事例集の中で本調査の結果を踏まえた授業づくりや実践事例を作成し、教科部会総会や教育課程研究会で周知していくことが考えられます。
- 北部・中部・南部の市内3地区で行われる地区別研究会等を通して、本調査の結果を共有したり、授業実践に活用したりして、主題の達成に取り組んでいくことが考えられます。

2 教育委員会の各事業

調査結果から、かわさき教育プランで示された資質・能力の育成に向け、次の事業において取り組んでまいります。

(1)「拡大要請訪問」

- 調査結果を踏まえ、各学校が学習指導の課題を把握・分析し、カリキュラム・マネジメントの推進や教課程の改善に取り組む中で、更なる授業の改善・充実に向けて指導・助言します。
- 学校教育目標の実現に向けて**、各教科等において児童生徒の資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を一層推進します。
- 授業後の分科会においては、学習指導要領に基づいた授業計画(学習指導案作成)から、**各学校の児童生徒の状況に即した授業実践と、各学校の調査結果を合わせ**、授業者等とともに、授業改善の手立てについて考えます。
- 全体会においては、校内研修などを通して、調査結果の分析にて明らかになった課題等について着目し、授業改善の手立てについて具体的に助言します。また、単元や題材のまとまりを通して資質・能力をバランスよく育てていくために、児童生徒の状況に即した単元や題材をデザインする際の具体的なポイント等を伝えていきます。

(2)「各種要請訪問」

- 調査結果の成果と課題を踏まえ、各学校が指導改善に取り組む中、各教科等の目標達成に向けた授業改善や学校が個別に求める支援ニーズを捉え、それに対応した指導・助言をしていきます。
- 「様々な知識や技能を関連付け、目的や場面に応じた判断をすること」が課題として見受けられた場合、その手立てとして、「教える教師から、授業をファシリテートする教師への転換」を促し、児童生徒が各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせ、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう場面を設定することを助言します。

(3)「実践事例集の作成」

- 本調査の同一母集団の経年比較を踏まえた結果について、確かな学力の育成を目指し、学習指導要領に示す内容が児童生徒一人ひとりに確実に身に付いているかどうかを適切に分析・把握し、その後の学習指導の改善に生かしていくよう研究(部)会の協力のもと研究し、年度末の発行に向けて編集します。
- 調査結果でみられた「階層別の平均正答率の差が大きい」ことを踏まえ、児童生徒一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度、児童生徒の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じて、適切な学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、児童生徒自身の学習が最適となるよう調整していく具体的な実践事例を示していきます。
- 基礎的・基本的な学習内容はおおむね身に付いており、資料から情報を読み取り、それらを関連付けて考えたり説明したりすることには課題が見られるため、児童生徒一人ひとりの学びを深めたり主体性を引き出したりといった工夫を重ねながら、確実な習得を図ることができる実践事例を示していきます。

(4)「ライフステージ研修」

- 調査結果から成果と課題を捉え、校長のリーダーシップのもと、学校運営の状況や課題を全教職員で共有し、各種データ等を効果的に活用するなど、RPDCAサイクルを機能させた検証改善の質をさらに高めるような内容となる研修を実施していきます。
- ライフステージに応じた役割を明確にして、互いに高め合う意識を共有し人材育成に全教職員が関わることができるようにします。
- ステージⅠ・Ⅱの学習指導の研修等で、実際の指導を参観して指導の意図を共有することにより、指導方法や知識だけでなく、教師としての志や姿勢も共有できるようにします。

(5)「教育課程研究会」

- 夏季休業中に各教科等で開催する第2回教育課程研究会では、調査結果を踏まえ、学習指導等の改善のポイントについて伝達し、課題解決へ向けた具体的な方策について助言します。
- 各学校においては、分析で見られた課題について検証し、課題解決に向けて、児童生徒の学びの過程を質的に高めていくとともに、「主体的・対話的で深い学び」を軸としながら、実態に即した授業改善の工夫をすることで、各学校における児童生徒の資質・能力の育成につなげます。

第3章 教育委員会事務局各部署による分析

第3章

I 政策推進

教育政策室(政策推進担当)

キャリア在り方生き方教育の視点 「自分をつくる」

質問番号:【123】(小4・5)、【126】(小6)、【139】(中1)、【144】(中2・3)

質問内容:将来の夢や目標を持っている。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

質問番号:【126】(小4・5)、【129】(小6)、【142】(中1)、【147】(中2・3)

質問内容:自分には、よいところがあると思う。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	86.9	87.1	87.6	88.6	84.3	2.8
令和7年度・小5	84.5	84.0	83.9	84.7	85.4	-1.4
令和6年度・小4	86.6	86.9	87.3	88.4	83.6	3.3
令和7年度・小6	80.2	80.1	79.6	79.7	81.7	-1.6
令和6年度・小5	84.1	82.5	83.2	85.5	85.4	-2.9
令和5年度・小4	86.8	87.1	87.7	87.8	84.5	2.6
令和7年度・中1	80.8	78.4	80.2	82.3	82.4	-4.0
令和7年度・中2	69.0	68.0	68.9	68.8	70.6	-2.6
令和6年度・中1	80.1	79.3	79.3	80.0	81.9	-2.6
令和7年度・中3	69.0	68.8	68.8	70.1	68.7	0.1
令和6年度・中2	69.4	68.9	68.3	69.0	72.1	-3.2
令和5年度・中1	80.0	77.4	80.4	80.3	82.1	-4.7

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	85.0	88.0	87.4	85.6	78.9	9.1
令和7年度・小5	82.3	86.3	83.3	82.3	77.4	8.9
令和6年度・小4	83.9	88.0	85.5	83.9	78.0	10.0
令和7年度・小6	79.3	82.1	80.0	79.3	76.1	6.0
令和6年度・小5	80.9	84.6	82.0	80.0	77.0	7.6
令和5年度・小4	84.5	87.5	86.1	84.5	79.9	7.6
令和7年度・中1	80.0	82.1	81.9	79.2	77.3	4.8
令和7年度・中2	76.7	79.9	78.4	75.9	73.0	6.9
令和6年度・中1	78.3	81.2	80.3	77.4	74.4	6.8
令和7年度・中3	76.1	79.7	77.0	75.8	72.5	7.2
令和6年度・中2	74.3	77.9	75.5	74.2	69.9	8.0
令和5年度・中1	75.5	78.2	75.5	76.1	72.3	5.9

キャリア在り方生き方教育の視点 「自分をつくる」

質問番号:【123】(小4・5)、【126】(小6)、【139】(中1)、【144】(中2・3)

質問内容:将来の夢や目標を持っている。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

質問番号:【126】(小4・5)、【129】(小6)、【142】(中1)、【147】(中2・3)

質問内容:自分には、よいところがあると思う。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

【分析結果】

中学2年生の結果を1年生時の結果と比較すると約10ポイント下回っており、これは昨年度と同様の結果となります。中学2年生になり、現実的な中学卒業後の進路選択への意識が強くなっていくことで、様々な「夢」や「目標」を思い描きにくくなることも考えられます。

また、小学4年生と中学3年生以外は、A層よりD層の肯定的な回答の割合が高く、夢や目標をもつことは、学習の理解度に比例するものではないと考えられます。

【分析結果】

昨年度と同程度の結果ですが、小学6年生の結果を経年で見ると、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が下がっています。成長に伴い客観的に自分を見る力が育ち長所とともに課題にも気付くことなどが要因として考えられます。一方中学3年生では、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が上がっています。経験の中で「よさ」を認める視点が増える、自己への新たな気付きを得る、人がもつ「よさ」について考えが広がることなどが考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】

「好き」や「得意」を踏まえ、「就きたい職業」に限らず、「なりたい自分の姿」から将来の夢や目標を思い描くことができるように、キャリア形成を支援していくことが大切です。また、将来の夢や目標は、「自分らしさ」を発揮していくことと深く関連するものだと気付くような取組の工夫が大切です。「キャリア在り方生き方ノート」には、自分のよさに気付くページや、自分の個性を見つめながら将来を考えるページなどがあります。また、「なりたい自分の姿」を描くには、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、変容や成長を自己評価し、自分を見つめられるようにキャリア・パスポートが活用できます。より有効な活用時期や場面を考え、年間計画等に明確に位置付けることも大切です。

教育政策室(政策推進担当)

キャリア在り方生き方教育の視点 「みんな一緒に生きている」

質問番号:【122】(小4・5)、【125】(小6)、【138】(中1)、【143】(中2・3)
 質問内容:学級みんなで協力して何かをやりとげうれしかったことがある。
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

質問番号:【125】(小4・5)、【128】(小6)、【141】(中1)、【146】(中2・3)
 質問内容:人が困っているときは進んで助けている。
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	89.2	91.8	91.4	89.4	84.4	7.4
令和7年度・小5	88.9	91.2	90.2	89.4	84.8	6.4
令和6年度・小4	89.0	91.2	91.2	90.2	83.5	7.7
令和7年度・小6	88.6	89.0	89.6	88.7	87.2	1.8
令和6年度・小5	90.0	91.2	90.7	90.4	88.0	3.2
令和5年度・小4	89.9	92.0	91.1	90.6	85.8	6.2
令和7年度・中1	88.4	89.7	90.1	88.3	85.5	4.2
令和7年度・中2	86.3	89.0	87.9	85.8	82.7	6.3
令和6年度・中1	87.4	89.9	88.9	87.1	83.7	6.2
令和7年度・中3	86.8	88.6	88.2	87.6	83.5	5.1
令和6年度・中2	85.7	86.6	87.1	86.8	82.7	3.9
令和5年度・中1	87.0	88.9	87.8	87.5	83.6	5.3

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	91.4	93.7	93.7	91.7	86.7	7.0
令和7年度・小5	91.7	93.4	92.8	91.2	89.5	3.9
令和6年度・小4	91.9	93.6	93.1	93.2	87.6	6.0
令和7年度・小6	92.2	93.2	92.4	93.3	90.1	3.1
令和6年度・小5	92.5	93.9	93.1	93.5	89.8	4.1
令和5年度・小4	92.1	94.4	92.9	92.9	87.9	6.5
令和7年度・中1	93.1	92.2	94.9	93.7	91.8	0.4
令和7年度・中2	90.1	90.1	91.9	90.5	88.0	2.1
令和6年度・中1	92.3	93.2	92.7	92.5	91.2	2.0
令和7年度・中3	89.8	89.8	90.0	90.4	89.6	0.2
令和6年度・中2	90.0	90.2	91.0	90.7	88.6	1.6
令和5年度・中1	91.5	92.1	91.7	92.4	89.6	2.5

キャリア在り方生き方教育の視点 「みんな一緒に生きている」

質問番号:【122】(小4・5)、【125】(小6)、【138】(中1)、【143】(中2・3)

質問内容:学級みんなで協力して何かをやりとげうれしかったことがある。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

【分析結果】

肯定的な回答の割合が、全学年85%以上を示しています。また、小学6年生の結果では、学年が上がるにつれてA-D層の差が小さくなっています。高学年として、学級全体の協力がより必要な行事や授業の活動等が増える中で、一人ひとりの児童が学級の一員として所属感や充実感を感じていることが考えられます。中学3年生の経年で見た結果では、数値上では大きな変容は見られず、中学1、2年生については、今後の変化に注視する必要があります。

質問番号:【125】(小4・5)、【128】(小6)、【141】(中1)、【146】(中2・3)

質問内容:人が困っているときは進んで助けている。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

【分析結果】

中学3年生以外は、肯定的な回答の割合が90%以上(中3は89.8%)を示しており、「困っている人を進んで助ける」という意識が高い傾向にあることが読み取れます。また、小学4年生のA-D層の差が他の学年と比べて大きいことが読み取れます。小学校と中学校の結果を比較すると中学校の方がその差が小さいことから、成長に応じ、どの層もより自覚的に他者への気遣いやサポートを行うようになっていることが考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】

どちらの質問も全学年の肯定的な回答の割合が85%を超えていることから、引き続き、互いの人格を尊重し、協力、協働して社会を積極的に形成していく力を伸ばしていくことが大切です。

学級で協力して何かをやりとげる活動をする際には、例えば、皆が納得できる目標や過程に着目した目標を決めたり、互いのよさや頑張りを随時振り返り認め合ったりするなど、達成感や充実感を味わえるよう指導の工夫を図っていくことも大切です。また、かわさき共生*共育プログラムのエクササイズなども豊かな人間関係づくりに効果的です。

教育政策室(政策推進担当)

キャリア在り方生き方教育の視点 「わたしたちのまち川崎」

質問番号:【130】(小4・5)、【133】(小6)、【146】(中1)、【151】(中2・3)
 質問内容:自分の住んでいる町がすきである。
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

質問番号:【132】(小4・5)、【135】(小6)、【148】(中1)、【153】(中2・3)
 質問内容:地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えたことがある。
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	92.4	94.7	93.2	93.3	88.4	6.3
令和7年度・小5	91.1	91.7	92.2	91.6	88.9	2.8
令和6年度・小4	92.3	95.0	93.4	92.7	88.0	7.0
令和7年度・小6	88.4	87.2	89.4	89.1	87.6	-0.4
令和6年度・小5	91.4	92.6	92.1	91.6	89.4	3.2
令和5年度・小4	91.7	93.3	92.7	91.9	88.9	4.4
令和7年度・中1	88.8	88.5	89.8	89.1	87.9	0.6
令和7年度・中2	85.1	85.5	85.7	85.0	84.4	1.1
令和6年度・中1	88.2	90.3	89.2	87.9	85.6	4.7
令和7年度・中3	83.5	84.0	83.5	84.6	82.5	1.5
令和6年度・中2	84.5	83.3	85.5	85.9	83.5	-0.2
令和5年度・中1	86.6	87.9	86.9	87.4	84.2	3.7

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	67.6	71.3	67.9	67.0	64.4	6.9
令和7年度・小5	64.3	70.9	64.6	63.4	58.4	12.5
令和6年度・小4	69.8	73.6	69.4	68.9	67.2	6.4
令和7年度・小6	65.6	69.7	67.7	65.5	60.0	9.7
令和6年度・小5	67.7	72.6	66.5	67.6	64.2	8.4
令和5年度・小4	69.1	71.0	69.0	68.4	68.2	2.8
令和7年度・中1	64.4	71.6	66.4	60.8	59.0	12.6
令和7年度・中2	53.6	59.5	57.1	50.9	47.1	12.4
令和6年度・中1	63.3	69.8	65.5	61.9	55.9	13.9
令和7年度・中3	49.5	51.8	52.2	49.4	44.9	6.9
令和6年度・中2	52.4	55.0	54.2	52.5	48.2	6.8
令和5年度・中1	62.2	68.5	63.9	61.5	54.9	13.6

キャリア在り方生き方教育の視点 「わたしたちのまち川崎」

質問番号:【130】(小4・5)、【133】(小6)、【146】(中1)、【151】(中2・3)

質問内容:自分の住んでいる町がすきである。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

質問番号:【132】(小4・5)、【135】(小6)、【148】(中1)、【153】(中2・3)

質問内容:地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えたことがある。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

【分析結果】

昨年度と同程度の結果であり、肯定的な回答の割合は、全学年で83%以上を示しています。

各学年の結果を経年で見ると、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が前の学年をやや下回るとともに、A-D層の差が小さくなっていく傾向が見られます。成長に伴い、学習や生活経験の中で、自分の住んでいる町に対して児童生徒一人ひとりが、より多様な意見をもつようになっていくことが考えられます。

【分析結果】

昨年度と同様に、質問130と比べると肯定的な回答の割合が下回っていることから、地域に対して好感をもっているにもかかわらず、よりよくするために何をすべきかを考えたことはない児童生徒がいることが考えられます。

また、中学2年生と3年生の結果では、いずれも2年生時の結果が1年生時の結果より約10ポイント下回っています。中学生という新しい生活の中で、地域や社会と自分との関わりを考える機会に変化が生じていることも考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】

社会参画の意識を高めていくためには、自分の力で現実の社会問題を解決できるという、社会の創り手としての意識を育てることが大切です。そのために、地域や社会と関わりながら進める学習や、川崎市制100周年を契機にした取組などを生かしながら、「わたしたちのまち川崎」の視点を踏まえた教育活動の充実を図ります。その際、「キャリア在り方生き方ノート」にある、地域について扱っているページが活用できます。また、学校として、コミュニティ・スクールを活用した地域連携を推進するとともに、児童生徒が社会や世界とつながり、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していけるようにカリキュラム・マネジメントの充実を図ることが大切です。

教育政策室(政策推進担当)

SOSの出し方・受け止め方教育

(かわさき共生*共育プログラム)

質問番号:【127】(小4・5)、【130】(小6)、【143】(中1)、【148】(中2・3)
 質問内容:不安やなやみ、ストレスがあるとき、だれかに相談することができている。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	67.3	69.3	67.9	67.5	64.2	5.1
令和7年度・小5	64.0	66.5	65.0	62.0	62.6	3.9
令和6年度・小4	68.6	70.9	69.0	69.6	64.6	6.3
令和7年度・小6	63.4	65.1	63.3	63.6	61.9	3.2
令和6年度・小5	64.8	67.4	64.9	64.6	62.3	5.1
令和5年度・小4	69.5	71.0	69.9	69.5	67.4	3.6
令和7年度・中1	66.1	67.6	66.3	66.4	64.4	3.2
令和7年度・中2	66.5	69.7	68.7	64.6	63.3	6.4
令和6年度・中1	65.7	68.4	67.2	65.0	62.4	6.0
令和7年度・中3	68.5	71.5	69.7	69.2	64.5	7.0
令和6年度・中2	65.2	67.3	66.9	65.3	61.6	5.7
令和5年度・中1	65.1	66.9	66.7	65.3	61.5	5.4

【分析結果】

小学生では、学年が上がるにつれて肯定的な回答の割合が下がっているのに対し、中学生では上がっていることが読み取れます。成長の中で、自分のことを率直に相談しづらくなる側面と、相談相手が増えたり相談する力が向上したりする側面があることが考えられます。

また、質問128(人権・多文化共生教育担当のページに掲載)の「困ったとき、なやんだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。」という質問項目の肯定的な回答の割合が小学4年生から中学1年生で80%以上、中学2、3年生で78%以上であることを踏まえると、大人に話は聞いてもらえているが、誰かに相談はできていないと感じている児童生徒がいることが考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】

「かわさき共生*共育プログラム」に位置付けている「SOSの出し方・受け止め方教育」を引き続き推進します。エクササイズを通して学んだ、自分の心を見つめることやSOSの出し方などを実生活に生かそうとする意識を育てるとともに、子どもも大人もSOSを受け止める「受容傾聴」の姿勢などについて理解し、安心して相談できる環境づくりをしていくことが大切です。

第3章 Ⅱ 人權・多文化共生教育

教育政策室人権・多文化共生教育担当

質問番号:【129(小4・5)132(小6)145(中1)150(中2・3)】

質問内容:自分のことは自分で決められるよう、身近な大人が助けてくれる。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	84.0	88.0	86.1	82.8	78.9	9.1
令和7年度・小5	85.1	89.7	87.3	84.1	79.4	10.3
令和6年度・小4	84.8	89.0	85.6	84.6	79.6	9.4
令和7年度・小6	86.4	89.4	87.9	86.6	81.8	7.6
令和6年度・小5	86.2	89.5	88.1	85.7	81.5	8.0
令和5年度・小4	84.4	87.8	85.9	83.8	80.0	7.8
令和7年度・中1	88.1	91.9	89.5	87.2	83.7	8.2
令和7年度・中2	86.2	90.4	89.0	85.1	80.4	10.0
令和6年度・中1	81.1	83.1	84.1	80.8	76.4	6.7
令和7年度・中3	85.9	90.4	87.0	86.7	80.1	10.3
令和6年度・中2	84.1	87.3	86.4	84.2	78.7	8.6
令和5年度・中1	85.8	89.3	86.5	86.8	80.7	8.6

【分析結果】

質問129について、経年変化に着目すると、小・中学生共に学年が上がるに従ってポイントが上昇していることがわかります。中学生は2年生で一度下がっている学年もありますが、基本的に上昇しています。この上昇については、学年が上がるに連れて、周囲の大人とコミュニケーション

が取れるようになり、相談したり、人に助けられたりする経験から、身近な大人の存在を実感する児童生徒が増えていると考えられます。特に、中学校3年生では自分の進路選択を保護者や学校の先生等と共に考えながら決定するため、多数の児童生徒が実感していると考えられます。

質問番号:【128(小4・5)131(小6)144(中1)149(中2・3)】

質問内容:困ったとき、なやんだときは、身近な大人が話を聞いてくれる。

<肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	81.2	84.3	82.9	80.9	76.7	7.6
令和7年度・小5	81.2	84.9	83.0	80.4	76.3	8.6
令和7年度・小6	81.1	83.2	81.6	81.9	78.0	5.2
令和7年度・中1	81.6	85.0	82.5	81.4	77.3	7.7
令和7年度・中2	78.9	82.1	81.6	78.1	74.2	7.9
令和7年度・中3	78.1	81.0	79.2	78.2	74.7	6.3

【分析結果】

質問128について、今年度の結果から考えると、学年が上がるに従って、ポイントが低下していることがわかります。この低下については、学年が上がるに連れて、大人に相談するのではなく、自分で考えたり、身近な友だちに相談したりする割合が増えていると考えられます。

【実態に応じた取組の工夫】

児童生徒が身近な大人に相談しやすい環境を整えるには、的確な児童生徒理解が求められます。児童生徒、保護者に対して、教職員が積極的に、生徒指導の方針や意味などについて伝え、理解を進めることや、教職員が児童生徒の心の痛みに気づき、一人ひとりの人権が尊重されているかを判断できる確かな人権感覚を身に付けていくことが、児童生徒の安心感や教職員への信頼にもつながっていきます。

そのために、子どもに関わる大人が児童生徒の声を受容・傾聴し、相手の立場に寄り添って理解しようとする共感的理解が重要になります。

さらに、児童生徒の意見表明権に目を向けて考えてみると、例えば「考えや意見を表現する」ことには、「話すこと」に加えて「書くこと」も含まれます。また「考えや意見を表現しない」ことも意見表明権の現れだとされています。「考えや意見を表現しない」児童生徒については、その背景を想像して関わる教職員の姿勢そのものが、信頼関係を築く大切な要素になっていきます。

・「子どもの権利学習」の実施

「川崎市子どもの権利に関する条例」に示されている「7つの権利」について知り、考え、深めることを通して、権利の実現を目指すことは大切です。

特に、身近な大人が子どもの年齢や成長に応じて対話し、相談しやすい環境を整えるなど適切なサポートを行うことは、子どもの「7つ権利」の実現に大きくつながります。子どもに関わる全ての大人が、子どもを「全面的な権利の主体」としてとらえ、子ども自身の人間性を尊重することが求められます。

子どもの権利学習資料



小学校低学年用
「かがやき」



小学校中高学年用
「みんな輝いているかい」



中学高校生用
「わたしもあなたも輝いて」

- ※参考 1. 人権教育の指導方法等の在り方について(第三次とりまとめ)2008年 文部科学省
2. 生徒指導提要 2022年 文部科学省

第3章 Ⅲ 情報・視聴覚センター

情報・視聴覚センター

質問番号:【154】

質問内容:GIGA端末は学習の役に立つと思う。
 <肯定的な回答割合と4層分析データから>

年度・学年	川崎市	川崎市学力層別				
		A層	B層	C層	D層	A-D層の差
令和7年度・小4	91.8	95.2	93.7	92.1	86.2	9.0
令和7年度・小5	92.8	94.3	94.8	93.6	88.5	5.8
令和6年度・小4	91.9	95.6	93.5	92.4	86.1	9.5
令和7年度・小6	93.3	93.2	94.3	94.2	91.5	1.7
令和6年度・小5	92.7	94.0	94.4	93.3	89.1	4.9
令和5年度・小4	91.4	94.0	92.7	92.5	86.2	7.8
令和7年度・中1	93.2	94.1	95.1	93.1	90.5	3.6
令和7年度・中2	90.4	90.7	91.8	91.5	87.6	3.1
令和6年度・中1	93.1	94.0	94.9	93.9	89.5	4.5
令和7年度・中3	90.1	90.5	90.1	91.0	88.9	1.6
令和6年度・中2	89.0	90.6	90.0	89.9	85.6	5.0
令和5年度・中1	91.3	92.8	92.5	92.1	87.8	5.0

【分析結果】

同一母集団のA-D層の差は年度を追うごとに小さく、中1中2間を除き、川崎市、C層、D層の数値が増加していた。つまり、A-D層の差の減少はD層の上昇によるところが大きいことが分かる。

【実態に応じた取組の工夫】

GIGA端末の学習への有用性について、同一母集団のA-D層の差は経年で見ると小さくなっている。D層が他の層よりも大きく上昇しており、このことがA-D層の差の減少に影響している。これは、D層の子どもほど、低い学年においてGIGA端末を学習のために有効に活用できていない状況と考えられるが、学年が上がるにつれてGIGA端末の活用が進むことで、情報活用能力が高まり、その他の層よりも遅れて有用性の実感がわいてきているものと予想される。

つまり、早期からGIGA端末の学習への恩恵を受けられるようにするためにも、タイピングやインターネット検索等の初期指導や比較などの情報の整理分析の方法など、GIGA端末を活用した学び方をしっかりと身に付けられるように指導することが重要であると言える。したがって、例えば、総合的な学習の時間を軸としながら、各教科での学びの中で教科ごとの見方考え方を働かせながら学びを進めていく中で、GIGA端末を活用しながら、ダイナミズムのある学びの中で、情報活用能力を育成するといったカリキュラム・マネジメントが必要であると言える。

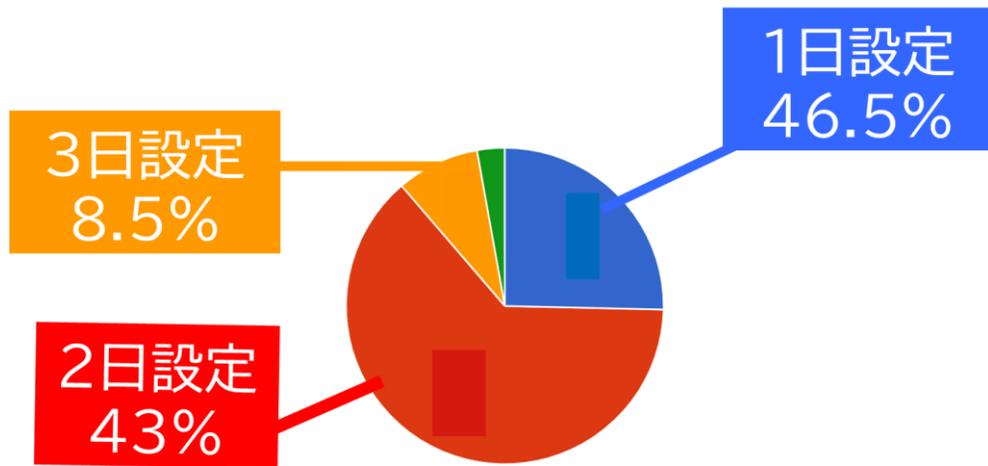
また、中1中2間の値の減少は小学校と中学校の間のGIGA端末を活用した学びのギャップがあることが要因と考えられる。校種を越えた好事例の横展開を一層講じていく必要がある。

第4章

9月26日担当者説明会とモデル校の取組より

第4章 I 担当者説明会

実施日について



- 意識調査だけ別日設定
- 各学年別日設定
- 教科調査の前に意識調査を実施

動画、音声データについて

国語と英語の音声

CDのみ→CD又はデータ

GIGA端末で再生可能

実施に関する解説動画

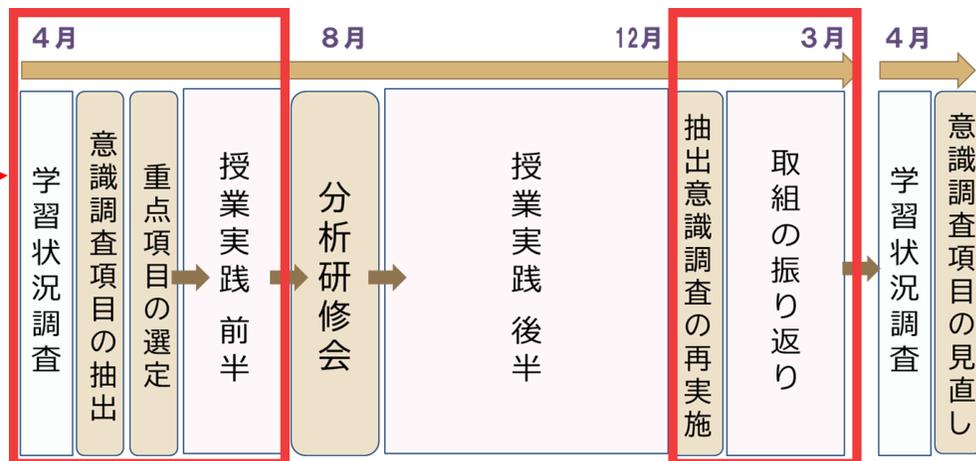
冊子のみ→冊子又は動画

受検票
意識調査
教科調査

教員用
児童生徒用

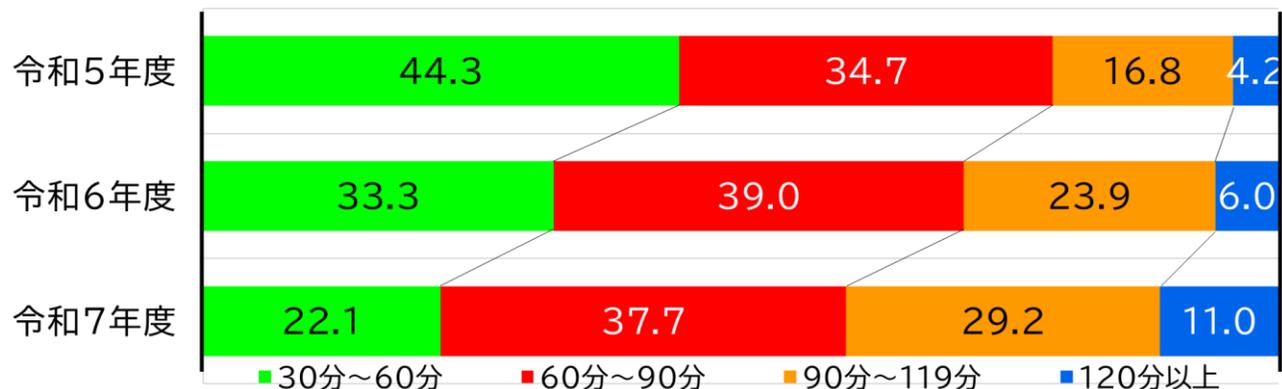
学校全体で調査結果を活用する時期について

通年活用モデルにおける4月～7月は、前年度の取組(授業改善の手立て)を引き継ぐ等の取組が有効。



- 各学校で設定した意識調査から抽出した項目の再調査を実施
- 年間の振り返り&次年度への引き継ぎ

校内分析研修会の時間設定について



- 30分～60分と回答した学校も分析は事前に済ませている
- より詳細な分析や授業改善に向けての協議に注力

校内分析研修会について

今年度の工夫

- これまでの授業内容について、個人、学年で振り返ることと調査結果の分析をもとに夏季休業明けの授業を具体的にどのようにしていくのか、考える時間を多く取った。
- 調査結果を経年で確認することに加え、過去の分析研修会の記録を資料として提示し、分析結果や手立てについても経年で確認した。

研修会を終えた先生方の意見

- 低学年からの積み重ねが重要であると分かった。
- 教員が感覚でなんとなくイメージしていることが、客観的なデータとして提示されたことにより、改めて具体的な授業づくりのイメージを持つことができた。

校内分析研修会における共通事項について

- 実施学年、実施教科のみの分析にとどまらず、学校全体で取り組むこと。
- 実態に応じてデータを焦点化することで、意識調査の分析を効率的に行い、手立ての検討し、実施すること。

第4章 Ⅱ モデル校の事例

【小学校の事例】 第2学年における学習状況調査を活用した実践報告

①手立てについて

【実践してきた主な手立て】

A 実態把握

- ・昨年度の学年からの引き継ぎ
- ・4月からの児童の見取り
- ・本校の学習状況調査の結果(令和6年度)
- ・学年での話し合い など

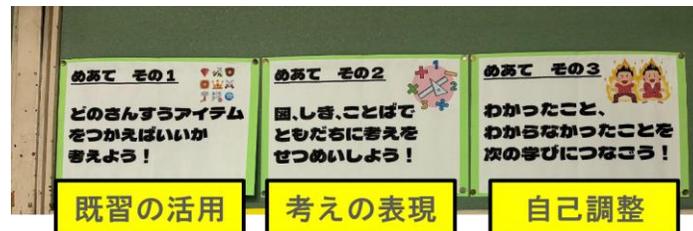
B 重点項目の設定

児童の実態 ⇨ 抽出項目・重点項目を設定(年間取組シート)

- ・新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。
- ・自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。
- ・その日のめあてを決めて、授業や家で勉強に取り組んでいる。

C 「重点項目」を児童と共有

- ・教室掲示の例→



数学的な見方・考え方



いつでも視覚的に確認できる環境作り

・振り返りシートの活用

たんげん	100より大きい数		
さんすうのめあて	①新しいもんだいをとくときに、これまでにならなかったことや、さんすうアイテムをどうやってつかえばとけそうか、考えよう。 ②ならなかったことをそのままおぼえるのではなく、そのりゆうや考え方もいっしょにりかいしようとしている。 ③じぶんの学びゆうをよりよいものにするために、話しあいにすすんでとりくんでいる。		
じかん			
べんきょうしたこと			
わかっためあて①	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △
めあて②	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △
めあて③	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △
ふりかえり			
やぶさばり			

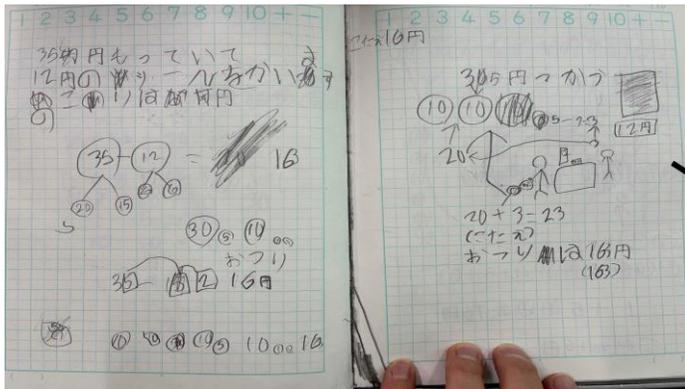
重点項目を
めあてとして設定

達成度を
3段階で自己評価

学びについて
ふりかえりを記述

②実践の様子について

・重点項目①「既習の活用」という土壌がなかったスタート



なんとなく
さくらんぼ算
位ごとに
分けていない
(数学的な見方・考え
方を働かせていない)

たんげん	ひきざん		
ゴール	・2けたどうしのひきざんのけいさんができる。 ・さんすうアイテムをつかって、けいさんのしかたをかんがえたり、きまりを見つけたりする。 ・ひきざんのけいさんにすすんでりくみ、じぶんのべんきょうのしかたをりかえて、きまりや学びゆうにいかそう。		
めあて	①新しいもんだいをとくときに、これまでにならなかったこと（さんすうアイテム）をどうやってつかえばとけそうか、考えよう。 ②ならなかったことをそのままおぼえるのではなく、そのりゆうや考え方もいっしょにりかいしようとしている。 ③わかったこと・わからなかったところを見なおし、つぎのべんきょうにつなげる。		
じかん	1~3	4~7	8~9
べんきょうしたこと	2けたどうしのひきざんのけいさんのしかたを、ずやブロックでせつめいする。	くり下がりのある2けたどうしのひきざんのけいさんのしかたや、ひきざんのけいさんのしかたをかんがえる。	けいさんやしかたのきまりや、ひきざんのけいさんのしかたをかんがえる。
わかった	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △
どのようにべんきょうしたか			
めあて①	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △
めあて②	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △
めあて③	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △	◎ ● ○ ● △

重点項目を
学び方の
めあてとして
はじめて共有

・既習(算数アイテム)を活用しようとする姿(重点①)

既習を活用する意識

算数アイテム

見方を変えれば1年生の計算と同じようにできる

表現

表現

考えを表現しやすい方法を見出している(重点②)

自分なりの方法を見つける(重点③)

③成果と今後の取組について

【成果】

- ・児童自ら既習を活用する意識が高まってきた
- ・図を用いて説明、学びを振り返ろうという姿も増えた
- ⇒設定した3つの重点項目について、変容が見られた

【今後の取組】

- ・後期に再度アンケートを実施し、数値としても客観的な変容が見られるのか調査⇒手立ての再考
- ・この取り組みを継続するための、学校全体の体制、次年度の学年団に伝える仕組みづくりの見直し

【中学校の事例】

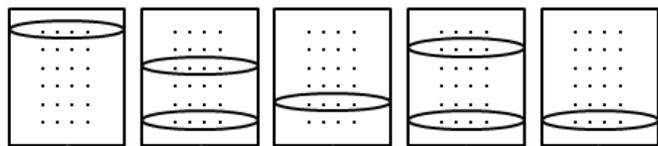
学習状況調査を活用した取組

学習の指標を自覚して学ぶ児童生徒の姿を目指して
—川崎市学習状況調査の結果を活用した学習改善に向けた取組—

実践の具体 共通の取組

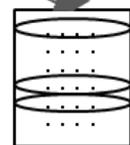
市学習状況調査×個別最適な学び

学習意識調査の抽出



「学校教育目標等」で示す学校が育成を目指す資質・能力に基づいて・・・

【学校】
10～20問程度
を抽出



これを・・・

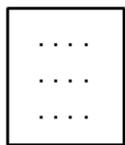
学校全体の
指標として活用

重点項目の設定



児童生徒の実態や前年度の調査結果を考慮して・・・

【学年】
3問程度を設定



これを・・・

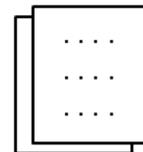
学年の授業改善の
指標として活用

重点項目の共有



児童生徒の個々の課題や学年の実態に即して・・・

【児童生徒】
重点項目を共有



これを・・・

児童生徒の学習改善の
指標として活用

取組の年間計画

4月

7～8月

3月

学習状況調査

学校教育
目標等
生徒の実
態を把握
する

育てたい
資質・能
力を明確
にする

意識調査項目の抽出

重点項目
に沿って
授業実践

学び合い
個に応じた
課題の設定

調査結果の分析

分析した
ことを踏
まえて
授業改善

課題改善
追加検討

意識調査の再実施

取組の
振り返り
成果・課
題を次年
度につな
げる

児童生徒と共有

意識調査に着目

重点項目を設定

経年変化にも着目

意識の変容に着目

個別最適を意識した授業(D中学校7月)

具体的な手立て

- ・ペアワーク・グループワークの充実
→ペアになり、教え合いやすい座席の配置に配慮
- ・GIGAを使い学び合い
→気づきや振り返りをリアルタイムで共有

個別最適を意識した授業(D中学校10月)

具体的な手立て

- ・ペアワーク・グループワークの充実
→わかること、わからないことを説明できるように
- ・GIGAを使い学び合い
→一人スライド友達の考えを途中参照

①重点項目の児童生徒との共有

→日々の授業や学校生活での行動に**肯定的な場面**があった。

②単元計画の児童生徒との共有

→ゴールを示すことで行動や考えが焦点化され、**迷いやぶれが少なくなっている場面**があった。

③個別最適な学びを意識した授業実践

→**協働的な活動の設定、GIGA端末の活用が効果的に作用した場面**があった。

それぞれの手立てによって、**主体的な姿**が見られた。

市学習状況調査の結果を児童生徒の学習の指標として活用することは**学び方を意識して前向きに学習に取り組む姿**につながる

令和7年度 川崎市学習状況調査 全市報告書

令和7年11月発行

発行:川崎市教育委員会・川崎市立小学校長会・川崎市立中学校長会

連絡先:川崎市総合教育センター カリキュラムセンター

〒213-0001 川崎市高津区溝口6-9-3

TEL 044-844-3722

FAX 044-844-3727